エラー メッセージ ガイド

Arcserve® Unified Data Protection

arcserve®

リーガル ノーティス

組み込みのヘルプ システムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」) はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserve により随時、変更または撤回されることがあります。このドキュメントは、Arcserve の専有情報であり、Arcserve の事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、Arcserve のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは Arcserve に本書の全部または一部を複製したコピーを Arcserve に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVE は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません) が発生しても、ARCSERVE はお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCSERVE がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は Arcserve です。

「制限された権利」のもとでの提供 : アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212, 52.227-14 及び 52.227-19(c)(1) 及び (2)、及び、DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

© 2014-2024 Arcserve (その関連会社および子会社を含む) 。All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

Arcserve 製品リファレンス

このマニュアルが参照している Arcserve 製品は以下のとおりです。

- Arcserve® Unified Data Protection
- Arcserve® Unified Data Protection Agent for Windows
- Arcserve® Unified Data Protection Agent for Linux
- Arcserve® Backup
- Arcserve® Continuous Availability

Arcserve サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題を解決する際に役立つ豊富なリソース セットを提供し、重要な製品情報にも容易にアクセスできます。

サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポートをご利用いただくと次のことができます。

- Arcserve サポート の専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース(KB) ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- ライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームと瞬時にリアルタイムで会話を始めることができます。ライブ チャットでは、製品にアクセスしたまま、懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバル ユーザ コミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベスト プラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

目次

第 1章 : エラー メッセージ 53

エラー メッセージ 10000 ～ 10100 53

エラー メッセージ 10000 53

エラー メッセージ 10001 53

エラー メッセージ 10002 53

エラー メッセージ 10003 54

エラー メッセージ 10004 54

エラー メッセージ 10005 54

エラー メッセージ 10006 54

エラー メッセージ 10007 55

エラー メッセージ 10008 55

エラー メッセージ 10009 55

エラー メッセージ 10010 56

エラー メッセージ 10011 56

エラー メッセージ 10012 56

エラー メッセージ 10013 56

エラー メッセージ 10015 57

エラー メッセージ 10016 57

エラー メッセージ 10017 57

エラー メッセージ 10018 57

エラー メッセージ 10019 58

エラー メッセージ 10020 58

エラー メッセージ 10021 58

エラー メッセージ 10022 58

エラー メッセージ 10023 59

エラー メッセージ 10024 59

エラー メッセージ 10025 59

エラー メッセージ 10026 60

エラー メッセージ 10027 60

エラー メッセージ 10028 60

エラー メッセージ 10029 61

エラー メッセージ 10030 61

エラー メッセージ 10031 61

エラー メッセージ 10032 61

エラー メッセージ 10033 62
エラー メッセージ 10034 62
エラー メッセージ 10035 62
エラー メッセージ 10036 62
エラー メッセージ 10037 63
エラー メッセージ 10038 63
エラー メッセージ 10039 63
エラー メッセージ 10040 63
エラー メッセージ 10041 64
エラー メッセージ 10042 64
エラー メッセージ 10043 64
エラー メッセージ 10044 64
エラー メッセージ 10045 65
エラー メッセージ 10046 65
エラー メッセージ 10047 65
エラー メッセージ 10048 66
エラー メッセージ 10049 66
エラー メッセージ 10050 66
エラー メッセージ 10051 66
エラー メッセージ 10052 67
エラー メッセージ 10053 67
エラー メッセージ 10054 67
エラー メッセージ 10055 67
エラー メッセージ 10056 68
エラー メッセージ 10057 68
エラー メッセージ 10058 68
エラー メッセージ 10059 68
エラー メッセージ 10060 69
エラー メッセージ 10061 69
エラー メッセージ 10062 69
エラー メッセージ 10063 70
エラー メッセージ 10064 70
エラー メッセージ 10065 70
エラー メッセージ 10066 70
エラー メッセージ 10067 71
エラー メッセージ 10068 71

エラー メッセージ 10069 71
エラー メッセージ 10070 72
エラー メッセージ 10071 72
エラー メッセージ 10072 72
エラー メッセージ 10073 72
エラー メッセージ 10074 73
エラー メッセージ 10075 73
エラー メッセージ 10076 73
エラー メッセージ 10077 73
エラー メッセージ 10078 74
エラー メッセージ 10079 74
エラー メッセージ 10080 74
エラー メッセージ 10081 74
エラー メッセージ 10082 75
エラー メッセージ 10083 75
エラー メッセージ 10084 75
エラー メッセージ 10085 75
エラー メッセージ 10086 76
エラー メッセージ 10087 76
エラー メッセージ 10088 76
エラー メッセージ 10089 77
エラー メッセージ 10090 77
エラー メッセージ 10092 77
エラー メッセージ 10093 78
エラー メッセージ 10094 78
エラー メッセージ 10095 78
エラー メッセージ 10096 78
エラー メッセージ 10097 79
エラー メッセージ 10099 79
エラー メッセージ 10100 79
エラー メッセージ 10101 ～ 10200 80
エラー メッセージ 10101 80
エラー メッセージ 10102 80
エラー メッセージ 10103 80
エラー メッセージ 10104 81
エラー メッセージ 10105 81

エラー メッセージ 10106 81
エラー メッセージ 10107 82
エラー メッセージ 10108 82
エラー メッセージ 10109 82
エラー メッセージ 10110 82
エラー メッセージ 10111 83
エラー メッセージ 10112 83
エラー メッセージ 10113 83
エラー メッセージ 10114 84
エラー メッセージ 10115 84
エラー メッセージ 10116 84
エラー メッセージ 10117 84
エラー メッセージ 10118 85
エラー メッセージ 10119 85
エラー メッセージ 10120 85
エラー メッセージ 10121 85
エラー メッセージ 10122 86
エラー メッセージ 10123 86
エラー メッセージ 10124 86
エラー メッセージ 10125 86
エラー メッセージ 10126 87
エラー メッセージ 10127 87
エラー メッセージ 10128 87
エラー メッセージ 10129 87
エラー メッセージ 10131 88
エラー メッセージ 10132 88
エラー メッセージ 10133 88
エラー メッセージ 10134 88
エラー メッセージ 10135 89
エラー メッセージ 10136 89
エラー メッセージ 10137 89
エラー メッセージ 10138 89
エラー メッセージ 10139 90
エラー メッセージ 10140 90
エラー メッセージ 10141 90
エラー メッセージ 10142 91

エラー メッセージ 10143 91
エラー メッセージ 10144 91
エラー メッセージ 10145 91
エラー メッセージ 10146 92
エラー メッセージ 10147 92
エラー メッセージ 10148 92
エラー メッセージ 10149 92
エラー メッセージ 10150 93
エラー メッセージ 10151 93
エラー メッセージ 10152 93
エラー メッセージ 10153 94
エラー メッセージ 10154 94
エラー メッセージ 10155 94
エラー メッセージ 10156 95
エラー メッセージ 10157 95
エラー メッセージ 10158 95
エラー メッセージ 10159 96
エラー メッセージ 10160 96
エラー メッセージ 10161 96
エラー メッセージ 10162 97
エラー メッセージ 10163 97
エラー メッセージ 10164 97
エラー メッセージ 10165 97
エラー メッセージ 10166 98
エラー メッセージ 10167 98
エラー メッセージ 10168 98
エラー メッセージ 10169 99
エラー メッセージ 10170 99
エラー メッセージ 10171 99
エラー メッセージ 10172 100
エラー メッセージ 10173 100
エラー メッセージ 10174 100
エラー メッセージ 10175 100
エラー メッセージ 10176 101
エラー メッセージ 10177 101
エラー メッセージ 10178 101

エラー メッセージ 10179 101
エラー メッセージ 10180 102
エラー メッセージ 10181 102
エラー メッセージ 10182 102
エラー メッセージ 10183 103
エラー メッセージ 10184 103
エラー メッセージ 10185 103
エラー メッセージ 10186 104
エラー メッセージ 10187 104
エラー メッセージ 10188 104
エラー メッセージ 10190 104
エラー メッセージ 10191 105
エラー メッセージ 10192 105
エラー メッセージ 10193 105
エラー メッセージ 10194 106
エラー メッセージ 10195 106
エラー メッセージ 10196 106
エラー メッセージ 10197 107
エラー メッセージ 10198 107
エラー メッセージ 10199 108
エラー メッセージ 10200 108
エラー メッセージ 10201 ～ 10300 108
エラー メッセージ 10201 108
エラー メッセージ 10202 109
エラー メッセージ 10203 109
エラー メッセージ 10204 109
エラー メッセージ 10205 109
エラー メッセージ 10206 110
エラー メッセージ 10207 110
エラー メッセージ 10208 110
エラー メッセージ 10209 110
エラー メッセージ 10210 111
エラー メッセージ 10211 111
エラー メッセージ 10212 111
エラー メッセージ 10213 111
エラー メッセージ 10214 111

エラー メッセージ 10215 112
エラー メッセージ 10216 112
エラー メッセージ 10217 112
エラー メッセージ 10218 112
エラー メッセージ 10219 113
エラー メッセージ 10220 113
エラー メッセージ 10221 113
エラー メッセージ 10222 113
エラー メッセージ 10223 113
エラー メッセージ 10224 114
エラー メッセージ 10225 114
エラー メッセージ 10226 114
エラー メッセージ 10227 114
エラー メッセージ 10228 115
エラー メッセージ 10229 115
エラー メッセージ 10230 115
エラー メッセージ 10231 115
エラー メッセージ 10232 116
エラー メッセージ 10233 116
エラー メッセージ 10234 116
エラー メッセージ 10235 116
エラー メッセージ 10236 117
エラー メッセージ 10237 117
エラー メッセージ 10238 117
エラー メッセージ 10239 117
エラー メッセージ 10240 118
エラー メッセージ 10241 118
エラー メッセージ 10242 118
エラー メッセージ 10243 118
エラー メッセージ 10244 119
エラー メッセージ 10250 119
エラー メッセージ 10251 119
エラー メッセージ 10257 119
エラー メッセージ 10258 120
エラー メッセージ 10259 120
エラー メッセージ 10260 120

エラー メッセージ 10261 120
エラー メッセージ 10262 121
エラー メッセージ 10263 121
エラー メッセージ 10264 121
エラー メッセージ 10265 121
エラー メッセージ 10266 122
エラー メッセージ 10267 122
エラー メッセージ 10268 122
エラー メッセージ 10269 122
エラー メッセージ 10270 123
エラー メッセージ 10278 123
エラー メッセージ 10279 123
エラー メッセージ 10293 124
エラー メッセージ 10294 124
エラー メッセージ 10295 124
エラー メッセージ 10296 124
エラー メッセージ 10297 125
エラー メッセージ 10298 125
エラー メッセージ 10299 125
エラー メッセージ 10300 126
エラー メッセージ 10301 ～ 10400 126
エラー メッセージ 10301 126
エラー メッセージ 10302 126
エラー メッセージ 10303 127
エラー メッセージ 10304 127
エラー メッセージ 10305 127
エラー メッセージ 10306 128
エラー メッセージ 10307 128
エラー メッセージ 10308 128
エラー メッセージ 10309 128
エラー メッセージ 10310 129
エラー メッセージ 10311 129
エラー メッセージ 10312 129
エラー メッセージ 10314 130
エラー メッセージ 10315 130
エラー メッセージ 10316 130

エラー メッセージ 10317 130
エラー メッセージ 10318 131
エラー メッセージ 10319 131
エラー メッセージ 10320 131
エラー メッセージ 10321 132
エラー メッセージ 10322 132
エラー メッセージ 10323 132
エラー メッセージ 10324 132
エラー メッセージ 10325 133
エラー メッセージ 10326 133
エラー メッセージ 10327 133
エラー メッセージ 10328 134
エラー メッセージ 10329 134
エラー メッセージ 10330 134
エラー メッセージ 10331 134
エラー メッセージ 10332 135
エラー メッセージ 10333 135
エラー メッセージ 10334 135
エラー メッセージ 10335 135
エラー メッセージ 10336 136
エラー メッセージ 10337 136
エラー メッセージ 10338 136
エラー メッセージ 10339 136
エラー メッセージ 10340 137
エラー メッセージ 10341 137
エラー メッセージ 10342 137
エラー メッセージ 10343 137
エラー メッセージ 10344 138
エラー メッセージ 10345 138
エラー メッセージ 10346 138
エラー メッセージ 10347 138
エラー メッセージ 10348 139
エラー メッセージ 10349 139
エラー メッセージ 10350 139
エラー メッセージ 10351 140
エラー メッセージ 10352 140

エラー メッセージ 10353 140
エラー メッセージ 10354 140
エラー メッセージ 10355 141
エラー メッセージ 10356 141
エラー メッセージ 10357 141
エラー メッセージ 10358 142
エラー メッセージ 10359 142
エラー メッセージ 10360 142
エラー メッセージ 10361 143
エラー メッセージ 10362 143
エラー メッセージ 10363 143
エラー メッセージ 10364 143
エラー メッセージ 10365 144
エラー メッセージ 10366 144
エラー メッセージ 10367 144
エラー メッセージ 10368 144
エラー メッセージ 10369 145
エラー メッセージ 10370 145
エラー メッセージ 10371 145
エラー メッセージ 10372 146
エラー メッセージ 10373 146
エラー メッセージ 10374 146
エラー メッセージ 10375 146
エラー メッセージ 10376 147
エラー メッセージ 10377 147
エラー メッセージ 10378 147
エラー メッセージ 10379 148
エラー メッセージ 10380 148
エラー メッセージ 10381 148
エラー メッセージ 10382 148
エラー メッセージ 10383 149
エラー メッセージ 10384 149
エラー メッセージ 10385 149
エラー メッセージ 10386 149
エラー メッセージ 10387 150
エラー メッセージ 10388 150

エラー メッセージ 10389 150
エラー メッセージ 10390 150
エラー メッセージ 10391 151
エラー メッセージ 10392 151
エラー メッセージ 10393 151
エラー メッセージ 10394 151
エラー メッセージ 10395 152
エラー メッセージ 10396 152
エラー メッセージ 10397 152
エラー メッセージ 10398 152
エラー メッセージ 10399 153
エラー メッセージ 10400 153
エラー メッセージ 10401 ～ 10500 153
エラー メッセージ 10401 153
エラー メッセージ 10402 153
エラー メッセージ 10403 154
エラー メッセージ 10404 154
エラー メッセージ 10405 154
エラー メッセージ 10406 154
エラー メッセージ 10407 155
エラー メッセージ 10408 155
エラー メッセージ 10411 155
エラー メッセージ 10419 156
エラー メッセージ 10420 156
エラー メッセージ 10421 156
エラー メッセージ 10422 157
エラー メッセージ 10423 157
エラー メッセージ 10424 157
エラー メッセージ 10425 157
エラー メッセージ 10426 158
エラー メッセージ 10427 158
エラー メッセージ 10428 158
エラー メッセージ 10429 158
エラー メッセージ 10430 159
エラー メッセージ 10431 159
エラー メッセージ 10432 159

エラー メッセージ 10433 159
エラー メッセージ 10434 160
エラー メッセージ 10435 160
エラー メッセージ 10436 160
エラー メッセージ 10437 160
エラー メッセージ 10438 161
エラー メッセージ 10439 161
エラー メッセージ 10440 161
エラー メッセージ 10441 161
エラー メッセージ 10442 162
エラー メッセージ 10443 162
エラー メッセージ 10444 162
エラー メッセージ 10445 162
エラー メッセージ 10446 163
エラー メッセージ 10447 163
エラー メッセージ 10448 163
エラー メッセージ 10449 163
エラー メッセージ 10450 164
エラー メッセージ 10451 164
エラー メッセージ 10452 164
エラー メッセージ 10453 164
エラー メッセージ 10454 165
エラー メッセージ 10455 165
エラー メッセージ 10456 165
エラー メッセージ 10457 166
エラー メッセージ 10458 166
エラー メッセージ 10459 166
エラー メッセージ 10460 166
エラー メッセージ 10462 167
エラー メッセージ 10463 167
エラー メッセージ 10464 167
エラー メッセージ 10465 167
エラー メッセージ 10466 168
エラー メッセージ 10485 168
エラー メッセージ 10486 168
エラー メッセージ 10487 168

エラー メッセージ 10488 169
エラー メッセージ 10489 169
エラー メッセージ 10490 169
エラー メッセージ 10491 170
エラー メッセージ 10492 170
エラー メッセージ 10493 170
エラー メッセージ 10494 171
エラー メッセージ 10495 171
エラー メッセージ 10496 171
エラー メッセージ 10497 171
エラー メッセージ 10498 172
エラー メッセージ 10499 172
エラー メッセージ 10500 172
エラー メッセージ 10501 ～ 10600 173
エラー メッセージ 10501 173
エラー メッセージ 10502 173
エラー メッセージ 10503 173
エラー メッセージ 10504 174
エラー メッセージ 10505 174
エラー メッセージ 10506 174
エラー メッセージ 10507 174
エラー メッセージ 10508 175
エラー メッセージ 10509 175
エラー メッセージ 10510 175
エラー メッセージ 10511 176
エラー メッセージ 10512 176
エラー メッセージ 10513 176
エラー メッセージ 10514 177
エラー メッセージ 10515 177
エラー メッセージ 10516 177
エラー メッセージ 10517 177
エラー メッセージ 10518 178
エラー メッセージ 10519 178
エラー メッセージ 10520 178
エラー メッセージ 10521 179
エラー メッセージ 10522 179

エラー メッセージ 10523 179
エラー メッセージ 10524 179
エラー メッセージ 10525 180
エラー メッセージ 10526 180
エラー メッセージ 10527 180
エラー メッセージ 10528 181
エラー メッセージ 10529 181
エラー メッセージ 10530 181
エラー メッセージ 10531 181
エラー メッセージ 10532 182
エラー メッセージ 10533 182
エラー メッセージ 10534 182
エラー メッセージ 10535 183
エラー メッセージ 10536 183
エラー メッセージ 10537 183
エラー メッセージ 10538 184
エラー メッセージ 10539 184
エラー メッセージ 10540 184
エラー メッセージ 10541 184
エラー メッセージ 10542 185
エラー メッセージ 10543 185
エラー メッセージ 10544 185
エラー メッセージ 10545 186
エラー メッセージ 10546 186
エラー メッセージ 10547 186
エラー メッセージ 10548 186
エラー メッセージ 10549 187
エラー メッセージ 10550 187
エラー メッセージ 10551 187
エラー メッセージ 10552 188
エラー メッセージ 10553 188
エラー メッセージ 10555 188
エラー メッセージ 10556 188
エラー メッセージ 10557 189
エラー メッセージ 10558 189
エラー メッセージ 10559 189

エラー メッセージ 10560 189
エラー メッセージ 10561 190
エラー メッセージ 10562 190
エラー メッセージ 10563 190
エラー メッセージ 10564 191
エラー メッセージ 10565 191
エラー メッセージ 10566 191
エラー メッセージ 10567 191
エラー メッセージ 10568 192
エラー メッセージ 10569 192
エラー メッセージ 10570 192
エラー メッセージ 10571 193
エラー メッセージ 10572 193
エラー メッセージ 10573 193
エラー メッセージ 10574 194
エラー メッセージ 10575 194
エラー メッセージ 10576 194
エラー メッセージ 10577 195
エラー メッセージ 10578 195
エラー メッセージ 10579 195
エラー メッセージ 10580 196
エラー メッセージ 10581 196
エラー メッセージ 10582 196
エラー メッセージ 10583 197
エラー メッセージ 10584 197
エラー メッセージ 10585 197
エラー メッセージ 10586 197
エラー メッセージ 10587 198
エラー メッセージ 10588 198
エラー メッセージ 10589 198
エラー メッセージ 10590 199
エラー メッセージ 10591 199
エラー メッセージ 10592 199
エラー メッセージ 10601 ～ 10700 200
エラー メッセージ 10617 200
エラー メッセージ 10618 200

エラー メッセージ 10619 200
エラー メッセージ 10620 201
エラー メッセージ 10621 201
エラー メッセージ 10622 201
エラー メッセージ 10623 201
エラー メッセージ 10624 202
エラー メッセージ 10625 202
エラー メッセージ 10626 202
エラー メッセージ 10627 203
エラー メッセージ 10628 203
エラー メッセージ 10629 203
エラー メッセージ 10630 203
エラー メッセージ 10631 204
エラー メッセージ 10632 204
エラー メッセージ 10633 204
エラー メッセージ 10634 204
エラー メッセージ 10635 205
エラー メッセージ 10636 205
エラー メッセージ 10637 205
エラー メッセージ 10638 205
エラー メッセージ 10639 206
エラー メッセージ 10640 206
エラー メッセージ 10641 206
エラー メッセージ 10642 206
エラー メッセージ 10643 207
エラー メッセージ 10644 207
エラー メッセージ 10645 207
エラー メッセージ 10646 207
エラー メッセージ 10647 208
エラー メッセージ 10648 208
エラー メッセージ 10649 208
エラー メッセージ 10650 209
エラー メッセージ 10651 209
エラー メッセージ 10652 209
エラー メッセージ 10653 210
エラー メッセージ 10654 210

エラー メッセージ 10655 210
エラー メッセージ 10656 210
エラー メッセージ 10657 211
エラー メッセージ 10658 211
エラー メッセージ 10659 211
エラー メッセージ 10660 211
エラー メッセージ 10661 212
エラー メッセージ 10662 212
エラー メッセージ 10663 212
エラー メッセージ 10664 212
エラー メッセージ 10666 213
エラー メッセージ 10667 213
エラー メッセージ 10668 213
エラー メッセージ 10669 213
エラー メッセージ 10670 214
エラー メッセージ 10671 214
エラー メッセージ 10672 214
エラー メッセージ 10674 214
エラー メッセージ 10679 215
エラー メッセージ 10680 215
エラー メッセージ 10682 215
エラー メッセージ 10683 215
エラー メッセージ 10685 215
エラー メッセージ 10689 216
エラー メッセージ 10690 216
エラー メッセージ 10694 216
エラー メッセージ 10695 216
エラー メッセージ 10699 217
エラー メッセージ 10700 217
エラー メッセージ 10701 ～ 10800 217
エラー メッセージ 10701 217
エラー メッセージ 10702 218
エラー メッセージ 10703 218
エラー メッセージ 10704 218
エラー メッセージ 10705 218
エラー メッセージ 10706 219

エラー メッセージ 10707 219
エラー メッセージ 10708 219
エラー メッセージ 10709 220
エラー メッセージ 10710 220
エラー メッセージ 10711 220
エラー メッセージ 10712 220
エラー メッセージ 10713 221
エラー メッセージ 10714 221
エラー メッセージ 10715 221
エラー メッセージ 10716 221
エラー メッセージ 10717 222
エラー メッセージ 10718 222
エラー メッセージ 10719 222
エラー メッセージ 10720 222
エラー メッセージ 10721 223
エラー メッセージ 10722 223
エラー メッセージ 10723 223
エラー メッセージ 10724 223
エラー メッセージ 10725 224
エラー メッセージ 10726 224
エラー メッセージ 10727 224
エラー メッセージ 10728 225
エラー メッセージ 10729 225
エラー メッセージ 10730 225
エラー メッセージ 10731 225
エラー メッセージ 10732 226
エラー メッセージ 10733 226
エラー メッセージ 10734 226
エラー メッセージ 10735 226
エラー メッセージ 10736 227
エラー メッセージ 10737 227
エラー メッセージ 10738 227
エラー メッセージ 10739 228
エラー メッセージ 10740 228
エラー メッセージ 10741 228
エラー メッセージ 10742 228

エラー メッセージ 10743 229
エラー メッセージ 10744 229
エラー メッセージ 10745 229
エラー メッセージ 10746 229
エラー メッセージ 10747 230
エラー メッセージ 10748 230
エラー メッセージ 10749 230
エラー メッセージ 10750 231
エラー メッセージ 10751 231
エラー メッセージ 10752 231
エラー メッセージ 10753 232
エラー メッセージ 10754 232
エラー メッセージ 10755 232
エラー メッセージ 10756 232
エラー メッセージ 10757 233
エラー メッセージ 10758 233
エラー メッセージ 10759 233
エラー メッセージ 10760 233
エラー メッセージ 10761 234
エラー メッセージ 10762 234
エラー メッセージ 10763 234
エラー メッセージ 10764 234
エラー メッセージ 10765 235
エラー メッセージ 10766 235
エラー メッセージ 10767 235
エラー メッセージ 10768 235
エラー メッセージ 10769 236
エラー メッセージ 10770 236
エラー メッセージ 10771 236
エラー メッセージ 10772 237
エラー メッセージ 10774 237
エラー メッセージ 10775 237
エラー メッセージ 10776 237
エラー メッセージ 10777 238
エラー メッセージ 10778 238
エラー メッセージ 10779 238

エラー メッセージ 10780 238
エラー メッセージ 10781 239
エラー メッセージ 10782 239
エラー メッセージ 10783 239
エラー メッセージ 10784 239
エラー メッセージ 10785 240
エラー メッセージ 10786 240
エラー メッセージ 10787 240
エラー メッセージ 10788 241
エラー メッセージ 10789 241
エラー メッセージ 10790 241
エラー メッセージ 10791 241
エラー メッセージ 10792 242
エラー メッセージ 10793 242
エラー メッセージ 10794 242
エラー メッセージ 10795 242
エラー メッセージ 10796 243
エラー メッセージ 10797 243
エラー メッセージ 10798 243
エラー メッセージ 10799 244
エラー メッセージ 10800 244
エラー メッセージ 10801 ～ 10900 244
エラー メッセージ 10801 245
エラー メッセージ 10802 245
エラー メッセージ 10803 245
エラー メッセージ 10804 245
エラー メッセージ 10805 246
エラー メッセージ 10806 246
エラー メッセージ 10807 246
エラー メッセージ 10808 246
エラー メッセージ 10809 247
エラー メッセージ 10810 247
エラー メッセージ 10811 247
エラー メッセージ 10812 247
エラー メッセージ 10813 248
エラー メッセージ 10814 248

エラー メッセージ 10815 248
エラー メッセージ 10816 248
エラー メッセージ 10817 249
エラー メッセージ 10818 249
エラー メッセージ 10819 249
エラー メッセージ 10821 249
エラー メッセージ 10822 250
エラー メッセージ 10823 250
エラー メッセージ 10824 250
エラー メッセージ 10825 250
エラー メッセージ 10826 251
エラー メッセージ 10827 251
エラー メッセージ 10828 251
エラー メッセージ 10829 252
エラー メッセージ 10830 252
エラー メッセージ 10831 252
エラー メッセージ 10832 253
エラー メッセージ 10833 253
エラー メッセージ 10834 253
エラー メッセージ 10835 254
エラー メッセージ 10836 254
エラー メッセージ 10837 254
エラー メッセージ 10838 255
エラー メッセージ 10839 255
エラー メッセージ 10840 255
エラー メッセージ 10841 256
エラー メッセージ 10842 256
エラー メッセージ 10843 256
エラー メッセージ 10844 256
エラー メッセージ 10845 257
エラー メッセージ 10846 257
エラー メッセージ 10847 257
エラー メッセージ 10848 257
エラー メッセージ 10849 258
エラー メッセージ 10850 258
エラー メッセージ 10851 258

エラー メッセージ 10852 258
エラー メッセージ 10853 259
エラー メッセージ 10854 259
エラー メッセージ 10855 259
エラー メッセージ 10856 260
エラー メッセージ 10857 260
エラー メッセージ 10890 260
エラー メッセージ 10891 261
エラー メッセージ 10896 261
エラー メッセージ 10899 261
エラー メッセージ 10901 ～ 11000 261
エラー メッセージ 10902 262
エラー メッセージ 10907 262
エラー メッセージ 10914 262
エラー メッセージ 10915 262
エラー メッセージ 10916 263
エラー メッセージ 10917 263
エラー メッセージ 10918 263
エラー メッセージ 10919 263
エラー メッセージ 10920 264
エラー メッセージ 10921 264
エラー メッセージ 10922 264
エラー メッセージ 10923 264
エラー メッセージ 10924 265
エラー メッセージ 10925 265
エラー メッセージ 10926 265
エラー メッセージ 10927 266
エラー メッセージ 10928 266
エラー メッセージ 10929 266
エラー メッセージ 10930 266
エラー メッセージ 10931 267
エラー メッセージ 10932 267
エラー メッセージ 10933 267
エラー メッセージ 10935 268
エラー メッセージ 10936 268
エラー メッセージ 10937 268

エラー メッセージ 10938 269
エラー メッセージ 10939 269
エラー メッセージ 10940 269
エラー メッセージ 10941 270
エラー メッセージ 10942 270
エラー メッセージ 10943 270
エラー メッセージ 10944 270
エラー メッセージ 10945 271
エラー メッセージ 10946 271
エラー メッセージ 10947 271
エラー メッセージ 10948 272
エラー メッセージ 10949 272
エラー メッセージ 10950 272
エラー メッセージ 10951 273
エラー メッセージ 10952 273
エラー メッセージ 10954 273
エラー メッセージ 10955 273
エラー メッセージ 10956 274
エラー メッセージ 10957 274
エラー メッセージ 10958 274
エラー メッセージ 10959 274
エラー メッセージ 10960 275
エラー メッセージ 10961 275
エラー メッセージ 10962 275
エラー メッセージ 10963 275
エラー メッセージ 10964 276
エラー メッセージ 10965 276
エラー メッセージ 10966 276
エラー メッセージ 10967 277
エラー メッセージ 10968 277
エラー メッセージ 10969 277
エラー メッセージ 10970 277
エラー メッセージ 10971 277
エラー メッセージ 10972 278
エラー メッセージ 10973 278
エラー メッセージ 10974 278

エラー メッセージ 10975 279
エラー メッセージ 10976 279
エラー メッセージ 10977 279
エラー メッセージ 10978 280
エラー メッセージ 10979 280
エラー メッセージ 10980 280
エラー メッセージ 10981 280
エラー メッセージ 10982 281
エラー メッセージ 10983 281
エラー メッセージ 10984 281
エラー メッセージ 10985 282
エラー メッセージ 10986 282
エラー メッセージ 10987 282
エラー メッセージ 10988 283
エラー メッセージ 10989 283
エラー メッセージ 10990 283
エラー メッセージ 10991 284
エラー メッセージ 10992 284
エラー メッセージ 10994 284
エラー メッセージ 10996 284
エラー メッセージ 10997 285
エラー メッセージ 10998 285
エラー メッセージ 10999 285
エラー メッセージ 11000 285
エラー メッセージ 11001 ～ 11100 286
エラー メッセージ 11001 286
エラー メッセージ 11002 286
エラー メッセージ 11003 286
エラー メッセージ 11004 287
エラー メッセージ 11005 287
エラー メッセージ 11006 287
エラー メッセージ 11007 287
エラー メッセージ 11008 288
エラー メッセージ 11009 288
エラー メッセージ 11011 288
エラー メッセージ 11012 289

エラー メッセージ 11013 289
エラー メッセージ 11014 289
エラー メッセージ 11015 289
エラー メッセージ 11017 290
エラー メッセージ 11018 290
エラー メッセージ 11019 290
エラー メッセージ 11020 290
エラー メッセージ 11021 291
エラー メッセージ 11022 291
エラー メッセージ 11023 291
エラー メッセージ 11024 291
エラー メッセージ 11025 292
エラー メッセージ 11033 292
エラー メッセージ 11044 292
エラー メッセージ 11061 293
エラー メッセージ 11069 293
エラー メッセージ 11077 293
エラー メッセージ 11078 293
エラー メッセージ 11079 294
エラー メッセージ 11080 294
エラー メッセージ 15000 ～ 15100 294
エラー メッセージ 15000 294
エラー メッセージ 15001 295
エラー メッセージ 15002 295
エラー メッセージ 15003 295
エラー メッセージ 15004 295
エラー メッセージ 15005 296
エラー メッセージ 15006 296
エラー メッセージ 15007 296
エラー メッセージ 15008 296
エラー メッセージ 15009 296
エラー メッセージ 15010 296
エラー メッセージ 15011 296
エラー メッセージ 15012 297
エラー メッセージ 15013 297
エラー メッセージ 15014 297

エラー メッセージ 15015 297
エラー メッセージ 15016 298
エラー メッセージ 15017 298
エラー メッセージ 15018 298
エラー メッセージ 15019 298
エラー メッセージ 15020 298
エラー メッセージ 15021 299
エラー メッセージ 15023 299
エラー メッセージ 15024 299
エラー メッセージ 15025 299
エラー メッセージ 15026 299
エラー メッセージ 15027 299
エラー メッセージ 15028 300
エラー メッセージ 15029 300
エラー メッセージ 15030 300
エラー メッセージ 15031 300
エラー メッセージ 15032 300
エラー メッセージ 15033 300
エラー メッセージ 15034 301
エラー メッセージ 15035 301
エラー メッセージ 15036 301
エラー メッセージ 15037 301
エラー メッセージ 15038 302
エラー メッセージ 15039 302
エラー メッセージ 15040 302
エラー メッセージ 15041 302
エラー メッセージ 15042 303
エラー メッセージ 15043 303
エラー メッセージ 15044 303
エラー メッセージ 15045 303
エラー メッセージ 15047 304
エラー メッセージ 15048 304
エラー メッセージ 15049 304
エラー メッセージ 15050 305
エラー メッセージ 15051 305
エラー メッセージ 15052 305

エラー メッセージ 15053 305
エラー メッセージ 15054 306
エラー メッセージ 15055 306
エラー メッセージ 15056 306
エラー メッセージ 15058 306
エラー メッセージ 15060 307
エラー メッセージ 15062 307
エラー メッセージ 15063 307
エラー メッセージ 15064 307
エラー メッセージ 15066 308
エラー メッセージ 15067 308
エラー メッセージ 15068 308
エラー メッセージ 15070 308
エラー メッセージ 15071 309
エラー メッセージ 15072 309
エラー メッセージ 15073 309
エラー メッセージ 15074 309
エラー メッセージ 15075 310
エラー メッセージ 15076 310
エラー メッセージ 15077 310
エラー メッセージ 15078 310
エラー メッセージ 15079 311
エラー メッセージ 15081 311
エラー メッセージ 15082 311
エラー メッセージ 15083 311
エラー メッセージ 15084 312
エラー メッセージ 15085 312
エラー メッセージ 15086 312
エラー メッセージ 15087 312
エラー メッセージ 15088 313
エラー メッセージ 15089 313
エラー メッセージ 15090 313
エラー メッセージ 15091 313
エラー メッセージ 15092 314
エラー メッセージ 15093 314
エラー メッセージ 15094 314

エラー メッセージ 15096 315
エラー メッセージ 15097 315
エラー メッセージ 15099 315
エラー メッセージ 15100 316
エラー メッセージ 15101 ～ 15200 316
エラー メッセージ 15101 316
エラー メッセージ 15102 316
エラー メッセージ 15103 317
エラー メッセージ 15104 317
エラー メッセージ 15105 317
エラー メッセージ 15106 318
エラー メッセージ 15107 318
エラー メッセージ 15108 318
エラー メッセージ 15109 319
エラー メッセージ 15110 319
エラー メッセージ 15111 319
エラー メッセージ 15112 319
エラー メッセージ 15113 320
エラー メッセージ 15114 320
エラー メッセージ 15115 321
エラー メッセージ 15116 321
エラー メッセージ 15117 321
エラー メッセージ 15118 322
エラー メッセージ 15119 322
エラー メッセージ 15120 322
エラー メッセージ 15121 322
エラー メッセージ 15122 323
エラー メッセージ 15123 323
エラー メッセージ 15124 323
エラー メッセージ 15125 324
エラー メッセージ 15126 324
エラー メッセージ 15127 324
エラー メッセージ 15128 325
エラー メッセージ 15129 325
エラー メッセージ 15130 325
エラー メッセージ 15131 326

エラー メッセージ 15132 326
エラー メッセージ 15133 326
エラー メッセージ 15134 327
エラー メッセージ 15135 327
エラー メッセージ 15136 327
エラー メッセージ 15137 328
エラー メッセージ 15138 328
エラー メッセージ 15140 328
エラー メッセージ 15140 329
エラー メッセージ 15141 329
エラー メッセージ 15142 329
エラー メッセージ 15143 329
エラー メッセージ 15144 330
エラー メッセージ 15145 330
エラー メッセージ 15146 330
エラー メッセージ 15147 331
エラー メッセージ 15148 331
エラー メッセージ 15149 331
エラー メッセージ 15150 331
エラー メッセージ 15151 332
エラー メッセージ 15152 332
エラー メッセージ 15153 332
エラー メッセージ 15154 333
エラー メッセージ 15155 333
エラー メッセージ 15156 333
エラー メッセージ 15157 333
エラー メッセージ 15158 334
エラー メッセージ 15159 334
エラー メッセージ 15160 334
エラー メッセージ 15161 334
エラー メッセージ 15162 335
エラー メッセージ 15163 335
エラー メッセージ 15165 335
エラー メッセージ 15166 335
エラー メッセージ 15167 336
エラー メッセージ 15168 336

エラー メッセージ 15169 336
エラー メッセージ 15170 336
エラー メッセージ 15172 337
エラー メッセージ 15174 337
エラー メッセージ 15175 337
エラー メッセージ 15176 337
エラー メッセージ 15177 338
エラー メッセージ 15178 338
エラー メッセージ 15179 338
エラー メッセージ 15180 338
エラー メッセージ 15181 339
エラー メッセージ 15182 339
エラー メッセージ 15283 339
エラー メッセージ 15401 ～ 15500 340
エラー メッセージ 15446 340
エラー メッセージ 15447 340
エラー メッセージ 15448 340
エラー メッセージ 15449 340
エラー メッセージ 15450 341
エラー メッセージ 15451 341
エラー メッセージ 15452 341
エラー メッセージ 15453 341
エラー メッセージ 15454 342
エラー メッセージ 15455 342
エラー メッセージ 15456 342
エラー メッセージ 15457 342
エラー メッセージ 15458 343
エラー メッセージ 15459 343
エラー メッセージ 15460 343
エラー メッセージ 15461 343
エラー メッセージ 15462 343
エラー メッセージ 15463 344
エラー メッセージ 15464 344
エラー メッセージ 15465 344
エラー メッセージ 15466 345
エラー メッセージ 15467 345

エラー メッセージ 15468 345
エラー メッセージ 15469 345
エラー メッセージ 15470 346
エラー メッセージ 15471 346
エラー メッセージ 15472 346
エラー メッセージ 15473 346
エラー メッセージ 15474 347
エラー メッセージ 15475 347
エラー メッセージ 15476 347
エラー メッセージ 15477 347
エラー メッセージ 15478 348
エラー メッセージ 15479 348
エラー メッセージ 15480 348
エラー メッセージ 15481 348
エラー メッセージ 15482 349
エラー メッセージ 15483 349
エラー メッセージ 15484 349
エラー メッセージ 15485 350
エラー メッセージ 15486 350
エラー メッセージ 15487 350
エラー メッセージ 15488 351
エラー メッセージ 15489 351
エラー メッセージ 15490 351
エラー メッセージ 15491 352
エラー メッセージ 15492 352
エラー メッセージ 15493 352
エラー メッセージ 15494 353
エラー メッセージ 15495 353
エラー メッセージ 15496 353
エラー メッセージ 15497 353
エラー メッセージ 15498 354
エラー メッセージ 15499 354
エラー メッセージ 15560 354
エラー メッセージ 15601 ～ 15700 354
エラー メッセージ 15619 354
エラー メッセージ 15620 355

エラー メッセージ 15621 355
エラー メッセージ 15622 355
エラー メッセージ 15623 356
エラー メッセージ 15624 356
エラー メッセージ 15625 356
エラー メッセージ 15626 356
エラー メッセージ 15627 357
エラー メッセージ 15628 357
エラー メッセージ 15629 357
エラー メッセージ 15630 357
エラー メッセージ 15631 358
エラー メッセージ 15632 358
エラー メッセージ 15633 358
エラー メッセージ 15634 359
エラー メッセージ 15635 359
エラー メッセージ 15636 359
エラー メッセージ 15637 359
エラー メッセージ 15638 360
エラー メッセージ 15639 360
エラー メッセージ 15640 360
エラー メッセージ 15641 360
エラー メッセージ 15642 361
エラー メッセージ 15643 361
エラー メッセージ 15644 361
エラー メッセージ 15645 361
エラー メッセージ 15646 362
エラー メッセージ 15647 362
エラー メッセージ 15648 362
エラー メッセージ 15649 362
エラー メッセージ 15650 363
エラー メッセージ 15651 363
エラー メッセージ 15652 363
エラー メッセージ 15653 363
エラー メッセージ 15654 364
エラー メッセージ 15655 364
エラー メッセージ 15656 364

エラー メッセージ 15657 364
エラー メッセージ 15658 365
エラー メッセージ 15659 365
エラー メッセージ 15660 365
エラー メッセージ 15661 366
エラー メッセージ 15662 366
エラー メッセージ 15663 366
エラー メッセージ 15664 366
エラー メッセージ 15665 367
エラー メッセージ 15666 367
エラー メッセージ 15667 367
エラー メッセージ 15668 367
エラー メッセージ 15669 368
エラー メッセージ 15670 368
エラー メッセージ 15671 368
エラー メッセージ 15672 368
エラー メッセージ 15673 369
エラー メッセージ 15674 369
エラー メッセージ 15675 369
エラー メッセージ 15676 369
エラー メッセージ 15677 369
エラー メッセージ 15678 370
エラー メッセージ 15679 370
エラー メッセージ 15680 370
エラー メッセージ 15681 370
エラー メッセージ 15682 371
エラー メッセージ 15683 371
エラー メッセージ 15684 372
エラー メッセージ 15685 372
エラー メッセージ 15801 ～ 15900 372
エラー メッセージ 15889 372
エラー メッセージ 15890 373
エラー メッセージ 15891 373
エラー メッセージ 15892 373
エラー メッセージ 15901 ～ 16000 373
エラー メッセージ 15901 373

エラー メッセージ 15902 374
エラー メッセージ 15904 374
エラー メッセージ 15905 374
エラー メッセージ 15906 375
エラー メッセージ 15907 375
エラー メッセージ 15908 375
エラー メッセージ 15918 375
エラー メッセージ 15921 376
エラー メッセージ 15922 376
エラー メッセージ 20000 ～ 20100 377
エラー メッセージ 20000 377
エラー メッセージ 20001 377
エラー メッセージ 20002 377
エラー メッセージ 20003 377
エラー メッセージ 20004 378
エラー メッセージ 20005 378
エラー メッセージ 20006 378
エラー メッセージ 20007 379
エラー メッセージ 20008 379
エラー メッセージ 20009 379
エラー メッセージ 20010 379
エラー メッセージ 20011 380
エラー メッセージ 20012 380
エラー メッセージ 20013 380
エラー メッセージ 20014 380
エラー メッセージ 20015 380
エラー メッセージ 20016 381
エラー メッセージ 20017 381
エラー メッセージ 20018 381
エラー メッセージ 20019 382
エラー メッセージ 20020 382
エラー メッセージ 20021 382
エラー メッセージ 20022 382
エラー メッセージ 20023 383
エラー メッセージ 20024 383
エラー メッセージ 20025 383

エラー メッセージ 20026 384
エラー メッセージ 20027 384
エラー メッセージ 20028 384
エラー メッセージ 20029 385
エラー メッセージ 20030 385
エラー メッセージ 20031 385
エラー メッセージ 20032 385
エラー メッセージ 20033 386
エラー メッセージ 20034 386
エラー メッセージ 20035 386
エラー メッセージ 20036 387
エラー メッセージ 20037 387
エラー メッセージ 20038 387
エラー メッセージ 20039 388
エラー メッセージ 20040 388
エラー メッセージ 20041 388
エラー メッセージ 20042 389
エラー メッセージ 20043 389
エラー メッセージ 20044 389
エラー メッセージ 20045 389
エラー メッセージ 20046 390
エラー メッセージ 20047 390
エラー メッセージ 20048 390
エラー メッセージ 20049 390
エラー メッセージ 20050 391
エラー メッセージ 20051 391
エラー メッセージ 20052 391
エラー メッセージ 20053 392
エラー メッセージ 20054 392
エラー メッセージ 20055 392
エラー メッセージ 20056 392
エラー メッセージ 20057 393
エラー メッセージ 20058 393
エラー メッセージ 20059 393
エラー メッセージ 20060 393
エラー メッセージ 20061 394

エラー メッセージ 20062 394
エラー メッセージ 20063 394
エラー メッセージ 20064 395
エラー メッセージ 20065 395
エラー メッセージ 20066 395
エラー メッセージ 20067 396
エラー メッセージ 20068 396
エラー メッセージ 20069 396
エラー メッセージ 20070 397
エラー メッセージ 20071 397
エラー メッセージ 20072 397
エラー メッセージ 20073 398
エラー メッセージ 20074 398
エラー メッセージ 20075 398
エラー メッセージ 20076 399
エラー メッセージ 20077 399
エラー メッセージ 20078 399
エラー メッセージ 20079 400
エラー メッセージ 20080 400
エラー メッセージ 20081 400
エラー メッセージ 20082 400
エラー メッセージ 20083 401
エラー メッセージ 20084 401
エラー メッセージ 20085 401
エラー メッセージ 20086 401
エラー メッセージ 20087 402
エラー メッセージ 20088 402
エラー メッセージ 20089 402
エラー メッセージ 20090 403
エラー メッセージ 20091 403
エラー メッセージ 20092 403
エラー メッセージ 20093 404
エラー メッセージ 20094 404
エラー メッセージ 20095 404
エラー メッセージ 20096 404
エラー メッセージ 20097 405

エラー メッセージ 20098 405
エラー メッセージ 20099 405
エラー メッセージ 20100 406
エラー メッセージ 20101 ～ 20200 406
エラー メッセージ 20101 406
エラー メッセージ 20102 406
エラー メッセージ 20103 406
エラー メッセージ 20104 407
エラー メッセージ 20105 407
エラー メッセージ 20106 407
エラー メッセージ 20107 408
エラー メッセージ 20108 408
エラー メッセージ 20109 408
エラー メッセージ 20110 408
エラー メッセージ 20111 409
エラー メッセージ 20112 409
エラー メッセージ 20113 409
エラー メッセージ 20114 409
エラー メッセージ 20115 410
エラー メッセージ 20116 410
エラー メッセージ 20117 410
エラー メッセージ 20118 411
エラー メッセージ 20119 411
エラー メッセージ 20120 411
エラー メッセージ 20121 411
エラー メッセージ 20122 412
エラー メッセージ 20123 412
エラー メッセージ 20124 412
エラー メッセージ 20126 412
エラー メッセージ 20127 413
エラー メッセージ 20128 413
エラー メッセージ 20129 413
エラー メッセージ 20130 414
エラー メッセージ 20131 414
エラー メッセージ 20132 414
エラー メッセージ 20133 414

エラー メッセージ 20134 415
エラー メッセージ 20135 415
エラー メッセージ 20136 415
エラー メッセージ 20137 415
エラー メッセージ 20138 416
エラー メッセージ 20139 416
エラー メッセージ 20140 416
エラー メッセージ 20141 417
エラー メッセージ 20142 417
エラー メッセージ 20143 417
エラー メッセージ 20144 417
エラー メッセージ 20145 418
エラー メッセージ 20146 418
エラー メッセージ 20147 419
エラー メッセージ 20148 419
エラー メッセージ 20149 419
エラー メッセージ 20150 419
エラー メッセージ 20151 420
エラー メッセージ 20152 420
エラー メッセージ 20153 421
エラー メッセージ 20154 421
エラー メッセージ 20155 421
エラー メッセージ 20156 422
エラー メッセージ 20157 422
エラー メッセージ 20158 422
エラー メッセージ 20159 423
エラー メッセージ 20160 423
エラー メッセージ 20161 423
エラー メッセージ 20162 423
エラー メッセージ 20163 424
エラー メッセージ 20164 424
エラー メッセージ 20165 424
エラー メッセージ 20166 425
エラー メッセージ 20167 425
エラー メッセージ 20168 425
エラー メッセージ 20169 426

エラー メッセージ 20170 426
エラー メッセージ 20171 426
エラー メッセージ 20172 427
エラー メッセージ 20173 427
エラー メッセージ 20174 427
エラー メッセージ 20175 427
エラー メッセージ 20176 428
エラー メッセージ 20177 428
エラー メッセージ 20178 428
エラー メッセージ 20179 428
エラー メッセージ 20180 429
エラー メッセージ 20181 429
エラー メッセージ 20182 429
エラー メッセージ 20183 429
エラー メッセージ 20184 430
エラー メッセージ 20186 430
エラー メッセージ 20187 430
エラー メッセージ 20190 431
エラー メッセージ 20191 431
エラー メッセージ 20196 431
エラー メッセージ 20197 431
エラー メッセージ 20198 431
エラー メッセージ 20199 432
エラー メッセージ 20200 432
エラー メッセージ 20201 ～ 20300 432
エラー メッセージ 20201 432
エラー メッセージ 20207 433
エラー メッセージ 20208 433
エラー メッセージ 20214 433
エラー メッセージ 20215 434
エラー メッセージ 20216 434
エラー メッセージ 20217 434
エラー メッセージ 20218 434
エラー メッセージ 20219 435
エラー メッセージ 20220 435
エラー メッセージ 20221 435

エラー メッセージ 20222 435
エラー メッセージ 20223 436
エラー メッセージ 20224 436
エラー メッセージ 20225 436
エラー メッセージ 20226 436
エラー メッセージ 20227 437
エラー メッセージ 20228 437
エラー メッセージ 20229 437
エラー メッセージ 20230 437
エラー メッセージ 20231 438
エラー メッセージ 20232 438
エラー メッセージ 20233 438
エラー メッセージ 20234 439
エラー メッセージ 20235 439
エラー メッセージ 20236 439
エラー メッセージ 20237 439
エラー メッセージ 20238 440
エラー メッセージ 20239 440
エラー メッセージ 20240 440
エラー メッセージ 20241 441
エラー メッセージ 20242 441
エラー メッセージ 20243 441
エラー メッセージ 20244 441
エラー メッセージ 20245 442
エラー メッセージ 20246 442
エラー メッセージ 20247 442
エラー メッセージ 20248 442
エラー メッセージ 20249 443
エラー メッセージ 20250 443
エラー メッセージ 20251 443
エラー メッセージ 20252 443
エラー メッセージ 20253 444
エラー メッセージ 20254 444
エラー メッセージ 20269 444
エラー メッセージ 20270 444
エラー メッセージ 20271 445

エラー メッセージ 20272 445
エラー メッセージ 20273 445
エラー メッセージ 20274 445
エラー メッセージ 20275 446
エラー メッセージ 20276 446
エラー メッセージ 20277 446
エラー メッセージ 20278 446
エラー メッセージ 20279 447
エラー メッセージ 20280 447
エラー メッセージ 20281 447
エラー メッセージ 20282 447
エラー メッセージ 20283 448
エラー メッセージ 20284 448
エラー メッセージ 20285 448
エラー メッセージ 20286 449
エラー メッセージ 20287 449
エラー メッセージ 20288 449
エラー メッセージ 20289 449
エラー メッセージ 20290 450
エラー メッセージ 20291 450
エラー メッセージ 20294 450
エラー メッセージ 20295 451
エラー メッセージ 20296 451
エラー メッセージ 20297 451
エラー メッセージ 20298 452
エラー メッセージ 20299 452
エラー メッセージ 20300 452
エラー メッセージ 20301 ～ 20400 452
エラー メッセージ 20301 453
エラー メッセージ 20302 453
エラー メッセージ 20307 453
エラー メッセージ 20308 454
エラー メッセージ 20309 454
エラー メッセージ 20310 454
エラー メッセージ 20311 454
エラー メッセージ 20312 455

エラー メッセージ 20313 455
エラー メッセージ 20314 456
エラー メッセージ 20315 456
エラー メッセージ 20316 456
エラー メッセージ 20317 456
エラー メッセージ 20318 457
エラー メッセージ 20319 457
エラー メッセージ 20320 457
エラー メッセージ 20321 458
エラー メッセージ 20322 458
エラー メッセージ 20323 458
エラー メッセージ 20324 459
エラー メッセージ 20325 459
エラー メッセージ 20326 459
エラー メッセージ 20327 460
エラー メッセージ 20328 460
エラー メッセージ 20329 460
エラー メッセージ 20330 460
エラー メッセージ 20331 461
エラー メッセージ 20332 461
エラー メッセージ 20333 461
エラー メッセージ 20334 462
エラー メッセージ 20335 462
エラー メッセージ 20336 462
エラー メッセージ 20337 463
エラー メッセージ 20338 463
エラー メッセージ 20339 463
エラー メッセージ 20340 464
エラー メッセージ 20351 464
エラー メッセージ 20352 464
エラー メッセージ 20353 465
エラー メッセージ 20358 465
エラー メッセージ 20359 465
エラー メッセージ 20360 466
エラー メッセージ 20361 466
エラー メッセージ 20362 466

エラー メッセージ 20363 467
エラー メッセージ 20364 467
エラー メッセージ 20365 467
エラー メッセージ 20366 467
エラー メッセージ 20367 468
エラー メッセージ 20368 468
エラー メッセージ 20369 468
エラー メッセージ 20371 469
エラー メッセージ 20372 469
エラー メッセージ 20373 469
エラー メッセージ 20374 469
エラー メッセージ 20375 469
エラー メッセージ 20376 470
エラー メッセージ 20377 470
エラー メッセージ 20378 470
エラー メッセージ 20379 471
エラー メッセージ 20380 471
エラー メッセージ 20387 471
エラー メッセージ 20396 472
エラー メッセージ 20397 472
エラー メッセージ 20401 ～ 20500 472
エラー メッセージ 20401 472
エラー メッセージ 20403 472
エラー メッセージ 20404 473
エラー メッセージ 20405 473
エラー メッセージ 20406 473
エラー メッセージ 20407 474
エラー メッセージ 20408 474
エラー メッセージ 20501 ～ 20600 474
エラー メッセージ 20501 474
エラー メッセージ 20502 475
エラー メッセージ 20503 475
エラー メッセージ 20504 475
エラー メッセージ 20505 475
エラー メッセージ 20506 476
エラー メッセージ 20507 476

エラー メッセージ 20508 476
エラー メッセージ 20509 477
エラー メッセージ 20510 477
エラー メッセージ 20511 477
エラー メッセージ 20512 477
エラー メッセージ 20513 478
エラー メッセージ 20514 478
エラー メッセージ 20515 478
エラー メッセージ 20516 479
エラー メッセージ 20601 ～ 20700 479
エラー メッセージ 20263 479
エラー メッセージ 20266 479
エラー メッセージ 20700 480
エラー メッセージ 20701 ～ 20800 480
エラー メッセージ 20701 480
エラー メッセージ 20702 481
エラー メッセージ 20703 481
エラー メッセージ 20704 481
エラー メッセージ 20705 482
エラー メッセージ 20706 482
エラー メッセージ 20707 482
エラー メッセージ 20708 483
エラー メッセージ 20709 483
エラー メッセージ 20710 483
エラー メッセージ 20711 483
エラー メッセージ 20712 484
エラー メッセージ 20713 484
エラー メッセージ 20714 484
エラー メッセージ 20715 484
エラー メッセージ 20716 484
エラー メッセージ 20717 485
エラー メッセージ 20718 485
エラー メッセージ 20720 485
エラー メッセージ 20743 486
エラー メッセージ 20766 486
エラー メッセージ 20767 486

エラー メッセージ 20768 487
エラー メッセージ 20769 487
エラー メッセージ 20770 487
エラー メッセージ 25000 ～ 25100 487
エラー メッセージ 25000 488
エラー メッセージ 25001 488
エラー メッセージ 25002 488
エラー メッセージ 25003 488
エラー メッセージ 25004 489
エラー メッセージ 25005 489
エラー メッセージ 25006 489
エラー メッセージ 25007 489
エラー メッセージ 25008 490
エラー メッセージ 25009 490
エラー メッセージ 25010 490
エラー メッセージ 25011 490
エラー メッセージ 25012 491
エラー メッセージ 25014 491
エラー メッセージ 25015 491
エラー メッセージ 25016 491
エラー メッセージ 25017 492
エラー メッセージ 25018 492
エラー メッセージ 25021 492
エラー メッセージ 25022 492
エラー メッセージ 25023 492
エラー メッセージ 25027 493
エラー メッセージ 25028 493
エラー メッセージ 25030 493
エラー メッセージ 25031 493
エラー メッセージ 25032 494
エラー メッセージ 25033 494
エラー メッセージ 25035 494
エラー メッセージ 25036 494
エラー メッセージ 25038 495
エラー メッセージ 25039 495
エラー メッセージ 25040 495

エラー メッセージ 25041 495
エラー メッセージ 25042 496
エラー メッセージ 25043 496
エラー メッセージ 25044 496
エラー メッセージ 25045 496
エラー メッセージ 25046 497
エラー メッセージ 25047 497
エラー メッセージ 25048 497
エラー メッセージ 25049 497
エラー メッセージ 25050 498
エラー メッセージ 25051 498
エラー メッセージ 25052 498
エラー メッセージ 25053 498
エラー メッセージ 25054 499
エラー メッセージ 25055 499
エラー メッセージ 25056 499
エラー メッセージ 25057 499
エラー メッセージ 25058 500
エラー メッセージ 25059 500
エラー メッセージ 25060 500
エラー メッセージ 25061 500
エラー メッセージ 25062 501
エラー メッセージ 25063 501
エラー メッセージ 25064 501
エラー メッセージ 25065 501
エラー メッセージ 25066 501
エラー メッセージ 25067 502
エラー メッセージ 25068 502
エラー メッセージ 25069 502
エラー メッセージ 25070 502
エラー メッセージ 25071 503
エラー メッセージ 25072 503
エラー メッセージ 25073 503
エラー メッセージ 25074 503
エラー メッセージ 25075 504
エラー メッセージ 25076 504

エラー メッセージ 25077 504
エラー メッセージ 25078 504
エラー メッセージ 25080 504
エラー メッセージ 25081 505
エラー メッセージ 25082 505
エラー メッセージ 25083 505
エラー メッセージ 25084 505
エラー メッセージ 25085 506
エラー メッセージ 25086 506
エラー メッセージ 25087 506
エラー メッセージ 25089 506
エラー メッセージ 25090 507
エラー メッセージ 25091 507
エラー メッセージ 25092 507
エラー メッセージ 25093 507
エラー メッセージ 25094 508
エラー メッセージ 25095 508
エラー メッセージ 25097 508
エラー メッセージ 25098 508
エラー メッセージ 25099 509
エラー メッセージ 30916 509
エラー メッセージ 25101 509
エラー メッセージ 25107 509
エラー メッセージ 25111 510
エラー メッセージ 30781 510
エラー メッセージ 30843 511
エラー メッセージ 30910 ～ 31000 511
エラー メッセージ 30916 511
エラー メッセージ 30921 511
エラー メッセージ 30922 512
エラー メッセージ 30923 512
エラー メッセージ 35115 512
エラー メッセージ 35116 513
エラー メッセージ 38082 513
第 1章: 一般的なメッセージ 514
第 1章: 一般的なエラーまたは警告メッセージ 515

第 1章: エラー メッセージ

このセクションには、すべての UDP エラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10000 ~ 10100

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10000

マウント ドライバが正しく動作していません。このサーバを再起動してください。

現象

マウント ドライバが正しく動作していません。

解決策

マウント ドライバを再インストールする方法については、製品ドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 10001

マウント ボリュームに認識可能なファイル システムが含まれていません。復旧ポイントの可用性またはデータの整合性を確認します。

現象

マウント ボリュームにアクセスできません。

解決策

マウントされたボリュームで chkdsk.exe を実行し、エラーを確認します。

エラー メッセージ 10002

ボリュームのマウントに予想以上の時間がかかります(<parameter> 分) 。サーバに予期しない負荷がかかっている可能性があります。サーバの負荷が少ないときにもう一度試すか、オンライン ドキュメントのトラブルシューティングを参照してタイムアウト値を増やします。

現象

マウント ボリュームのタイムアウト。ボリュームのマウントに予想以上の時間がかかります。

解決策

ネットワークのスループットとサーバの負荷を確認します。

エラー メッセージ 10003

ボリューム [<parameter>] はエラー <parameter>[<parameter>] でマウント解除に失敗しました。

現象

ボリュームのマウント解除に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10004

ボリューム <parameter> は復旧ポイント <parameter> から <parameter> に、エラー <parameter> でマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10005

ボリューム [<parameter>] は Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ [<parameter>]、データ ストア [<parameter>]、セッション [<parameter>] からドライブ [<parameter>] に、エラー <parameter>[<parameter>] でマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10006

復旧ポイントをボリュームにマウントするために使用するドライバが機能していません。正しくインストールされていることを確認します。

現象

マウント ドライバが正しく動作していません。

解決策

マウント ドライバを再インストールする方法については、製品ドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 10007

選択した復旧ポイントが無効です。有効な完全復旧ポイントにアクセスできることを確認します。

現象

選択した復旧ポイントが無効です。

解決策

デスティネーションが使用可能かどうか、アカウントが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10008

別の(バックアップ/カタログ/マージ/パージ) 処理が進行中のため、特定の復旧ポイントのマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

別のジョブ(バックアップ/カタログ/マージ/パージ) が進行中かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10009

認証エラー。指定したユーザ認証情報は、リクエストしたサービスの検証に失敗しました。

現象

必要な権限がユーザに与えられていないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ユーザが操作を実行するための次の権限を持っていることを確認します。ファイル コピー: ソース ボリューム/フォルダの読み取り権限、デスティネーション フォルダの読み取り/書き込み/削除権限。ファイル アーカイブ: ソース ボリューム/フォルダの読み取り/書き込み/削除権限。デスティネーション フォルダの読み取り/書き込み/削除権限。権限が割り当てられていない場合は、割り当てます。

エラー メッセージ 10010

別の場所のファイル コピーのカタログ再同期ジョブが失敗しました。

現象

別の場所のカタログ再同期ジョブが失敗しました。

解決策

別の場所のカタログ再同期を再実行します。問題が引き続き解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10011

マシンでクロック スキューが検出されました。システム時刻またはタイムゾーンを調整してください。

現象

マシンでクロック スキューが検出されたため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ローカル マシンの時刻がデスティネーション マシンの時刻と同期していない場合は、ローカル マシンの時刻をデスティネーション マシンの時刻に同期して問題を解決します。

エラー メッセージ 10012

<parameter> ジョブが失敗しました。

現象

アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

次回のメークアップ ジョブが実行されるのを待つと、ネットワーク接続がしばらく使用できないなどのタイミングの問題が解決されます。後続のアーカイブ メークアップ ジョブで問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10013

暗号化パスワードがノード [<parameter>] の元のデスティネーション パスワードと一致しません。元のパスワードを取得するか、新しいデスティネーションを使用します。

現象

デスティネーションの暗号化パスワードが一致しないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションが暗号化で初期化されていますが、ユーザが暗号化を有効にしても、環境設定で指定した暗号化パスワードがデスティネーションの暗号化パスワードと一致しないことが原因である可能性があります。デスティネーションの暗号化パスワードを確認します。元のパスワードを取得できない場合は、アーカイブ先を変更します。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10015

<parameter> ポリシー エラー = <parameter> の作成に失敗しました。

エラー メッセージ 10016

ファイル コピー デスティネーション暗号化設定の検証が CCI エラー [<parameter>] で失敗しました
>

エラー メッセージ 10017

正しくない <parameter> デスティネーション暗号化パスワード。

現象

デスティネーションの暗号化パスワードが一致しないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの暗号化パスワードを確認し、デスティネーションの正しいパスワードを入力します。元のパスワードを取得できない場合は、アーカイブ先を変更します。パスワードが正しく、アーカイブ ジョブがこのエラーで失敗した場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10018

デスティネーションの <parameter> 暗号化設定とリストア ジョブの暗号化設定が一致しません。

現象

暗号化の詳細が一致しないため、リストア ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの暗号化設定でリストアの詳細を確認してください。正しくない場合は、リストア ジョブ設定の正しい詳細を入力してください。パスワードが正しいが失敗した場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10019

暗号化機能のライセンスが使用できないため、ファイル コピー ジョブがスキップしました。

エラー メッセージ 10020

D2D2D (ローカルまたはネットワーク ドライブへのファイル コピー) 機能のライセンスは、現在設定しているデスティネーションでは使用できず、ファイル コピー ジョブはスキップします。

現象

ファイル コピー ジョブは、この機能のライセンスが使用できないためスキップしました。

解決策

ファイル コピー/ファイル アーカイブ機能のライセンスを確認し、Arcserve ライセンス チームにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10021

暗号化が <parameter> デスティネーションと一致しません。暗号化設定を無効にするには、ノード [<parameter>] の新しいデスティネーションを指定します。

現象

アーカイブ ジョブにおけるアーカイブ先の暗号化設定の検証に失敗しました。

解決策

デスティネーションが暗号化で初期化されていますが、ユーザがタスクの設定中に暗号化を無効にしていることが原因である可能性があります。環境設定でデスティネーションの正しい暗号化設定を指定します。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10022

ファイル <parameter> のコピーに失敗しました。指定した <parameter> デスティネーションに十分な空き容量がありません。

現象

デスティネーション デバイスに十分な容量がないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先の空き容量を確認してください。空き容量が不足している場合は、デスティネーションを変更するか、必要なストレージ容量をデスティネーションに追加してください。

エラー メッセージ 10023

暗号化が <parameter> デスティネーションと一致しません。暗号化設定を有効にするには、ノード [<parameter>] の新しいデスティネーションを指定します。

現象

ユーザが暗号化されていないデスティネーションに暗号化設定を指定したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先が暗号化で初期化していないけれど、ユーザが環境でデスティネーションの暗号化の詳細を指定していることが原因である可能性があります。環境を確認し、暗号化設定を無効にします。それ以外の場合は、Arcserve サポート チームにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10024

ファイル コピーの削除ジョブが失敗しました。

現象

ファイル コピーの削除ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先にアクセスできるかどうかを確認してください。注：バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合は、エージェントのネットワーク接続を確認します。バックアップ先がデータ ストアの場合は、RPS ノードを確認します。ユーザには、ソースの場所に対する削除/読み取り/書き込み権限が必要です。

エラー メッセージ 10025

内部エラーが発生したため、<parameter> 操作を続行できません。この問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

アーカイブ ジョブが CCI エラーで失敗しました。これは 2 つのケースで発生する可能性があります。ケース 1、デスティネーションで暗号化パスワードの検証に失敗しました。ケース 2、内部エラーが発生しました。

解決策

ケース 1 の場合、デスティネーションで暗号化パスワードを確認してください。ケース 2 の場合、アーカイブ先への接続を確認してください。ソース内の一部のファイル(ファイル名に特殊文字が含まれる) がアーカイブ先に手動で作成できるかどうかを確認します。作成できない場合は、ファイル コピー/ファイル アーカイブ用のフィルタを追加して、これらのファイルをスキップしてください。

エラー メッセージ 10026

クラウド接続で内部エラーが発生したため、<parameter> 操作を続行できません。この問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

内部エラーが発生したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

クラウド アカウントの詳細を確認し、クラウド接続をテストしてください。ソース内の一部のファイル(ファイル名に特殊文字が含まれる) がアーカイブ先に手動で作成できるかどうかを確認します。手動で作成できない場合は、ファイル コピー/ファイル アーカイブ用のフィルタを追加して、これらのファイルをスキップしてください。それ以外の場合は、Arcserve サポート チームにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10027

<parameter> デスティネーションに到達できません。

現象

クラウド デスティネーションの初期化に失敗したため、アーカイブ ジョブが失敗しました

解決策

クラウド環境設定の詳細を確認し、そのクラウド アカウントの接続をテストしてください。

エラー メッセージ 10028

無効な <parameter> 名。<parameter> の命名についてクラウド ベンダのルールを確認してください。

現象

バケット/コンテナ名が無効なため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

クラウド プロバイダのバケット/コンテナ名の命名規則に従い、正しいバケット/コンテナ名を指定して再試行します。ベンダが提供するバケット名の命名規則に従っても問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 10029

無効なファイル コピー デスティネーション パスを指定しました。

現象

デスティネーションに到達できないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの詳細を確認し、アーカイブ先の接続を確認します。環境設定で指定したパス、ユーザ名 、またはパスワードが無効か、ネットワークまたはドメインが使用できないことが原因である可能性があります。

エラー メッセージ 10030

ファイル <parameter> のコピーに失敗しました。ネットワークに正しく接続されていることを確認して再試行します。

現象

ファイル コピー ジョブがネットワーク エラーなしで失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認してください。ネットワーク名と接続を確認してください。環境設定で指定したパス、ユーザ名 、またはパスワードが無効か、ネットワーク/ドメインが使用できないことが原因である可能性があります。

エラー メッセージ 10031

デスティネーション デバイスに十分な空き容量がありません。

エラー メッセージ 10032

<parameter> バックアップに新しいファイルまたは変更されたファイルがありません。

現象

ファイル コピー ジョブは成功したが、新しいファイルはコピーされていません

解決策

アーカイブ ソース パス リストの最後のバックアップから変更されたファイルがないか、ファイル コピー ジョブがその復旧ポイントの変更済みファイルをすでにコピーしています。

エラー メッセージ 10033

異なる認証情報を持つ同じネットワーク リソースへの接続がアクティブです。

現象

ログオン セッションが存在しないため、アーカイブ ジョブに失敗しました。

解決策

ユーザ アカウント制御が有効になっているかどうかを確認します。有効になっていない場合は、ユーザのアクセス制御を有効にします。

エラー メッセージ 10034

指定したネットワーク リソース パスワードが無効です。

現象

ネットワーク共有のパスワードが無効なため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク共有の正しいパスワードを指定してください。

エラー メッセージ 10035

指定したネットワーク リソース ユーザ名が無効です。

現象

ネットワーク共有のユーザ名が無効なため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク共有の正しいユーザ名を指定してください。

エラー メッセージ 10036

ネットワークが利用できません。

現象

現在のユーザにファイル コピー デスティネーションへの書き込み権限がないため、アーカイブ ジョブが失敗しました

解決策

現在のユーザには、ネットワーク パスへの書き込み権限がありません。ユーザに読み取り/書き込み/削除の権限を与えます。

エラー メッセージ 10037

<parameter> デスティネーションは書き込みできません。

現象

現在のユーザにファイル コピー先への書き込み権限がないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

そのユーザに書き込み権限を与えてください。

エラー メッセージ 10038

ファイル コピーのパージ ジョブが失敗しました。

現象

パージジョブが失敗しました

解決策

エージェント (バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合) /RPS ノード (バックアップ先がデータ ストアの場合) からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先の読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラー メッセージ 10039

ファイル <parameter> のデータの読み取りに失敗しました(エラー コード = <parameter>) 。詳細については、ログ ファイルを確認してください。

現象

ファイルのブロックのレプリケートに失敗したため、ファイル コピー ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント (バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合) /RPS ノード (バックアップ先がデータ ストアの場合) からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先の読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラー メッセージ 10040

ネットワークまたはサービス プロバイダに問題があるため、指定したデバイスから読み取れません。

現象

アーカイブ ジョブが、ファイル コピー デスティネーションからファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

エージェント (バックアップ先 がローカルまたはネットワーク共有の場合) /RPS ノード (バックアップ先 がデータ ストアの場合) からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先とソース パスの読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラー メッセージ 10041

ドライブ [<parameter>] が存在しません。

現象

ボリューム ディレクトリが存在しないため、リストア ジョブに失敗しました。

解決策

デスティネーション デバイスへのリストアに、リストア環境設定ウィンドウで指定したボリュームが含まれていることを確認してください。

エラー メッセージ 10042

<parameter> デスティネーションが破損または初期化されていないため、<parameter> ジョブが失敗します。

エラー メッセージ 10043

新しいバケットの作成に失敗しました。理由 : クラウド内のバケットが多すぎます。詳細については、Amazon プラグイン ログを参照してください。

現象

クラウド内のバケットが多すぎるため、バケットを作成できません。

解決策

現在の Amazon アカウントからバケットを 1 つ削除して再試行します。アカウントに 100 を超えるバケットが必要な場合は、バケット制限の増加リクエストをサブミットできます。バケット制限を増やす方法については、「AWS 全般のリファレンス」の「AWS サービス制限」を参照してください。

エラー メッセージ 10044

仮想ディスクのマウントに失敗しました。エラー <parameter>。

現象

ボリュームのマウントに失敗したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

マウントされたボリュームのタイムアウト値を確認します。環境設定で指定したネットワーク パス、ユーザ名、またはパスワードを確認するか、ネットワーク/ドメインの接続を確認します。

エラー メッセージ 10045

ネットワークまたはサービス プロバイダに問題があるため、指定したデバイスに書き込めません。

現象

ファイル コピー デスティネーションへのファイルの書き込みに失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認してください。クラウド アカウントの場合は、クラウド接続をテストしてください。エージェント (バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合) /RPS ノード (バックアップ先がデータ ストアの場合) からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ ジョブのアーカイブ先とソース パスのファイルの読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラー メッセージ 10046

仮想マシン ESX サーバ <parameter> でライセンスの確認エラーが発生しました。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

関連する種類のライセンスを適用します

エラー メッセージ 10047

ライセンスの確認に失敗しました。<parameter> ライセンスはこのマシンでは無効です。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

関連する種類のライセンスを適用します。

エラー メッセージ 10048

クラウド デスティネーションでは、ボリューム単位のコピーはサポートされていません。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブがクラッシュしました。ボリューム単位のコピーはサポートされていません。

解決策

クラウド デスティネーションでボリューム単位のコピーを実行しないでください。詳細については、ユーザ マニュアルを参照してください。

エラー メッセージ 10049

ファイル <parameter> から <parameter> へのコピーが失敗しました。理由 : <parameter>。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブがクラッシュしました。ソースからデスティネーションへのファイルのコピーに失敗しました。

解決策

このメッセージのエラー メッセージで詳細を確認し、修正してみてください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10050

復旧ポイントのコピー ジョブがクラッシュしました。次回のスケジュールでもう一度試します。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブがクラッシュしました。

解決策

同じバックアップ セッションの復旧ポイントのコピー ジョブは、次回のスケジュールで再度実行されます。ジョブ クラッシュの詳細については、復旧ポイントのコピー ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10051

暗号化パスワードは空のままにできません。パスワードを入力します。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

有効な暗号化パスワードを入力して、ジョブをもう一度試してください。

エラー メッセージ 10052

暗号化パスワードが無効です。有効なパスワードを入力してください。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。暗号化パスワードが無効です。

解決策

有効な暗号化パスワードを入力して、ジョブをもう一度試してください。

エラー メッセージ 10053

復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

現在の復旧ポイントのコピー ジョブのアクティビティ ログ、およびログ フォルダ内の復旧ポイントのコピー ジョブ ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10054

セッション ブロック ファイルのコピーが失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

ブロック ファイルをコピーできません。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10055

カタログ ファイルのコピーが失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

復旧ポイントのコピー ジョブは、カタログ ファイルをコピーできません。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10056

復旧ポイントのコピーが失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

ディスク/ファイルの読み取り/書き込み中に、復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10057

<parameter> (ボリューム <parameter>) が失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

ディスクの読み取り/書き込み/ディスクへのシーク/ディスクからのシーク中に、復旧ポイント コピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10058

復旧ポイントのデスティネーションのコピーが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名 =[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

復旧ポイントのソース/デスティネーションの検出中に、復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10059

メタブロックを開けませんでした。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

メタ ブロックを開いているときに復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10060

仮想ディスク <parameter> を開けませんでした。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

VHD ファイルを開いているときに復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10061

メタブロックの読み取りに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

メタ ブロックの読み取り中に復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10062

データを読み取れませんでした。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

VHD ディスクの読み取り中に復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10063

<parameter> ジョブが失敗しました。次回のスケジュールでもう一度試します。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

同じバックアップ セッションの復旧ポイントのコピー ジョブは、次回のスケジュールで再度実行されます。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10064

ファイル ポインタのシークに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

VHD ディスクのシーク中に復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10065

バックアップ セッション [<parameter>] がパス [<parameter>] にありません。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ先にリクエストされたセッションがありません。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10066

<parameter> に十分な空き容量がありません。<parameter> 空き容量を確保してください。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、ジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して詳細について復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10067

データの書き込みに失敗しました。<parameter>

現象

VHD ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

VHD ディスクに書き込み中に復旧ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10068

バックアップ先のロックに失敗しました。バックアップ先がアクセス可能かどうか、または別のジョブが同じバックアップ先にデータを書き込んでいるかどうかを確認してください。

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

バックアップ先がアクセス可能かどうか、または別のジョブが同じバックアップ先にデータを書き込んでいるかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 10069

ノード <parameter> から別の <parameter> ジョブ(プロセス <parameter>) が同じデスティネーションにデータを書き込んでいるため、バックアップ先をロックできませんでした。

現象

別のノードから別のジョブが同じデスティネーションにデータを書き込んでいるため、バックアップ先をロックできませんでした。

解決策

別のジョブが終了するのを待ってから、ジョブを再サブミットします。

エラー メッセージ 10070

クラウドから復旧ポイント ファイルのダウンロードに失敗しました。エラー メッセージのログを確認してください。

現象

クラウド ジョブから復旧ポイント ファイルのダウンロードに失敗しました。

解決策

復旧ポイント ファイルのダウンロードは、パスが正しくないか、復旧ポイントに有効なデータが含まれていないため失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10071

Host-Based VM Backup が、<parameter> コントローラで仮想ディスクの除外に失敗しました [<parameter> : <parameter>]。

現象

仮想ディスクの除外に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10072

バックアップ先 <parameter> で新しいセッションの作成に失敗しました。バックアップ先が利用可能かどうかを確認します。

現象

バックアップ先で新しいセッションの作成に失敗しました。

解決策

バックアップ先が利用可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10073

ボリューム [<parameter>] のスナップショットが見つかりません。詳細については、ボリューム シャドウ コピー サービス(VSS) 関連の Windows イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのスナップショットが見つかりません。

解決策

詳細については、ボリューム シャドウコピー サービス(VSS) 関連の Windows イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10074

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。内部エラー= [<parameter>]。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10075

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。内部エラー= [<parameter>]。バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモート バックアップ先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10076

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。システム エラー= [<parameter>]。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10077

カタログ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。(このエラーはバックアップ ジョブには影響しません) 。

現象

カタログ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。(このエラーはバックアップ ジョブには影響しません) 。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10078

セッション キー ファイルの保存に失敗しました。(EC=[<parameter>])

現象

セッション キー ファイルの保存に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10079

仮想ディスク <parameter> の作成に失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクの作成に失敗しました。

解決策

システムから関連するメッセージ情報が提供されます。

エラー メッセージ 10080

仮想ディスク <parameter> の作成に失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクの作成に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10081

バックアップ セッションのメタデータの作成に失敗しました。

現象

バックアップ セッションのメタデータの作成に失敗しました。

解決策

デスティネーションにアクセスできないことが原因である可能性があります。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10082

バックアップ先が見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名 = [<parameter>]、EC=[<parameter>: <parameter>])

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10083

バックアップ先が見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、EC=<parameter>:<parameter>]) 。

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10084

ボリューム <parameter> のシャドウコピーの読み取りに失敗しました。システム エラーは [<parameter>] です。ボリュームのシャドウコピーの読み取りに失敗しました。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

イベント ログとバックアップ ジョブ ログを確認する必要があります。

エラー メッセージ 10085

ボリューム <parameter> のサブ セッション メタデータをバックアップできません。システム エラー=[<parameter>]。

現象

関連するボリュームのサブ セッション メタデータをバックアップできません。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10086

セッションのマージに失敗しました。保存数の設定=<parameter>、システム エラー=[<parameter>]。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10087

セッションのマージに失敗しました。保存数の設定=<parameter>、内部エラー=[<parameter>]。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10088

デスティネーションへの書き込みに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

デスティネーションへの書き込みに失敗しました。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

OneDrive バックアップの場合、「警告：Sibat から親フル ビットマップの生成を開始します。<Filename>」メッセージが、バックアップ プロキシ マシン/VM の <installation folder>\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Logs\OneDrv-<date>-job<JobId>-pid<uniquenumber>.log ファイルで見つかった場合、バックアップを成功させるために以下を実行します。

- *<backup destination folder>\Nodename [<uniqueid>]\VStore\S000000000<backupsessionnumber>\disk<uniqueid>.D2-D.fbt* ファイルがデータストアから誤って削除または移動されたときに、場所がわかっている場合、このファイルを移動した場所からリストアしてから OneDrive ノードの増分バックアップをトリガします。
- *<backup destination folder>\ Nodename [<uniqueid>]\VStore\S000000000<backupsessionnumber>\disk<uniqueid>.D2-D.fbt* ファイルと増分バックアップをリストアできない場合、フル バックアップを実行します。

  注： ***Backupsessionnumber*** は、最後に成功したバックアップ セッションを示します。

エラー メッセージ 10089

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10090

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモート バックアップ先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

現象

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。

解決策

バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモート バックアップ先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

エラー メッセージ 10092

仮想マシン [<parameter>] 用 VMware Tools がインストールされていないか、古すぎます。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブが起動しません。

現象

VMware Tools がインストールされていないか、古すぎます。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブが起動しません。

解決策

VMware Tools を再インストールするか、アップグレードします。

エラー メッセージ 10093

仮想マシン [<parameter>] が実行していません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブが起動しません。

現象

仮想マシンが実行されていません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは起動しません

解決策

VM の電源をオンにします

エラー メッセージ 10094

VM 環境設定ファイル <parameter> のバックアップが失敗しました。システム エラー =[<parameter>]。

現象

VM 環境設定ファイルのバックアップが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10095

Hyper-V ホスト <parameter> に接続できませんでした。

現象

Hyper-V ホストに接続できませんでした。

解決策

ネットワーク接続または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10096

仮想マシンの環境設定ファイルと仮想ディスク ファイルの一部はクラスタ共有ボリューム(CSV) にあり、その他の部分はローカル ディスクにあります。この状況は、

Hyper-V VSS ライタではサポートされていません。

現象

このような設定の仮想マシンは Hyper-V VSS ライタでサポートされていないため、UDP ではサポートされません。

解決策

仮想マシンの環境設定を修正します。

エラー メッセージ 10097

仮想ディスク <parameter> のバックアップの実行に失敗しました。システム エラー= [<parameter>]。

現象

仮想ディスク ファイルのバックアップ中にシステム エラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10099

仮想ディスク ファイル [<parameter>] を開けませんでした。システム エラー= [<parameter>]。

現象

バックアップ用仮想ディスク ファイルを開くときにシステム エラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10100

仮想マシンのバックアップの準備に失敗しました。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続、または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10101 ~ 10200

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10101

Hyper-V バックアップ ユーティリティに接続できませんでした。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続、または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10102

Hyper-V バックアップ ユーティリティが応答しません。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続、または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10103

VSS スナップショットを作成できませんでした。システム エラー=[<parameter>]。

現象

バックアップ用 VSS スナップショットの作成中にシステムエラーが発生しました。

解決策

Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で、[Microsoft] -> [Windows] -> [Hyper-V-VMMS] -> [管理者] で Windows イベント メッセージのエラーを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。このメッセージの原因の 1 つは、ソース ボリューム(64 TB 以上) である可能性がありま

す。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティション サイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラー メッセージ 10104

VM バックアップ チェックポイントの取得に失敗しました。エラー メッセージ [<parameter>]。

現象

バックアップのチェックポイント取得中にシステム エラーが発生しました。

解決策

詳細については、Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で [Microsoft] > [Windows] > [Hyper-V-VMMS] > [管理] の Windows イベント メッセージのエラーを参照するか、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10105

Host-Based VM Backup は、Windows 2008 Hyper-V 仮想マシンの保護をサポートしません。Hyper-V ホストを Windows 2008 R2 オペレーティング システム以降にアップグレードする必要があります。

現象

Hyper-V 2008 は、UDP のエージェントレス バックアップではサポートされていません。

解決策

Hyper-V 2008 R2 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10106

Host-Based VM Backup は、Windows 2008 R2 Hyper-V クラスタ仮想マシンの保護をサポートしません。Hyper-V ホストを Windows 2012 オペレーティング システム以降にアップグレードする必要があります。

現象

Hyper-V 2008 R2 クラスタは、UDP のエージェントレス バックアップではサポートされていません。

解決策

Hyper-V 2012 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10107

変更ブロックのトラッキング(CBT) 機能のアップグレードに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

Hyper-V ホストの変更ブロックトラッキング機能のアップグレード中にシステムエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10108

仮想マシンの 1 つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスク ファイルが SMB 共有フォルダに存在するこれは、Host-Based VM Backup ではサポートされていません。

現象

廃止されたメッセージです。

解決策

廃止されたメッセージです。

エラー メッセージ 10109

仮想マシンの 1 つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスク ファイルを検出できません。VM が Hyper-V および Hyper-V VSS ライタに登録されていることを確認します。

現象

バックアップ ジョブは、仮想マシンの 1 つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスク ファイルを検出できません。

解決策

VM が Hyper-V および Hyper-V VSS ライタに登録されていることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10110

この仮想マシンを処理しているときに、Hyper-V VSS ライタでエラーが発生しました。(Hyper-V VSS ライタ エラーの詳細については、製品ドキュメントを参照してください) 。

現象

Hyper-V VSS ライタがバックアップ用仮想マシンを処理しているときにエラーが発生しました。

解決策

詳細については、Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で [Microsoft] > [Windows] > [Hyper-V-VMMS] > [管理] の Windows イベント メッセージのエラーを参照するか、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10111

VM が現在別のアプリケーションによってバックアップされているため、Hyper-V VSS ライタはこの VM の処理に失敗しました。

現象

この仮想マシンは、別の UDP バックアップ ジョブまたは別のバックアップ アプリケーションによってバックアップされています。

解決策

UDP または他のアプリケーションのバックアップ ジョブを終了し、バックアップをもう一度試します。

エラー メッセージ 10112

Hyper-V 環境の初期化に失敗しました。

現象

Hyper-V ホストで仮想マシンのバックアップを準備中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10113

無効なセッションが見つかりました。(セッション パス=[<parameter>])

現象

無効なセッションが見つかりました。

解決策

無効なセッションをマージする必要があります。次回のバックアップ ジョブはフル バックアップ ジョブである必要があります。

エラー メッセージ 10114

バックアップ ジョブが失敗しました。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10115

バックアップ ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) に失敗しました。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10116

バックアップ先が削除中のため、バックアップ ジョブが失敗しました。

現象

バックアップ先が削除中のため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再サブミットします。

エラー メッセージ 10117

バックアップ ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) のサブミットに失敗しました。

現象

仮想マシンのバックアップ ジョブをサブミットできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10118

セッション <parameter> をロックできません。

現象

セッションをロックできません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10119

セッション <parameter> をロックできません。セッションがマージまたは削除された可能性があります。

現象

セッションをロックできません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10120

エージェントがインストールされている VM バックアップ プロキシ マシンの容量が不足しています。

現象

バックアップ プロキシ マシンに十分な空きストレージ容量がありません。

解決策

UDP エージェントがインストールされているボリュームのストレージ容量を確認し、空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10121

以前のマージ処理が完了していないため、バックアップの準備ができていません。

現象

マージ処理がまだ進行中のため、バックアップ ジョブを続行できません。

解決策

マージが完了するのを待って、バックアップ ジョブをもう一度試します。

エラー メッセージ 10122

64 ビット バイナリが VMware Virtual Disk Development Kit で見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware Virtual Disk Development Kit がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラー メッセージ 10123

現在のライセンスでは、ブロックレベルの増分 (BLI) バックアップのみが最小間隔 1 時間に 1 回でサポートされています。より頻繁に BLI バックアップを実行するには (15 分ごと) 、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

このライセンスでは、1 時間未満のバックアップ間隔は許可されていません。

解決策

新しいライセンスを取得します。

エラー メッセージ 10124

バックアップに使用できるソース ボリュームがありません。

現象

バックアップ プランで選択したボリュームは使用できません。

解決策

ボリュームの存在を確認するか、プランを変更して他のボリュームを選択します。

エラー メッセージ 10125

VMware Virtual Disk Development Kit が見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware Virtual Disk Development Kit がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラー メッセージ 10126

VMware VIX が見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware VIX がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware VIX のインストールを確認し、必要に応じて再インストールします。

エラー メッセージ 10127

VMware VIX がインストールされていません。アプリケーションは、VMware VIX なしではアプリケーション ログの切り捨ておよび実行前/後コマンドを実行できません。

現象

VMware VIX がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware VIX のインストールを確認し、必要に応じて再インストールします。

エラー メッセージ 10128

このバックアップ ジョブでボリュームが選択されていません。

現象

このバックアップ ジョブでボリュームが選択されていません。

解決策

プランを変更してボリュームまたはマシン全体を選択します。

エラー メッセージ 10129

バックアップ ジョブは、最後の段階で重要なメタデータの更新またはリソースの解放に失敗しました。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10131

コマンドを実行できません。(EC=<parameter>)

現象

コマンドを実行できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10132

ゲスト OS でコマンドを実行できません。(EC=<parameter>)

現象

ゲスト OS でコマンドを実行できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10133

ジョブが中止されました。ジョブ スケジューラ タスク処理を停止できませんでした。(EC=<parameter>) ジョブが中止されました。ジョブ スケジューラ タスク処理を停止できませんでした。

現象

警告メッセージ。

解決策

一般的な警告情報です。これ以上操作する必要はありません。

エラー メッセージ 10134

無効なセッションのパージに失敗しました。(セッション パス=[<parameter>])

現象

無効なセッションのパージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10135

ディスク モードを変更するように仮想マシンを再設定できませんでした。仮想マシンにスナップショットがある場合は、削除してください。

現象

ディスク モードを変更するように仮想マシンを再設定できませんでした。

解決策

仮想マシンにスナップショットがある場合は、削除してバックアップをもう一度試してみてください。

エラー メッセージ 10136

VMware Virtual Disk Development Kit 1.2 以降のバージョンのみがサポートされています。

現象

バージョン 1.2 より前の VMware Virtual Disk Development Kit はサポートされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラー メッセージ 10137

仮想マシン ESX サーバ <parameter> はライセンスがありません。

現象

ESX サーバに適切なライセンスがないため、エージェントレス バックアップに必要な機能がありません。

解決策

ESX に適切なライセンスが適用されていることを確認します。詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 10138

ESX サーバのバージョンは <parameter> です。アプリケーションには ESX サーバ バージョン 4.0 以降が必要です。

現象

UDP エージェントレス バックアップは、ESX サーバ バージョン 4.0 以降のみをサポートします。

解決策

ESX サーバをアップグレードします。

エラー メッセージ 10139

ハードウェア アプライアンス ボリューム上に存在する VMDK ファイルに対してハードウェア スナップショットはサポートされていません。そのため、バックアップ ジョブが失敗します。

現象

1 つ以上の VMDK ファイルが HW アプライアンス ボリューム上に存在するため、ハードウェア スナップショットはサポートされません。

解決策

VMDK ファイルを他のボリュームに移動します。

エラー メッセージ 10140

仮想ディスク <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

仮想ディスクのバックアップ中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10141

ハードウェア スナップショットを使用した仮想ディスク <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

仮想ディスクのバックアップ中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10142

chkdsk コマンドは、予想時間内にプロセスを完了できませんでした。システム負荷が高いことが原因である可能性があります。詳細については、「Arcserve UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

現象

chkdsk コマンドは、予想時間内にプロセスを完了できませんでした。

解決策

システム負荷が高いことが原因である可能性があります。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10143

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム：[<parameter>]、ファイル システム：[<parameter>]、ボリュームの種類：[<parameter>]、ディスク [<parameter>] のチェック エラー。

現象

ディスクの確認中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10144

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム：[<parameter>]、ファイル システム：[<parameter>]、ボリュームの種類：[<parameter>]、ディスク [<parameter>] のマウント解除エラー。

現象

復旧ポイントのチェック後、ディスクをマウント解除するときにエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10145

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム：[<parameter>]、ファイル システム：[<parameter>]、ボリュームの種類：[<parameter>]、ディスク [<parameter>] のマウント エラー。

現象

復旧ポイントのチェックのためのディスクをマウントするときにエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10146

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム：[<parameter>]、ファイル システム：[<parameter>]、ボリュームの種類：[<parameter>]、エラー [<parameter>]。

現象

ディスクの確認中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10147

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックが失敗しました。

現象

復旧ポイントのチェックが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10148

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがエラー [<parameter>] で失敗しました。

現象

復旧ポイントのチェックが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10149

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。ESX サーバに接続している場合、VMware Management Service がそのサーバ上で実行されていることを確認し

ます。vCenter サーバに接続している場合、vCenter サービスがそのサーバ上で実行されていることを確認します。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10150

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。認証情報が無効または正しくありません。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10151

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。サーバにアクセスできません。VMware Management Service または vCenter Service が実行されていること、サーバがネットワークに接続されていること、および認証情報が有効であることを確認します。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10152

仮想マシン スナップショットの作成に失敗しました。

現象

バックアップ用仮想マシンのスナップショットの作成に失敗しました。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10153

仮想マシンにスナップショットがあるため、アプリケーションは仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にできません。この問題を修正するには、スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

現象

スナップショットのある仮想マシンでは、変更ブロックのトラッキングを有効にできません。

解決策

スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

エラー メッセージ 10154

指定した仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にできないため、バックアップが失敗しました。

現象

仮想マシンの変更ブロックのトラッキングを有効にできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10155

現在、バックアップを続行できません。バックアップ先が利用できないため、前回失敗したバックアップ セッションに関連するデータを削除できません。システム エラーは <parameter> です。バックアップ ジョブを後で実行すると、アプリケーションが問題を修正します。

現象

システム エラーで前回の失敗したバックアップ ジョブで残ったデータをクリーニングできないため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10156

バックアップ ジョブが「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されているため、バックアップを中止します。ただし、Host-Based VM Backup は必要なツールを VM に展開できなかったため、「VMware Tools」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアップ プランが「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されているが、バックアップ ジョブがこのスナップショット方式を適用するように VM を設定できなかったため、バックアップ ジョブは中止しました。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 10157

バックアップ ジョブが「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されているため、バックアップを中止します。ただし、Host-Based VM Backup が VM 内からツールを展開解除できなかったため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアッププランが「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されているが、VM が「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式で設定されており、バックアップ ジョブはそのスナップショット方式を適用解除するように VM を設定できなかったためバックアップ ジョブは中止しました。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 10158

VMDK ファイルを開けません。

現象

バックアップ用 VMDK ファイルを開けないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10159

アプリケーションは仮想マシンのスナップショットを削除できません。ESX サーバ /vCenter サーバが次のエラーを報告しています: <parameter>。

現象

バックアップ ジョブは VM のスナップショットを削除できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10160

仮想マシン スナップショットからアプリケーション関連情報を取得できませんでした。バックアップに、アプリケーション固有のセッション(Microsoft SQL Server や Exchange Server など) が含まれていない可能性があります。ゲスト オペレーティング システムで Microsoft ボリューム シャドウ コピー サービスのステータスを確認します。

現象

アプリケーションが VM 内にインストールされているのに、バックアップ ジョブがアプリケーションの情報を取得できませんでした

解決策

これは、アプリケーション整合性バックアップでないときに発生する可能性があります。アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 10161

仮想マシンの環境設定を取得できません。

現象

バックアップ ジョブで VM の環境設定を取得できませんでした。

解決策

Hyper-V がまだアクセス可能で、VM がまだ存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10162

アプリケーションは仮想マシン <parameter> に関する情報を取得できませんでした。

現象

バックアップ ジョブで VM の環境設定を取得できませんでした。

解決策

vCenter/ESX がまだアクセス可能で、VM がまだ存在することを確認します。

エラー メッセージ 10163

仮想マシンのゲスト OS からボリューム情報を取得できませんでした。

現象

バックアップ ジョブがデータを解析できず、ボリューム情報を取得できませんでした。

解決策

これは、VM に Linux ゲスト OS がある場合、またはゲスト OS がない場合に発生することがあります。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10164

VM が現在別のアプリケーションによってバックアップされているため、ジョブはこの VM の処理に失敗しました。

現象

この仮想マシンは、別の UDP バックアップ ジョブまたは別のバックアップ アプリケーションによってバックアップされています。

解決策

UDP または他のアプリケーションのバックアップ ジョブを終了し、バックアップをもう一度試します。

エラー メッセージ 10165

仮想マシン上のゲスト オペレーティング システムにログインできません。ESX/vCenter がエラーを報告しています: <parameter>。これは、VMware Tools が古い場合にも発生する可能性があります。

現象

バックアップ ジョブが VM のゲスト OS にログインできず、スナップショット方式の設定、実行前/後コマンドのトリガなどのタスクを処理できませんでした。

解決策

スナップショット方式を変更せず、バックアップ プランでアプリケーション ログのパージまたは実行前/後コマンドのいずれかを設定していない場合、このメッセージは無視できます。メッセージを削除するには、組み込みの管理者認証情報で VM ノードを更新します(または組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください) 。

エラー メッセージ 10166

仮想マシンの電源状態を特定できません。

現象

仮想マシンの電源ステータスの検出に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10167

仮想マシンから Microsoft Exchange Server ログをパージできませんでした。

現象

Microsoft Exchange Server のトランザクション ログの切り捨てに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10168

仮想マシンから Microsoft SQL Server ログをパージできませんでした。

現象

Microsoft SQL Server のトランザクション ログの切り捨てに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10169

「disk.EnableUUID」パラメータを有効化するように仮想マシンを再設定する際に、エラーが報告されました(これはアプリケーションの整合性を保つバックアップに必要) 。これは、仮想環境がエラー(VM 実行中の ESX サーバの予期しない電源サイクルなど) から回復した際に発生する可能性があります。このエラーは、VM をシャットダウンして新しいバックアップ ジョブを実行すると解決できます。(VM のダウンタイムを短縮するために、新しいバックアップ ジョブの「スナップショットの作成」フェーズ中またはその後に VM の電源をオンにすることができます) 。

現象

アプリケーションの整合性を保つバックアップに必要な「disk.EnableUUID」パラメータを有効化するように仮想マシンを再設定するときに、エラーが発生します。

解決策

VM をシャットダウンして、新しいバックアップ ジョブを実行してみてください。

エラー メッセージ 10170

仮想マシン上の仮想ディスク <parameter> で使用または変更されたブロックを識別できません。詳細については、VMware ログを確認してください。すべてのブロックのバックアップを実行しています。

現象

VM の使用/変更ブロックの情報の取得に失敗しました。すべてのデータ ブロックがバックアップされます。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10171

最初のバックアップ ジョブの変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

現象

VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10172

アプリケーションは、仮想マシンのスナップショットを作成できないため、変更ブロックのトラッキングをリセットできません。

現象

スナップショットの作成に失敗したため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除し、エラーを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10173

アプリケーションは、仮想マシンのスナップショットを削除できないため、変更ブロックのトラッキングをリセットできません。

現象

スナップショットの削除に失敗したため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除し、エラーを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10174

変更ブロックのトラッキングをリセットします。使用されているすべてのブロックのバックアップを実行しています。

現象

VM の変更ブロックのトラッキング機能がリセットされました。すべてのデータ ブロックがバックアップされます。

解決策

CBT リセットを予期している場合、このメッセージは無視できます。

エラー メッセージ 10175

スナップショットが存在するため、アプリケーションは変更ブロックのトラッキングをリセットできません。変更ブロックのトラッキングをリセットするには、スナップショットを削除してからバックアップ ジョブを再サブミットします。

現象

VM にスナップショットがあるため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

エラー メッセージ 10176

仮想マシンのスナップショットを作成できませんでした。ESX サーバ/vCenter サーバが次のエラーを報告しました: <parameter>。

現象

バックアップ用スナップショットの作成に失敗しました。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除してエラー メッセージを確認するか、バックアップ ジョブ ログを参照して詳細を確認してください。

エラー メッセージ 10177

VMware Tools がインストールされていません。

現象

VM のゲスト OS に VMware Tools がインストールされていません。

解決策

VM のゲスト OS に VMware Tools をインストールします。

エラー メッセージ 10178

VMware Tools のバージョンが古いです。アップグレードしてください。

現象

VM のゲスト OS で VMware Tools が最新ではありません。

解決策

VM のゲスト OS で VMware Tools をアップグレードします。

エラー メッセージ 10179

VMware Tools のステータスを確認できません。

現象

VM のゲスト OS で VMware Tools ステータスを検出できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10180

仮想マシン <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

VM のバックアップに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10181

仮想マシンのバージョンは <parameter> です。アプリケーションで仮想マシンをバックアップするには、バージョン 7 以降の仮想マシンが必要です。

現象

ソース VM のバージョンがサポートされていないため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

VM をバージョン 7 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10182

VMDK の読み取りに失敗しました。プロキシと ESX サーバまたは vCenter サーバ間のネットワーク接続を確認します。SAN を使用している場合は、プロキシと SAN 間のネットワーク接続を確認します。バックアップ ジョブを再サブミットします。

現象

VMDK ファイルの読み取りに失敗したため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

プロキシと ESX サーバまたは vCenter サーバ間のネットワーク接続を確認します。SAN を使用している場合は、プロキシと SAN 間のネットワーク接続を確認します。バックアップ ジョブを再サブミットします。

エラー メッセージ 10183

仮想ディスク <parameter> は独立型ディスクであるため、バックアップできません。VMware は、独立型ディスクのバックアップはサポートしていません。

現象

独立型仮想ディスクはサポートされていないため、バックアップ ジョブでスキップされました。

解決策

仮想ディスクをバックアップする場合は、依存型ディスクに変換します。

エラー メッセージ 10184

アプリケーションは FAT ボリューム <parameter> のメタデータをバックアップしませんでした。

現象

バックアップ ジョブは VM のゲスト OS 内の FAT ボリュームのメタデータをスキップしました。

解決策

FAT ファイル システムは整合性のある VSS スナップショットをサポートしないため、UDP はメタデータのバックアップをスキップします。したがって、FAT ボリュームのファイル レベル リストアは使用できません。ただし、VM 全体をリストアすることで、元に戻すことができます。

エラー メッセージ 10185

アプリケーションは FAT32 ボリューム <parameter> のメタデータをバックアップしませんでした。

現象

バックアップ ジョブは VM のゲスト OS 内の FAT32 ボリュームのメタデータをスキップしました。

解決策

FAT32 ファイル システムは整合性のある VSS スナップショットをサポートしないため、Arcserve UDP はメタデータのバックアップをスキップします。したがって、FAT32 ボリュームのファイル レベル リストアは使用できません。ただし、VM 全体をリストアすることで、ボリューム内のファイルを元に戻すことができます。

エラー メッセージ 10186

アプリケーションは iSCSI ディスク ボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。

現象

バックアップ ジョブは、VM のゲスト OS に iSCSI で直接接続されているディスクのボリュームをスキップしました。

解決策

UDP は、iSCSI で VM のゲスト OS に直接接続されているディスクのバックアップはサポートしていません。

エラー メッセージ 10187

アプリケーションはボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

ボリュームが存在する仮想ディスクが何らかの理由でバックアップからスキップされたため、バックアップ ジョブはボリュームをスキップしました。

解決策

他のメッセージをチェックして、仮想ディスクがバックアップ ジョブによってスキップされた理由を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10188

ゲートウェイの作成に失敗しました。

現象

ゲートウェイの作成に失敗しました。

解決策

ログで詳細を確認し、再試行してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10190

ソース ボリューム <parameter> が、2TB を超えるディスクに存在します。圧縮および暗号化が有効になっていない標準形式は、VHD ファイルサイズの上限である 2TB

に制限されます。圧縮または暗号化を有効にするか、拡張フォーマットの使用を検討してください。

現象

ソース ボリュームが、2TB を超えるディスクに存在します。

解決策

圧縮および暗号化が有効になっていない標準形式は、VHD ファイルサイズの上限である 2TB に制限されます。圧縮または暗号化を有効にするか、拡張フォーマットの使用を検討してください。

エラー メッセージ 10191

<parameter> は、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップ ジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

現象

ボリュームは、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップ ジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

解決策

ボリュームは、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップ ジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

エラー メッセージ 10192

ボリューム [<parameter>] はハード ディスクでホストされていないため、バックアップを中止します。

現象

ボリュームはハード ディスクでホストされていないため、バックアップを中止します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10193

ボリューム <parameter> (<parameter>) のビット マップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのビット マップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

解決策

ボリュームのビット マップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10194

ボリュームのサイズ <parameter> (<parameter>) が、バックアップ ジョブの実行中に <parameter> から <parameter> に変更されました。

現象

バックアップ ジョブの実行中にボリュームのサイズが変更されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10195

ボリューム <parameter> (<parameter>) のスナップショット ビット マップの取得に失敗しました。これは、スナップショットのストレージ領域に十分な容量がないことが原因である可能性があります。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのスナップショット ビット マップの取得に失敗しました。

解決策

これは、スナップショットのストレージ領域に十分な容量がないことが原因である可能性があります。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10196

ネットワーク [<parameter>] に接続できませんでした。エラー=[<parameter>]。

現象

ネットワークに接続できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10197

ネット ワーク [<parameter>] に接 続 できませんでした。エラー=[<parameter>]。

現 象

ネット ワークに接 続 できませんでした。

解 決 策

根 本 原 因については、内 部 エラーを参 照 してください。詳 細については、バックアップ ジョブ ログを確 認 してください。

エラー メッセージ 10198

書き込み可 能 復 旧 ポイントのマウント 解 除 に失 敗 しました。

現 象

書き込み可 能 復 旧 ポイントのマウント 解 除 に失 敗 しました。

解 決 策

根 本 原 因については、内 部 エラーを参 照 してください。詳 細については、バックアップ ジョブ ログを確 認 してください。

OneDrive バックアップで、「WriteBitmapToFile が失 敗 しました。EC=59」メッセージが バックアップ プロキシ マシン/VM の *<installation folder>\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Logs\ArcMount_Job_<JobId>.log* にある場 合 、正 常 にバックアップするには以 下 のいずれかを実 行 します。

- ネット ワーク エラーまたはファイル エラーが原 因 でバックアップが失 敗 した可 能 性 があるため、OneDrive ノードのバックアップを再 実 行 します。
- 以 下 のレジストリ値 キーを設 定 し、バックアップをもう一 度 実 行 します。

  注 : セッション タイムアウトを増 やすには、レジストリ値 キー「sesstimeout」を HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\LanmanWorkstation\Parameters に追 加 できます。

  - **データの種 類 :** DWORD
  - **値 :** 90。デフォルト 値 は 45 秒 です。計 算 して値 を増 やすことをお勧 めします。<current value/default value> + 45 秒 。それでもエラーが発 生 する場 合 は、バックアップ プロキシのマシンまたは VM に基 づいて、<current value > + 45 秒 を計 算 します。ほとんどの場 合 135 秒 です。

重要:このレジストリ値キーを有効にするには、再起動する必要があります。このキーは、他のモジュールや共有フォルダにアクセスするシステムに影響を与える可能性があるため、慎重に使用してください。

エラー メッセージ 10199

書き込み可能復旧ポイントのマウントに失敗しました。

現象

書き込み可能復旧ポイントのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10200

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10201 ～ 10300

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10201

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10202

アカウントは、バックアップ メールボックスを偽装しません。

現象

アカウントは、バックアップ メールボックスを偽装しません。

解決策

アカウントの権限の制限を変更してください。

エラー メッセージ 10203

ユーザ名またはパスワードが正しくありません。

現象

ユーザ名またはパスワードが正しくありません。

解決策

ユーザ名とパスワードを確認してください。

エラー メッセージ 10204

リクエストを完了できません。.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

現象

リクエストを完了できません。.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

解決策

.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

エラー メッセージ 10205

管理者アカウントが存在しません。

現象

管理者アカウントが存在しません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10206

マウントされたボリューム [<parameter>] からのデータの読み取りに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

マウントされたボリュームからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10207

マウントされたボリューム [<parameter>] へのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

マウントされたボリュームへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10208

同じ種類の別のジョブが実行中のため、現在のジョブはキャンセルされます。

現象

同じ種類の別のジョブが実行中のため、現在のジョブはキャンセルされます。

解決策

他のジョブが完了するまでお待ちください。

エラー メッセージ 10209

ジョブがクラッシュしました。

現象

ジョブがクラッシュしました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10210

ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) がクラッシュしました。

現象

ジョブがクラッシュしました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10211

ソフトウェア スナップショットが失敗しました。

現象

ソフトウェア スナップショットが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10212

バックアップ先はすでにバックアップ チェーンにあります。このデスティネーションにデータをバックアップできません。

エラー メッセージ 10213

[<parameter>] の古いバックアップ データの移動に失敗しました。

現象

古いバックアップデータを単一のフォルダに移動できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10214

キー マネージメント データベースにセッション パスワードが見つかりません。(セッション GUID=[<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースにセッション パスワードが見つかりません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10215

キー マネージメント モジュールを初期化できません。

現象

キー マネージメント モジュールを初期化できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10216

キー マネージメント データベース ファイルを圧縮できず、「削除済み」とマークされたすべてのパスワードを削除できません。

現象

キー マネージメント データベース ファイルを圧縮できず、「削除済み」とマークされたすべてのパスワードを削除できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10217

キー マネージメント データベースの管理アカウントを更新できません。(ユーザ名 = [<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースの管理アカウントを更新できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10218

指定したバックアップ先は現在使用中です。別のバックアップ先を入力してください。

現象

バックアップ設定の保存に失敗しました。

解決策

バックアップ先として空のフォルダを選択します。

エラー メッセージ 10219

データ ストア ハッシュ キーが正しくありません。(データ ストア名 =[<parameter>]、データ ストア GUID=[<parameter>]) 。

現象

データ ストア ハッシュ キーが正しくありません。

解決策

正しいデータ ストア パスワードを入力します。

エラー メッセージ 10220

暗号化パスワードの長さが長すぎます。最大長は <parameter> 文字です。

現象

暗号化パスワードの長さが長すぎます。

解決策

パスワードは 23 文字以下にする必要があります。

エラー メッセージ 10221

セッション リソースがプロセス <parameter> (コンピュータ <parameter>) で使用されています。

現象

セッション リソースは他のプロセスで使用されています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10222

セッション リソースは [<parameter>] にロックされています。

エラー メッセージ 10223

セッション パスワードが正しくありません。(セッション番号 =[<parameter>]) 。

現象

セッション パスワードが正しくありません。

解決策

正しいセッション パスワードを入力します。

エラー メッセージ 10224

ライセンス エラー。フル バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 日に調整されました。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10225

ライセンス エラー。フル バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 時間に調整されました。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10226

ライセンス エラー。フル バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 分に調整されました。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10227

ライセンス エラー。増分バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 時間に調整されました。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10228

ライセンス エラー。増分バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 分に調整されました。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10229

ジョブは現在実行中です。「<parameter>」という名前の新しいジョブ (<parameter>) を実行できません。

現象

ジョブはすでに実行中のため、新しいジョブを実行できません。

解決策

実行中のジョブが終了するまで待つか、キャンセルします。

エラー メッセージ 10230

サーバ <parameter> と通信できません。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10231

ライセンス エラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、 [ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] を参照してください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10232

ライセンスを確認するために <parameter> へ接続することに失敗しました。<parameter> に接続できることを確認してください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10233

Host-Based VM コピー ジョブは、ライセンス エラーのため失敗しました。新しいライセンスの取得については、お客様の担当者までご連絡ください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10234

VMware VIX がインストールされていません。アプリケーションは、VMware VIX なしではアプリケーション ログの切り捨ておよび実行前/後コマンドを実行できません。

現象

VMware VIX がインストールされていません。

解決策

VMware VIX をインストールしてください。

エラー メッセージ 10235

VMware VIX バージョンが 1.1.0 未満です。アプリケーションは、アプリケーション ログの切り捨てと実行前/後のコマンドを実行できません。

現象

VMware VIX のバージョンが低すぎます。

解決策

VMware VIX を 1.1.0 以降のバージョンにアップグレードします。

エラー メッセージ 10236

VMware Tools の状態を確認できませんでした。

現象

VMware Tools のステータスを確認できません。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10237

VMware Tools がインストールされていません。

現象

VMware Tools がインストールされていません。

解決策

VMware Tools をインストールします。

エラー メッセージ 10238

VMware Tools が古くなっています。

現象

VMware Tools が古くなっています。

解決策

VMware Tools をアップグレードします。

エラー メッセージ 10239

マウントされた DB パスが長すぎます。レジストリ HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\CARCserve Unified Data Protection\Engine\ExGRT\MountPoint を作成し、MountPoint に短い長さのフォルダ パスを割り当ててください。

現象

推奨されないメッセージ。

解決策

推奨されないメッセージ。

エラー メッセージ 10240

ボリューム <parameter> の拡張に失敗しました。

現象

ボリュームの拡張に失敗しました。

解決策

詳細については、システム イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10241

リストア デスティネーションが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名 =[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

リストア デスティネーション パスが見つかりませんでした。

解決策

デスティネーションへの接続にアカウント認証情報が有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10242

リストア ソースが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名 = [<parameter>]、EC=[<parameter>]) 。

現象

リストア ソース パスが見つかりませんでした。

解決策

ソースへの接続にアカウント認証情報が有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10243

セッションのマージに失敗しました。

現象

リストア ジョブは、以前失敗しましたマージ ジョブの続行に失敗しました。

解決策

リストア ジョブ ログを確認して、マージ ジョブが失敗した理由を確認してください。

エラー メッセージ 10244

ボリューム <parameter> のフォーマットに失敗しました。

現象

ボリュームのフォーマットに失敗しました。

解決策

詳細については、システム イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10250

仮想ディスク <[parameter]> の作成に失敗しました。エラー = [指定されたパスが見つかりません。]

現象

リストア操作の実行後、仮想ディスクの作成が失敗します。

解決策

指定したパスが存在することを確認し、リストア操作を再試行します。

エラー メッセージ 10251

リストア ユーティリティの展開に失敗しました。システム エラー = [ネットワーク名が見つかりません。(67)] プロキシ マシンから \\<IP address>\\UDP Host-Based VM Backup$ にアクセスできることを確認してください。

現象

リストア ユーティリティの展開に失敗しました。

解決策

プロキシ マシンから Host-Based VM Backup にアクセスできることを確認してください。

エラー メッセージ 10257

リストア ジョブに失敗しました。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10258

セッション <parameter> をリストアのためにロックできません。セッションがマージまたは削除された可能性があります。

現象

リストア プロセスでセッションをロックできませんでした。

解決策

マージ ジョブまたはパージ ジョブが実行されているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 10259

リモート デスティネーション <parameter> のマウントに使用できるドライブ文字がなくなりました。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

少なくとも 1 つの使用可能なドライブ文字を予約します。

エラー メッセージ 10260

RAM ディスクにビットマップ ファイルを保存するための十分な容量がありません。X:\windows\system32\DR\BmrCfg.ini で共有フォルダを指定し、BMR を再試行します。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

リストア ボリュームのビットマップを保持するのに十分な大きさの追加パスを設定します。

エラー メッセージ 10261

フォルダ [<parameter>] にアクセスできないか、ユーザに書き込み権限がありません。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

このアカウントには、デスティネーションの書き込み権限がありません。

エラー メッセージ 10262

データを読み取れませんでした。エラー コード：<parameter>。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、エラー コードを参照してください。

エラー メッセージ 10263

ReFS ボリュームは、ソース ボリュームと容量が異なる非シンプル/スパン ボリュームへのリストアをサポートしていません。

現象

ReFS ボリュームは、ソースボリュームと容量が類似していない非シンプル/スパン ボリュームへのリストアをサポートしていません。

解決策

ReFS デスティネーション ボリュームのサイズをソース ボリュームのサイズと同じにします。

エラー メッセージ 10264

ReFS ボリュームは、より小さいボリュームへのリストアはサポートされていません。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

ReFS ボリュームは、より小さいボリュームへのリストアはサポートされていません。

エラー メッセージ 10265

ボリューム データのリストアは完了しましたが、ターゲット ボリュームのブート セクタを修復できませんでした。エラー コード：<parameter>。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

ボリューム データのリストアは完了しましたが、ターゲット ボリュームのブート セクタを修復できませんでした。

エラー メッセージ 10266

ディスク空き容量が不足しているため、アイテムをディスクへリストアすることに失敗しました。リストア先ボリューム(<parameter>) に十分なディスク空き容量があることを確認してください。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

リストア アイテムを保存するのに十分な大きさのデスティネーション ボリュームを作成します。

エラー メッセージ 10267

セッションを開けませんでした。(EC=[<parameter>]、セッション番号 = [<parameter>]、セッション フォルダ=[<parameter>]) 。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10268

このファイルのサブセッションが見つからないため、ファイルのリストアに失敗しました。(ファイル パス=[<parameter>])

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10269

ターゲット ボリューム <parameter> に、リストア ジョブを実行するのに十分な容量がありません。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

ターゲット ボリュームに十分な容量があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10270

リストア ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter>) に失敗しました。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10278

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。

現象

VM の復旧ジョブが失敗しました。

解決策

VM の復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できません。アクティビティ ログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。さらにサポートが必要な場合は、Arcserve テクニカル サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10279

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。ESX/vCenter Server システムにより次のエラーがレポートされました: <failure error message from hypervisor>

現象

VM の復旧ジョブが失敗しました。

解決策

VM の復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できません。アクティビティ ログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。さらにサポートが必要な場合は、Arcserve テクニカル サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10293

<parameter> の認証情報は無効です。

現象

無効な管理者アカウントです。

解決策

デフォルトの管理者アカウントを更新します。

エラー メッセージ 10294

フォルダ(<parameter>) にユーザ グループのアクセス権があることを確認してください。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

UDP インストール フォルダにユーザ グループのアクセス権があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10295

セッション <parameter> をバックアップ先 <parameter> でロックできませんでした。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10296

無効な親ディスク [<parameter>] が検出されました。

現象

現在の復旧ポイントの親ディスクが無効または見つからないことが検出されました。

解決策

指定したパスに移動して、以前の復旧ポイント フォルダの 1 つに無効なファイルまたは見つからないファイルがあるかどうか、およびその理由を確認します。手動で修復できない場合は、新しいフル バックアップを起動してこのエラーを回避します。

エラー メッセージ 10297

ファイル <parameter> の削除に失敗しました。エラー コード : <parameter>、[<parameter>]。

現象

特定のエラーのため、指定したファイルを削除できませんでした。

解決策

指定したファイルを手動で削除してみてください。

エラー メッセージ 10298

ファイル <parameter> を開くことができませんでした。別のプロセス(Arcserve Replication および High Availability など) が現在このファイルを使用している可能性があります。

現象

指定したファイルは別のプロセスによって使用されているため、開けません。

解決策

実行中のジョブがほかにないかどうかを確認し、終了後に再試行します。

エラー メッセージ 10299

ファイル <parameter> の処理(作成、クローズ、読み取り、書き込み) に失敗しました。エラー コード : <parameter>,[<parameter>]。

現象

指定したファイルの操作中にファイル システムがエラーを報告しました。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

多くの場合、この状況はシステムまたはハードウェアの問題を示しています。以下の手順を実行します。

1. 指定したファイルが有効な状態であることを確認します。
2. ファイルがリモート共有の場所にある場合は、ネットワーク接続を確認します。

3. システムから提供された情報を参照するには、システム イベント ログを表示します。

エラー メッセージ 10300

無効なデータ ブロックが検出されました。

現象

これは、指定したファイルの一部が無効であることを検出したことを示します。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10301 ～ 10400

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10301

仮想ディスクのマージに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、特定のシステム エラーによるマージの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10302

仮想ディスクのマージに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクのマージは、特定の内部エラーにより失敗しました。

解決策

マージ ジョブのデバッグ ログで詳細を確認します。

- バックアップ先が RPS のデータ ストアの場合

  ログの場所：復旧ポイント サーバの「\Engine\Logs」ディレクトリ。

ファイル名 の形 式 : Merge(<Node Name>-<RPS Server Name>-"Data Store Name")-<yyyyMMdd>-<HHmmss>-<SSS>-<Job ID>.Log

- バックアップ先 がデータ ストアでない場 合

  ログの場 所 : エージェント マシンの「\Engine\Logs」ディレクトリ。

  ファイル名 の形 式 : Merge-<yyyyMMdd>-<HHmmss>-<SSS>-<Job ID>.Log

  注 : さらに詳 しいテクニカル サポート が必 要 な場 合 は、Arcserve サポート にお問 い合 わせください。

エラー メッセージ 10303

データのマージに失 敗しました。

現 象

これは、マージの失 敗を示しています。

解 決 策

詳 細については、マージ ジョブのデバッグ ログを確 認してください。

エラー メッセージ 10304

マージ処 理 中 に、<parameter> から <parameter> にファイルを移 動 できませんでした。エラー コード : <parameter>、[<parameter>]。

現 象

これは、ファイルを移 動 する際 のエラーが原 因 でマージが失 敗したことを示しています。

解 決 策

指 定したファイルが正 常 な状 態 かどうかを確 認します。示 されたシステム エラー メッセージに従 って問 題 の解 決 を試 みてください。

エラー メッセージ 10305

マージ処 理 中 に、<parameter> から <parameter> へのフォルダ名 の変 更 に失 敗しました。エラー コード : <parameter>、[<parameter>]。

現 象

これは、フォルダの名 前 を変 更 する際 のエラーが原 因 でマージが失 敗したことを示しています。

解 決 策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラー メッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10306

マージ処理中に、<parameter> から <parameter> にファイルの名前を変更できませんでした。エラー コード：<parameter>、[<parameter>]。

現象

これは、ファイルの名前を変更する際のエラーが原因でマージが失敗したことを示しています。

解決策

指定したフォルダが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラー メッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10307

仮想ディスクを開けませんでした。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクを開く際の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10308

仮想ディスクを開けませんでした。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクを開く際のシステム エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10309

データの読み取りに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの読み取り時の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10310

データの読み取りに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの読み取り時のシステム エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10311

データの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの書き込み時の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10312

データの書き込みに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの書き込み時のシステム エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10314

ボリュームが存在しないため、スナップショット セットに追加できません。

現象

指定したボリュームはスナップショットに追加されないため、データの整合性が保たれません。

解決策

バックアップ プランで指定したボリュームが存在しない可能性があります。ボリュームが存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10315

アプリケーションのリストアに失敗しました。

現象

アプリケーションのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]) 。

解決策

詳細については、前のエラー メッセージを確認してください。

エラー メッセージ 10316

現在のシステムの Microsoft VSS は元のバックアップシステムの Microsoft VSS と互換性がないため、VSS メタデータをロードできません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

バックアップされたリストア セッションのシステムに互換性がありません。ソース システムとリストア システム間の Windows バージョンを確認します。

エラー メッセージ 10317

アプリケーションのリストア オプションがライセンスされていません。(オプション名 = [<parameter>])

現象

リストアに失敗しました。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 10318

適切なアカウント権限の確認に失敗しました。Microsoft Exchange データにアクセスできません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアに使用したアカウントには、Exchange をリストアするための十分な権限がありません。UDP のアカウントを変更するか、現在のアカウントに権限を付与すると、この問題を解決できます。

エラー メッセージ 10319

アプリケーションのリストアは、Windows XP ではサポートされていません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

仕様では、Windows XP のアプリケーションのリストアはサポートされていません。

エラー メッセージ 10320

選択したボリュームのスナップショットの作成に失敗します。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

スナップショットを取得できません。詳細については、イベント ログを参照してください。このメッセージの原因の 1 つは、ソース ボリューム(64 TB 以上) である可能性があります。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティション サイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラー メッセージ 10321

データベースのマウント解除に失敗しました。(EC=[<parameter>]、データベース名=[<parameter>])

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

該当するデータベースがすでにマウント解除されている場合、リストアは成功する可能性があります。それ以外の場合、リストアは失敗します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10322

現在のアカウント：<parameter> には、Exchange データにアクセスするための十分な権限がありません。このアカウントに適切な権限を付与するか、別のアカウントに切り替えてください。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアに使用したアカウントには、Exchange をリストアするための十分な権限がありません。UDP のアカウントを変更するか、現在のアカウントに権限を付与すると、この問題を解決できます。

エラー メッセージ 10323

Microsoft Exchange データベースのマウントに失敗しました: [<parameter>]。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性がありますが、esetil /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10324

バックアップ マネージャの初期化に失敗しました。詳細については、Windows イベントログを参照してください。(EC=[0x<parameter>]) 。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

バックアップ コンポーネント ドキュメントが破損している可能性があります。詳細については、イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10325

システムまたはプロバイダに十分なストレージ空き容量がありません。古いまたは不要な永続的シャドウコピーを削除するか、スナップショット ストレージ領域を調整してから再試行します。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

バックアップは失敗します。ボリュームの [シャドウコピー] タブでスナップショット領域を適切に拡大します。または、システム内の古いスナップショットを削除します。

エラー メッセージ 10326

前回の非同期操作中にエラーが発生しました。詳細については、Windows イベント ログを参照してください。(EC=[0x<parameter>]、MSG=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

VSS フレームワークでエラーが発生しました。詳細については、イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10327

システムで実行されているアプリケーション ライタが見つかりません。この問題を解決するには、ライタ サービスを開始するか、COM コンポーネントを再登録します。

現象

ライタなしのモードでのバックアップまたはリストアが失敗しました。

解決策

COM 環境が破損しています。コンピュータを再起動するか、COM コンポーネントを登録すると、この問題が解決する場合があります。リンク https://support.microsoft.com/en-us/help/940032/various-issues-may-occur-on-a-windows-server-2003-based-computer-that

エラー メッセージ 10328

データベースのマウントに失敗しました。(EC=[<parameter>]、データベース名 = [<parameter>]) 。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性がありますが、esetil /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10329

ボリューム [<parameter>] のストレージ領域を保持するのに十分な空き容量のある利用可能なボリュームが見つかりません。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

スナップショット用の十分な空き容量がありません。ボリュームの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10330

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、アプリケーションのリストアを実行できません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 10331

Caller のメモリまたは他のシステム リソースが不足しています。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

十分な空きメモリまたはシステム リソースがあるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10332

バックアップの準備に失敗しました。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10333

復旧データベースが見つかりません。(名前=[<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアの前に、復旧データベースまたは復旧ストレージ グループを作成する必要があります。

エラー メッセージ 10334

プロバイダでコンピュータの再起動が必要なエラーが発生しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

コンピュータをリストアすると、この問題が解決する場合があります。

エラー メッセージ 10335

Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] が元の場所にリストアされましたが、マウントできませんでした。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性がありますが、esetil /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10336

マスタ データベースのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、インスタンス名 =[<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10337

メタデータの保存に失敗しました。(ライタ名 =[<parameter>]) 。

現象

バックアップは未完了でした。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10338

指定したボリューム シャドウコピー プロバイダは登録されていません。VSS 関連コンポーネントがすべて登録されていることを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

COM 環境が破損しています。コンピュータを再起動するか、COM コンポーネントを登録すると、この問題が解決する場合があります。リンク https://support.microsoft.com/en-us/help/940032/various-issues-may-occur-on-a-windows-server-2003-based-computer-that

エラー メッセージ 10339

ターゲット SQL サーバ インスタンスが存在しないため、データベースのリストアをスキップします。(データベース名 =[<parameter>]、インスタンス名 =[<parameter>])

現象

リストアは未完了でした。

解決策

リストアの前に SQL インスタンスをインストールする必要があります。

エラー メッセージ 10340

スナップショット セットの開始に失敗しました。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10341

サービスを停止できませんでした。(EC=[<parameter>]、サービス名 = [<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10342

ボリューム シャドウ コピー サービスのスナップショット取得タイムアウト 、[<parameter>] ミリ秒 。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

https://blogs.technet.microsoft.com/asiasupp/2011/08/01/windows-server-backup-failed-to-backup-with-error-0x81000101/ に従います。

エラー メッセージ 10343

システムは、分散トランザクション コーディネータ(DTC) またはカーネル トランザクション マネージャ(KTM) のフリーズに失敗しました。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

DTC と KTM の設定を確認します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10344

システムは、分散トランザクション コーディネータ(DTC) またはカーネル トランザクション マネージャ(KTM) の解凍に失敗しました。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

DTC と KTM の設定を確認します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10345

Active Directory から情報を照会できません。ユーザ名 =<parameter>。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントでは AD を照会できない可能性があります。SC の設定とアカウントを確認してください。

エラー メッセージ 10346

データベースを照会できません。ドメイン コントローラ(DC) がアクセス可能かどうか、および現在のアカウント「<parameter>」に Active Directory (AD) を照会する権限があるかどうかを確認してください。(EC=[0x<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントでは AD を照会できない可能性があります。SC の設定とアカウントを確認してください。

エラー メッセージ 10347

データベースを照会できません。ドメイン コントローラ(DC) がアクセス可能かどうか、および現在のアカウントに Active Directory (AD) を照会する権限があるかどう

かを確認してください。(EC=[0x<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントではADを照会できない可能性があります。SCの設定とアカウントを確認してください。

エラー メッセージ 10348

このExchangeリストア操作は、アクティブ ノードでのみ実行できます。

現象

リストアがスキップされました。

解決策

現在のノードはアクティブ ノードではありません。アクティブ ノードでリストアします。

エラー メッセージ 10349

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、ライタをリストアできません。(ライタ名 =[<parameter>]) 。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 10350

ライタ(名前=[<parameter>]、ID=[<parameter>]) が存在しないか、実行されていません。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

そのライタが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10351

ライタ(名 前 =[<parameter>]、ID=[<parameter>]) のステータスが不 正 です。詳 細 については、Windows イベント ログを参 照してください。(ステータス=[0x<parameter>]) 。

現 象

リストアに失 敗した可 能 性 があります。

解 決 策

コマンド「vssadmin list writers」でライタの状 態 を確 認し、イベント ログで詳 細 を確 認します。

エラー メッセージ 10352

セッション ロック ファイル <parameter> の作 成 に失 敗しました。エラー コード : <parameter> (<parameter>) 。

現 象

セッションのロックに失 敗しました。

解 決 策

根 本 原 因については、内 部 エラーを参 照してください。詳 細については、ジョブ ログを参 照してください。

エラー メッセージ 10353

<parameter> でセッション ロックの作 成 に失 敗しました。エラー コード : <parameter> (<parameter>) 。

現 象

セッションのロックに失 敗しました。

解 決 策

根 本 原 因については、内 部 エラーを参 照してください。詳 細については、ジョブ ログを参 照してください。

エラー メッセージ 10354

セッション ロック ファイル <parameter> からのデータの読 み取 りに失 敗しました。エラー コード : <parameter> (<parameter>) 。

現 象

セッションのロックに失 敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10355

セッション ロック ファイル <parameter> へのデータの書き込みに失敗しました。エラー コード：<parameter> (<parameter>) 。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10356

アカウント <parameter> にファイル <parameter> の書き込み権限がありません。このファイルにこのアカウントへの完全なアクセス権を追加して、再試行する必要があります。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

指定したアカウントに、指定したファイルへの書き込み権限があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10357

SQLite データベース(アクティビティ ログの保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。データベースを修復するには、Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

SQLite データベース(アクティビティ ログの保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。

解決策

アクティビティ ログの SQLite データベースが破損している可能性があります。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

エラー メッセージ 10358

SQLite データベース(ジョブ履歴の保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。データベースを修復するには、Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

SQLite データベース(ジョブ履歴の保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。

解決策

ジョブ履歴の SQLite データベースが破損している可能性があります。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

エラー メッセージ 10359

同期プロセスで、コンソール ノード <parameter> のバックアップ ジョブ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10360

Arcserve UDP エージェント サービスは、ノード <parameter> で実行されているコンソール サービスと通信できません。この問題は、コンソール サービスが実行されていない場合、または Arcserve UDP エージェント ノードがコンソール ノードのホスト名を使用してコンソール ノードと通信できない場合に発生する可能性があります。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10361

Arcserve UDP エージェント サービスは、ノード <parameter> で実行されているコンソール サービスと通信できません。Arcserve UDP エージェントのバージョンは、コンソールのバージョンと互換性がありません。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10362

同期プロセスで、コンソール ノード <parameter> のファイル コピー ジョブ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10363

同期プロセスで、バックアップ ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10364

同期プロセスで、ファイル コピー ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10365

同期プロセスで、アクティビティ ログ データを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10366

同期プロセスで、仮想スタンバイ データを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10367

同期プロセスで、Host-Based VM Backup ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10368

ノード <parameter> のコンソール サービスにログインできません。コンソールを再インストールすると問題が発生する可能性があります。この問題を修正するには、コンソールを開き、Arcserve UDP エージェント ノードを削除してから、Arcserve UDP エージェント ノードを追加します。

現象

エージェント ノードにログインできません。

解決策

コンソールにノードを再度追加してください。

エラー メッセージ 10369

同期プロセスで、コンソール ノード <parameter> のアクティビティ ログ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10370

同期プロセスで、コンソールとデータを同期できません。ノードがコンソール製品によって管理されていません。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10371

同期プロセスで、ノード <parameter> のコンソールでデータを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10372

同期プロセスで、コンソール ノード <parameter> の仮想スタンバイ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10373

同期プロセスで、コンソール ノード <parameter> の Host-Based VM Backup ジョブ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10374

NTFS デデュプリケーション ボリュームからバックアップされたデータを、Windows 8 データ重複除去サーバの役割がインストールされておらず有効になっていないシステム(<parameter>ドライブ) にリストアしようとしています。そのため、リストア先でこの役割が有効になるまで、リストアされたデデュプリケーション ファイルにアクセスできません。データ デデュプリケーションの役割を有効にすると、リストアされたファイルが自動的に表示され、追加のリストア ジョブは必要ありません。

現象

リストア ジョブが失敗する場合があります。

解決策

Windows データ デデュプリケーション サーバの役割がインストールされ、有効になっていることを確認します。

エラー メッセージ 10375

Arcserve UDP Web サーバの種類が不明です。

現象

不明な製品の種類です。

解決策

Arcserve Unified Data Protection を再インストールします。

エラー メッセージ 10376

サービスが無効です。Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態であるかどうか、および現在のユーザ(<parameter>) が属するデータベースがマウント状態であるかどうかを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

サービスが無効です。Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態であるかどうか、および現在の使用状況にリンクされているデータベースがマウント状態であるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10377

Exchange データベースを開く前にデフラグを行う必要がありますが、デフラグの一時フォルダ(ボリューム:<parameter>:) に十分な空き容量がないため、処理を実行できません。その結果、デフラグ処理が失敗する可能性があります。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ディスク容量を増やします。

エラー メッセージ 10378

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュプリケーションが有効になっています。ただし、プロキシ システムは Windows データ デデュプリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange 情報を解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュプリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10379

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュプリケーションが有効になっています。ただし、プロキシ システムは Windows データ デデュプリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange 情報を識別できず、リストア ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュプリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10380

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) は、REFS ファイル システムです。ただし、バックアップ プロキシ ホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange 情報を解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10381

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) は、REFS ファイル システムです。ただし、バックアップ プロキシ ホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange 情報を識別できず、リストア ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10382

EDB ファイル <parameter> の Exchange 詳細リストア カタログの生成に失敗しました。セッション=<parameter>、サブセッション=<parameter>

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10383

セッション <parameter> の仮想ディスクのマウント (フォルダ <parameter>) に失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10384

EDB ファイル(<parameter>) の復旧に失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10385

Exchange Server と通信できませんでした。証明書がプロキシ サーバにインストールされていない可能性があります。管理者に確認するよう依頼してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

管理者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10386

仮想マシンの Exchange Server インストール ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュプリケーションが有効になっています。ただし、プロキシ システムは Windows データ デデュプリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange Server バイナリを解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュプリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10387

仮想マシンの Exchange Server インストール ボリューム(<parameter>:) は、REFS ファイル システムです。ただし、バックアップ プロキシ ホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange Server バイナリを処理できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10388

Exchange DB 復旧のライセンスをチェックして、有効で期限切れになっていないことを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ライセンス ステータスを確認します。

エラー メッセージ 10389

Exchange 詳細復旧のライセンスをチェックして、有効で期限切れになっていないことを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ライセンス ステータスを確認します。

エラー メッセージ 10390

リストア失敗 : メールボックス <parameter> が見つかりません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10391

MAPI パッケージが正しくインストールされていません。MAPI パッケージをアンインストールしてから、再インストールしてください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバージョンの MAPI をインストールします。

エラー メッセージ 10392

Microsoft Exchange Server MAPI クライアントがインストールされていないため、Exchange 詳細リストアを実行できません。Microsoft から MAPI をダウンロードしてインストールし、再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバージョンの MAPI をインストールします。

エラー メッセージ 10393

ディスクへのメッセージ <parameter> のリストア エラー: <parameter>

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10394

メッセージ <parameter> のリストアに失敗しました。名前が長すぎます。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10395

リストア プロセスでボリュームのマウントに失敗しました。(ボリューム [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

リストア プロセスで選択したボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

詳細については、マウント ドライバ ログ ArcMountDriver.log を参照してください。

エラー メッセージ 10396

リストア プロセスでボリュームのマウント解除に失敗しました。(ボリューム [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

リストア プロセスで選択したボリュームのマウント解除に失敗しました。

解決策

詳細については、マウント ドライバ ログ ArcMountDriver.log を参照してください。

エラー メッセージ 10397

ファイル/ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。(ファイル/ディレクトリ [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイル/ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10398

GRTMntBrowser.dll で予期しない例外エラーが発生しました。

現象

予期しない例外エラーが発生しました。

解決策

<UDP_HOME>\Engine\BIN\ の下のダンプ ファイルを確認します。

エラー メッセージ 10399

ファイルのリストアに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイルのリストアに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10400

ファイルからの読み取りに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイルからの読み取りに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10401 ～ 10500

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10401

ファイルへの書き込みに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10402

ファイルを開けませんでした。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10403

ファイルを作成できませんでした。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイルを作成できませんでした。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10404

ファイル/ディレクトリのスパース属性の設定に失敗しました。(ファイル/ディレクトリ [<parameter>]、エラー [<parameter>]) 。

現象

ファイル/ディレクトリのスパース属性の設定に失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10405

これはサポートされていません。データ デデュプリケーション機能がインストールされていないか、デスティネーション ボリュームが空ではありません。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム <parameter>。

現象

リストア ソース ボリュームがデデュプリケートされましたが、デスティネーション システムでデデュプリケーションが有効になっていません。

解決策

デスティネーション システムでデデュプリケーション機能を有効にしてから、再度リストアを試行します。

エラー メッセージ 10406

これはサポートされていません。データ デデュプリケーション機能がインストールされていません。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム

<parameter>。

現象

リストア ソース ボリュームがデデュプリケートされましたが、デスティネーション システムでデデュプリケーションが有効になっていません。

解決策

デスティネーション システムでデデュプリケーション機能を有効にしてから、再度リストアを試行します。

エラー メッセージ 10407

Arcserve UDP は、Server 2012 以降のデデュプリケーションが有効なボリューム <parameter> からバックアップされたデータを、Server 2012 より前のオペレーティング システムを実行しているシステムのターゲット ボリューム <parameter> へのリストアをサポートしません。

現象

システムは、Server 2012 以降のデデュプリケーションが有効なボリュームからバックアップされたデータを、Server 2012 より前のバージョンでオペレーティング システムを実行しているシステムのターゲット ボリュームへのリストアをサポートしません。

解決策

デデュプリケーションが有効になっているソース ボリュームからファイルをリストアするには、リストアのターゲット システムが Windows Server 2012 以降である必要があります。リストアを実行するには、Windows Server 2012 以降でデデュプリケーションが有効なシステムを選択します。

エラー メッセージ 10408

リストア プロセスでボリューム [<parameter>] のマウントに失敗しました。セッション [<parameter>] をロックできなかったためです。このセッションで他のジョブが実行されていないことを確認してください。

現象

セッションは他のジョブにより書き込みがロックされています。マウントできません。

解決策

別のジョブが実行中かどうかを確認します。たとえば、マージ、パージ ジョブなどです。

エラー メッセージ 10411

マージ ジョブは失敗しました。

現象

マージ ジョブは失敗しました。

解決策

ログで詳細を確認し、マージ ジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10419

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、スパース ファイルをサポートしないボリュームにはリストアできません。

現象

デスティネーション ボリュームはスパース ファイルをサポートしません。スパース ファイルをリストアできません。

解決策

デスティネーション ボリュームがスパース ファイルをサポートしているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10420

ディレクトリへのボリュームのマウントに失敗しました。ディレクトリは NTFS ボリュームまたは ReFS ボリュームである必要があります。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

マウント ポイントが NTFS/ReFS ボリューム上にあることを確認します。

エラー メッセージ 10421

選択したドライブ文字は、すでに別のユーザが使用しています。別のドライブ文字を選択します。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

利用可能なドライバ文字を選択します。

エラー メッセージ 10422

32 ビット プロキシはサポートされなくなりました。

現象

これは、現在のプロキシが 32 ビットで、現在サポートされていないことを示しています。

解決策

64 ビット プロキシを設定して切り替えます。

エラー メッセージ 10423

バックアップ先がパージ ジョブで削除中のため、カタログ ジョブが失敗しました。

現象

バックアップ先がパージ ジョブで削除中のため、カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

パージ ジョブを確認します。

エラー メッセージ 10424

カタログの生成に失敗しました。

現象

カタログの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10425

内部エラーのため、カタログ ファイルの生成に失敗しました。バックアップ ログをチェックして、データの整合性が保たれていることを確認してください。(ボリューム=[<parameter>]、バックアップ ジョブ ID=[<parameter>])

現象

内部エラーのため、カタログ ファイルの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10426

ボリューム <parameter> のインデックス ファイルの生成に失敗しました。

現象

ボリュームのインデックス ファイルの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10427

バックアップ先の初期化に失敗しました。(デスティネーション=[<parameter>])

現象

バックアップ先の初期化に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10428

バックアップ先の初期化に失敗しました。(デスティネーション=[<parameter>]、ユーザ名 =[<parameter>]) 。

現象

バックアップ先の初期化に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10429

データに問題があるため、ボリューム <parameter> のカタログ ファイルの生成に失敗しました。この問題を解決するには、chkdsk コマンドの実行後にフル バックアップをサブミットしてください。

現象

データに問題があるため、ボリュームのカタログ ファイルの生成に失敗しました。

解決策

この問題を解決するには、chkdsk コマンドの実行後にフル バックアップをサブミットしてください。

エラー メッセージ 10430

インデックス ファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。現在使用中のメモリは [<parameter>MB] です。この操作には [<parameter>MB] の空きメモリが必要です。

現象

インデックス ファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。

解決策

メモリ サイズを確認してください。

エラー メッセージ 10431

インデックス ファイルの生成に失敗しました。物理メモリが小さすぎます。現在使用中のメモリは [<parameter>MB] です。メモリを少なくとも [<parameter>MB] に増設することを推奨します。

現象

インデックス ファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。

解決策

メモリ サイズを確認してください。

エラー メッセージ 10432

セッションのマージに失敗しました。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10433

セッション <parameter> と <parameter> のマージに失敗しました。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10434

カタログ ファイルをセッション フォルダに移動できませんでした。

現象

カタログ ファイルをセッション フォルダに移動できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10435

ジョブ キューにジョブ スクリプトがないため、カタログ生成のジョブ スクリプトの実行に失敗しました。

現象

ジョブ キューにジョブ スクリプトがないため、カタログ生成のジョブ スクリプトの実行に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10436

ジョブ スクリプトの解析に失敗しました。

現象

ジョブ スクリプトの解析に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10437

失敗したセッションのマージに失敗しました。

現象

失敗したセッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10438

カタログ ジョブ スクリプトを <parameter> に保存できませんでした。(<parameter>)

現象

カタログ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10439

クラスタ マップ情報の更新に失敗しました。

現象

クラスタ マップ情報の更新に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10440

セッション情報の更新に失敗しました。

現象

セッション情報の更新に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10441

仮想ディスクを開けませんでした。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

仮想ディスクを開けませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10442

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>]) 。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10443

仮想ディスクのデータのシークに失敗しました。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

仮想ディスクのデータのシークに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10444

CIFS ノード： [<parameter>] のパージに失敗しました

現象

指定したノードのパージに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10445

ノード データのパージ ジョブがクラッシュしました

現象

これは、クラッシュの問題によりジョブが完了できないことを示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10446

ファイル: [<parameter>] の削除に失敗しました。

現象

特定のエラーのため、指定したファイルの削除に失敗しました。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラー メッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10447

ノード データのパージ ジョブが失敗しました。

現象

これは、ジョブ全体が失敗したことを示しています。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10448

パージに失敗した CIFS ノードの総数 : [<parameter>]

現象

これは、失敗した CIFS ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10449

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、CIFS ノード : [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10450

エージェント ノード : [<parameter>] のパージに失敗しました

現象

指定したノードのパージに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10451

パージに失敗した Office 365 Exchange Online ノードの総数 : [<parameter>]

現象

これは、失敗した Office 365 Exchange Online ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10452

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、Office 365 Exchange Online ノード : [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10453

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、エージェント ノード : [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10454

パージに失敗した SharePoint Online ノードの総数：[<parameter>]

現象

これは、失敗した SharePoint Online ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10455

SharePoint Online ノード：[<parameter>] を削除できません。ノードが現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10456

パージに失敗した Host-Based VM ノードの総数：[<parameter>]

現象

これは、失敗した Host-Based VM ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10457

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、Host-Based VM ノード：[<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10458

CIFS ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラー メッセージ 10459

エージェント ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラー メッセージ 10460

Office 365 Exchange Online ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラー メッセージ 10462

Host-Based VM ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラー メッセージ 10463

Office 365 Exchange ノード： [<parameter>] のページに失敗しました

現象

指定したノードのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10464

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] のデータ ストアからデータをパージできませんでした。

現象

ノードの指定したセッションのパージに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10465

SharePoint Online ノード： [<parameter>] のページに失敗しました。

現象

指定したノードのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10466

Host-Based VM ノード： [<parameter>] のパージに失敗しました。

現象

指定したノードのパージに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10485

Azure コンテナ [<parameter>] の作成に失敗しました。例外が発生しました: [<parameter>]。

現象

VSB ジョブで Azure コンテナの作成に失敗します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンされないことを確認します。後で VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10486

ページ BLOB [<parameter>] の作成に失敗しました。例外が発生しました: [<parameter>]。

現象

VSB ジョブで Azure ページ BLOB の作成に失敗します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンされないことを確認します。後で VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10487

ノード [<parameter>] に接続できませんでした。エラー=[<parameter>]。エラー コード=[<parameter>]。サーバが稼働しており、アクセス可能であることを確認します。

現象

VSB ジョブがソケット経由でプロキシ サーバに接続できません。

解決策

プロキシ サーバが実行されているかどうかを確認します。HATransServer.exe プロセスが実行されているかどうかを確認します。ネットワーク ファイアウォールが正しく設定されていることを確認します。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10488

RPS サーバのデータ ストアに接続できません。

現象

VSB ジョブが RPS データ ストアに接続できません。

解決策

RPS サーバが実行されているかどうかを確認します。データ ストアが存在するかどうかを確認します。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10489

ページ BLOB [<parameter>] が存在しないため、ドライバを挿入できません。

現象

ページ BLOB が存在しないため、VSB ジョブは指定した Azure ページ BLOB にドライバを挿入できません。

解決策

ページ BLOB が誤って削除された可能性があります。新しい VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10490

増分 VHD ファイル [<parameter>] を開けませんでした。エラー コード [<parameter>]。

現象

増分 VHD ファイルを開けませんでした。

解決策

VSB は、インスタント VM プロセスで作成された増分 VHD ファイルを開いてドライバを挿入する必要があります。増分 VHD ファイルが存在するかどうかを確認します。Windows から返されたエラー コードを参照します。新しい VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10491

バックアップ ディスク イメージ [<parameter>] を開けませんでした。エラー コード [<parameter>]。

現象

VSB がバックアップ セッションまたはセッションのバックアップ ディスクを開くことができません。

解決策

RPS サーバおよびデータ ストアが正常な状態で実行されているかどうかを確認します。指定したセッションが誤って削除されていないかどうかを確認します。AR ジョブを実行し、指定したセッションのデータが有効な状態であることを確認します。

エラー メッセージ 10492

バックアップ ディスク イメージからのデータの読み取りに失敗しました。エラー コード [<parameter>]。現在のジョブの終了を開始します。

現象

VSB がセッションからのバックアップ データの読み取りに失敗しました。

解決策

RPS サーバおよびデータ ストアが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。指定したセッションが誤って削除されていないかどうかを確認します。AR ジョブを実行し、指定したセッションのデータが整合性のとれた状態であることを確認します。

エラー メッセージ 10493

ページ BLOB のセッションが現在のセッションと一致しないため、ドライバを挿入できません。

現象

現在の VSB ジョブのセッション GUID は、Azure のページ BLOB のメタデータに保存されているものと一致する必要があります。そうでない場合、データ破損が発生する可能性があります。ページ BLOB が手動または他のツールによって変更された場合、エラーが発生する可能性があります。

解決策

フル バックアップ ジョブをサブミットします。この問題を修正するために、バックアップ ジョブの完了後に新しい VSB ジョブがトリガされます。

エラー メッセージ 10494

VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラー コード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続が確立されているかどうかを確認します。レジストリで VDDK NBD モードを強制してみてください。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10495

[<parameter>] を開けませんでした。エラー コード [<parameter>]。

現象

VSB ジョブが、データストアに保存されている BackupInfo.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。VSB ジョブを再開します。

エラー メッセージ 10496

セッション パスワードの検証に失敗しました。

現象

セッション パスワードが正しくありません。

解決策

UDP コンソールで正しいセッション パスワードを設定します。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10497

変換中に多くのエラーが発生しました。ネットワーク ステータスを確認してください。

現象

複数のネットワークエラーが検出されました。VSB ジョブは再試行を停止し、現在のジョブを終了します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンしないことを確認します。後で VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10498

不明なエラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10499

メモリの割り当てに失敗しました: メモリ不足です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

メモリの割り当てに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10500

パラメータの 1 つが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

パラメータの 1 つが無効です。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10501 ~ 10600

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10501

ファイル <parameter> が見つかりませんでした。新しい仮想マシン復旧ジョブをトリガしてください。

現象

ファイルが見つかりませんでした。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10502

ハンドルが別の関数を実行しているため、この関数は実行できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

関数を実行できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10503

操作がサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ジョブはサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10504

ホストまたはゲスト オペレーティング システム、<parameter> でファイル アクセス エラーが発生しました。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ホストまたはゲスト オペレーティング システムのファイルにアクセスできません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10505

ファイル <parameter> の書き込み中にエラーが発生しました。ディスクがいっぱいです。データは保存されませんでした。データ ストアに十分な容量がありません。この問題を解決するには、ディスクの空き容量を確保します。

現象

データは保存されませんでした。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10506

ファイル <parameter> は書き込み保護されています。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ファイルは書き込み保護されています。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10507

このファイル <parameter> へのアクセス権がありません。プロキシ マシンで SAN が正しく設定されていることを確認します。その後、新しい仮想マシン復旧ジョブを開

始します。

現象

ファイルへのアクセス権が拒否されました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10508

VMFS ファイル システムは、十分に大きなファイルをサポートしていません。ディスク ファイルが 2TB を超えています。

現象

VMFS ファイル システムは、非常に大きなファイルをサポートしません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10509

システムがエラーを返しました。仮想マシンとの通信が中断された可能性があります。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10510

ファイル <parameter> はファイル システムには大きすぎます。VMFS のバージョンでサポートされている最大ファイルサイズを確認します。ディスク ファイルが 2TB を超えています。

現象

ファイルはファイル システムには大きすぎます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10511

リクエストは、存在しないか存在しなかったオブジェクトを参照しています。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

リクエストは、存在しないオブジェクトを参照しています。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10512

ホスト<parameter>に接続できません。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ホストに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10513

この操作は、現在のライセンスではサポートされていません。ライセンスがインストールされていることを確認します。

現象

操作は、現在のライセンスではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10514

仮想マシンのホストと通信できません。切断されているようです。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

仮想マシンのホストと通信できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10515

ハンドルは有効な VIX オブジェクトではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ハンドルは有効な VIX オブジェクトではありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10516

この操作は、この種類のハンドルではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

この操作は、この種類のハンドルではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10517

開いているハンドルが多すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

開いているハンドルが多すぎます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10518

無効なファイル - ファイルの必要なセクションがありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なファイルです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10519

タイムアウト エラーが発生しました。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

VMware VDDK がタイムアウト エラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10520

ホスト <parameter> のオペレーティング システムに対する十分な権限がありません。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

現象

ホストのオペレーティング システムに対する十分な権限がありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10521

仮想マシンは、ユーザ操作待ちでブロックされます。保留中の仮想マシンユーザ操作が VI クライアントにポップアップ表示されることを確認します。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンは、ユーザ操作待ちでブロックされます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10522

このログインの種類では、コマンドは使用できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

このコマンドは使用できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10523

仮想マシンが見つかりません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンが見つかりません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10524

この操作は、この仮想マシンバージョンではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

操作は、この仮想マシンバージョンではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10525

仮想マシンは以前にロードされました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンは以前にロードされました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10526

ディスク セクタサイズのチェックに失敗しました。フル バックアップを実行します。

現象

ディスク セクタ サイズのチェックに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10527

プロトコル エラーです。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK がプロトコル エラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10528

ソケットを作成できません。プロキシとホストがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ソケットを作成できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10529

指定したサーバ <parameter> に接続できません。ESX または vCenter サーバのネットワーク接続およびポート設定が正しく設定されていることを確認します。

現象

サーバに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10530

サーバ <parameter> が接続を拒否しました。ESX または vCenter サーバのネットワーク接続およびポート設定が正しく設定されていることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

サーバに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10531

通信エラーが発生しました。プロキシとホストがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネット

ワークに接続されていることを確認します。

現象

プロキシとホスト間で通信できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10532

接続が切断されました。ESX/vCenter サーバがネットワーク経由で通信できることを確認します。再接続してください。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

接続が切断しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10533

VDDK 書き込みがエラー NBD_ERR_HASHFILE_VOLUME で失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VDDK 書き込みに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10534

VDDK 書き込みがエラー NBD_ERR_HASHFILE_INIT で失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VDDK 書き込みに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10535

指定したパラメータの 1 つが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なパラメータです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10536

ディスク ライブラリが初期化されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスク ライブラリの初期化に失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10537

呼び出された機能は、仮想ディスクが I/O 用に開かれていることが必要です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクが I/O 用に開かれていません。VMware VDDK がエラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10538

呼び出された関数は、部分チェーンでは実行できません。親仮想ディスクを開きます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

部分チェーンで関数を実行できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10539

指定した仮想ディスクは修復が必要です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクを修復する必要があります。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10540

仮想ディスクの範囲外の領域へのアクセスがリクエストされました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクの領域が範囲外です。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10541

親仮想ディスクが子の作成後に変更されました。親ディスクが別の操作で破損していないことを確認します。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10542

指定した仮想ディスクは親ディスクではないため、縮小できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクを圧縮できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10543

このプログラムでサポートされているバージョンです。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10544

この仮想ディスクの親を開けませんでした。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクの親フォルダを開けません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10545

指定した機能は、このバージョンではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

現在のバージョンではこの機能はサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10546

1 つ以上の必要なキーが指定されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

必要なキーがありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10547

暗号化されたディスクの暗号化されていない子は、明示的なリクエストがない限り作成されません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化されたディスクの暗号化されていない子を作成できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10548

暗号化されたディスクではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化されていないディスクです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10549

ディスクを暗号化するキーが指定されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクを暗号化するキーが指定されていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10550

パーティション テーブルが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なパーティション テーブルです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10551

記述子が埋め込まれたスパース エクステントのみ暗号化できます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

記述子が埋め込まれたすべてのエクステントは暗号化されない可能性があります。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10552

暗号化された記述子ファイルではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化された記述子ファイルではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10553

ファイル システムが VMFS ではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ファイル システムが VMFS ではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10555

ホストで開いているファイルの制限を超えました。ディスク ファイルが 2TB を超えています。

現象

ホストで開いているファイルの制限を超えています。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10556

REDO ログのレベルが多すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

REDO ログのレベルが多すぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10557

物理ディスクが小さすぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

物理ディスクが小さすぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10558

ディスク チェーンが無効です。同じチェーンにホスト型と管理対象型ディスクを混在させることはできません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なディスク チェーンです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10559

指定したキーがディスク データ ベースで見つかりません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

指定したキーがディスク データ ベースで見つかりません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10560

1 つ以上の必要なサブシステムの初期化に失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

1 つ以上の必要なサブシステムの初期化に失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10561

無効な接続ハンドル エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効な接続ハンドル エラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10562

ディスク エンコーディング エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスク エンコーディング エラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10563

ディスクが破損していて修復できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクが破損していて修復できません。

解決策

VMware VDDK がエラーを報告します。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10564

指定したファイルは仮想ディスクではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

指定したファイルは仮想ディスクではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10565

ホストにはこの機能のライセンスがありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ホストにはこの機能のライセンスがありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10566

デバイスが存在しません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

デバイスが存在しません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10567

この操作は、この種類のデバイスではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

この操作は、この種類のデバイスではサポートされていません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10568

ホストに接続できません。プロキシと ESX/vCenter サーバがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ホストに接続できません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10569

ファイル <parameter> の名前が長すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ファイル名が長すぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10570

VMDK IO 接続に失敗しました。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

VMDK IO 接続に失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10571

VMDK ファイル <parameter> を開けません。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルを開けません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10572

VMDK ファイル <parameter> を開けません。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。また、ESX(i) サーバへのネットワーク接続の問題が原因で発生する場合もあります。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルを開けません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10573

VMDK ファイル <parameter> から読み取れません。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルから読み取れません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10574

VM 復旧ジョブは D2D バックアップ セッションを読み取ることができませんでした。セッションにアクセスできないか、破損している可能性があります。この問題を解決するには、新しいバックアップ セッションを使用して新しいバックアップ ジョブをサブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VM 復旧ジョブはバックアップ復旧ポイントを読み取ることができませんでした。

解決策

復旧ポイントはアクセスできないか、破損しています。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10575

ソース セッションの読み取り中にエラーが発生しました。詳細については、<parameter>\Logs にある VM 復旧ログを参照してください。さらに、「ユーザ ガイド」の「トラブルシューティング」を参照してください。

現象

ソース復旧ポイントの読み取りエラー

解決策

VM 復旧ジョブはバックアップ復旧ポイントを読み取ることができませんでした。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10576

仮想マシンのゲスト オペレーティング システムでディレクトリ <parameter> を作成できません。VMware VIX がエラーを報告しています: <parameter>。

現象

仮想マシンのゲスト オペレーティング システムでディレクトリを作成できません。

解決策

VMware vSphere SDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10577

仮想マシンのゲスト オペレーティング システムでディレクトリ<parameter>を削除できません。VMware VIX がエラーを報告しています: <parameter>。

現象

仮想マシンのゲスト オペレーティング システムでディレクトリを削除できません。

解決策

VMware vSphere SDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10578

アプリケーションは VMDK <parameter> のすべてのブロックをバックアップします。仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にすると、スナップショットがある場合、VMware は使用済みブロックを取得できないためです。

現象

アプリケーションは VMDK のすべてのブロックをバックアップします。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 10579

仮想マシンの VMDK ファイルを開くことができません。VMDK ファイルが Storage vMotion を使用してマイグレート中か、メンテナンス タスクが進行中の可能性があります。仮想マシンのバックアップは、現在の処理が完了するまで続行できません。

現象

仮想マシンの VMDK ファイルにアクセスできません。

解決策

仮想マシンがマイグレーションされている場合、マイグレーション後にジョブを再試行します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10580

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングがリセットされた場合、VMware はフル バックアップに使用されたデータ ブロックを取得できません。

現象

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングがリセットされた場合、VMware はフル バックアップに使用されたデータ ブロックを取得できません。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 10581

VMware は、ESX サーバ 4.1 以降で実行されるダイナミック ディスクを備えた Windows 2008 以降の仮想マシンのアプリケーション レベルの静止 (quiescing) をサポートしません。

現象

VMware は、ESX サーバ 4.1 以降で実行されるダイナミック ディスクを備えた Windows 2008 以降の仮想マシンのアプリケーション レベルの静止 (quiescing) をサポートしません。%0

解決策

このエラーは、VMware の制限です。VM 内のダイナミック ディスクを削除します。

エラー メッセージ 10582

ESX サーバ <parameter> はメンテナンス モードです。メンテナンスの完了後にバックアップを再試行してください。

現象

ESX ホストがメンテナンス モードのときは、バックアップを実行できません。

解決策

メンテナンスの完了後にバックアップを再試行します。

エラー メッセージ 10583

ユーザ定義の転送モード <parameter> は使用できません。バックアップ ジョブは、利用可能な最適な転送モードを使用します。

現象

指定した転送モードは使用できず、Arcserve UDP は自動的に別の転送モードを選択します。

解決策

解決策はありません。

エラー メッセージ 10584

この時点では仮想マシンのスナップショットを削除できません。次回のバックアップ ジョブの実行時に削除されます。

現象

バックアップ用に Arcserve UDP によって作成されたスナップショットを削除できません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 10585

VMDK IO クリーンアップ操作が失敗しました。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

現象

VMDK IO クリーンアップジョブが失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10586

不明なエラーが発生しました。VDDK デバッグ ログ ファイル: <parameter> を参照してください。

現象

不明なエラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10587

ボリューム [<parameter>] をマウント解除できませんでした。エラー メッセージは [<parameter>] です。

現象

IVHD 方式のアシュアード リカバリは、ダミー仮想ディスク ファイルのマウント解除に失敗しました。

解決策

アシュアード リカバリ プロセスは、上記の期間中にデータの読み取りに失敗した可能性があります。データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。残りのファイルは、後で UDP エージェント サービスによって自動的に削除されます。

エラー メッセージ 10588

ボリューム [<parameter>] のマウント ポイントを設定できませんでした。エラー メッセージは [<parameter>] です。

現象

アシュアード リカバリ ジョブのマウント ポイントを設定できません。

解決策

エラー メッセージの指示に従ってください。

エラー メッセージ 10589

ノード [<parameter>] の認証情報が指定されていません。コンソールでノードを更新して、このノードの認証情報を入力してください。

現象

ノードに無効な認証情報が入力されました。

解決策

VMware の仮想マシンでは、カスタム スクリプトを実行するために仮想マシンにログオンするためのユーザ認証情報が取得されることになっています。ノードを更新して、有効な認証情報を指定します。

エラー メッセージ 10590

仮想マシン [<parameter>] のユーザ認証情報の検証に失敗しました。コンソールのノード [<parameter>] を更新して正しいユーザ認証情報を指定してください。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

仮想マシンのユーザ認証情報の検証に失敗しました。

解決策

VMware の仮想マシンでは、カスタム スクリプトを実行するために仮想マシンにログオンするためのユーザ認証情報が取得されることになっています。ノードを更新して、有効な認証情報を指定します。

エラー メッセージ 10591

ボリューム [<parameter>] ファイル システムの検証に失敗しました。元のボリューム ファイル システムは [<parameter>] で、現在のボリューム ファイル システムは [<parameter>] です。

現象

オペレーティング システムがマウントされたボリュームを認識できませんでした。

解決策

以下の操作を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フル セッション バックアップを実行します。

エラー メッセージ 10592

ボリューム [<parameter>] のサイズの検証に失敗しました。元のボリューム サイズは [<parameter>] で、現在のボリューム サイズは [<parameter>]、エラー メッセージは [<parameter>] です。

現象

マウントされたボリューム サイズが、バックアップ ボリューム情報に基づいて予期された値ではありません。

解決策

Adrconfigure.xml で対応するボリューム サイズとマウントされたボリューム サイズを確認します。

エラー メッセージ 10601 ~ 10700

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10617

NFS 共有フォルダ [<parameter>] を別の既存の NFS 共有フォルダに含めることはできません。

現象

選択したフォルダを NFS 共有フォルダとして設定できませんでした。

解決策

Windows での NFS 実装には制限があります。共有 NFS フォルダとして設定されているフォルダがある場合。その子フォルダまたは親フォルダは、共有 NFS フォルダとして設定できなくなりました。別のフォルダを選択して再試行します。

エラー メッセージ 10618

フォルダ [<parameter>] の NFS 共有が有効になります。別の既存の NFS 共有フォルダ [<parameter>] の一部とすることや、含めることはできません。別のフォルダを選択して再試行します。

現象

選択したフォルダを NFS 共有フォルダとして設定できませんでした。

解決策

Windows での NFS 実装には制限があります。共有 NFS フォルダとして設定されているフォルダがある場合。その子フォルダまたは親フォルダは、共有 NFS フォルダとして設定できなくなりました。別のフォルダを選択して再試行します。

エラー メッセージ 10619

クラスタ グループ <parameter> (仮想マシン <parameter>) の作成に失敗しました。

現象

クラスタ グループを作成できません。

解決策

Microsoft Failover Cluster のステータスおよびクラスタの所有者を確認します。詳細については、ログ ファイルを確認してください。

エラー メッセージ 10620

クラスタ [<parameter>] には、仮想マシンを起動する適切な ESX/ESXi ホストが含まれていません。

現象

すべての ESX/ESXi ホストが仮想マシンを起動する権限がありません。

解決策

クラスタ下の ESX/ESXi ホストのステータスを確認します。少なくとも 1 つのホストが実行ステータスである必要があります。

エラー メッセージ 10621

以前のジョブがクラッシュしました。仮想マシン [<parameter>] を削除してみてください。

現象

以前のジョブがクラッシュしました。

解決策

メッセージに示されているように、以前の仮想マシンは削除されます。このメッセージは、単なるメッセージ情報です。

エラー メッセージ 10622

復旧サーバは、64 ビットの Windows サーバ オペレーティング システム(Windows Server 2008 R2 以降) である必要があります。現在の復旧サーバ [<parameter>] は、<parameter> ビットの <parameter> です。

現象

必要な復旧サーバは、少なくとも Windows Server 2008 R2 以降の 64 ビット Windows で実行する必要があります。

解決策

メッセージに従って、復旧サーバとして適切なサーバを使用します。

エラー メッセージ 10623

ボリューム [<parameter>] ファイル システムが <parameter> です。スパース ファイルを作成するには、NTFS または ReFS ボリュームのフォルダを選択する必要がありま

す。

現象

メッセージに示されているように、ファイル システムはスパース ファイルをサポートしません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームのフォルダを選択して、再試行してください。

エラー メッセージ 10624

ボリューム [<parameter>] ファイル システムが <parameter> です。そのため、4GB 以上のファイルの作成はサポートされていません。

現象

4GB 以上のファイルは作成できません。

解決策

メッセージに示されているように、ファイル システムが FAT32 で、最新ファイルが 4 GB 以下である可能性があります。別のより大きいボリュームを選択して再試行します。

エラー メッセージ 10625

ボリューム [<parameter>] ファイル システムが <parameter> です。そのため、NFS 共有フォルダの作成はサポートされていません。NTFS ボリュームに NFS 共有フォルダを作成する必要があります。

現象

現在のボリュームでは、NFS 共有フォルダの作成はサポートされていません。NTFS ボリュームに NFS 共有フォルダを作成する必要があります。

解決策

NTFS ボリューム フォーマットを使用してデスティネーション フォルダを作成してください。

エラー メッセージ 10626

ボリューム [<parameter>] ファイル システムが不明です。ボリュームがフロッピー ディスクかどうかを確認してください。

現象

ボリューム ファイル システムが不明です。

解決策

ボリュームがフロッピー ディスクかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10627

仮想マシン <parameter> のハートビートが <parameter> 秒間検出されません。仮想マシン統合ツールが正しくインストールされていることを確認してください。

現象

指定した秒数の間、仮想マシンのハートビートは検出されません。

解決策

仮想マシン統合ツールが正しくインストールされていることを確認します。

エラー メッセージ 10628

ボリューム [<parameter>] のファイル システムのチェックに失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

実行前チェック中に不明なファイル システムが使用されていました。

解決策

別のボリュームの別のフォルダを使用します。

エラー メッセージ 10629

ホスト <parameter> の管理者アカウントの取得に失敗しました。

現象

ホストの管理者アカウントの取得に失敗しました。

解決策

エラー メッセージを参照します。

エラー メッセージ 10630

クラスタ グループ <parameter> をオンラインにできませんでした。

現象

クラスタのクラスタ グループをオンラインにできません。

解決策

現在のクラスタの所有者が、選択したプロキシ サーバから別のクラスタ ノードに変更されていないことを確認します。

エラー メッセージ 10631

クラスタ グループ <parameter> (仮想マシン <parameter>) をオフラインにできませんでした。

現象

クラスタのクラスタ グループをオフラインにできません。

解決策

現在のクラスタの所有者が、選択したプロキシ サーバから別のクラスタ ノードに変更されていないことを確認します。

エラー メッセージ 10632

仮想マシン: <parameter> のカスタム スクリプトの実行ステータスの更新に失敗しました。

現象

カスタム スクリプトの結果を参照できません。

解決策

仮想マシンが実行されているかどうかを確認してから、インスタント仮想マシンを起動してスクリプトを実行し、結果を参照します。

エラー メッセージ 10633

仮想マシン: <parameter> のハートビート ステータスの更新に失敗しました。

現象

仮想マシンのハートビート ステータスを取得できません。

解決策

仮想マシンが正常に起動し、統合サービスがインストールされていることを確認します。

エラー メッセージ 10634

ネットワーク経由のデータ転送でデータの不整合が検出されました。

現象

これは、RPS へのネットワークの信頼性が低いことを示します。

解決策

ネットワーク内の障害のあるハードウェアを修正するか、別の信頼性の高いネットワークに切り替えます。

エラー メッセージ 10635

デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) と通信できませんでした。ネットワーク エラー = [<parameter>]。

現象

サーバのデデュプリケーションと通信できませんでした。

解決策

このネットワーク エラーはネットワーク障害を示しており、ジョブは RPS に接続できませんでした。エラー メッセージに従ってネットワークの問題を確認および修正します。まだ実行状態ではない場合は、RPS の関連データストアを再起動します。

エラー メッセージ 10636

別のジョブとの競合が原因で、このジョブが許可されていません。

現象

競合ジョブが実行中のため、現在のジョブを起動できません。

解決策

競合ジョブの終了後に再試行してください。

エラー メッセージ 10637

このデータストア設定は無効です。

現象

これは、無効なデータストア設定を示しています。

解決策

新しい設定を生成するには、データストアを再度インポートします。

エラー メッセージ 10638

ディスクがいっぱいです。

現象

これは、いずれかのデータストア パスを保持するディスクがいっぱいであることを示しています。

解決策

ディスク全体をクリーンアップして、データ ストアに空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10639

データを圧縮できませんでした

現象

デデュプリケーション データ ストアは、データの圧縮に失敗しました。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10640

ZIP ライブラリのロードに失敗しました

現象

デデュプリケーション データ ストアは、圧縮ライブラリのロードに失敗しました。

解決策

ライブラリ ファイルを修復するには、製品をアップグレードするか、再インストールします。

エラー メッセージ 10641

メモリが足りません。

現象

デデュプリケーション データ ストアへのバックアップ時にメモリが不足しました。

解決策

物理メモリをクリーンアップし、ジョブに十分なメモリリソースを確保します。

エラー メッセージ 10642

無効なパラメータです。

現象

これは、内部の無効なパラメータによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10643

リクエストされた操作は無効です。

現象

これは、内部の無効なリクエストによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10644

ファイルのロックに失敗しました。ファイルは現在使用中の可能性があります。

現象

これは、マージ ジョブがデデュプリケーション データストア内の特定のファイルのロックの作成に失敗したことを示しています。

解決策

実行中のジョブがほかにないかどうかを確認し、終了後に再試行します。

エラー メッセージ 10645

このバージョンのエージェントはサポートされていません。

現象

これは、エージェントのバージョンが RPS のバージョンと互換性がないことを示しています。

解決策

バックアップ エージェントまたはプロキシのバージョンを確認し、RPS のバージョンと一致していることを確認します。

エラー メッセージ 10646

このファイルの操作(作成、クローズ、読み取り、書き込み) が失敗しました。

現象

デデュプリケーション データ ストア内の特定のファイルを操作しているときに、ファイル システムによって報告されたエラーです。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

問題のあるファイルの詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストアのログを確認してください。ファイルをチェックして正常な状態であるかどうかを確認し、ネットワークがリモート共有場所にあるかどうかを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10647

ハッシュ データベースでの操作 (検索、挿入) に失敗しました。

現象

これは、デデュプリケーション データ ストアのハッシュの役割が一部の操作を処理できないことを示しています。

解決策

詳細については、デデュプリケーション データ ストア ハッシュ役割ログを参照してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10648

デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) でエラーが発生しました。エラー メッセージ = [<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データ ストアから報告されたエラーです。

解決策

詳細については、特定のエラー メッセージ、およびデデュプリケーション データ ログを参照してください。

ログの場所 : 復旧ポイント サーバの「\Engine\Logs」ディレクトリ。

ファイル名の形式 :

- GDDServer-<Data Store Name>-DataRole.log
- GDDServer-<Data Store Name>-HashRole.log
- GDDServer-<Data Store Name>-IndexRole.log

注 : さらに詳しいテクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10649

システム コールに失敗しました

現象

エラーがデデュプリケーション データ ストアのシステムから報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10650

システム コールがエラーを返しました。

現象

エラーがデデュプリケーション データ ストアのシステムから報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10651

ファイルにアクセスできません。

現象

デデュプリケーション データ ストアは、特定のファイルへのアクセスに失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10652

このサーバから予期しないデータ サイズが検出されました。

現象

デデュプリケーション データ ストアは一部の内部データ構造でサイズの不一致を検出しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10653

予期しないエラーです。

現象

デデュプリケーション データ ストアで、いくつかの予期しないエラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10654

不明な内部エラーが発生しました。

現象

デデュプリケーション データストアで内部エラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10655

デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) と通信できませんでした。

現象

これはネットワーク障害を示しており、ジョブは RPS に接続できませんでした。

解決策

ネットワークの問題を確認して修正します。RPS の関連するデータ ストアが実行中状態ではない場合は、再起動します。

エラー メッセージ 10656

予期しないエラー [<parameter>] です。デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) 。

現象

デデュプリケーション データ ストアで、いくつかの予期しないエラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10657

非同期送信方式で内部エラーが発生しました。

現象

非同期送信方式で内部エラーが発生しました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10658

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答が得られませんでした。

現象

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答を受信できませんでした。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します。

エラー メッセージ 10659

設定ファイルのフォーマットが正しくありません。

現象

設定ファイルのフォーマットが正しくありません。

解決策

通信設定を確認します。

エラー メッセージ 10660

接続を確立せずにサーバへの接続試行がタイムアウトになりました。

現象

接続を確立せずにサーバへの接続試行がタイムアウトになりました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10661

クライアント コンテキストまたはサーバ コンテキストが正しくありません。

現象

クライアント コンテキストまたはサーバ コンテキストが正しくありません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10662

無効なファイル コマンドが検出されました。

現象

無効なファイル コマンドです。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10663

ファイル インターフェースをロードできません。

現象

ファイル インターフェースをロードできません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10664

ターゲット ファイルのサイズがソース ファイルのサイズよりも大きいです。

現象

ターゲット ファイルのサイズがソース ファイルのサイズよりも大きいです。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10666

GDD 設定ファイルのサイズが大きすぎます。制限は 4MB です。

現象

データストア設定ファイル エラーです。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10667

既存の接続がリモート ホストによって強制的に閉じられました。

現象

既存の接続がリモート ホストによって強制的に閉じられました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10668

システムは必要なメモリを割り当てることができません。

現象

システムは必要なメモリを割り当てることができません。

解決策

使用可能なシステム メモリを確認します。

エラー メッセージ 10669

受信したパケットの順序が正しくありません。

現象

受信したパケットの順序が正しくありません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10670

プロキシ サーバでは、認証にユーザ認証情報が必要です。

現象

プロキシ認証が必要です。

解決策

プロキシ設定を確認します。

エラー メッセージ 10671

プロキシ サーバへの接続に失敗しました。プロキシ設定が正しく、デスティネーション サーバに接続できることを確認してください。

現象

プロキシ サーバへの接続に失敗しました。

解決策

プロキシ設定が正しく、デスティネーション サーバに接続できることを確認します。

エラー メッセージ 10672

サーバが停止しているか、使用できません。

現象

サーバが停止しているか、使用できません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10674

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答が得られませんでした。

現象

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答を受信できませんでした。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10679

接続が切断されました。

現象

ネットワーク接続が切断されています。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10680

リモート サーバへの接続が閉じられました。

現象

接続ハンドシェイク エラーです。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10682

既存の接続がリモート ホストによって強制的に閉じられました。

現象

接続がリセットされました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10683

データの送受信リクエストは、ソケットが前のシャットダウン コールでその方向にすでにシャットダウンされていたため許可されませんでした。

現象

接続がシャットダウンされました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10685

接続ハンドシェイク エラーが発生しました。

現象

SSL 接続に失敗しました。

解決策

SSL 接続を確認します。

エラー メッセージ 10689

ソケット操作でネットワークの停止が検出されました。

現象

サーバ接続がダウンしています。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10690

システムに十分なバッファ容量がないか、キューがいっぱいだったため、ソケットの操作を実行できませんでした。

現象

メモリが足りません。

解決策

使用可能なシステム メモリを確認します。

エラー メッセージ 10694

接続先が一定時間応答しないため、接続に失敗しました。

現象

ネットワーク接続がタイムアウトになりました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10695

接続タイムアウトです。

現象

ネットワーク接続がタイムアウトになりました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10699

設定ファイルへのアクセスが拒否されたため、データ ストアを起動できませんでした。数分後に試してください。

現象

データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

バックアップ先フォルダのアクセス ステータスを確認します。

エラー メッセージ 10700

ソース ハッシュ パス <parameter> からデスティネーション ハッシュ パス <parameter> へのハッシュ ファイルのコピーに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

ハッシュ フォルダの変更時に、新しい場所へのハッシュ データベースのコピーに失敗しました。

解決策

古い/新しいハッシュ フォルダがアクセス ステータスになっているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10701 ～ 10800

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10701

デスティネーション ハッシュ パス: <parameter> に十分な空き容量がありません。

現象

容量が不足しているため、新しい場所へのハッシュ データベースのコピーに失敗しました。

解決策

新しいハッシュ フォルダから空き容量を確保します。

エラー メッセージ 10702

データ ストア「<parameter>」をロックできませんでした。データ ストアへのネット ワーク接続を確認します。

現象

データ ストア ロッカーが見つからないため、データ ストアの起動またはインポートに失敗しました。

解決策

バックアップ デスティネーション フォルダのアクセス ステータスを確認し、データ ストア マネージャ サービスを再起動します。

エラー メッセージ 10703

データ ストア「<parameter>」をロックできませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。データ ストアは自動的に停止します。

現象

データ ストアの所有権がデータ ストアに属していないため、起動できませんでした。

解決策

データ ストアは別の RPS によって取得されます。データ ストアをインポートし、再度変更してみてください。

エラー メッセージ 10704

データ ストア「<parameter>」を更新できませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。

現象

所有権が無効なため、データ ストアの変更に失敗しました。

解決策

データ ストアは別の RPS によって取得されます。データ ストアをインポートし、再度変更してみてください。

エラー メッセージ 10705

デスティネーション パスが別のデータ ストアに引き継がれているため、データ ストア「<parameter>」の起動に失敗しました。

現象

フォルダが他の RPS によって使用されているため、データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

データ ストアをインポートして再起動してみてください。

エラー メッセージ 10706

現在のサーバの物理メモリが十分ではないため、デデュプリケーション データ ストア「<parameter>」の起動に失敗しました。データ ストアを起動するには、少なくとも <parameter> MB の空き物理メモリ容量が必要です。

現象

メモリ不足のため、データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

メモリが使用する物理メモリ、または空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10707

データ ストア「<parameter>」を起動できませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。

現象

コンポーネントが別の RPS によって取得されているため、データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

データ ストアをインポートして再起動してみてください。

エラー メッセージ 10708

無効な Windows ユーザ名または無効なパスワードが入力されたため、データ ストア「<parameter>」の起動に失敗しました。ノードを更新し、手動で再試行します。

現象

Windows 認証情報が無効なため、データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

新しい正しい Windows 認証情報で RPS ノードを更新します。

エラー メッセージ 10709

無効な Windows ユーザ名または無効なパスワードが入力されたため、データ ストアの起動に失敗しました。ノードを更新し、手動で再試行します。

現象

Windows 認証情報が無効なため、データ ストアの起動に失敗しました。

解決策

新しい正しい Windows 認証情報で RPS ノードを更新します。

エラー メッセージ 10710

バックアップ デスティネーション フォルダから有効な設定情報が取得できなかったため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

無効な設定のデータ ストアをインポートできませんでした。

解決策

データ ストア バックアップ フォルダが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10711

データストアがサーバ: 「<parameter>」によってロックされているため、インポートに失敗しました。

現象

ロッカーが別の RPS によって取得されているため、データ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

ヒント RPS 名からデータ ストアを削除し、現在の RPS にデータ ストアをインポートしてみてください。

エラー メッセージ 10712

パスにアクセスできないため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

無効なパスのデータ ストアをインポートできませんでした。

解決策

データ ストア バックアップ フォルダが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10713

指定したパスはすでに別のデータ ストアによって使用されているため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

フォルダが別の RPS によって取得されているため、データ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

ヒント RPS 名からデータ ストアを削除し、現在の RPS にデータ ストアをインポートしてみてください。

エラー メッセージ 10714

無効なデータ ストア パスワードが指定されたため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

パスワードが無効なため、暗号化されたデータ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

データストアの正しいパスワードを入力し、インポートを再試行してください。

エラー メッセージ 10715

データ ストアがロックできなかったため、データ ストアのインポートに失敗しました。ロックファイル「DSExc.lck」(デスティネーションパスにある) がアクセス可能であることを確認します。

現象

ロッカーが無効なため、データ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

ロックファイル「DSExc.lck」がアクセス可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10716

割り当てられた物理メモリが実際のメモリよりも大きいため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

割り当てられた物理メモリが実際のメモリよりも大きいため、データ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

実際の物理メモリを確認し、有効なメモリを入力してください。

エラー メッセージ 10717

割り当てられた物理メモリ容量が不足しているため、データ ストアのインポートに失敗しました。

現象

必要な物理メモリが不足しているため、データ ストアのインポートに失敗しました。

解決策

別のアプリケーションが使用しているメモリを解放するか、物理メモリを増やします。

エラー メッセージ 10718

無効なデータ ストア パスが指定されたため、データ ストアのインポートに失敗しました。データ ストア パスを確認し、再試行します。

現象

無効なパスのデータ ストアをインポートできませんでした。

解決策

データ ストア バックアップ フォルダが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10719

デスティネーション フォルダとハッシュ/データ/インデックス役割のパス間のデータの整合性が一致しないため、データ ストアのインポートに失敗しました。パスが対応するフォルダを指していることを確認します。

現象

無効なデータ ストア パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データ ストア フォルダとハッシュ/データ/インデックス役割のパスを確認します。

エラー メッセージ 10720

無効なデータ役割パスが指定されたため、データ ストアのインポートに失敗しました。データ ストア パスを確認し、再試行します。

現象

無効なデータ役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データ役割フォルダを確認します。

エラー メッセージ 10721

無効なハッシュ役割パスが指定されたため、データ ストアのインポートに失敗しました。データ ストア パスを確認し、再試行します。

現象

無効なハッシュ役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

ハッシュ役割フォルダを確認します。

エラー メッセージ 10722

無効なインデックス役割パスが指定されたため、データ ストアのインポートに失敗しました。データ ストア パスを確認し、再試行します。

現象

無効なインデックス役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

インデックス役割フォルダを確認します。

エラー メッセージ 10723

データ ストア管理サービスが復旧ポイント サーバ「<parameter>」で開始できません。

現象

データ ストア管理サービスを開始できませんでした。

解決策

Windows イベントを確認し、詳細を確認します。

エラー メッセージ 10724

データ ストア管理サービスが復旧ポイント サーバ「<parameter>」で停止できません。

現象

データ ストア管理サービスを停止できませんでした。

解決策

Windows イベントを確認し、詳細を確認します。

エラー メッセージ 10725

新しいデデュプリケーション データ ストア「<parameter>」の作成に失敗しました。デデュプリケーション データ ストアの最大数 (<parameter>) に達しています。

現象

データ ストアの最大数にすでに達しているため、新しいデデュプリケーション データ ストアを作成できませんでした。

解決策

デデュプリケーション データ ストアの最大数に達した場合、新しいデータ ストアを作成することはできません。

エラー メッセージ 10726

データ ストア パスが無効なため、データ ストア「<parameter>」の起動に失敗しました。検証ファイルが存在すること、およびバックアップ デスティネーション フォルダまたはデデュプリケーション フォルダのいずれかに変更がないことを確認します。

現象

一部のコンポーネントが見つからないため、データ ストアを起動できませんでした。

解決策

データ ストア フォルダの検証ファイルを確認します。

エラー メッセージ 10727

データ ストア パスが無効なため、データ ストアの起動に失敗しました。検証ファイルが存在すること、およびバックアップ デスティネーション フォルダまたはデデュプリケーション フォルダのいずれかに変更がないことを確認します。

現象

一部のコンポーネントが見つからないか、情報が一致しないため、データ ストアを起動できませんでした。

解決策

データ ストア フォルダの検証ファイルと設定ファイルを確認します。

エラー メッセージ 10728

<parameter> (「<parameter>」) : データ ストアは利用できません。

現象

デデュプリケーション データ ストアは異常な状態で動作しており、サービスを提供できませんでした。

解決策

デデュプリケーション データ ストア ステータスおよびログを確認し、この異常状態の原因を特定します。問題を解消し、データ ストアを再起動します。

エラー メッセージ 10729

<parameter> (「<parameter>」) : データ ストアで問題が発生しています。その結果、リストア ジョブのみが許可されます。

現象

デデュプリケーション データ ストアは異常な状態で動作しており、リストア ジョブのみが許可されました。

解決策

デデュプリケーション データ ストア ステータスおよびハッシュ役割ログを確認し、この異常状態の原因を特定します。問題を解消し、データ ストアを再起動します。

エラー メッセージ 10730

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> にアクセスできません。

現象

デデュプリケーション データストアの 1 つ以上のパスにアクセスできませんでした。

解決策

パスが使用可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10731

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> を作成できませんでした。エラー= [<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データ ストアは、指定したフォルダの作成に失敗しました。

解決策

指定したフォルダと親フォルダを確認し、表示されたエラー メッセージに従って障害の原因を調べます。

エラー メッセージ 10732

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> にアクセスできません。

現象

デデュプリケーション データ ストアは、指定したファイルへのアクセスに失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10733

"<parameter>" の <parameter>: 役割はすでに実行されているため再度開始することはできません。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は別のインスタンスの実行中に起動されています。

解決策

実行中の指定された役割のプロセスが存在するかどうかを確認します。データ ストア全体が正常に動作している場合は、このメッセージを無視してください。そうでない場合は、データ ストアを再起動して、正常に機能するようにします。

エラー メッセージ 10734

<parameter> (「<parameter>」) : 初期化に失敗しました。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、初期化に失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10735

<parameter> (「<parameter>」) : 予期しないエラー [<parameter>] です。

現象

内部エラーのため、デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10736

<parameter> (「<parameter>」) : 通信ライブラリの初期化に失敗しました。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、通信ライブラリの初期化に失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストア ログを確認してください。ライブラリ ファイルを修復するには、製品をアップグレードするか、再インストールします。

エラー メッセージ 10737

<parameter> (「<parameter>」) : メモリ不足です。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、メモリの割り当てに失敗しました。

解決策

物理メモリをクリーン アップし、役割に十分なメモリ リソースを確保します。

エラー メッセージ 10738

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> を開けませんでした。エラー= [<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、指定したファイルを開けませんでした。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラー メッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10739

<parameter> (「<parameter>」) : このファイルの操作 (作成、クローズ、読み取り、書き込み) が失敗しました。

現象

指定したファイルに対してデデュプリケーション データ ストアの指定された役割が動作している場合、ファイル システムによってエラーが報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。ファイルがリモート共有の場所にある場合は、ネットワークを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10740

無効なノード タイプです。クライアント エージェントは、ジョブを続行できません。

現象

ノード タイプを識別できません。ジョブが終了しました。

解決策

ノード タイプはクライアント エージェントでサポートされていません。ノード タイプが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10741

ドライブを開けません。(ドライブ=<parameter>、エラー=<parameter>)

現象

ドライブを開けません。ジョブが失敗しました。

解決策

セッションを開くことができ、ドライブがセッションに存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10742

ソース ボリュームが空です。

現象

カタログの生成中に、ソース ボリュームのファイルまたはフォルダが見つかりません。

解決策

ログ メッセージは無 視してください。

エラー メッセージ 10743

$FILE_NAME 属 性 が見 つかりませんでした。

現 象

ファイルまたはフォルダのファイル名 属 性 が見 つかりません。カタログ ジョブが失 敗 する可 能 性 があります。

解 決 策

セッションが整 合 性 のとれたバックアップで、バックアップ ソースのファイルシステムに整 合 性 があることを確 認します。

エラー メッセージ 10744

データ ブロックを読 み取 るためのメモリを割 り当 てに失 敗しました。IndexAlloc エラーが発 生しました。

現 象

メモリを割 り当 てられません。ジョブが失 敗しました。

解 決 策

メモリを確 認します。メモリを増 やすか、空 き容 量 を増 やします。

エラー メッセージ 10745

インデックス ブロックを正 しいボリューム ブロックにマップできませんでした。IndexAlloc エラーが発 生しました。VCN が見 つかりません。(VCN=[virtual cluster number]) 。

現 象

インデックス ブロックを正 しいボリューム ブロックにマップできませんでした。VCN が見 つかりません。カタログ ジョブが失 敗しました。

解 決 策

セッションでバックアップされたファイル システムに整 合 性 がない可 能 性 があります。バックアップで使 用 されるスナップショット の整 合 性 を確 認します。検 出 するソース ボリュームに対 して chkdsk を実 行します。

エラー メッセージ 10746

インデックスの割 り当 てヘッダ シグネチャが無 効 です。

現 象

インデックスの割り当てヘッダ シグネチャが無効です。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10747

SetFilePointer (オフセット=[<parameter>, <parameter>]、ファイル=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

オフセットをシークできません。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

chkdsk を実行して、ソース ボリュームの不良セクタを検出します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10748

マスタ ファイル テーブル(MFT) でファイル レコード セグメントが見つかりませんでした。

現象

マスタ ファイル テーブルでファイル レコード セグメントが見つかりませんでした。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10749

属性リストからファイル レコード セグメントのセキュリティ属性が見つかりませんでした。

現象

属性リストからファイル レコード セグメントのセキュリティ属性が見つかりませんでした。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10750

ファイルの移動に失敗しました。(ソース=[<parameter>]、ターゲット = [<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

ファイルの移動に失敗しました。リストア ジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。

解決策

次回の再起動後にファイルを移動中、API からエラーが報告されました。再起動後にファイルが正しくリストアされたかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10751

圧縮レベルを設定するディレクトリを開けませんでした。(ディレクトリ= [<parameter>]、EC=[<parameter>]) 。

現象

リストア ジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。圧縮ファイルが圧縮されていない状態でリストアされました。

解決策

Windows エラー レポートのメッセージに示されている解決策に従います。

エラー メッセージ 10752

ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。(ディレクトリ=[<parameter>]、EC=[<parameter>]) 。

現象

ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。リストア ジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。圧縮ファイルが圧縮されていない状態でリストアされました。

解決策

Windows エラー レポートのメッセージに示されている解決策に従います。

エラー メッセージ 10753

認識されないファイル システムです。(ファイル システム=[<parameter>])

現象

Arcserve UDP によって破棄されます。

解決策

Arcserve UDP によって破棄されます。

エラー メッセージ 10754

DeCompressBuffer エラー。(EC=[<parameter>]、ファイル=[<parameter>]) 。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10755

ドライブのパーティションの種類が無効です。(ドライブ=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP は NTFS ボリュームのみをサポートします。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10756

ドライブのパーティションの種類が無効です。(ドライブ=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP は NTFS ボリュームのみをサポートします。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10757

ドライブからの読み取りに失敗しました。(ドライブ=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10758

ファイルの GetVHDSector に失敗しました。(ファイル=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10759

イメージ メタ データ ファイルへの書き込みに失敗しました。(EC=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10760

ディレクトリ構造ファイルを書き込めません。(EC=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10761

クラスタ マッピング ファイルへの書き込みに失敗しました。(EC=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10762

ファイル断片のリストア エラー。(EC=[<parameter>]、ファイル=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10763

ローカル ディスク <parameter> にリストアの空き容量が不足しています。空きディスク容量 =<parameter> MB、総ディスク容量 =<parameter> MB。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10764

属性リストからファイル レコード セグメントのリパース ポイントが見つかりませんでした。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10765

暗号化ファイルのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>]) 。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10766

リパース ポイントのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>]) 。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10767

オブジェクト ID のリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>]) 。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10768

ファイル レコード セグメントのログに記録されたユーティリティ ストリームが見つかりませんでした。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイル システムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10769

RAID ボリュームのファイル レベルのリストアが実行できません。このボリュームでは、RAW モード バックアップのみが可能です。(ボリューム=[<parameter>])

現象

指定したボリュームのカタログはスキップされます。

解決策

仕様による動作です。エラーを無視します。

エラー メッセージ 10770

vmdkimgdll.dll で予期しない例外エラーが発生しました。

現象

ジョブが失敗する可能性があります。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームで、拡張子が .dmp のファイルがあるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10771

バックアップ ボリュームをフリーズできません。ドライブに十分な空き容量がないため、またはディスク非アクティビティ期間のタイムアウト エラーが発生したため、プレビュー ファイルを作成できません。

現象

ジョブが失敗する可能性があります。

解決策

報告されたエラーコードを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10772

ドライブ [<parameter>] が存在しません。

現象

リストアのターゲット ボリュームが存在しません。リストア ジョブに失敗しました。

解決策

ボリュームが存在し、書き込み可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10774

クラスタ マッピング ファイルへの書き込みに失敗しました。ボリュームに十分な空き容量がありません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10775

仮想マシン <parameter> のディスクをセクタあたり 4 KB バイトのディスク ジオメトリに調整できませんでした。

現象

ディスク ジオメトリを調整できません。

解決策

エラー メッセージを参照し、ファイルがアクセス可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10776

スクリプト [<parameter>] を仮想マシン [<parameter>] 内で実行するプロセスを開始できませんでした。仮想マシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

現象

仮想マシン内でスクリプトを実行するプロセスを開始できませんでした。

解決策

仮想マシンが実行されているかどうかを確認してから、インスタント仮想マシンを起動してスクリプトを実行し、結果を参照します。

エラー メッセージ 10777

スクリプト [<parameter>] をマシン [<parameter>] 内で実行するプロセスを開始できませんでした。そのマシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

現象

マシン内でスクリプトを実行するプロセスを開始できませんでした。

解決策

ソース マシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

エラー メッセージ 10778

スクリプト [<parameter>] が [<parameter>] 秒以内に終了しないと、タイムアウトになります。

現象

カスタム スクリプトを実行すると、タイムアウトになります。

解決策

タイムアウト値を最大値に増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラー メッセージ 10779

終了コード [<parameter>] がジョブを失敗するように定義されているため、スクリプトの実行に失敗しました。

現象

カスタム スクリプトの実行に失敗しました。

解決策

メッセージを参照してからインスタント VM を実行し、仮想マシンでスクリプトを手動で実行します。

エラー メッセージ 10780

ボリューム [<parameter>] のチェックに失敗しました。バックアップ セッションでデータ破損の問題が発生している可能性があります。

現象

ボリュームのチェックに失敗しました。

解決策

エラー メッセージを参照し、復旧ポイントをマウントしてデータの整合性を確認します。

エラー メッセージ 10781

仮想マシン [<parameter>] が [<parameter>] 秒でテストの準備ができるまで待機できませんでした。

現象

指定したタイムアウト値の間に、仮想マシンがアシュアード リカバリテストを完了しませんでした。

解決策

タイムアウト値を最大値に増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラー メッセージ 10782

仮想マシン [<parameter>] の作成に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

仮想マシンの作成に失敗しました

解決策

エラー メッセージを参照して、ESX/ESXi のステータス(ESX/ESXi のデータストア、ネットワーク接続、プロンプト アラートなど) を確認します。

エラー メッセージ 10783

マウントされたボリュームでドライバの挿入を実行するときに、ディレクトリ <parameter> の作成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。データ破損の可能性が検出されました。

現象

マウントされたボリュームでドライバの挿入を実行するときに、ディレクトリの作成に失敗しました。

解決策

ボリュームを手動でマウントして、データの整合性の問題を確認します。

エラー メッセージ 10784

NFS データストアを作成できませんでした。VMware メッセージ: <parameter> (詳細: <parameter>) 。

現象

指定した NFS データストアを作成できません。

解決策

エラー メッセージを参照し、ネットワーク接続を検証します。別の回避策として、同じキー名を持つ別の NFS データストアが存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10785

マウント ポイントの下にあるパス [<parameter>] の NFS 共有を作成できません。別のフォルダを選択して再試行します。

現象

このフォルダに NFS 共有を作成できません。

解決策

Microsoft は、マウント ポイント フォルダでの NFS 共有の作成をサポートしていません。別のフォルダを選択してください。

エラー メッセージ 10786

仮想マシン [<parameter>] の削除に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

ジョブの終了時に仮想マシンを削除できません。

解決策

エラー メッセージを参照し、既存の仮想マシンの電源がオフになっているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10787

ドライバ [<parameter>] がインストールされていません。ドライバを手動でインストールするには、次のコマンドを実行してください: [InstantVMDrvInstall.exe -i <parameter>]。

現象

ドライバをロードできません。

解決策

ドライバが正しい証明書によって署名されていません。ドライバが有効な証明書で署名されていることを確認してください。コマンド署名ツールを使用して、ドライバ バイナリの有効性を確認できます。

エラー メッセージ 10788

ディスク ファイル <parameter> のディスク ジオメトリの調整に失敗しました。

現象

ディスク ファイルのディスク ジオメトリの調整に失敗しました。

解決策

詳細については、ログ ファイルを確認してください。

エラー メッセージ 10789

差分仮想ディスク <parameter> を親ディスク ファイル <parameter> で作成できませんでした。エラー: <parameter>。

現象

指定した親ディスクは、差分ディスクを作成できません。

解決策

まず、親仮想ディスクが存在するかどうかを確認します。次に、親ディスクをマウントして、ドライバの競合問題が他のカーネルドライバで発生しているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10790

プロセス [<parameter>] を開始できませんでした。エラー コード : <parameter>。エラー メッセージ : <parameter>。

現象

プロセスを開始できませんでした。

解決策

以下のいずれかまたはすべてを実行します。

1. エラー メッセージを参照します。
2. 親プロセスの権限を確認します。
3. コマンド ラインを使用してプロセス イメージを実行し、ライブラリの依存関係の問題を確認します。

エラー メッセージ 10791

ダミー仮想ハード ディスク ファイル <parameter> の作成に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスク ファイルの作成に失敗しました。

解決策

この期間、仮想ディスク ファイルは削除できません。残ったファイルは、ジョブの終了時に自動的に削除されます。オペレーティング システムからのエラー メッセージまたはイベント ログを参照し、必要な権限を使用してファイルにアクセスできることを確認します。

エラー メッセージ 10792

ルート ディレクトリ [<parameter>] は CD-ROM です。

現象

選択したディレクトリは、デスティネーション フォルダの作成に適していません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームに作成された別のフォルダを選択します。

エラー メッセージ 10793

ルート ディレクトリ [<parameter>] はフラッシュ ディスクです。

現象

選択したディレクトリは、デスティネーション フォルダの作成に適していません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームに作成された別のフォルダを選択します。

エラー メッセージ 10794

バイナリ ファイル [<parameter>] のロードに失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

DLL バイナリをロードできません。

解決策

エラー メッセージを参照して、DLL バイナリの依存関係を検証します。

エラー メッセージ 10795

復旧サーバ: [<parameter>] で、ネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にする必要があります。この機能を有効にしてから再試行し

てください。

現象

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割が有効になっていません。

解決策

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にします。

エラー メッセージ 10796

ネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割を復旧サーバ: [<parameter>] にインストールする必要があります。この機能をインストールしてから再試行してください。

現象

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割がインストールされていません。

解決策

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割をインストールします。

エラー メッセージ 10797

ネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割を復旧サーバ: [<parameter>] で実行している必要があります。この機能を開始してから再試行してください。

現象

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割が実行していません。

解決策

復旧サーバでネットワーク ファイル システム(NFS) サービスの Windows サーバの役割を開始します。

エラー メッセージ 10798

ダミー仮想ハード ディスク ファイル <parameter> のファイル GUID の取得に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスク ファイルのファイル GUID の取得に失敗しました。データを読み取れません。

解決策

以下の操作を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フル セッション バックアップを実行します。

エラー メッセージ 10799

ダミー仮想ハード ディスク ファイル <parameter> のファイル サイズ属性の取得に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスク ファイルのファイル サイズ属性の取得に失敗しました。データを読み取れません。

解決策

以下の操作を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フル セッション バックアップを実行します。

エラー メッセージ 10800

セッション パスワードが無効です。

現象

指定したセッション パスワードが正しくありません。

解決策

有効なセッション パスワードを入力します。

エラー メッセージ 10801 ～ 10900

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10801

NFS 共有名 [<parameter>] は、[<parameter>] にすでに存在します。

現象

異なるパス名で作成された NFS 共有名が VMware ESX サーバにすでに存在します。

解決策

別のフォルダを NFS 共有名として選択します。

エラー メッセージ 10802

ネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割のインストールに失敗しました。エラー: <parameter>。ネットワーク ファイル システムにこの役割を手動で設定し、再試行してください。

現象

ネットワーク ファイル システム(NFS) の Windows サーバの役割のインストールに失敗しました。

解決策

ログ メッセージを参照するか、サーバ ウィザードを開いてシステムの再起動が必要かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10803

ネットワーク ファイル システム(NFS) 用の Windows Server の役割を有効にするには、再起動が必要です。このマシンを手動で再起動してから、再試行してください。

現象

ネットワーク ファイル システム(NFS) 用の Windows Server の役割を有効にするには、再起動が必要です。

解決策

Windows Server を再起動し、再試行します。

エラー メッセージ 10804

無効なパス: [<parameter>] です。

現象

入力パスが無効です。

解決策

オペレーティング システムで手動で検索して、入力パスを確認します。

エラー メッセージ 10805

プロキシ サーバ <parameter> に対して実行前チェックの実行に失敗しました。仮想ディスクが作成されるフォルダ属性を確認してください。

現象

プロキシ サーバに対して実行前チェックを実行できませんでした。

解決策

暗号化および圧縮されていない別のフォルダを選択してから、再試行します。

エラー メッセージ 10806

NFS ベースのデータストア [<parameter>] を NFS 共有名 [<parameter>] で作成できませんでした。エラー コード : <parameter>。VMware メッセージ : <parameter> (詳細 : <parameter>) 。

現象

NFS データストアを作成できません。

解決策

エラー メッセージを参照し、ネットワーク接続を検証します。また、同じキー名を持つ別の NFS データストアが存在するかどうかも確認します。

エラー メッセージ 10807

NFS 共有 [<parameter>] (ローカル パス [<parameter>]) の作成に失敗しました。

現象

NFS 共有を作成できません。

解決策

以前のジョブを正常に実行した後に、ボリュームがフォーマットされたかどうかを確認します。フォーマットされている場合、NFS サービスを再起動するか、解決策のトラブルシューティングを参照してください。

エラー メッセージ 10808

バックアップ セッションにブート ディスクまたはシステム ディスクが含まれていません。

現象

ブート ボリュームまたはシステム ボリュームがバックアップされていません。

解決策

バックアップ ジョブでブート ボリュームまたはシステム ボリュームが選択されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10809

NFS 共有リストの取得に失敗しました。エラー コード：<parameter>。

現象

WMI 操作で NFS 共有リストのフェッチに失敗しました。

解決策

エラー メッセージに従います。

エラー メッセージ 10810

NFS サービスの開始に失敗しました。

現象

NFS サービスを開始できません。

解決策

エラー メッセージを参照してイベント ログを検証し、オペレーティング システムからのエラーレポートを確認します。

エラー メッセージ 10811

ホスト [<parameter>] の IP アドレスの取得に失敗しました。

現象

ホストの IP アドレスの取得に失敗しました。

解決策

エラー メッセージを参照し、コマンド ライン ipconfig を実行して IP アドレスを確認します。

エラー メッセージ 10812

NFS サーバに割り当てられた受信ルールの更新に失敗しました。

現象

オペレーティング システムのファイアウォールの受信ルールを更新できませんでした。

解決策

エラー メッセージを参照してイベント ログを検証し、オペレーティング システムからのエラーレポートを確認します。

エラー メッセージ 10813

NFS 共有 [<parameter>] の権限の更新に失敗しました。

現象

NFS 共有の権限の更新に失敗しました。

解決策

NFS 共有の権限を手動で更新して、プロセスに権限が必要かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10814

Windows WMI Network File System Service Provider に接続できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

WMI 操作は Network File System Service Provider に接続できませんでした。

解決策

エラー メッセージを参照してイベント ログを検証し、オペレーティング システムからのエラーレポートを確認します。次に、WMI プロバイダ サービスを再起動して再試行します。

エラー メッセージ 10815

セッションが無効です。

現象

セッションが無効です。

解決策

セッション パスが利用可能でアクセス可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10816

<parameter> ジョブがネットワーク通信またはデータ読み取り障害を検出しました。

現象

データストアからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

ログ ファイルでエラー メッセージを参照し、データストアがネットワークに接続されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10817

<parameter> ジョブが失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

アクティビティ ログを参照し、関連するエラー メッセージに従います。

エラー メッセージ 10818

仮想ディスク ファイルのマウントに失敗しました。エラー コード : <parameter>。エラー メッセージ : <parameter>。

現象

仮想ディスクをマウントできません。

解決策

ログ ファイルを参照して、データストアへのデータの読み取りエラーを確認します。次に、対応するセッションをマウントしてデータの整合性を確認します。

エラー メッセージ 10819

<parameter> ジョブを停止できませんでした。

現象

ジョブを停止できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。

エラー メッセージ 10821

仮想マシン [<parameter>] のハートビートが [<parameter>] 秒間検出されません。プランを変更してタイムアウト値を増やしてください。

現象

指定した間隔で仮想マシンのハートビートを検出できません。

解決策

タイムアウト値を最大値に増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラー メッセージ 10822

仮想ディスク ファイル [<parameter>] をディスク GUID [<parameter>] で処理できませんでした。エラー メッセージ: バックアップ先からディスク データを読み取れませんでした。

現象

指定期間内にデータの読み取りに失敗しました。

解決策

データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。

エラー メッセージ 10823

ドライバ ファイル [<parameter>] のロードに失敗しました。エラー: <parameter>。エラー メッセージ: <parameter>

現象

オペレーティング システムがカーネル ドライバをロードできませんでした。

解決策

ドライバ ファイルのシグネチャを確認し、コマンド ラインを使用して手動でドライバをロードしてください。

エラー メッセージ 10824

仮想ディスク ファイル [<parameter>] をディスク GUID [<parameter>] で処理できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

指定期間内にデータの読み取りに失敗しました。

解決策

データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。

エラー メッセージ 10825

重要な Windows システム ファイル [<parameter>] のデータ整合性を検証できませんでした。データ破損の可能性が検出されました。

現象

重要な Windows システム ファイルのデータ整合性を検証できませんでした。

解決策

バックアップ セッションのデータが破損している可能性があります。その結果、オペレーティング システムの起動に失敗する可能性があります。

エラー メッセージ 10826

Windows レジストリ ハイブ ファイル ソフトウェアをロードできないため、ドライバの挿入に失敗しました。データ破損の可能性が検出されました。

現象

オペレーティング システムがレジストリ ハイブ ファイル「ソフトウェア」を認識できません。

解決策

レジストリ ハイブ ファイルのデータが破損している可能性があります。バックアップされたファイルのデータ整合性を確認します。

エラー メッセージ 10827

Windows レジストリ ハイブ ファイル システムをロードできないため、ドライバの挿入に失敗しました。データ破損の可能性が検出されました。

現象

オペレーティング システムがレジストリ ハイブ ファイル「システム」を認識できません。

解決策

レジストリ ハイブ ファイルのデータが破損している可能性があります。バックアップされたファイルのデータ整合性を確認します。

エラー メッセージ 10828

仮想マシン [<parameter>] を電源オフにできませんでした。エラー メッセージ : <parameter>。

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源を自動的にオフにすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。詳細については、アクティブ ログを参照してください。VM の電源を手動でオフにしてみてください。

エラー メッセージ 10829

仮想マシン [<parameter>] を電源オンにできませんでした。仮想マシンの電源を手動でオンにしてください。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源を自動的にオンにすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。詳細については、アクティブ ログを参照してください。VM の電源を手動でオンにしてみてください。

エラー メッセージ 10830

ターゲット クラスタ [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した VMware クラスタが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合、クラスタ ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択することになります。クラスタが後で削除された場合、インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。クラスタが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動し、別の VMware ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラー メッセージ 10831

ターゲット データセンター [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した VMware データ センターが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合 VMware データ センターを選択することになります。データ センターが後で削除された場合、インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。データ センターが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動して、他のデータ センターを選択します。

エラー メッセージ 10832

ターゲット ESX(i) ホスト [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した ESXi ホストが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合、ESXi ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択することになります。ホストが削除されたか後で削除された場合、インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。ホストが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動し、別の VMware ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラー メッセージ 10833

バックアップ ボリューム [<parameter>] の仮想ディスクサイズが現在のボリューム [<parameter>] でサポートできる最大ファイルサイズ [4GB] を超えています。ファイル システムが NTFS または Refs であるボリュームに変更してから、再試行してください。

現象

バックアップ ボリュームの仮想ディスクサイズが、現在のボリュームでサポートできる最大ファイル サイズを超えています。

解決策

FAT32 ファイル システムは、最大 4 GB のファイル サイズをサポートします。ファイル システムが NTFS または ReFS である他のボリュームを仮想ディスク フォルダとして選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10834

バックアップ ボリューム [<parameter>] の仮想ディスクサイズが、最大ファイルサイズ [<parameter>TB] (現在のボリューム [<parameter>] でサポート可能な値) を超えています。クラスタ システムのサイズが [<parameter>KB] 以上であるファイル システムをフォーマットしてください。

現象

バックアップ ボリュームの仮想ディスクサイズが、現在のボリュームでサポートできる最大ファイル サイズを超えています。

解決策

ファイル システムの最大ファイル サイズは、ボリュームのクラスタ サイズによって決まります。ファイル クラスタが現在のボリュームよりも大きい別のボリュームを選択します。または、現在のボリュームをフォーマットし、より大きなクラスタ サイズを指定します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10835

仮想ディスクの VHD フォーマットがサポートできる最大ボリュームサイズは 2 TB です。バックアップされたボリューム [<parameter>] が最大サイズを超えています。Windows 2012 以降で VHDX フォーマットの仮想ディスク ファイルを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームが最大サイズを超えています。

解決策

VHD は、最大 2 TB のサイズの仮想ディスクをサポートします。仮想ディスクが 2 TB を超える場合は、ターゲット ハイパーバイザとして Windows 2012 以降のバージョンを選択します。

エラー メッセージ 10836

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、64 ビット オペレーティング システムのゲスト仮想マシンをサポートしません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、64 ビット オペレーティング システムのゲスト仮想マシンをサポートしません。

解決策

一部のハイパーバイザは、64 ビット ゲスト OS の VM をサポートしません。保護されたホストは、64 ビットのゲスト OS を実行します。64 ビット ゲスト OS をサポートする他のハイパーバイザをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラー メッセージ 10837

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、2 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、2 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

解決策

ターゲット ハイパーバイザとして Windows 2012 以降のバージョンを選択します。

エラー メッセージ 10838

リモート パス [<parameter>] にホスト [<parameter>] から接続できませんでした。リモート パス、ユーザ名、およびパスワードが正しいことを確認してください。

現象

ホストからリモート パスに接続できませんでした。

解決策

共有ネットワーク パスが存在し、指定したユーザ名とパスワードでアクセスできることを確認します。パスワードが更新された場合、インスタント VM ジョブを再起動し、新しいパスワードを入力します。

エラー メッセージ 10839

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] に接続できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM は、指定した VMware または Hyper-V サーバに接続できません。

解決策

インスタント VM 復旧サーバとハイパーバイザ サーバ間でネットワーク接続が利用可能かどうかを確認します。ハイパーバイザ サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10840

VMWare Server <parameter> にポート <parameter> で接続を確立できませんでした。ホスト アドレス [<parameter>] をプロキシ サーバ <parameter> から到達できるようにしてから、再試行してください。

現象

インスタント VM は、指定したホスト アドレスおよびポートで、指定した VMware サーバに接続できません。

解決策

VMware サーバのホスト アドレスおよびポートが正しいことを確認します。インスタント VM 復旧サーバと VMware サーバ間でネットワーク接続が利用可能かどうかを確認します。VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10841

サーバ名 <parameter> (ポート <parameter>) を解決できませんでした。ホスト名がプロキシ サーバ <parameter> から解決されていることを確認してください。

現象

インスタント VM がサーバの IP アドレスを解決できません。

解決策

インスタント VM 復旧サーバの DNS 設定を確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10842

環設定ファイル [<parameter>] (ノード [<parameter>]) の取得に失敗しました。

現象

インスタント VM は、読み取り用に AdrConfigure.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10843

バックアップ情報ファイル [<parameter>] (ノード [<parameter>]) の取得に失敗しました。

現象

ノードのバックアップ情報ファイルの取得に失敗しました。インスタント VM ジョブが、データストアに保存されている BackupInfo.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10844

ハイパーバイザ情報の検証に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>

現象

ハイパーバイザ情報の検証に失敗しました。

解決策

ハイパーバイザ サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10845

vCloud サーバ情報の検証に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

廃止されました

解決策

エラー メッセージ 10846

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は EFI パーティションからのソース マシン [<parameter>] のブートをサポートしていません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは EFI パーティションからのソース マシンのブートをサポートしていません。

解決策

一部のハイパーバイザは、UEFI パーティションからの VM のブートをサポートしていません。UEFI システム ボリュームをサポートする適切なハイパーバイザを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10847

ターゲット組織 [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラー メッセージ 10848

ターゲット組織 VDC [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラー メッセージ 10849

ターゲット vApp [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラー メッセージ 10850

仮想マシン [<parameter>] の再設定に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の設定の変更に失敗しました。

解決策

ハイパーバイザが報告した詳細なエラー メッセージを参照します。ハイパーバイザ サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10851

仮想マシン [<parameter>] をリセットできませんでした。エラー メッセージ [<parameter>] を参照します。<parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM を自動的にリセットすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。アクティブ ログに詳細なエラー メッセージが表示されます。VM を手動でリセットしてください。

エラー メッセージ 10852

セッション [<parameter>] の取得 (フォルダ [<parameter>]) に失敗しました。セッションが使用可能かどうかを確認してください。

現象

インスタント VM ジョブは、指定したフォルダ内にセッション データを見つけることができません。

解決策

フォルダが存在するかどうかを確認します。セッション データが使用可能で、削除されていないことを確認します。削除された場合、別のセッションに基づいてインスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10853

仮想マシン [<parameter>] のスナップショットの作成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM のスナップショットを取得すると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

インスタント VM 復旧サーバとハイパーバイザ サーバ間にネットワーク接続が存在するかどうかを確認します。また、ハイパーバイザ サーバが有効な状態で実行されているかどうかも確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10854

バックアップされたボリューム [<parameter>] のファイル システム Refs は、Windows 2008 R2 以前ではサポートされていません。Windows の上位バージョンで他のプロキシ サーバを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームのファイル システム ReFS は、Windows 2008 R2 以前ではサポートされていません。

解決策

アシュアード リカバリ ジョブで、復旧サーバの仮想ディスクのファイル システムを確認する必要があります。復旧サーバが ReFS などのファイル システムをサポートしていない場合、ジョブは失敗し、エラーが報告されます。指定したファイル システムをサポートする他のマシンを復旧サーバとして選択し、アシュアード リカバリ ジョブを再実行します。

エラー メッセージ 10855

バックアップされたボリューム [<parameter>] のファイル システム Refs の上位バージョンは、Windows 2012 R2 以前ではサポートされていません。ソース Windows バー

ジョンに使用されているものと同じプロキシ サーバを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームのファイル システム ReFS の上位バージョンは、Windows 2012 R2 以前ではサポートされていません。

解決策

復旧サーバは、ReFS ファイル システムの上位バージョンをサポートしません。復旧サーバとして RefS の上位バージョンをサポートするマシンを使用し、アシュアード リカバリ ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10856

フォルダの圧縮が有効になっているため、フォルダ [<parameter>] に仮想ディスクイメージを作成できません。

現象

圧縮が有効なフォルダに仮想ディスク イメージを作成できません。

解決策

インスタント VM の仮想ディスク フォルダとして圧縮を有効にしていないフォルダを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10857

フォルダの暗号化が有効になっているため、フォルダ [<parameter>] に仮想ディスクイメージを作成できません。

現象

暗号化が有効なフォルダに仮想ディスク イメージを作成できません。

解決策

インスタント VM の仮想ディスク フォルダとして暗号化が有効になっていないフォルダを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10890

セッション <parameter> のレプリケートに失敗しました(合計サイズ = <parameter>、レプリケート サイズ = <parameter>) 。

現象

レプリケーション ジョブがセッションのレプリケートに失敗しました。

解決策

現在のレプリケーション ジョブのアクティブ ログ、およびログ フォルダ内のファイル レプリケーション ジョブ ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10891

ファイルが別のプロセスで使用されているため、プロセスはファイルにアクセスできません。

現象

デスティネーション RPS サーバへの接続に失敗します。

解決策

何も行う必要はありません。他の有効なジョブが完了するまで待ちます。それでも問題が長期間続く場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10896

ノード [<parameter>] のレプリケーション ジョブが失敗しました。

現象

レプリケーション ジョブが失敗しました。

解決策

現在のレプリケーション ジョブのアクティブ ログ、およびログ フォルダ内のファイル レプリケーション ジョブ ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10899

ノード [<parameter>] のセッション リストの取得に失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが別のデータ ストアへのデータのコピーに失敗しました。

解決策

ネットワーク接続が安定していて、データ ストアが動作していることを確認してください。

エラー メッセージ 10901 ～ 11000

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10902

データ ストア [<parameter>] へのアクセスに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピー ジョブが別のデータ ストアへのデータのコピーに失敗しました。

解決策

ネットワーク接続が安定していて、データ ストアが動作していることを確認してください。

エラー メッセージ 10907

ソース RPS エラー: ファイル [<file path>Nodeinfo] のレプリケーションに失敗しました。エラー: [ファイルが別のプロセスで使用されているため、プロセスはファイルにアクセスできません。]

現象

ファイルのレプリケートに失敗しました。

解決策

ネットワーク接続に問題がないことを確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10914

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、4 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

現象

VSB ジョブが失敗しました。

解決策

Azure などの一部のターゲット ハイパーバイザ プラットフォームは、4TB 以上のディスク サイズをサポートしません。解決するには、大きなディスクをバックアップ セットから除外します。

エラー メッセージ 10915

一部のファイルのリストアに失敗しました。詳細については、ログ ファイル [<parameter>] を参照してください。

現象

一部のファイルのリストアに失敗しました。

解決策

詳細については、ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10916

Arcserve Cloud への接続中にエラーが発生しました。エラー: [<parameter>]。

現象

<product name> に接続できませんでした。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10917

Arcserve Cloud からの GDD 設定ファイルの取得に失敗しました。

現象

正常です。製品名を確認します。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10918

ファイル [<parameter>] のレプリケートに失敗しました。エラー: [<parameter>]。Cloud Hybrid ストアのディスク空き容量が不足しています。

現象

ファイル [%1!s!] のレプリケートに失敗しました。エラー: [%2!s!]。

解決策

Cloud Hybrid ストアのディスク空き容量が不足しています。Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10919

ソース データ ストアと Cloud Hybrid ストア間でノード データが整合しているため、レプリケーション ジョブがスキップされました。

現象

すべてのバックアップ セッションは、すでに Arcserve Cloud にレプリケートされています。

解決策

すべてのバックアップ セッションは、すでに Arcserve Cloud にレプリケートされています。

エラー メッセージ 10920

Cloud Hybrid ストアへのアクセスに失敗しました。

現象

正常です。製品名を確認します。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10921

Arcserve Cloud への接続中にエラーが発生しました。

現象

レプリケーション ジョブを実行できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 10922

ディスク <<disk Id>> の復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

現象

クラウドから復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

解決策

ジョブを再度試します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10923

バックアップ用仮想マシンのディスクに接続できませんでした。%0。

現象

ディスクを仮想マシンに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡し、必要なログを提供してください。

エラー メッセージ 10924

Microsoft iSCSI Initiator Service が存在しません。サービスをインストールし、再試行してください。%0。

現象

Microsoft iSCSI イニシエータサービスがインストールされていないため、ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft iSCSI Initiator Service がインストールされていません。サービスをインストールして再試行します。

エラー メッセージ 10925

Microsoft iSCSI Initiator Service を起動できません。%0。

現象

Microsoft iSCSI Initiator Service の開始に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft iSCSI Initiator Service を起動できません。サービスを手動で開始してみて、ジョブを再試行してください。

エラー メッセージ 10926

ボリューム グループの作成に失敗しました。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ボリューム グループを作成できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager のログを提供してください。

エラー メッセージ 10927

ディスクのクローンを作成してボリューム グループにアタッチできませんでした。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ディスクのクローンを作成してボリューム グループに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager のログを提供してください。

エラー メッセージ 10928

プロキシの IQN を取得できませんでした。%0。

現象

プロキシ IQN の取得に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリューム グループ iSCSI ターゲットとの接続を確立するためのバックアップ プロキシ IQN を取得できませんでした。Microsoft iSCSI Initiator Service を再起動し、再試行します。

エラー メッセージ 10929

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリューム グループに接続できませんでした。エラー [%1!s!]。%0。

現象

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリューム グループに接続できなかったため、ジョブが失敗しました。

解決策

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリューム グループに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10930

プロキシは Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できませんでした。%0。

現象

プロキシが Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できなかったため、ジョブは失敗しました。

解決策

プロキシは Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10931

ボリューム グループの削除に失敗しました。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ボリューム グループを削除できないため、バックアップ ジョブで警告が生成されました。

解決策

クリーンアップは、このマシンの次回のバックアップ ジョブの実行時に行われます。Nutanix マネージャ ログを確認して、問題の正確な根本原因を調べます。

エラー メッセージ 10932

UUID [%s] のボリューム グループの IQN の取得に失敗しました。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ボリューム グループの IQN の取得に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリューム グループの IQN の取得に失敗しました。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10933

ボリューム グループのディスクをプロキシに接続できませんでした。%0。

現象

ボリューム グループのディスクをプロキシに接続できないため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリューム グループのスナップショット ディスクをプロキシに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10935

VM スナップショット ディスクをプロキシからデタッチできません。次回のバックアップ時にクリーンアップを実行します。%0。

現象

バックアップ ジョブで、スナップショット ディスクをプロキシから切断できないという警告がレポートされました。

解決策

次回のバックアップ ジョブはクリーンアップを実行しようとします。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10936

プロキシの %2!d! ディスクを開けませんでした。%0。

現象

バックアップ用に接続されたソース マシンのスナップショット ディスクを開くことができないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

原因は、ユーザまたはクラスタの他の操作によって、ソース VM ディスクがプロキシ マシンから切断された可能性があります。バックアップ ジョブを再試行し、プロキシからスナップショット ディスクを削除しないことをお勧めします。詳細については、バックアップ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10937

プロキシの %2!d! ディスクを読み取れませんでした。%0。

現象

バックアップ用に接続されたソース マシンのスナップショット ディスクから読み取ることができないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

原因は、ユーザまたはクラスタの他の操作によって、ソース VM ディスクがプロキシ マシンから切断された可能性があります。バックアップ ジョブを再試行し、プロキシ

からスナップショット ディスクを削除しないことをお勧めします。詳細については、バックアップ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10938

サーバ %1!s! は AHV ノードではありません。現在、他の種類のノードはサポートされていないため、バックアップ ジョブは失敗します。

現象

クラスタが AHV クラスタでないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

AHV クラスタのノードにのみバックアップ ジョブを設定してください。

エラー メッセージ 10939

クラスタ [%2!s!] の IP アドレス [%1!s!] のプロキシの UUID の取得に失敗しました。エラー [%3!s!]。%0。

現象

ホット モードのバックアップ ジョブは、指定した UUID のマシンがクラスタ内に見つからないため失敗しました。

解決策

プロキシ マシンがクラスタの外部にある場合、バックアップ プラン設定でボリューム グループ(iSCSI) として Nutanix AHV バックアップ方式を変更します。それ以外の場合、ホット モードでのみバックアップを実行する場合は、クラスタ内のマシンの 1 つをプロキシ マシンとして設定します。

エラー メッセージ 10940

プロキシの IP アドレスの取得に失敗しました。%0

現象

プロキシ マシンの IP アドレスを取得できないため、HotAdd モードでのバックアップに失敗しました。

解決策

WinSock DLL が見つからない場合は、プロキシ マシンに Windows ソケットのレジストリ エントリ/ ソケット DLL が存在しないことを確認し、バージョン 2.2 をサポートする Winsock DLL をダウンロードします。

エラー メッセージ 10941

UUID [%1!s!] のプロキシからスナップショット ディスクを切断できませんでした。エラー [%2!s!]。%0。

現象

バックアップ ジョブで、スナップショット ディスクをプロキシから切断できないという警告がレポートされました。

解決策

次回のバックアップ ジョブはクリーンアップを実行しようとします。Nutanix マネージャ ログを確認して、問題の正確な根本原因を調べます。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10942

Nutanix クラスタに接続できません。サーバの認証情報が有効であることを確認します。エラー [%1!s!]。%0

現象

クラスタに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager のログを提供してください。

エラー メッセージ 10943

Nutanix クラスタに接続できません。サーバにアクセスできません。エラー [%1!s!]。Nutanix クラスタがネットワークに接続されており、認証情報が有効であることを確認してください。%0。

現象

クラスタに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

AHV クラスタのネットワーク接続を確認してください。

エラー メッセージ 10944

Nutanix クラスタに接続できません。認証情報が無効または正しくありません。エラー [%1!s!]。%0。

現象

認証情報が無効/正しくないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

有効な/正しい認証情報を入力して、ジョブを再試行してください。

エラー メッセージ 10945

仮想マシンのスナップショットを作成できませんでした。Nutanix クラスタから次のエラーが報告されました: %1!s!。%0。

現象

スナップショットを取得できなかったため、バックアップ ジョブに失敗しました。

解決策

元のディスクが存在せず、参照のみが存在している可能性があります。Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10946

仮想ディスク ビットマップの取得に失敗しました。%0。

現象

バックアップ ジョブは、変更された領域の取得機能がバックアップに使用するブロックの照会に失敗したため失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10947

同じシグネチャを持つ複数のディスクが見つかりました。これは、VM がクローン ディスクを持ち、オフライン状態である場合に発生する可能性があります。オフライン ディスクをオンラインにして、バックアップを再試行してください。%0。

現象

ソース VM に同じディスク シグネチャを持つ複数のディスクがあるため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

ディスク シグネチャを確認し、ディスク シグネチャが重複しているディスクをオンラインにします。

エラー メッセージ 10948

仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットを取得できませんでした。仮想マシンが、アプリケーション整合性のあるスナップショットを取得するために必要な前提条件を満たしているかどうかを確認します。%0

現象

アプリケーションの一貫したスナップショットを取得できないため、バックアップ ジョブのスナップショット方式がクラッシュ整合に変更されました。

解決策

アプリケーションの整合性のとれたスナップショットを作成するには、Nutanix のガイドラインを参照してください。

エラー メッセージ 10949

仮想マシン %1!s! は Nutanix クラスタ %2!s! にすでに存在します。この仮想マシンを復旧するには、 [上書き] オプションまたは [新しい UUID の生成] オプションを有効にする必要があります。

現象

ソース VM と同じ ID OS を持つ VM がターゲット クラスタにすでに存在するため、VM の復旧ジョブが失敗します。

解決策

この仮想マシンを復旧するには、VM の復旧ジョブをサブミットするときに、上書きオプションまたは新しい UUID の生成オプションを有効にしてください。

エラー メッセージ 10950

VM 復旧ジョブは、仮想ディスクを作成できませんでした。

現象

VM 復旧ジョブで、復旧する VM の仮想ディスクを作成してプロキシに接続できませんでした

解決策

これは複数の原因で発生します。リストア ジョブを再度サブミットしてください。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10951

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。

現象

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。アクティビティ ログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10952

VM 復旧ジョブは、不明なエラーで新しい仮想マシンを作成できませんでした

現象

VM 復旧ジョブは、不明なエラーで新しい仮想マシンを作成できませんでした。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10954

D2D ファイルがジョブ スクリプトに定義されていません。%0。

現象

仮想スタンバイがセッション ディスク ファイルを変換せず、サイレント モードで終了します。

解決策

バックアップ ジョブのエラーを修正します。

エラー メッセージ 10955

Windows VDS サービスを初期化できません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows が VDS サービスを初期化できません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10956

ディスクを使用可能にできません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスが、ディスクをオンラインにできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10957

ディスクを使用不可にできません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスが、ディスクをオフラインにできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10958

ディスクを書き込み可能にできません。%0

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスがディスクを書き込み可能にできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10959

一致するディスクが Nutanix プロキシ マシンに見つかりません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、指定した仮想ディスクを見つけることができません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。また、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラー メッセージ 10960

Nutanix プロキシ マシンでディスクを開けません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、指定した仮想ディスクを開けません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。また、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラー メッセージ 10961

Nutanix プロキシ マシンのディスクにデータを書き込めません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、指定した仮想ディスクにデータを書き込むことができません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。また、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラー メッセージ 10962

OS ディスクがジョブ スクリプトに定義されていません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、スタンバイ VM の OS ディスクを検出できないため、ドライバを挿入できません。

解決策

バックアップ ジョブにソース ノードの OS ディスクが含まれているかどうかを確認します。ない場合は、バックアップ タスクに OS ディスクを追加します。

エラー メッセージ 10963

スタンバイ VM のブート ボリューム パスを取得できません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブがスタンバイ VM のブート ボリューム パスを検出できないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップ セッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップ セッションを検証します。

エラー メッセージ 10964

スタンバイ VM のシステム レジストリをロードできません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブがスタンバイ VM のシステム レジストリをロードできないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップ セッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップ セッションを検証します。

エラー メッセージ 10965

スタンバイ VM のソフトウェア レジストリをロードできません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブがスタンバイ VM のソフトウェア レジストリをロードできないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップ セッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップ セッションを検証します。

エラー メッセージ 10966

ファイル: %1!s! に書き込めません。%0

現象

VSB コンバータによって実行された DISM がエラーを返すため、VSB のドライバの挿入が失敗します。

解決策

VSB モニタの DISM コマンド エラーを修正します。また、Nutanix ドライバ パッケージを正しいフォルダに配置します。

エラー メッセージ 10967

メタデータをバックアップできません。%0

現象

アカウント ドライブのメタデータのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10968

AFRES_AFBKDL_ONEDRIVE_ERR_END_BACKUP_FILES_FAILED。%0

現象

OneDrive ファイルのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10969

%1!s! アカウントをバックアップできません。メッセージ [%2!s!]。

現象

アカウントのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10970

アカウント %1!s! のメタデータのバックアップに失敗しました。メッセージ %2!s!。%0

現象

アカウントのメタデータのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10971

内部エラーです。Arcserve サポートにお問い合わせください。詳細：%1!s!。%0

現象

不明なエラーが発生したため、バックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10972

メタデータ アカウント：%1!s! のドライブ：%2!s! のバックアップに失敗しました。メッセージ %3!s!。%0

現象

アカウントのドライブのメタデータとファイルのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10973

DISM からエラー メッセージ：[%1!s!] が返されました。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブによって実行された DISM がエラーを返すため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

仮想スタンバイ モニタの DISM コマンド エラーを修正します。

エラー メッセージ 10974

プロキシが同じクラスタに存在しないため、バックアップを実行できません。プラン設定で Nutanix AHV 転送方式としてボリューム グループ(iSCSI) モードを選択し、バックアップを続行します。

現象

クラスタにプロキシが存在しないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

ボリューム グループ(ISCSI) モードの前提条件が満たされているかどうかを確認してください。バックアップを続行するには、バックアップ プラン設定でそれを設定します。最後のケースでは、転送モードの前提条件に従ってプロキシを設定します。

エラー メッセージ 10975

プロキシが同じクラスタに存在しないため、バックアップを実行できません。プラン設定で Nutanix AHV 転送方式としてボリューム グループ(iSCSI) モードを選択し、バックアップを続行します。

現象

クラスタにプロキシが存在しないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

ボリューム グループ(ISCSI) モードの前提条件が満たされているかどうかを確認してください。バックアップを続行するには、バックアップ プラン設定でそれを設定します。最後のケースでは、転送モードの前提条件に従ってプロキシを設定します。

エラー メッセージ 10976

現在のプロキシ OS ではボリューム グループ(iSCSI) モードがサポートされていないため、バックアップを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、バックアップ ジョブが失敗します。Windows Server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

サポートされている OS バージョンのプロキシとして別のエージェントを設定します。

エラー メッセージ 10977

ボリューム グループ(iSCSI) モードが現在のプロキシ OS でサポートされていないため、リストアを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、リストア ジョブが失敗します。Windows Server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

OS バージョンをサポートする別のプロキシのエージェントからリストアをサブミットします。

エラー メッセージ 10978

ISCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10979

ISCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10980

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行します。

現象

選択した転送モードがボリューム グループ(iSCSI) で、ISCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10981

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP アドレス設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでリス

トア ジョブを実行します。%0

現象

選択した転送モードがボリューム グループ(iSCSI) で、ISCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10982

現在のプロキシ OS ではボリューム グループ(iSCSI) モードがサポートされていないため、バックアップを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。%0。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、バックアップ ジョブが失敗します。Windows Server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

サポートされている OS バージョンのプロキシとして別のエージェントを設定します。

エラー メッセージ 10983

ボリューム グループ(iSCSI) モードが現在のプロキシ OS でサポートされていないため、リストアを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。%0。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、リストア ジョブが失敗します。Windows Server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

OS バージョンをサポートする別のプロキシのエージェントからリストアをサブミットします。

エラー メッセージ 10984

ISCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10985

ISCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10986

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行します。

現象

選択した転送モードがボリューム グループ(iSCSI) で、ISCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10987

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP アドレス設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでリストア ジョブを実行します。%0

現象

選択した転送モードがボリューム グループ(iSCSI) で、ISCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリューム グループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10988

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータス コード : [%1!s!]、エラー コード : [%2!s!]、エラー情報 : [%3!s!]、詳細 : [%4!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラー メッセージ 10989

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータス コード : [%1!s!]、エラー コード : [%2!s!]、詳細 : [%3!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラー メッセージ 10990

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータス コード : [%1!s!]、詳細 : [%2!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラー メッセージ 10991

無効なアプリケーション エラーです。アプリケーションが正しく登録されていることを確認します。AppID：[%1!s!]、TenantName：[%2!s!]。%0

現象

トークンを取得できません。詳細についてはメッセージを参照してください。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラー メッセージ 10992

アカウントをバックアップできません(データベースへの保存に失敗しました) 。

現象

Microsoft 365 アカウントで OneDrive が有効になっていない場合、基本認証を使用してバックアップをリクエストすると、バックアップ ジョブは完了しません。

解決策

先進認証に切り替えます。詳細については、「ソリューション ガイド」の「先進認証」を参照してください。

エラー メッセージ 10994

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。Nutanix AHV サーバ システムから次のエラーが報告されました: %1!s!%0

現象

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できません。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。アクティビティ ログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10996

ソース ボリューム %1!s! のスナップショットを開けません %0

現象

スナップショットを開けません。

解決策

イベント ログを確認します。

エラー メッセージ 10997

データストア %1!s! の共通フォルダにアクセスできませんでした。%0

現象

共有フォルダにアクセスできません

解決策

エクスプローラの現在の認証情報を使用して、関連する共有フォルダにアクセスできるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10998

RPS サーバ %1!s! からネットワーク リストを取得できませんでした。%0

現象

RPS サーバから IP リストを取得できません。

解決策

コンソールから RPS にアクセスできるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10999

バックアップ プランに保存された RPS ネットワーク [%1!s!] は RPS から検出されません。プランを修正して RPS ネットワークを変更してください。%0

現象

選択したネットワークが RPS 側から見つかりません。

解決策

ネットワーク リストが RPS 側で変更されています。たとえば、IP アドレスが変更されています。関連するバックアップ プランを変更し、バックアップ プランで関連するネットワーク アドレスを再設定します。

エラー メッセージ 11000

IP: %1!s! を経由で RPS サーバに接続できません。%0

現象

IP 経由で RPS サーバに接続できません。

解決策

関連する IP が RPS マシンで有効かどうかを確認します。RPS マシンに IP が見つからない場合は、関連するバックアップ プランを変更し、バックアップ プランで関連する IP アドレスを再設定します。

エラー メッセージ 11001 ~ 11100

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 11001

ディスク -%1!s! の指定ネットワークへの接続がエラー [%2!s!] で失敗しました。%0

現象

指定したバックアップ ネットワーク経由の接続に失敗しました。

解決策

指定したバックアップ ネットワークが使用可能かどうかを確認し、考えられる理由のエラー コードを確認します。

エラー メッセージ 11002

ディスク %1!s! の指定ネットワークへの接続に失敗しました。指定したネットワーク範囲に IP が見つかりませんでした。

現象

指定したネットワークに接続に使用できる IP がありません。

解決策

指定したネットワークに、接続に使用できる IP があるかどうかを確認します。そのような IP がない場合は、指定したネットワークを変更します。

エラー メッセージ 11003

シャドウコピーを保持するためのボリューム容量が不足している可能性があります。%0

現象

スナップショットの取得に失敗しました。

解決策

スナップショットを保持するための十分なディスク容量がありません。関連するボリュームをクリアして、ディスク容量を解放します。

エラー メッセージ 11004

デスティネーション ボリューム サイズ [%1!I64d!]MB が最小ボリューム サイズ [%2!I64d!]MB 未満です。%0

現象

デスティネーション ボリュームのサイズが最小ボリュームサイズよりも小さいです。デスティネーションを変更してください。

解決策

デスティネーションとして、より大きなサイズのボリュームを選択します。

エラー メッセージ 11005

ブロック レベルでのボリュームのリストアに失敗しました。%0

現象

ブロック レベルでのボリュームのリストアに失敗しました。

解決策

リストア ログを参照してください。

エラー メッセージ 11006

VM は vCenter からインポートされましたが、VMDK IO の特定の IO ネットワークに適切な ESXi IP が見つかりません。vCenter のネットワーク指定機能はサポートされていません。%0

現象

指定したネットワークに vCenter の管理 IP がないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

指定したネットワークで vCenter のバックアップを続行するには、指定したネットワークの管理 IP を設定します。エラーの詳細については、アクティビティ ログを参照してください。

エラー メッセージ 11007

指定したネットワークからフォールバックした後、ESX に接続できませんでした。しばらく待ってから、ジョブのサブミットを再試行してください。%0

現象

指定したネットワークからフォールバックした後、ESXi への接続が失敗したため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認し、バックアップ ジョブを再サブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 11008

指定したネットワークの ESX に IP %1!s! を使用して接続できませんでした。%0

現象

指定したネットワークによる ESXi への接続に失敗しました。指定したネットワークではバックアップを続行できません。

解決策

指定したネットワークの ESXi 管理 IP がプロキシから到達可能かどうかを確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 11009

指定したネットワーク範囲に ESX の IP が見つからなかったため、ジョブを続行できません。%0

現象

指定したネットワークに ESX の管理 IP がないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

指定したネットワークで ESXi のバックアップを続行するには、指定したネットワークの管理 IP を設定します。

エラー メッセージ 11011

iSCSI ライブラリの初期化に失敗しました。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI ライブラリの初期化に失敗しました。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11012

iSCSI モードはすべてのディスクに接続できませんでした。接続するディスク [%1!d!]、実際に接続しているディスク数 [%2!d!]。エラー メッセージ [%3!s!]。終了コード [%4!d!]。%0

現象

合計ディスクを接続できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11013

デバイス ID [%1!s!] のディスク プロパティを取得できませんでした。エラー メッセージ [%2!s!]。終了コード [%3!d!]。%0

現象

ディスク プロパティの取得に失敗しました。

解決策

イベント ログおよびアクティビティ ログで関連するエラー コードを確認し、ターゲット ディスクが接続されていることを確認します。

エラー メッセージ 11014

iSCSI 修飾名を取得できませんでした。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

IQN を取得できません。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11015

iSCSI サーバ [%1!s!] に接続できませんでした。エラー メッセージ [%2!s!]。終了コード [%3!d!]。%0

現象

iSCSI サーバに接続できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11017

Microsoft iSCSI Initiator サービスを開始できません。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI サービスを開始できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11018

Microsoft iSCSI Initiator サービスが利用できません。サービスをインストールし、再試行してください。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI Initiator サービスが存在しません。

解決策

サービスをインストールして再試行します。

エラー メッセージ 11019

iSCSI ターゲットの取得に失敗しました。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

接続した iSCSI ターゲットの取得に失敗しました。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11020

デスティネーション ボリューム %1!s! のロックに失敗しました。%0

現象

デスティネーション ボリュームのロックはリストアに失敗しました。

解決策

リストア ログを参照してください。

エラー メッセージ 11021

ボリューム レプリケータの初期化に失敗しました。エラー コード = %1!d!%0

現象

このエラーは、ボリューム レプリケータの初期化が原因で発生します。詳細については、ログ ファイルを参照してください。

解決策

リストア ログを参照してください。

エラー メッセージ 11022

NTFS 以外のソース ボリュームの場合、より小さいデスティネーション ボリュームへのリストアはサポートされません。%0

現象

NTFS 以外のソース ボリュームの場合、より小さいデスティネーション ボリュームへのリストアはサポートされません。

解決策

デスティネーションとして、より大きなサイズのボリュームを選択します。

エラー メッセージ 11023

データストア [%1!s!]: クラウド同期サイクルが失敗しました。%0

現象

クラウド データ ストアのメタデータ ファイルをローカル フォルダからクラウドに同期するサイクルが失敗しました。

解決策

この失敗は、ネットワーク障害、クラウド認証情報の問題、ローカル フォルダのスナップショットの問題など、さまざまな要因によって発生する可能性があります。詳細については、データ ストア インデックスの役割ログを確認してください。

エラー メッセージ 11024

データ ストア [%1!s!]: 未完了のクラウド同期の復帰サイクルが失敗しました。%0

現象

メタデータ ファイルをクラウドに同期する最後のサイクルが未完了です。中間ステータスから復帰しようとして失敗しました。

解決策

障害は、ネットワークの障害、クラウド認証情報の問題など、さまざまな要因で発生する可能性があります。詳細については、データ ストア インデックスの役割ログを確認してください。

エラー メッセージ 11025

データ ストア [%1!s!]: 未完了のクラウド同期のサイクルは再開できませんでした。%0

現象

メタデータ ファイルをクラウドに同期する最後のサイクルが未完了です。更新フェーズを完了するために再開を試みましたが、失敗しました。

解決策

障害は、ネットワークの障害、クラウド認証情報の問題など、さまざまな要因で発生する可能性があります。詳細については、データ ストア インデックスの役割ログを確認してください。

エラー メッセージ 11033

ターゲット データベース <parameter> への接続中にエラーが発生しました。エラー <parameter>。リスナは現在、接続記述子でリクエストされたサービスを認識していません。データベースが OPEN 状態であることを確認してください。

現象

ターゲット データベースへの接続中にエラーが発生したため、Oracle RMAN バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

データベースが OPEN 状態であることを確認します。

エラー メッセージ 11044

サーバ [<parameter>] からの Oracle データベース [<parameter>] の RMAN バックアップ ジョブが失敗しました。

現象

Oracle データベースの RMAN バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

RPS サーバ内の *Engine**Logs*\ にある Oracle RMAN トレース ログを参照してください。

エラー メッセージ 11061

RMAN がターゲット データベースの制御ファイル内の論理レコードをクロスチェックしている間に、障害が報告されました。

現象

RMAN がターゲット データベースの制御ファイル内の論理レコードのクロスチェックに失敗します。

解決策

RPS サーバ内の *Engine\Logs* にある Oracle RMAN トレース ログを参照してください。

エラー メッセージ 11069

サーバ <parameter> の Oracle データベース <parameter> は SHUTDOWN 状態ではないため、リストア操作を実行できません。

現象

リストア操作の実行に失敗しました。

解決策

データベースをシャット ダウンし、リストア ジョブをサブミットします。

エラー メッセージ 11077

ボリューム [Volume\\?\Volume{b9170d5e-f4c3-11e5-976b-000c298cc68d}\:] のアンチウイルス スキャンが失敗しました。

現象

バックアップ ボリュームのアンチウイルス スキャンの実行に失敗しました。

解決策

アンチウイルス スキャンの結果の詳細については、アシュアード セキュリティ ジョブのログを確認してください。

エラー メッセージ 11078

Windows Defender ウイルス対策がインストールされていて、サービスがアシュアード セキュリティ プロキシ サーバで実行されていることを確認してください。

現象

Windows Defender ウイルス対策が適切にインストールされておらず、サービスがプロキシ マシンで実行されていません。

解決策

Windows Defender ウイルス対策を適切にインストールし、サービスが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 11079

ボリュームのマウントに失敗しました。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行すると、復旧ポイントがプロキシ マシンにマウントされません。

解決策

データ ストアまたは復旧ポイント サーバを確認します。

エラー メッセージ 11080

ボリューム [<volume>] は悪質です。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行すると、アンチウイルスによって復旧ポイントのボリュームで悪質なコンテンツが検出されます。

解決策

アシュアード セキュリティ ジョブのログとアンチウイルス スキャンの結果で、ファイル/フォルダが悪質かどうかを確認します。悪質な場合は、それらのファイル/フォルダを確認します。

エラー メッセージ 15000 ～ 15100

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15000

仮想スタンバイ ジョブが開始しました。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15001

ソース パスは [<parameter>]、デスティネーション ルート パスは [<parameter>] です。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15002

仮想スタンバイ ジョブが完了しました。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15003

仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

現象

エラーが発生したときに仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合は、詳細を参照してそのエラーを解決します。他のエラーログが見つからない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15004

仮想スタンバイ ジョブがキャンセルされました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ユーザによって、またはデータ ストアの停止によってキャンセルされました。

解決策

以前の仮想スタンバイジョブを続行する場合は、再開します。

エラー メッセージ 15005

仮想スタンバイジョブでコピーされたデータの合計 <parameter>、経過時間は <parameter>、平均スループットは <parameter> でした。

注: これは情報メッセージです。

エラー メッセージ 15006

このセッションはデスティネーションにすでに存在しするため、スキップします。

注: このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15007

リモート サーバ [<parameter>] に接続しました。

注: このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15008

共有フォルダ [<parameter>] に接続しました。

注: このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15009

リモート サーバ [<parameter>]、ポート = <parameter> に接続できませんでした。

注: このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15010

共有フォルダ <parameter>、ユーザ = <parameter> に接続できませんでした。

注: このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15011

ユーザ [<parameter>] 認証 (サーバ [<parameter>]) に失敗しました。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15012

ソース ディレクトリは <parameter> D2D セッションです。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15013

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイル システムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。(ホスト = <parameter>、ディレクトリ = <parameter>) 。

現象

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイル システムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ディレクトリを、暗号化されていないボリュームで使用可能な非圧縮フォルダに変更します。

エラー メッセージ 15014

圧縮ボリュームの仮想ディスク イメージの作成はサポートしていません(ディレクトリ = <parameter>) 。

現象

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイル システムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ディレクトリを、暗号化されていないボリュームで使用可能な非圧縮フォルダに変更します。

エラー メッセージ 15015

マージが進行中のため、仮想スタンバイ ジョブを実行できません。ルート = <parameter>。

現象

マージが進行中のため、仮想スタンバイ ジョブを実行できません。

解決策

マージ ジョブが完了するまで待ってから、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15016

十分な空きディスク容量がないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。マシン = <parameter>、フォルダ = <parameter>

現象

仮想スタンバイ ジョブは、データ変換を完了するためのディスク空き容量が不足しているため失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ハイパーバイザにより多くの空きディスク容量を追加します。

エラー メッセージ 15017

仮想スタンバイ変換ジョブが中断されました。ユーザまたはセットアップ アプリケーションがモニタ サーバ [<parameter>] のエージェント Web サービスを停止したため、ジョブが中断されました。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15018

モニタ サーバがノードと通信できません。モニタ サーバとノードがネットワーク経由で通信できることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15019

データ転送モジュールが予期せず終了しました。必要に応じて Arcserve サポートまでお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15020

リモート デスティネーション [<parameter>] に接続できません。

現象

バックアップ セッションのリモート デスティネーションに接続できません。

解決策

仮想スタンバイ コンバータとログの出力として利用可能なリモート デスティネーション間のネットワーク接続を修正します。次に、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15021

仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

現象

仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

解決策

アクティブな仮想スタンバイ ジョブがある場合、後続の仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15023

<parameter> はネットワークに接続されていません。ネットワークに接続されていることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15024

VDDK で不明なエラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15025

ファイル <VMDK FILENAME> が見つかりませんでした。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15026

ディスク エラーが発生しました。この問題を解決するには、フル バックアップをサブミットします。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15027

<parameter> へのログインに使用された認証情報が正しくありません。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15028

内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15029

<parameter> に十分な空きディスク容量がありません。続行するには、<parameter> のディスク容量を解放します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15030

ディスクのファイルが 2 テラバイトを超えています。VMware ファイル システムは、2 テラバイトを超えるファイルをサポートしません。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15031

ライセンスが <parameter> にインストールされていません。ライセンスがインストールされていることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15032

仮想スタンバイは D2D バックアップ セッションを読み取ることができませんでした。セッションにアクセスできないか、破損している可能性があります。この問題を解決するには、新しいバックアップ セッションを使用して新しいバックアップ ジョブをサブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15033

ソース セッションの読み取り中にエラーが発生しました。詳細については、<parameter> の仮想スタンバイ ログを参照してください。さらに、「ユーザ ガイド」の「トラブルシューティング」を参照してください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15034

アシュアード リカバリ プロセス [InstantVMAgent.exe] がクラッシュしました。

現象

アシュアード リカバリ ジョブ プロセスがクラッシュしました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15035

セッションのバックアップ先が無効です。アシュアード リカバリ ジョブを実行できません。

現象

セッションのバックアップ先が無効です。アシュアード リカバリ ジョブを実行できません。

解決策

フル バックアップをサブミットし、再試行します。

エラー メッセージ 15036

Hyper-V は、2 テラバイトを超えるディスクを含むソース ノードの保護をサポートしません。プランの展開に失敗しました。

現象

現在の Hyper-V サーバが 2 テラバイトを超えるディスクをサポートしていないため、アシュアード リカバリ タスクの展開に失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Hyper-V 2012 以降のバージョンにアップグレードします。

エラー メッセージ 15037

VDDK ドライバを [<parameter>] にインストールできませんでした。この問題を修正するには、コンピュータにインストールされている VDDK ドライバをアンインストールします。必要に応じて、ターゲット コンピュータで以下のコマンドを(コマンドラインから) 実行できます： sc delete <parameter>。VDDK ドライバをアンインストールした後にコンピュータを再起動し、アシュアード リカバリ展開を再度実行します。

現象

VDDK ドライバのインストールに失敗しました

解決策

コマンド ラインを使用して VDDK ドライバを手動でインストールします。

エラー メッセージ 15038

ジョブ ID の生成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

ジョブ ID の生成に失敗しました。

解決策

エラー メッセージに従って再試行します。

エラー メッセージ 15039

セッションの取得に失敗しました。詳細については、ホスト [<parameter>] の Arcserve UDP エージェント ログ ファイルを参照してください。

現象

インスタント VM またはアシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ホストのログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 15040

デスティネーション [<parameter>] からのセッションの取得に失敗しました。デスティネーションが有効で、ユーザ名 [<parameter>] にデスティネーションのアクセス権限があることを確認してください。

現象

デスティネーションへの接続時にセッションを取得できませんでした。

解決策

ネットワーク接続とアカウント認証情報を確認します。

エラー メッセージ 15041

VDDK サービスがマシン [<parameter>] にインストールされており、マシンを再起動する必要があります。マシンの再起動後にアシュアード リカバリ ジョブを実行してください。

現象

VDDK のインストールのため、プロキシ サーバを再起動する必要があります。

解決策

マシンを再起動します

エラー メッセージ 15042

ライセンス エラー。このノードに必要なライセンスを表示するには、 [ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードに必要なライセンスを表示します。詳細については、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15043

ライセンス エラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、 [ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] を参照してください。

現象

ライセンスの検証に失敗しました

解決策

[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードに必要なライセンスを表示します。詳細については、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15044

ライセンスの確認中にアシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。バックアップ先からのソース ノードのマシン情報の取得に失敗しました。

現象

ライセンスの検証に失敗しました

解決策

ネットワーク接続を確認し、ログで詳細メッセージを確認します。

エラー メッセージ 15045

アシュアード リカバリ ジョブの起動に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

アシュアード リカバリ ジョブの起動に失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15047

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は EFI パーティションからのソース マシン [<parameter>>] のブートをサポートしていません。

現象

ハイパーバイザが EFI パーティションからのブートをサポートしていないため、インスタント VM またはアシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Windows 2012R2 にアップグレードするか、代わりに ESX サーバを使用します。

エラー メッセージ 15048

ターゲット ハイパーバイザ <parameter>> はソース マシン [<parameter>] のディスク サイズをサポートしていません。AU_ProductName_AR_SHORT ジョブを正常に実行するには、ハイパーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ソース マシンのディスク サイズをサポートするターゲット ハイパーバイザを選択します。

現象

ディスク サイズを超えたため、アシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

ハイパーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ディスク サイズをサポートするターゲット ハイパーバイザを選択します。

エラー メッセージ 15049

選択したプロキシ サーバが前提条件を満たしていません。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

インスタント VM、アシュアード リカバリ、またはアシュアード セキュリティ ジョブが失敗しました。

解決策

選択したプロキシ サーバは操作を実行できません。前提条件を満たすプロキシ サーバを使用します。

エラー メッセージ 15050

ファイル [<parameter>] の読み取りに失敗しました。詳細については、Web サービスのデバッグ ログを確認してください。

現象

インスタント VM またはアシュアード リカバリ ジョブが XML ファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15051

セッション フィルタ情報が設定されていません。プランを再展開して再試行してください。

現象

セッション フィルタが設定されていないため、アシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、セッション フィルタを設定します。

エラー メッセージ 15052

ユーザが指定したセッション情報が正しくありません。

現象

アシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。セッション情報が正しくありません。

解決策

正しいセッション情報を指定します。

エラー メッセージ 15053

アシュアード リカバリ ジョブはサポートされていません。ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムが不明です。

現象

ソース マシンが Windows ノードでないため、アシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

Windows アシュアード リカバリタスクは Windows 以外のノードをサポートしません。

エラー メッセージ 15054

アシュアード リカバリプロセス [InstantVMAgent.exe] を開始できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

InstantVMAgent.exe プロセスを開始できませんでした。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15055

XML ファイル [<parameter>] の保存に失敗しました。

現象

XML ファイルの保存に失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15056

アシュアード リカバリタスク情報が無効です。プランを再展開してください。

現象

アシュアード リカバリタスクの展開に失敗しました。タスク情報が無効です。

解決策

プランを再展開します。

エラー メッセージ 15058

バックアップ ジョブの実行に失敗しました。暗号化されたデータ ストア <data store name> に対する暗号化ハッシュ キーを取得できません。

現象

バックアップ ジョブを実行できませんでした。

解決策

ネットワーク接続に問題がないことを確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15060

バックアップ ジョブの実行に失敗しました。<parameter>。

現象

バックアップ ジョブを起動できません。

解決策

RPS サーバの RPSWebService.log でエラー メッセージを確認します。エラーが明らかでない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15062

Arcserve UDP エージェント <parameter> に接続できませんでした。サーバが稼働していてアクセス可能であり、エージェント サービスが実行されていることを確認します。

現象

D2D サーバに接続できませんでした。

解決策

ホスト名、ユーザ名、パスワード、ポートが正しく、D2D サーバが実行されていることを確認します。

エラー メッセージ 15063

このサーバのハートビートを一時停止して「<parameter>」をモニタできませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートは、この時点では一時停止できません。

解決策

モニタ サービスが実行されていること、ホストが正しい状態であることを確認してください。

エラー メッセージ 15064

このサーバのハートビートを再開して「<parameter>」をモニタできませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラー メッセージ 15066

<source> に対してジョブを実行できませんでした。データストア <datastore> (復旧ポイント サーバ <server> 上) がリストア モードにあります。

現象

データストアのステータスがブロックまたは読み取り専用です。

解決策

データ ストアが動作状態であることを確認し、データ ストア フォルダがいっぱいでないことを確認するか、開発者にサポートを求めてください。

エラー メッセージ 15067

データ ストア「<parameter>」のジョブ モニタ情報の取得に失敗しました。詳細については、Web サービスのデバッグ ログを確認してください。

現象

データ ストアのモニタ情報の取得に失敗しました。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15068

<parameter> (データ ストア「<parameter>」) の空き容量/メモリが不足しているため、指定したバックアップ データを保存できない可能性があります。

現象

データ ストアのステータスが正常ではありません。

解決策

データ ストア フォルダがいっぱいになっていないかどうかを確認するか、開発者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 15070

エージェント診断情報を <path> の場所に収集できませんでした。

現象

エージェントの診断情報を収集できませんでした。

解決策

ネットワーク接続を確認し、再試行してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15071

仮想ネットワークのリストをフェッチできません。

現象

仮想ネットワークのリストをフェッチできません。

解決策

ファイル Webservice.log のログ ファイルに例外がないか確認します。

エラー メッセージ 15072

ブート ボリュームはダイナミック ディスクにあります。

現象

ブート ボリュームはダイナミック ディスクにあります。

解決策

VSB は、ダイナミック ディスクのブート ボリュームをサポートしません。

エラー メッセージ 15073

ディスクをマウントできません。同じシグネチャがすでにマウントされているディスクがあります。

現象

ディスクをマウントできません。

解決策

同じシグネチャを持つディスクがマウントされています。この問題を解決して、ディスク シグネチャの競合を確認します。

エラー メッセージ 15074

セッション <parameter> (サーバ [<parameter>]) のスナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

現象

スナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

解決策

ブート ボリュームがバックアップされていることを確認します。次に、ログ ファイルに例外があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15075

ブートまたはシステム ディスク シグネチャの取得に失敗しました。

現象

ディスク シグネチャをフェッチできません。

解決策

ログ ファイルに例外が表示されているかどうかを確認します。次に、別の仮想マシンでマウントして、ディスク シグネチャを確認します。

エラー メッセージ 15076

Amazon からドライバのダウンロードに失敗しました。ドキュメントを参照して手動でダウンロードしてください。

現象

ドライバはダウンロードされませんでした。

解決策

UDP の対応するログ ファイルを確認して、その期間の Amazon へのネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 15077

ボリューム <parameter> へのドライバの挿入が失敗します。

現象

ドライバの挿入を実行できませんでした。

解決策

別の仮想マシンにマウントして、ディスク ステータスを確認します。

エラー メッセージ 15078

ブート可能セッション <parameter> (サーバ [<parameter>]) の設定に失敗しました。

現象

サーバのブート可能セッションの設定に失敗しました。

解決策

別の仮想マシンにマウントして、ディスク ステータスを確認します。

エラー メッセージ 15079

ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。これは、スタンバイ VM [<parameter>] が電源オン状態のためです。スタンバイ VM の電源をオフにし、仮想スタンバイ ジョブを再作成します。

現象

仮想マシンが電源オフ状態でないため、ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。

解決策

変換された仮想マシンのステータスを確認します。

エラー メッセージ 15081

仮想マシン [<parameter>] を電源オンにできませんでした。

現象

仮想マシンの電源オンに失敗しました。

解決策

仮想マシンが正常に起動しませんでした。ハイパーバイザの状態を確認し、より詳細なアクティビティ ログで障害の原因を確認してください。ハイパーバイザ側のメモリ不足が原因である可能性があります。

エラー メッセージ 15082

仮想マシン [<parameter>] のシャットダウンに失敗しました。

現象

仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。

解決策

ネットワーク通信エラーを確認するには、ログ ファイルを確認してください。次に、手動で仮想マシンをシャットダウンして、エラー メッセージを確認します。

エラー メッセージ 15083

ボリューム <parameter> へのドライバの挿入が失敗します。

現象

ドライバの挿入を実行できませんでした。

解決策

ログ ファイルに例外が表示されているかどうかを確認します。次に、別の仮想マシンでマウントして、ディスク シグネチャを確認します。

エラー メッセージ 15084

仮想マシン [<parameter>] へのツール イメージのマウントに失敗しました。

現象

統合ツールの ISO をマウントできません。

解決策

ログ ファイルを確認するか、統合ツールを手動でセットアップします。

エラー メッセージ 15085

<parameter>

現象

例外エラー メッセージを受信しました。

解決策

例外メッセージの詳細に従って解決します。

エラー メッセージ 15086

ブート ボリューム ドライブ文字の取得に失敗しました。

現象

ドライバ文字が見つかりませんでした。

解決策

これは VDDK のエラーである可能性があり、最新のビルドで修正されています。

エラー メッセージ 15087

ライセンス エラー。 [ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを表示してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認します。適切なライセンスを適用します。

エラー メッセージ 15088

ライセンス エラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認します。適切なライセンスを適用します。

エラー メッセージ 15089

ライセンスの確認中にインスタント VM ジョブが失敗しました。バックアップ先からソース ノードのマシン情報の取得に失敗しました。

現象

ライセンス チェック中にバックアップ先からソース ノードのマシン情報を取得できませんでした。

解決策

詳細については、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照してください。プロキシ サーバとバックアップ先間のネットワーク接続を確認し、再試行します。

エラー メッセージ 15090

インスタント VM プロセスがクラッシュしました。

現象

ジョブ プロセスがクラッシュしました。

解決策

これは、プロキシ サーバが突然再起動した場合に発生する可能性があります。この場合、アクションは必要ありません。またはプロセス自体がクラッシュしました。この場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15091

データの読み取り中にエラーが発生したため、インスタント VM プロセスを終了する必要がありました。ネットワーク接続を確認し、[再起動] をクリックして再試行し

てください。

現象

ジョブが失敗したか、インスタント仮想マシンが使用できません。

解決策

これは、以下の状況で発生する可能性があります。

1. RPS データ ストアが停止しています。データ ストアを起動し、再試行します。
2. プロキシ サーバと RPS データ ストア間のネットワーク接続が利用できません。ネットワークの問題を解決し、再試行します。
3. RPS データストアのプール パフォーマンスが原因で、RPS データストアからデータ読み取りタイムアウトが発生しました。RPS サーバにより多くの CPU/メモリを割り当てるか、データ ストア メディアとして SSD を使用して再試行します。

エラー メッセージ 15092

<parameter> (<parameter>) を起動できませんでした。詳細については、Arcserve UDP 復旧ポイント サーバのインストール パスの Logs フォルダ内にある RPSWebService.log ファイルを参照してください。

現象

ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15093

<parameter> ジョブ(サーバ <parameter>) を開始できませんでした。

現象

Web サービスの例外のため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15094

<parameter> (<parameter>) を実行できません。次のエラーが原因です: <parameter>。

現象

データ ストア例外のため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15096

UNC または NFS バックアップ ジョブを実行できませんでした。Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ <xx.xx.xx.xx> 上のデータ ストア <data store name> は実行状態にありません。UNC または NFS バックアップ ジョブを実行するにはデータ ストアを起動する必要があります。

現象

データ ストアが Arcserve UDP 復旧ポイント サーバで実行されていないため、UNC または NFS バックアップ ジョブの実行に失敗しました。

解決策

データ ストアを起動して、UNC または NFS バックアップ ジョブを実行できるようにします。

エラー メッセージ 15097

データストア「<parameter>」(サーバ「<parameter>」) は <parameter> で、<parameter> (<parameter>) は実行されません。

現象

データ ストアが実行されていないため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

データ ストアのステータスを確認します。

エラー メッセージ 15099

セッション <parameter> のデータは、少なくともシステム予約済みボリュームとブート ボリュームで構成されている必要があります。そうでない場合、変換ジョブは失敗します。

現象

システム ボリュームもブート ボリュームもバックアップされていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ソース マシンのシステム ボリュームとブート ボリュームをバックアップ プランに追加します。

エラー メッセージ 15100

ブート ボリュームはダイナミック ディスクにあります。Hyper-V では、ダイナミック ディスク上での仮想スタンバイの作成はサポートされていません。ダイナミック ディスクをベーシック ディスクに変換するか、ESX/vCenter で仮想スタンバイを作成します。

現象

ブート ボリュームがダイナミック ディスクにあり、ドライバ挿入を実行できなかったため、Hyper-V への仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

この問題は、ダイナミック ディスクである仮想ディスク ファイルをディスク マネージャにマウントできないという Windows の制限が原因で発生します。仮想スタンバイ デスティネーション ハイパーバイザを VMware ESX/vCenter に変更します。

エラー メッセージ 15101 ~ 15200

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15101

Arcserve HA シナリオの状態の取得中にエラーが発生しました。変換ジョブはキャンセルされます。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15102

セッション <parameter> のサイズが <parameter> MB で、デスティネーションで利用可能な空き容量 <parameter> MB よりも大きいため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、データ変換を完了するためのディスク空き容量が不足しているため失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ハイパーバイザにより多くの空きディスク容量を追加します。

エラー メッセージ 15103

VM [<parameter>] のセッションのクラウド への変 換 に失 敗しました。内 部 エラーが発 生しました。Arcserve サポート にお問い合 わせください。

現 象

エラーが発 生したときに仮 想 スタンバイ ジョブが失 敗しました。

解 決 策

ジョブ アクティビティ ログに他 のエラー ログが記 録されている場 合 、詳 細を参 照してそのエラーを解 決します。ログが使 用できない場 合 は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参 照して詳 細を確 認するか、Arcserve サポート にお問い合 わせください。

エラー メッセージ 15104

VM [<parameter>] のセッションの ESX Server [<parameter>] への変 換 に失 敗しました。内 部 エラーが発 生しました。Arcserve サポート にお問い合 わせください。

現 象

エラーが発 生したときに仮 想 スタンバイ ジョブが失 敗しました。

解 決 策

ジョブ アクティビティ ログに他 のエラー ログが記 録されている場 合 、詳 細を参 照してそのエラーを解 決します。ログが使 用できない場 合 は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参 照して詳 細を確 認するか、Arcserve サポート にお問い合 わせください。

エラー メッセージ 15105

VM [<parameter>] のセッションの Hyper-V Server [<parameter>] への変 換 に失 敗しました。内 部 エラーが発 生しました。Arcserve サポート にお問い合 わせください。

現 象

エラーが発 生したときに仮 想 スタンバイ ジョブが失 敗しました。

解 決 策

ジョブ アクティビティ ログに他 のエラー ログが記 録されている場 合 、詳 細を参 照してそのエラーを解 決します。ログが使 用できない場 合 は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参 照して詳 細を確 認するか、Arcserve サポート にお問い合 わせください。

エラー メッセージ 15106

仮想スタンバイ ジョブのキャンセルに失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブをキャンセルできません。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15107

Hyper-V スナップショット <parameter> の削除に失敗しました。

現象

Hyper-V サーバの VM スナップショットの削除中に発生したエラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15108

ノード : <parameter> [<parameter>] に接続できませんでした。サーバが稼働しており、アクセス可能であることを確認します。サーバ名、ポート番号、およびプロトコル(http/https) の入力がすべて正しく、Arcserve UDP エージェント Web サービスが指定したホストで起動していることを確認します。

現象

デスティネーション ホストの UDP エージェント サービスに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

UDP エージェントがデスティネーション サーバにインストールされているかどうかを確認します。VSB タスクで正しいサーバ名、ポート番号、およびプロトコルを指定します。また、コンソールで関連ノードを更新し、プランを再展開する必要がある場合もあります。

エラー メッセージ 15109

バックアップ ディスク イメージ <disk_name> の変換に失敗しました。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15110

ブート ディスクが見つかりませんでした。

現象

ブート ディスクが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ タスクで、ブート ボリュームが保護されているかどうかを確認します。そうでない場合、ブート ボリュームをバックアップ タスクに追加します。ブート ボリュームがすでに保護されている場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15111

ブート可能仮想ディスクの準備に失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成しようとして失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15112

ブート可能仮想ディスクを準備するプロセスを開始できませんでした。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成するプロセスを追加しようとして失敗しました。

解決策

Agent tomcat_xxxx.log を参照して詳細を確認し、再試行します。または、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15113

ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。スナップショット名は <parameter> です。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成できないため失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、仮想スタンバイ モニタ サーバで Web サービス ログ ファイルを参照して、詳細を確認します。ログ ファイルは、「WebService.log」の「<UDP_HOME>\Engine\Logs」フォルダにあります。または、Arcserve サポートにお問い合わせください。Arcserve UDP Virtual Standby to Amazon EC2 は、ブート可能スナップショットの作成に使用する 3 つのパッケージを Amazon からダウンロードする必要があります。最近、Amazon がいずれかのパッケージのダウンロード リンクを変更したため、ダウンロードに失敗しました。Arcserve は、UDP 6.5 update 4 に加えて、新しいダウンロード場所を使用して動作を変更する修正を提供しています。arc_real_lt;aarc_real_nbsp;target=arc_real_quot;_blankarc_real_quot;arc_real_nbsp;href=arc_real_quot;https://support.arcserve.com/s/article/Virtual-Standby-to-Amazon-EC2-job-failed?language=en_USarc_real_quot;arc_real_gt;https://support.arcserve.com/s/article/Virtual-Standby-to-Amazon-EC2-job-failed?language=en_USarc_real_lt;/aarc_real_gt;

エラー メッセージ 15114

フェールオーバ ジョブ スクリプトが存在しないため、ノード [<parameter>] のブート可能スナップショットの作成に失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットの作成時に失敗しました。仮想スタンバイ フェールオーバ ジョブ スクリプトが見つかりませんでした。

解決策

このノードのコンソールでプランを再展開します。次に、仮想スタンバイを再開して再試行します。

エラー メッセージ 15115

ストレージ [<parameter>] (ESX ノード [<parameter>]) は、<parameter> より大きな仮想ディスク サイズをサポートできません。ディスクを変換するには、ストレージ ブロック サイズを <parameter> に変更します。

現象

ESX のデータストアは、このデータストアでサポートされている単一ファイル サイズの最大値より大きい仮想ディスク サイズをサポートできないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーションを ESX サーバの別のデータストアに変更し、再試行します。

エラー メッセージ 15116

ESX Server システムは、2TB を超えるディスク サイズをサポートしません。

現象

ESX Server システムが 2 TB を超えるディスク サイズをサポートしていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイデスティネーションを、2 TB を超えるファイル サイズをサポートする別の ESX サーバに変更し、再試行します。

エラー メッセージ 15117

仮想スタンバイはサーバ [<parameter>] からメタ データをダウンロードできません。サーバ [<parameter>] にアクセスできません。

現象

デスティネーション ESX サーバにアクセスできないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーション ESX サーバがオンラインで、サーバから到達可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 15118

仮想スタンバイは、クラウド ストレージサーバからメタ データをダウンロードできません。

現象

Amazon ストレージからメタ データをダウンロードできないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

UDP 復旧ポイント サーバと Amazon S3 ストレージ間のネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 15119

VM [<parameter>] のセッションを変換しようとしたときに予期しないエラーが発生しました。この問題を解決するには、新しいバックアップをサブミットして仮想スタンバイ ジョブを開始してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

予期しないエラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15120

データストア名 [<parameter>] が ESX Server システムに存在しません。既存のデータストア名を使用してプランを再設定します。

現象

仮想スタンバイ タスクで設定されたデータストアが ESX Server システムに存在しないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

既存のデータストア名を使用してプランを再設定し、プランを再展開します。

エラー メッセージ 15121

スタンバイ VM ジョブが失敗し、ペアになっていないスナップショットが作成された可能性があります。この問題は、次回の仮想スタンバイ ジョブで解決されます。

現象

スタンバイ VM のペアになっていないスナップショットが見つかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ペアになっていないスナップショットは、次回の仮想スタンバイ ジョブで削除されます。仮想スタンバイを再開して手動ジョブを今すぐトリガするか、次にスケジュールされている仮想スタンバイ ジョブを待機します。

エラー メッセージ 15122

ライセンス エラー。 [ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを表示してください。

現象

ライセンスの確認に失敗したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

正しいライセンスまたは適切なライセンスを指定して、再試行します。

エラー メッセージ 15123

ライセンス エラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、 [ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

正しいライセンスまたは適切なライセンスを指定して、再試行します。

エラー メッセージ 15124

仮想スタンバイは、EFI パーティションからブートするソース マシン [<parameter>] をサポートしません。

現象

デスティネーション ハイパーバイザが EFI パーティションからの VM ブートをサポートしていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V の制限により、仮想スタンバイは UEFI システムをサポートできません。この制限により、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) を使用する仮想マシンはサポートされません。そのため、スタンバイ デスティネーションが Hyper-V サーバで

ある仮想スタンバイタスクを UEFI システムに展開すると、その展開は失敗します。このシナリオは、Hyper-V サーバ 2008、2008 R2、または 2012 に対して適用されます。

デスティネーション Hyper-V サーバが 2012 R2、ソース ノードが UEFI システムである場合、以下のいずれかのオペレーティング システムであれば、サーバはサポートされます。

- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows 8 (64 ビット版)
- Windows 8.1 (64 ビット版)

エラー メッセージ 15125

[<parameter>] に接続できません。仮想スタンバイ プランを正しいクラウド認証情報で更新します。

現象

クラウド サービスに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

クラウド アカウントを正しいクラウド認証情報で更新し、プランを展開します。

エラー メッセージ 15126

ESX/VC サーバ [<parameter>] にユーザ名 [<parameter>] で接続できません。正しいユーザ名 /パスワードで仮想スタンバイ プランを更新します。

現象

ESX/VC サーバに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ESX/VC サーバの正しいユーザ名とパスワードで仮想スタンバイ プランを更新します。

エラー メッセージ 15127

仮想スタンバイ サーバが ESX Server/vCenter Server システムと通信できません。ESX Server/vCenter Server システムがネットワークに接続され、アクセス可能であることを確認します。

現象

ESX/VC サーバに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ESX Server/vCenter Server システムがネットワークに接続され、アクセス可能であることを確認します。

エラー メッセージ 15128

ライセンスを取得しようとして仮想スタンバイ内部エラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。仮想スタンバイ ログを確認します。

現象

ライセンスの取得中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15129

vStorage API ライセンス エラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。新しい vStorage API ライセンスの取得については、アカウント担当者にお問い合わせください。

現象

ESX/VC サーバにライセンスされている vStorage API 機能がないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

VMware ESX ライセンスを指定して、ESX サーバの vStorage API ライセンスを有効にします。

エラー メッセージ 15130

アプリケーションがライセンスを取得するために仮想スタンバイに接続できなかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。ネットワーク設定を確認してください。

現象

アプリケーションがライセンスを取得するために UDP コンソールに接続できなかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

UDP コンソールへのネットワーク接続が使用可能かどうかを確認し、再試行します。

エラー メッセージ 15131

現在のクラウド アカウントには、IAM ユーザ情報の読み取りが許可されていません。

現象

現在のアカウントは Amazon Web サービスからの IAM ユーザ情報の読み取りを許可されていないため、仮想スタンバイ ジョブは失敗しました。

解決策

UDP ソリューション ガイドを参照して、EC2 に仮想スタンバイの正しい権限を割り当てます。

エラー メッセージ 15132

セッション [<parameter>] はブート可能なセッションではありません。プランでシステム予約済みボリュームとブート ボリュームを少なくとも選択し、新しいフル バックアップをトリガして、両方のボリュームがバックアップされていることを確認します。

現象

バックアップ セッションにシステム ボリュームとブート ボリュームの両方が含まれていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランでシステム ボリュームとブート ボリュームを少なくとも選択します。次に、新しいフル バックアップをトリガして、両方のボリュームが確実にバックアップされるようにします。

エラー メッセージ 15133

マシン <parameter> の BLOB スナップショットを削除できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットの削除エラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure によって返されたエラー メッセージの詳細を参照します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15134

ソース ノード [<parameter>] のオペレーティング システム情報の取得に失敗しました。

現象

ソース ノードのオペレーティング システム情報を取得できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルで詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15135

マシン <parameter> の BLOB スナップショットをリストできませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットのリスト エラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15136

BLOB スナップショットに戻せませんでした。ソース マシン: <parameter>、エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットに戻すときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15137

マシン <parameter> の BLOB スナップショットを取得できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットを取得するときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15138

VM [<parameter>] の仮想ディスクの削除および追加に失敗しました。

現象

ディスクを VM に接続するときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15140

データ転送スクリプトの作成に失敗しました。

現象

データ転送用のジョブ スクリプトの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15140

データ転送スクリプトの作成に失敗しました。

現象

データ転送用のジョブ スクリプトの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15141

セッションをロックできませんでした: セッション <parameter> からセッション <parameter>。

現象

仮想スタンバイ ジョブがセッションをロックできないため失敗しました。

解決策

通常、別のジョブが書き込みロッカーでセッションをロックしたため、仮想スタンバイ ジョブのロックセッションは失敗します。エージェント Web サービスと Tomcat ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15142

セッション <parameter> から VM [<parameter>] のホストへの変換に失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブがセッションの変換に失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15143

VM [<parameter>] スナップショットをストレージに保存できませんでした。

現象

仮想スタンバイ ジョブがスナップショット情報の保存に失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15144

VM [<parameter>] のスナップショットを取得できませんでした。スナップショット名は <parameter> です。

現象

VM のスナップショットの作成中にエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15145

バックアップ セッションの設定ファイルにアクセスできません。セッションが破棄されたか、セッションが完了していない可能性があります。

現象

バックアップ セッションのバックアップ先フォルダに設定ファイルが見つからなかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ セッションが正しいか、または完了しているかを確認します。セッションが正しくない場合、フル バックアップをトリガして再試行します。

エラー メッセージ 15146

バックアップ セッション <parameter> の設定ファイルの解析に失敗しました。

現象

設定ファイルが正しく解析されなかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ セッションが正しいか、または完了しているかを確認します。セッションが正しくない場合、フル バックアップをトリガして再試行します。

エラー メッセージ 15147

リモート変換 <parameter> の準備中にエラーが発生しました。

現象

RHA によってレプリケートされたバックアップ セッション用の VSS スナップショットの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15148

セッション <parameter> のパスワードが正しくありません。仮想スタンバイから、セッション パスワードをノード リストから設定します。

現象

セッション パスワードが正しくないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ノードのノード リストから正しいセッション パスワードを設定します。

エラー メッセージ 15149

エージェントのアカウント [<parameter>] は無効です。

現象

アカウント情報が正しくありません。

解決策

正しいアカウント情報を指定します。

エラー メッセージ 15150

アカウント [<parameter>] はコンバータ [<parameter>] に対して無効です。仮想スタンバイから、コンバータ ホスト リンクをノード リストからクリックし、有効な認証情報を指定します。

現象

コンバータのアカウント情報が正しくありません。

解決策

コンバータ ノードを更新し、正しいアカウント情報を指定します。

エラー メッセージ 15151

HotAdd モードで仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。この障害は、ネットワーク障害または VDDK エラーが原因である可能性があります。<parameter> に所属していないディスクがある場合、切断してネットワーク接続を確認します。次に、新しい仮想スタンバイ ジョブをサブミットします。

現象

HotAdd モードの使用時に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ コンバータまたはモニタ サーバに属さない仮想ディスクがある場合は、それらを切断してネットワーク接続を確認します。次に、新しい仮想スタンバイ ジョブをサブミットします。

エラー メッセージ 15152

Hyper-V サーバ [<parameter>] は、EFI パーティションから起動する仮想マシンの作成をサポートしていません。

現象

ソース ノードが EFI パーティションから起動しているときに、Hyper-V サーバへの仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Windows 2012 R2 にアップグレードするか、代わりに ESX サーバを使用します。

エラー メッセージ 15153

仮想スタンバイ ジョブで Hyper-V 操作 [<parameter>] の実行に失敗しました。

現象

Hyper-V 操作の実行時に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークを確認し、Hyper-V ログを参照します。

エラー メッセージ 15154

仮想スタンバイ ジョブがエラー [<parameter>] でモニタからセッションを取得できませんでした。

現象

モニタからセッションに接続中に、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークを確認します。

エラー メッセージ 15155

仮想スタンバイ ジョブが、このサーバの Hyper-V VM の作成または検索に失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブが Hyper-V VM の作成に失敗しました

解決策

ログで詳細メッセージを確認してください。

エラー メッセージ 15156

ディスク ファイルがないため仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

現象

ディスク ファイルが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15157

仮想スタンバイ ジョブが、[<parameter>] の親ディスクを見つけられませんでした。

現象

親ディスクが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15158

仮想スタンバイ ジョブが、[<parameter>] のスナップショットが見つかりませんでした。

現象

スナップショットが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15159

仮想スタンバイ ジョブで、Hyper-V VM の取得に失敗しました。

現象

Hyper-V VM が見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークと Hyper-V ステータスを確認します。

エラー メッセージ 15160

スタンバイ仮想マシンは電源オフ状態ではありません。

現象

スタンバイ VM の電源がオンになっているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM の電源をオフにし、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15161

仮想スタンバイ ジョブは、仮想マシン [<parameter>] から Hyper-V サーバ [<parameter>] にセッションを変換できません。バックアップ セッションでシステム ディスクが検出されませんでした。

現象

システム ディスクがバックアップされていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ プランを変更し、システム ディスクを選択してから仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15162

仮想スタンバイ ジョブが VM [<parameter>] の作成に失敗しました。

現象

VM を作成できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ログを参照します。

エラー メッセージ 15163

バックアップ設定が設定されていません。最初にバックアップ設定を行います。

現象

バックアップ設定が行われていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ プランを変更し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15165

エージェント復旧ポイント [<parameter>] にシステム ボリュームが含まれていません。

現象

システム ボリュームがセッション データにバックアップされていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ プランを変更し、システム ボリュームを選択してバックアップ ジョブを再度サブミットします。

エラー メッセージ 15166

<parameter>

現象

例外エラー メッセージが表示されました。

解決策

解決するには、例外メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15167

バックアップ ファイルが破損しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。仮想スタンバイ ジョブを再開するには、手動でフル バックアップをサブミットしてください。

現象

バックアップ ファイルが破損しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバックアップ ジョブを再サブミットします

エラー メッセージ 15168

例外のため、スマート コピー方式の取得に失敗しました。仮想スタンバイ ジョブがキャンセルされました。

現象

スマート コピーの例外のため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ログを参照します。

エラー メッセージ 15169

メタ データを [<parameter>] アクセスできないサーバ [<parameter>] にアップロードできませんでした。

現象

メタデータのアップロード中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ESX/VC サーバへの接続を確認します。

エラー メッセージ 15170

VMware メッセージ: [<parameter>]。

現象

エラーが発生しました。

解決策

メッセージに従って、ログを参照します。

エラー メッセージ 15172

別の競合するジョブが同じノードで実行されているため、「<parameter>」(データ ストア「<parameter>」) を実行できませんでした。

現象

別の競合ジョブが実行されているため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 15174

別のレプリケーション ジョブが現在このノードで実行されているため、ノード <parameter> の RPS ジャンプスタート ジョブの起動に失敗しました。

現象

別のジョブが実行されているため、ジャンプスタート ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15175

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。デスティネーション サーバ「<parameter>」に接続できませんでした。

現象

デスティネーション サーバに接続できないため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

デスティネーション サーバが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15176

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。デスティネーションサーバ「<parameter>」にプロキシ「<parameter>」経由で接続できませんでした。

現象

デスティネーション サーバにプロキシ経由で接続できないため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

プロキシ情報が正しく、デスティネーション サーバが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15177

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。データ ストア「<parameter>」の情報をデスティネーション サーバ「<parameter>」から取得できませんでした。

現象

データストア情報の取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15178

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバ プラン「<parameter>」の情報をデスティネーション サーバ「<parameter>」から取得できませんでした。プランを再展開してください。

現象

ポリシーの取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15179

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバ「<parameter>/<parameter>」のバージョンを取得できませんでした。

現象

サーバ バージョンの取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15180

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。プラン「<parameter>」(デスティネーション サーバ「<parameter>」) は一時停止しています。

現象

デスティネーション プランが一時停止しているため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15181

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバ「<parameter>」のバージョンは、サーバ「<parameter>」より低いです。

現象

ソースとデスティネーションのバージョンが一致しないため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15182

「<parameter>」のレプリケーション ジョブをサブミットできませんでした(エラー = <parameter>) 。

現象

バックエンドのため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15283

Arcserve Backup Client Agent がターゲット ホストにインストールされていないか、実行されていません。

現象

プランの展開にテープへのコピー タスクが含まれていますが、Arcserve Backup クライアント エージェントがターゲット ホストにインストールされていません。

解決策

ターゲット ホストに Arcserve Backup Client Agent をインストールし、再試行します。

エラー メッセージ 15401 ~ 15500

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15446

選択したサーバに接続できません。

現象

サーバに接続できませんでした。

解決策

サーバにアクセスするための認証情報を確認し、出力ログ メッセージを参照します。

エラー メッセージ 15447

モニタ パスの検証に失敗しました。パス「<parameter>」は無効なパスです。

現象

モニタ パスが無効です。

解決策

指定したパスを確認します。

エラー メッセージ 15448

ESX Server への接続に失敗しました: <parameter>。

現象

ESX/ESXi サーバに接続できませんでした。

解決策

サーバにアクセスするための認証情報を確認し、出力ログ メッセージを参照します。

エラー メッセージ 15449

ソース [<parameter>] およびモニタ [<parameter>] は同じマシンです。

現象

ソースとモニタが同じマシンに存在しないようにする必要があります。

解決策

HA ソリューションの一部として、ソース マシンとモニタを 2 つのホストに分離してください。

エラー メッセージ 15450

<parameter> からモニタ: <parameter> に接続できませんでした。<parameter>。

現象

モニタ サーバに接続できませんでした。

解決策

ファイアウォールが無効になっていて、IP アドレスを使用してモニタにアクセスできることを確認します。また、代わりに IP アドレスを使用します。

エラー メッセージ 15451

スタンバイ VM [<parameter>] はすでにハイパーバイザ [<parameter>] に存在します。この問題を修正するには、VM の名前を変更するか、VM を削除してからプランを再展開します。

現象

現在のプランと同じ名前の別の仮想マシンが存在します。

解決策

プランおよび ESX/ESXi ホストを変更します。

エラー メッセージ 15452

仮想スタンバイ ジョブ スクリプトの更新に失敗しました。

現象

現在の状態ではジョブ スクリプトを更新できません。

解決策

ログ ファイルで例外を確認してください。

エラー メッセージ 15453

仮想スタンバイ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。

現象

現在の状態ではジョブ スクリプトを更新できません。

解決策

指定した認証情報が一致しません。ログ ファイルで例外を試行し、親フォルダが存在するかどうかも確認してください。

エラー メッセージ 15454

ハートビートを開始できませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラー メッセージ 15455

最初にバックアップ設定を行ってください。

現象

最初にバックアップ設定を行います。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラー メッセージ 15456

バックアップ設定でフル マシンを選択してください。

現象

バックアップ設定でフル マシンを選択します。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラー メッセージ 15457

仮想スタンバイ ジョブ スクリプトの取得に失敗しました。

現象

ジョブ スクリプトをフェッチできません。

解決策

webservice.log ファイルでエラー メッセージを確認します。

エラー メッセージ 15458

VM バックアップ情報の取得に失敗しました。

現象

仮想マシンのバックアップ情報をフェッチできません。

解決策

webservice.log ファイルにエラー メッセージがあるかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 15459

ソースマシン名の取得に失敗しました。

現象

ソース マシンの名前をフェッチできません。

解決策

仮想マシンが実行中であることを確認してください。

エラー メッセージ 15460

このテキストを削除して、独自の内容で置き換えます。

現象

解決策

エラー メッセージ 15461

バックアップ設定の取得に失敗しました。

現象

バックアップ設定ファイルをフェッチできません。

解決策

ログ ファイルのエラー メッセージを確認してください。バックアップ ルート フォルダの障害が原因でこの問題が発生する場合があります。接続が利用可能であることを確認してください。

エラー メッセージ 15462

ソース マシンで電子メール アラート設定を設定してください。

現象

これは、電子メール アラートの 1 つのプロンプト メッセージです。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラー メッセージ 15463

ソース マシンで Hyper-V の役割が有効になっている場合、仮想スタンバイ サポートは無効になります。

現象

Hyper-V の機能が有効になりました。

解決策

ホスト内の仮想マシンは保護できないため、VSB は Hyper-V の役割が有効になっているソース マシンを保護しません。

エラー メッセージ 15464

モニタ バックエンドに接続できません。再試行してください。

現象

現在、モニタに接続できません。

解決策

モニタのサービスが実行されていることを確認します。IP アドレスは、コマンド ライン ping で接続できます。

エラー メッセージ 15465

Host-Based VM Backup プロキシ サーバ [<parameter>] およびモニタ [<parameter>] は同じマシンです。バックアップ プロキシ サーバがダウンした場合、コンソールを使用してスタンバイ VM の電源をオンにできませんが、ハイパーバイザ サーバの対応するブート可能スナップショットを使用してスタンバイ VM の電源をオンにすることはできます。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15466

リソース プール [<parameter>] をリソース プール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して取得できませんでした。仮想スタンバイ プランを正しいリソース プールで更新します。

現象

現時点でリソース参照のフェッチに失敗しました。

解決策

その間に、エラー メッセージが表示されてリソースが存在するかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 15467

VDDK ドライバを [<parameter>] にインストールできませんでした。この問題を修正するには、コンピュータにインストールされている VDDK ドライバをアンインストールします。必要に応じて、ターゲット コンピュータで以下のコマンドを(コマンドラインから) 実行できます: sc delete <parameter>。VDDK ドライバをアンインストールした後にコンピュータを再起動し、仮想スタンバイ展開を再度実行します。

現象

メッセージに示されているように、VDDK サービスをインストールできません。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15468

マシン [<parameter>] が仮想スタンバイ ジョブを実行しているときに、そのインスタンスでは新しい仮想スタンバイ プランを適用できません。

現象

ジョブが実行中は設定を行うことはできません。

解決策

現在のジョブが終了するまで待つか、現在のジョブをキャンセルしてください。

エラー メッセージ 15469

マシン [<parameter>] は仮想スタンバイ ジョブを実行しており、現在仮想スタンバイ設定を削除できません。

現象

ジョブが実行中は設定を行うことはできません。

解決策

現在のジョブが終了するまで待つか、現在のジョブをキャンセルしてください。

エラー メッセージ 15470

VDDK サービスがマシン [<parameter>] にインストールされ、マシンの再起動を要求しています。マシンの再起動後に仮想スタンバイ ジョブを実行してください。

現象

メッセージが示すように、VDDK のインストールでは再起動が必要です。

解決策

ホストを再起動してください。

エラー メッセージ 15471

D2D オンデマンド マシン [<parameter>] を仮想スタンバイ モニタとして指定できません。

現象

ハイパーバイザの現在のバージョンは、EFI パーティションをサポートしていません。

解決策

プロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15472

仮想スタンバイは、EFI パーティションからブートするソース マシン [<parameter>] をサポートしません。

現象

対応する ESX/ESXi または Hyper-V が EFI をサポートしているかどうかを確認してください。

解決策

対応する ESX/ESXi または Hyper-V が EFI をサポートしているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 15473

ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムが不明です。そのため、仮想スタンバイ ジョブはサポートされません。

現象

メッセージが示すように、Windows の仮想スタンバイ機能は、オペレーティング システムのバージョンを正確に把握している必要があります。

解決策

ホストの情報に接続できません。

エラー メッセージ 15474

マシンにアクセスできません。マシン名が正しくないか、マシンの電源がオフである可能性があります。

現象

メッセージが示すように、ホストに接続できません。

解決策

ホストが実行状態であることを確認してください。

エラー メッセージ 15475

D2D サービスに接続できません。D2D がマシンにインストールされ、実行されていることを確認してください。

現象

D2D サービスに接続できません。

解決策

D2D がマシンにインストールされ、実行されていることを確認してください。

エラー メッセージ 15476

<parameter>

エラー メッセージ 15477

Hyper-V は、2 テラバイトを超えるディスクを含むソース ノードの保護をサポートしません。プランの展開は失敗します。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

2TB を超えるディスクがあるかどうか確認してください。

エラー メッセージ 15478

マシン [<parameter>] のディスクのいずれかが 2 テラバイトより大きい場合、変換ジョブは失敗します。

現象

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。プランの展開プロセスは失敗します。

解決策

2TB を超えるディスクがあるかどうか確認してください。

エラー メッセージ 15479

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。プランの展開プロセスは失敗します。

現象

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15480

Tomcat Web サーバの Java 最大ヒープ サイズが増加しました。新しい値を適用するには、ノード [<parameter>] の Arcserve UDP エージェント Web サービスを再起動します。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15481

復旧ポイント フォルダの設定に失敗しました。

現象

メッセージが示すように、復旧ポインタ フォルダを設定できません。

解決策

復旧ポイント パスが有効であることを確認してください。

エラー メッセージ 15482

設定: ネットワーク アダプタの種類 [<parameter>]、**理由**: ノードのオペレーティング システムがネットワーク アダプタの種類をサポートしていません。**アクション**: [<parameter>] に変更します。

現象

別のネットワーク アダプタの種類を選択してください。

解決策

ノードのオペレーティング システムがネットワーク アダプタの種類をサポートしていません。

エラー メッセージ 15483

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は、ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムをサポートしていません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、ハイパーバイザをアップグレードするか、ターゲット ハイパーバイザをソース マシンのオペレーティング システムをサポートするハイパーバイザに変更する必要があります。

現象

このオペレーティング システムはサポートされていません。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15484

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> はソース マシン [<parameter>] のディスク サイズをサポートしていません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、ハイパーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ソース マシンのディスク サイズをサポートするハイパーバイザに変更する必要があります。

現象

ディスク サイズが、ハイパーバイザがサポートできるサイズを超えています。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15485

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は ESX/ESXi 5.5 以降です。VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、ESX/ESXi 5.1 以前への仮想スタンバイ変換を実行する必要があります。

現象

VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、ESX/ESXi 5.1 以前への仮想スタンバイ変換を実行する必要があります。

解決策

VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、仮想スタンバイ変換を実行する必要があります

エラー メッセージ 15486

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は ESX/ESXi 5.5 以降で、プロキシ モードのモニタとして 32 ビット ノードをサポートしていません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、64 ビット モニタに変更するか、非プロキシ モードを使用する必要があります。または、ESX/ESXi 5.1 以降に仮想スタンバイ変換を実行することもできます。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15487

バックアップ パスワードが設定されていません。コンソールで、ノード リストからバックアップ パスワードを設定します。

現象

セッション パスワードが設定されていないため、ジョブが失敗しました。

解決策

セッション パスワードを設定し、再試行してください。

エラー メッセージ 15488

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイル システムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。(ホスト = <parameter>、ディレクトリ = <parameter>) 。

現象

圧縮ボリュームおよび暗号化ボリュームはサポートされていません。

解決策

圧縮および暗号化属性のない別のボリュームを選択してください。

エラー メッセージ 15489

ノード [<parameter>] の仮想スタンバイ タスク設定を展開できませんでした。現時点で、復旧ポイント サーバ [<parameter>] にこのノードで使用できるレジストリ情報がないためです。このノードの最初のレプリケーション ジョブの完了後に、仮想スタンバイ タスク設定は自動的に展開されます。

現象

ノードがレプリケートされたノードに登録されていないため、タスクの展開に失敗しました。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。次に、レプリケーション ジョブを実行します。これにより、ノードが自動的に登録されます。

エラー メッセージ 15490

仮想スタンバイ タスクを Windows 以外のマシンに割り当てることはできません。現在の OS は [<parameter>] です。コンソール ノード リスト ビューで OS 情報を確認します。

現象

タスクを Windows 以外のホストに割り当てることはできません。

解決策

Windows 以外の VM、Hyper-V Integration Services がインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM が考えられます。

エラー メッセージ 15491

仮想スタンバイ タスクは、Windows 以外の VM、Hyper-V 統合サービスがインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM である可能性があるため、エージェントに割り当てることはできません。

現象

メッセージが示すように、タスクを割り当てることができません。

解決策

Windows 以外の VM、Hyper-V Integration Services がインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM ではないことを確認してください。

エラー メッセージ 15492

仮想スタンバイ タスクは、Windows 以外の VM、Hyper-V 統合サービスがインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM である可能性があるため、エージェントに割り当てることはできません。この問題を解決するには、Hyper-V VM [<parameter>] の電源がオンになっていて、Hyper-V 統合サービスがインストールされていることを確認した後に、 [ハイパーバイザから更新] からコンソールを使用してノードを更新し、ノード情報を更新します。

現象

メッセージが示すように、タスクを割り当てることができません。

解決策

この問題を解決するには、Hyper-V VM の電源がオンになっていて、Hyper-V 統合サービスがインストールされていることを確認した後に、ハイパーバイザの更新によってノードを更新し、ノード情報を更新します。

エラー メッセージ 15493

ユーザ <parameter> は、仮想スタンバイ ジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

管理者アカウントを使用します。

解決策

ドメイン管理者グループに属するユーザのアカウントを使用します。

エラー メッセージ 15494

関連するプランがすでに一時停止されているため、仮想スタンバイ ジョブを一時停止/再開できません。

現象

メッセージが示すように、プランは一時停止されました。

解決策

関連するプランを再開してください。

エラー メッセージ 15495

システム予約済みボリュームおよびブート ボリュームをバックアップ タスクでバックアップする必要があるため、仮想スタンバイはサポートされません。

現象

システム予約済みボリュームおよびブート ボリュームがバックアップされていません。

解決策

OS をブート可能にするために、システム予約済みボリュームとブート ボリュームをバックアップしました。

エラー メッセージ 15496

Microsoft Azure は、ブート ボリュームとシステム ボリュームがソース マシン [<parameter>] の異なるディスクにある場合はサポートされません。

現象

システムとブート ボリュームが異なるディスク上にあります。

解決策

Azure は 1 つの OS ディスクのみをサポートします。

エラー メッセージ 15497

Microsoft Azure は、1023 GB を超えるディスク サイズはサポートしていません。

現象

OS ディスク サイズが 1023 GB を超えています。

解決策

OS ディスク サイズが 1023 GB 以下であることを確認します。

エラー メッセージ 15498

<parameter> Web サーバに接続できませんでした。ネットワーク設定を確認してください。

現象

ネットワーク設定への接続に使用するアドレスまたはポートが正しくありません。

解決策

ポートまたはサーバの IP アドレスが正しいことを確認します。

エラー メッセージ 15499

<parameter> Web サービスへのログインに失敗しました。入力した認証情報を確認してください。<parameter>。

現象

指定した認証情報が一致しません。入力された認証情報で Web サービスを正しく認証できません。

解決策

Web サービスへの認証情報が正しいことを確認します。

エラー メッセージ 15560

別のジョブが実行されています。後ほど再試行してください。

現象

別のジョブがすでに実行中です。

解決策

実行中のジョブが終了するのを待ってから、再試行します。

エラー メッセージ 15601 ～ 15700

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15619

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、製品クラウド ライブラリの例外が原因で発生する場合があります。ジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡して、失敗したジョブのログ ファイルを次から提供します。「<UDP_Installation_Directory>\Engine\Logs」

エラー メッセージ 15620

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、メモリが不足しているか、製品インストール ディレクトリ内のライブラリが使用できないことが原因で発生する可能性があります。障害発生時により多くのジョブ/プロセスが実行されていてメモリ使用率が高くなった場合は、メモリサイズを増やすか、他のジョブ/プロセスの完了後に再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15621

プロキシ詳細が無効です。確認してください。

現象

正常です

解決策

タスクに設定されたクラウド アカウントの正しいプロキシ詳細(プロキシ サーバ名、ポート、および認証情報)を入力し、再試行します。

エラー メッセージ 15622

クラウドと通信できませんでした。再試行してください。

現象

ジョブの実行時に<productname>と通信できませんでした。

解決策

ネットワーク障害が原因でエラーが発生しました。管理者に連絡してネットワークの中断の問題を解決し、ジョブを再実行します。

エラー メッセージ 15623

サービスを利用できません。再試行してください。

現象

正常です

解決策

詳細については、ログ ファイルを参照してください。しばらく待ってから再試行します。問題が解決しない場合は、<productname for Arcserve Cloud> ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15624

クラウド プロバイダ エラーです。再試行してください。

現象

正常です

解決策

例外の詳細についてログ ファイルを参照し、再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15625

アクセスが拒否されました。認証情報を確認してください。

現象

クラウド ベンダへのアクセスが拒否されました。

解決策

クラウド ベンダのアカウントの有効期限が切れているか、指定した認証情報が無効です。クラウド ベンダに問い合わせて、アカウントの有効性を確認します。有効なクラウド ベンダ アカウント認証情報を入力して再試行します。

エラー メッセージ 15626

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

エラー/例外の詳細についてログ ファイルを参照し、再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15627

無効なバケット名が指定されました。適切なバケット名が指定されていることを確認してください。

現象

Amazon クラウドは、指定したバケット名をサポートしていません。

解決策

指定したバケット名は、Amazon クラウド バケットの命名規則に一致しません。詳細については、リンクを参照してください。長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラー メッセージ 15628

アクセス キー ID が無効です。指定された AWS アクセス キー ID は存在しません。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

詳細を確認するには、ログ ファイルを参照してください。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15629

リクエスト時間と現在のサーバ時間の差が大きすぎます。マシンの時間設定が正しいことを確認します。

現象

リクエスト時間が現在のサーバ時間と異なります。

解決策

サーバ時間が現在の時間と同期されていません。現在の時間に従ってサーバ時間を調整し、再試行します。

エラー メッセージ 15630

このアカウントで許可されている最大数を超えるバケットを作成しようとしています。

現象

バケット数が、Amazon S3 でクラウド アカウントに許可されている上限を超えました。

解決策

デフォルトでは、Amazon S3 はアカウントごとに最大 100 バケットを許可します。一部のバケットを削除して、新しいバケットを作成します。Amazon では、アカウントの制限を変更できます。詳細については、リンクを参照してください。

エラー メッセージ 15631

クラウド設定の初期化に失敗しました。

現象

クラウド セッションを初期化できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15632

予想されるダウンロード サイズとクラウドからの実際のダウンロード サイズが等しくありません。プロバイダの問題です。

現象

正常です。

解決策

再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15633

ライブラリを初期化できませんでした。

現象

製品クラウド ライブラリを初期化できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15634

無効なハンドルです。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15635

プロバイダの追加に失敗しました。

現象

製品はクラウド詳細をキャッシュに追加できませんでした。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15636

プロバイダトークンが無効です。

現象

正常です

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15637

セッショントークが無効です。

現象

正常です

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15638

プロバイダが使用中です。

現象

クラウド プロバイダを使用できません。

解決策

クラウド プロバイダの詳細は、すでに他のジョブによって使用されています。ログ ファイルを参照します。他のジョブが完了してから再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15639

ProviderInformation.xml ファイルが破損しています。

現象

クラウド プロバイダの詳細を更新できません。

解決策

ProviderInformation.xml ファイルが破損している可能性があります。ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15640

プロバイダ/プロファイルが使用できません。

現象

クラウド プロバイダの詳細を表示できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15641

プロバイダの表示が終了に達しました。

現象

クラウド ベンダの詳細を表示できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15642

プロバイダがサポートされていません。

現象

クラウド ベンダの名前を識別できません。

解決策

サポートされているクラウド ベンダのリストを確認します。詳細については、リンクを参照してください。

エラー メッセージ 15643

プロバイダ エラーです。

現象

クラウド プロバイダを検索中にエラーが発生しました。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15644

サーバに接続できませんでした。

現象

<productname> に接続できません。

解決策

<productname> のネットワーク接続とアクセス可能性を確認して、再試行します。

エラー メッセージ 15645

プロバイダの種類が無効です。

現象

プロバイダの種類が無効です。

解決策

クラウド ベンダはサポートされていません。サポートされているクラウド ベンダのリストを確認します。詳細については、リンクを参照してください。

エラー メッセージ 15646

無効なデスティネーション パスです。

現象

正常です。

解決策

正常です。

エラー メッセージ 15647

別のアカウントのバケットがすでに存在します。

現象

バケット名はすでに使用されています。

解決策

Amazon S3 は、アカウント間およびリージョン間で単一の名前空間を使用します。命名規則によって有効であり、自分のアカウントを含む他のアカウントで使用されていない名前を選択します。詳細については、リンクを参照してください。別の一意のバケット名を指定して、再試行します。

エラー メッセージ 15648

ライブラリがローカル レジストリに登録されていません。

現象

必要なメモリを割り当てられません。

解決策

必要な容量がメモリにありません。メモリ サイズを増やすか、空き容量を増やして再試行します。詳細については、製品のハードウェア要件を参照してください。

エラー メッセージ 15649

同じ名前のバケットがすでに存在します。別の名前を指定するか、既存のバケットを使用してください。

現象

正常です。

解決策

正常です。

エラー メッセージ 15650

クラウド設定の処理中にエラーが発生しました。

現象

エラーが発生しました。クラウド設定の詳細を処理できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15651

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、メモリが不足しているか、製品インストール ディレクトリ内のライブラリが使用できないことが原因で発生する可能性があります。障害発生時にメモリ使用率が高くなるため、他のジョブ/プロセスが実行されていたかどうかを確認します。その場合は、他のジョブ/プロセスの実行が停止してから再試行します。それ以外の場合は、メモリ サイズを増やします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15652

プロキシ詳細が無効です。確認してください。

現象

クラウド アカウントに指定したプロキシ詳細が無効です。

解決策

正常です。

エラー メッセージ 15653

クラウドと通信できませんでした。再試行してください。

現象

ジョブの進行中に<productname>と通信できませんでした。

解決策

ジョブの実行中にネットワークの中断が発生しました。ジョブを再実行します。管理者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 15654

サービスを利用できません。再試行してください。

現象

クラウド サービスは、ジョブの実行中は使用できません。

解決策

ログファイルを参照します。しばらく待ってから再試行します。問題が解決しない場合は、クラウド ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15655

クラウド プロバイダ エラーです。再試行してください。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15656

アクセスが拒否されました。認証情報を確認してください。

現象

クラウド ベンダを認証できません。

解決策

クラウド ベンダ アカウントの認証情報が正しくないか、アカウントの有効期限が切れています。有効なクラウド ベンダ アカウント認証情報を入力して再試行します。問題が解決しない場合は、クラウド ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15657

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15658

リクエスト時間と現在のサーバ時間の差が大きすぎます。マシンの時間設定が正しいことを確認します。

現象

リクエスト時間が現在のサーバ時間と異なります。

解決策

サーバ時間が現在の時間と同期されていません。現在の時間に従ってサーバ時間を調整し、再試行します。

エラー メッセージ 15659

このアカウントで許可されている最大数を超えるバケットを作成しようとしています。

現象

バケット数が、Amazon S3 でクラウド アカウントに許可されている上限を超えました。

解決策

デフォルトでは、Amazon S3 はアカウントごとに最大 100 バケットを許可します。一部のバケットを削除して、新しいバケットを作成します。Amazon では、アカウントの制限を変更できます。詳細については、リンクを参照してください。

エラー メッセージ 15660

クラウド設定の初期化に失敗しました。

現象

クラウド セッションを開始できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15661

予想されるダウンロード サイズとクラウドからの実際のダウンロード サイズが等しくありません。プロバイダの問題です。

現象

クラウド ベンダは、要求されたサイズのデータを提供しませんでした。

解決策

再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15662

ライブラリを初期化できませんでした。

現象

製品クラウド ライブラリを起動できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15663

無効なハンドルです。

現象

正常です

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15664

プロバイダの追加に失敗しました。

現象

製品はクラウド詳細をキャッシュに追加できませんでした。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15665

プロバイダトークンが無効です。

現象

製品内部クラウド プロバイダトークンが無効です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15666

セッショントークが無効です。

現象

製品内部クラウド セッショントークンが無効です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15667

プロバイダが使用中です。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。他のジョブが完了してから再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15668

ProviderInformation.xml ファイルが破損しています。

現象

クラウド プロバイダ詳細の製品内部キャッシュが破損しています。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15669

プロバイダ/プロファイルが使用できません。

現象

クラウド プロバイダの詳細は利用できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15670

プロバイダの表示が終了に達しました。

現象

キャッシュに利用可能なクラウド ベンダの詳細がありません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15671

プロバイダがサポートされていません。

現象

タスクで設定したクラウド ベンダはサポートされていません。

解決策

サポートされているクラウド ベンダのリストについては、製品のヘルプ ドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 15672

プロバイダ エラーです。

現象

クラウド プロバイダ エラーです。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15673

サーバに接続できませんでした。

現象

クラウドに接続できませんでした。

解決策

クラウドに到達できません。クラウドのネットワーク接続性と到達可能性を確認し、再試行します。

エラー メッセージ 15674

プロバイダの種類が無効です。

現象

タスクで設定したクラウド ベンダはサポートされていません。

解決策

サポートされているクラウド ベンダのリストについては、製品のヘルプドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 15675

無効なデスティネーション パスです。

現象

デスティネーション パスが無効です。

解決策

指定したファイル コピー/アーカイブ先パス(ローカルまたはネットワーク共有) が無効です。有効なデスティネーション パスを指定して、再試行します。

エラー メッセージ 15676

別のアカウントのコンテナがすでに存在します。

エラー メッセージ 15677

ライブラリがローカル レジストリに登録されていません。

現象

メモリの割り当てに失敗しました。

解決策

必要なメモリの割り当てに失敗しました。メモリが不足しています。メモリを増やすか、メモリを解放してから再試行します。詳細については、製品のハードウェア要件を参照してください。

エラー メッセージ 15678

無効なコンテナ名です。確認してください。

現象

Azure クラウドは、指定したコンテナ名をサポートしていません。

解決策

指定したコンテナ名は、Azure クラウド コンテナの命名規則のルールと一致しません。コンテナの命名規則の詳細については、リンクを参照し、それに応じて名前を設定します。長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラー メッセージ 15679

アクセス キー ID が無効です。指定された AWS アクセス キー ID は存在しません。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15680

同じ名前のコンテナがすでに存在します。別の名前を指定するか、既存のコンテナを使用してください。

現象

正常です

解決策

コンテナに一意の名前を使用して、再試行します。

エラー メッセージ 15681

無効なバケット名です。バケット名の長さは 3 ～ 63 文字である必要があります。

現象

バケット名の文字数が許可されている文字数と一致しません。

解決策

バケット名の長さのルール

- 最小文字数：3
- 最大文字数：63

長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラー メッセージ 15682

無効なコンテナ名です。コンテナ名の長さは 3 ～ 63 文字である必要があります。

現象

コンテナ名の文字数が、許可されている最小または最大文字数のルールと一致しません。

解決策

コンテナ名の長さの規則は以下のとおりです。

- 許可されている最小文字数は 3
- 許可されている最大文字数は 63

コンテナ名を適宜設定します。

注： ジョブによってコンテナ名にプレフィックスが追加されることを考慮してください。プレフィックスは、タスク設定の [デスティネーション] タブの下に表示されます。

エラー メッセージ 15683

クラウド設定パラメータが無効です。URL とアクセス認証情報を確認し、再試行してください。

現象

正常です。

解決策

クラウドの有効なアクセス認証情報を指定します。互換性のあるクラウドの場合、適切なプロトコル(http/https) を使用した正しいエンドポイント URL が提供されていることも確認します。

エラー メッセージ 15684

クラウド設定パラメータが無効です。URL とアクセス認証情報を確認し、再試行してください。

現象

指定したクラウド エンドポイント URL またはアクセス認証情報が無効です。

解決策

クラウドの有効なアクセス認証情報を指定します。互換性のあるクラウドの場合、適切なプロトコル(http/https) を使用した正しいエンドポイント URL が提供されていることも確認します。

エラー メッセージ 15685

バケット名「<parameter>」は別のリージョンに存在します。

現象

この名前のバケットは、すでに別のリージョンに関連付けられています。

解決策

このバケット名で作成されたクラウド アカウントには 1 つのリージョンが設定されていますが、バケットはすでに作成され、他のリージョンに関連付けられています。

考えられる解決策は以下のとおりです。

1. 別のバケット名で新しいクラウド アカウントを作成し、設定でこのアカウントを使用します。
2. このバケット名に関連付けられている既存のクラウド アカウントを変更し、正しいリージョンを指定します。

エラー メッセージ 15801 ~ 15900

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15889

マージ ジョブを開始できませんでした。エラー コードは <parameter> です。

現象

バックエンドからのマージ ジョブの開始に失敗しました。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15890

マージ ジョブを開始できません。別のジョブが現在実行中です。

現象

別のジョブが現在のノードですでに実行されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

現在のノードで別のジョブが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15891

ソース マシン アダプタ情報を仮想スタンバイに同期できませんでした。

現象

ソース マシン アダプタ情報を UDP コンソールに同期できません。

解決策

仮想スタンバイ コンバータから UDP コンソールへの接続を確認します。

エラー メッセージ 15892

この製品のライセンスの有効期限が切れています。バックアップ ジョブを実行できません。

現象

ライセンスの有効期限が切れています。

解決策

ライセンス キーを入力して再試行します。

エラー メッセージ 15901 ～ 16000

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15901

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。^AU_ProductName_CLOUD^ に接続できませんでした。

現象

レプリケーション ジョブが <productname> に接続できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15902

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。^AU_ProductName_CLOUD^ にプロキシ「<parameter>」経由で接続できませんでした。

現象

レプリケーション ジョブがプロキシ経由で <productname> に接続できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 15904

Nutanix サーバ [%s] は [%s] から接続できません。エラー メッセージ: %s

現象

Nutanix サーバに接続できません。その結果、仮想スタンバイ ジョブが失敗します。

解決策

Nutanix サーバの認証情報、および Nutanix サーバと仮想スタンバイ モニタ間のネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 15905

バックアップ ジョブを実行できません。Nutanix AHV サーバ [%s] からソケット カウントを取得できません。

現象

ライセンス消費に使用されるソケット数を Nutanix API からフェッチできませんでした。そのため、バックアップが失敗します。

解決策

Nutanix AHV クラスタが稼働していることを確認します。Nutanix API が REST API から値を返しているかどうかも確認します。

エラー メッセージ 15906

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更できません。

現象

仮想マシンの名前を変更できないため、仮想スタンバイジョブが失敗します。

解決策

仮想スタンバイコンバータおよびモニタの webservice.log で詳細情報を確認します。

エラー メッセージ 15907

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更できません。

現象

VM の詳細を取得するために Nutanix AHV クラスタに接続できませんでした。

解決策

Nutanix AHV クラスタが稼働していることを確認します。

エラー メッセージ 15908

VM [%s] のセッションを Nutanix Server [%s] に変換できません。内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

不明なエラーのため、仮想スタンバイジョブが失敗します。

解決策

アクティビティログにエラーが記録されているかどうかを確認し、修正します。さらに、仮想スタンバイモニタの webservice.log で詳細情報を確認します。

エラー メッセージ 15918

クラウドドライバのダウンロード中に md5 不一致が見つかりました。

現象

AWZ ドライバのダウンロード中に md5 の不一致があるため、VSB ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイジョブをサブミットして、再試行します。それでも問題が解決しない場合は、以下の回避策を試してください。

1. リンクをクリックしてドライバをダウンロードします。
2. zip ファイルを展開します。
3. すべてのファイルをフォルダ C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\CloudDrivers\AmazonEC2 に配置します。
4. ドライバを手動でダウンロードする場合は、以下のレジストリキーを有効にしてダウンロードをスキップします。

   レジストリパス: HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\Unified Data Protection\Engine , key typr: String . キー: skipDriverDownloadForEC2 . 値 : 1

エラー メッセージ 15921

現在のネットワーク パフォーマンスが、事前定義したしきい値を下回っています。

現象

現在のネットワーク パフォーマンスが事前定義したしきい値よりも遅いため、EC2 への VSB は続行されません。

解決策

ネットワーク パフォーマンスを確認して改善し、ジョブを再実行します。この問題の回避策として、以下のレジストリのしきい値を増やすことができます。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Network [WAN_RTT_Threshold]

デフォルト値は 20 です。

エラー メッセージ 15922

現在のクラウド アカウントの承認で無効な JWT トークン エラーが返されたため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

現象

クラウド プロキシ サーバ *<server name>* のクロックまたはタイムゾーンの設定が正しくない可能性があるため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

クラウド プロキシ サーバの日付、時刻、およびタイム ゾーンの設定が正しく、リージョン/ゾーンと同期していることを確認します。

エラー メッセージ 20000 ~ 20100

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20000

別の場所のファイル コピーのカタログ再同期ジョブがキャンセルされました。

現象

ユーザが別の場所のカタログ再同期をキャンセルしたため、カタログ再同期ジョブが失敗しました。

解決策

ユーザが別の場所のカタログ再同期を意図的にキャンセルしました。

エラー メッセージ 20001

ユーザが <parameter> ジョブをキャンセルしました。

現象

ユーザがアーカイブ ジョブをキャンセルしたため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ユーザがアーカイブ ジョブを意図的にキャンセルしました。

エラー メッセージ 20002

スケジュールされた <parameter> ジョブをフルに変換しています。<parameter> デスティネーションが変更されたか、このジョブが最初の <parameter> ジョブであるためです。

エラー メッセージ 20003

デスティネーションは有効な <parameter> デスティネーションではありません。

現象

ファイル アーカイブ先からホスト名または GUID を取得できませんでした。

解決策

正しいファイル コピー デスティネーションが指定されているかどうかを確認してください。設定ウィンドウで指定したネットワーク パス、ユーザ名、またはパスワードを確認するか、ネットワーク/ドメインの接続を確認します。

エラー メッセージ 20004

<parameter> ジョブは未完了です。

現象

アーカイブ ジョブのステータスが未完了です。

解決策

このエラーは、パス名が長いファイル、またはアーカイブ先にファイルを作成できないファイルをスキップした場合に発生します。最初のケースでは、ファイル名の長さまたはパスの長さを減らしてアーカイブを行います。2 番目のケースでは、アーカイブ先に手動でファイルを作成します。ユーザがファイルを手動で作成できない場合は、ファイルをスキップするフィルタをファイル アーカイブ ジョブに追加します。ファイル名は、アクティビティ ログ メッセージで検索できます。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20005

ソースのファイル アーカイブ ジョブで削除されなかったファイルの総数 : <parameter>

現象

ファイル ソース削除ジョブ中にソース パスから削除されなかったファイルの数

解決策

削除に失敗したファイル、またはバックアップ後に変更されたファイルの数。ファイル ソースの削除ジョブでは、ファイル アーカイブ ジョブの後、ファイル ソースの削除ジョブを実行する前に変更されたファイルは削除されません。変更されたファイルがバックアップされると、次回のファイル ソース削除ジョブでこれらのファイルが削除されます。ファイルのディレクトリ パス/ファイル名が長い可能性があるため、ファイルの削除に失敗する可能性があります。

エラー メッセージ 20006

ファイル コピーの削除ジョブがキャンセルされました。

現象

ユーザがファイル コピーの削除ジョブを意図的にキャンセルしました。

解決策

ユーザがファイル コピーの削除ジョブを意図的にキャンセルしました。

エラー メッセージ 20007

ボリューム [<parameter>] の増分ブロックを生成できませんでした。

現象

ボリュームのリストの生成に失敗したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ ジョブが、ソース パス リスト (ファイル コピー/アーカイブ設定ウィンドウで指定されたリスト) に含まれるファイル/ディレクトリのリストを取得できませんでした。ネットワークの問題の場合は、メークアップ ジョブが正常に実行されるまで待機します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20008

現在の <parameter> ジョブが完了していないため、このジョブのメークアップ ジョブが作成されます。このメークアップ ジョブは 30 分後に実行されます。

現象

ファイル コピー ジョブが失敗した場合、メークアップ ジョブは 30 分後に実行されます。

解決策

失敗したアーカイブ ジョブのジョブを再試行します。これは、ネットワーク接続の問題など、いくつかのタイミングの問題を解決するのに役立ちます。後続のアーカイブ メークアップ ジョブで問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20009

次回のスケジュールされた <parameter> ジョブはフルに変換されます。最初の <parameter> ジョブ - ボリューム(<parameter>) であるためです。

エラー メッセージ 20010

<parameter> で選択したソース フォルダは、バックアップ設定には含まれません。

現象

選択したボリュームのファイル コピー ジョブは実行されません

解決策

選択したボリュームがマシンに存在するかどうかを確認してください。存在する場合は、そのボリュームをバックアップ設定に追加してください。ない場合は、そのボ

リュームのエントリをファイル コピー ソース パス リストから削除してください。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20011

<parameter> デスティネーションの変更が検出されました。<parameter> ジョブはスキップされます。

エラー メッセージ 20012

増分 <parameter> をスキップします。<parameter> デスティネーションが変更され、増分 <parameter> が次回のバックアップでフル <parameter> に自動的に変換されるためです。

エラー メッセージ 20013

マウント ポイント フォルダ [<parameter>] を検出しました。このフォルダはバックアップをスキップされます。

現象

アーカイブ ジョブでマウント ポイント フォルダがスキップされました。

解決策

ファイル コピー ソース パス リストにマウント ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。ファイル アーカイブ ジョブ設定のファイル コピー ソース パス リストからマウント ポイント フォルダ パスを削除してください。

エラー メッセージ 20014

ボリューム <parameter> のハードウェア スナップショットはサポートされていません。

現象

ボリュームのハードウェア スナップショットはサポートされていません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20015

仮想ディスク <parameter> のハードウェア スナップショットを処理できません。ソフトウェア スナップショットに切り替えています。デバッグ情報については、<parameter> ログを参照してください。

現象

仮想ディスクのハードウェア スナップショットを処理できません。

解決策

ソフトウェア スナップショットに切り替えてください。

エラー メッセージ 20016

バックアップ モードが変更されると、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

現象

バックアップ モードが変更されると、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20017

ライセンス エラー。新規ライセンスを取得するには、アカウント担当者にお問い合わせください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

新規ライセンスを取得するには、アカウント担当者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 20018

ライセンス エラー。 [ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認してください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve UDP コンソールから、 [ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス] に移動し、このノードに必要な正確なライセンスを見つけます。このジョブが SharePoint Online バックアップに関連している場合は、アカウントに SharePoint サイトの管理者権限があることを確認します。

エラー メッセージ 20019

ブート ボリューム [<parameter>] はミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

現象

ブート ボリュームはミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

解決策

復旧ポイントを使用して BMR を実行する場合、ブート ボリュームはミラーリングできません。

エラー メッセージ 20020

システム ボリューム [<parameter>] はミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

現象

システム ボリュームはミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

解決策

復旧ポイントを使用して BMR を実行する場合、システム ボリュームはミラーリングできません。

エラー メッセージ 20021

すべての仮想ディスクがバックアップ ジョブから除外されます。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

現象

すべての仮想ディスクがバックアップ ジョブから除外されます。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

解決策

仮想ディスクを含めてください。

エラー メッセージ 20022

バックアップする仮想ディスクがありません。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

現象

バックアップする仮想ディスクがありません。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

解決策

仮想ディスクを含めてください。

エラー メッセージ 20023

セッションのマージ プロセスがキャンセルされました。現在のセッション数は <parameter> で、保持数の設定は <parameter> です。

現象

セッションのマージ プロセスがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20024

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能は、アップグレードまたは内部エラーのためリセットされました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

現象

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能は、アップグレードまたは内部エラーのためリセットされました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20025

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能が、バックアップするブロックの照会に失敗しました。その結果、Host-Based VM Backup は CBT をリセットし、バックアップの実行を再試行します。

現象

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能が、バックアップするブロックの照会に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20026

増分バックアップを検証バックアップに変換しています。これは、Hyper-V ホストの変更ブロック トラッキング(CBT) 機能が非アクティブであるか、このバックアップ ジョブの処理が拒否されたためです。

現象

増分バックアップを検証バックアップに変換しています。これは、Hyper-V ホストの変更ブロック トラッキング(CBT) 機能が非アクティブであるか、このバックアップ ジョブの処理が拒否されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20027

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能がアップグレードしました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

現象

変更ブロック トラッキング(CBT) 機能がアップグレードしました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20028

ユーザ <parameter> は、バックアップ ジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

ユーザは、バックアップ ジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。

解決策

管理者権限のあるユーザをお勧めします。

エラー メッセージ 20029

ファイル <parameter> をスキップしています。これは、現在のバックアップ セッションの一部です。

現象

ファイルをスキップしています。現在のバックアップセッションの一部です。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20030

前回の正常なバックアップ以降に Windows フェールオーバ クラスタ共有ディスクのステータス変更が検出されました。ボリューム <parameter> のフル バックアップが実行されます。

現象

前回の正常なバックアップ以降に Windows フェールオーバ クラスタ共有ディスクのステータス変更が検出されました。ボリュームのフル バックアップが実行されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20031

圧縮レベルが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

現象

圧縮レベルが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20032

新しいデータ ストアがバックアップに使用されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されます。

現象

新しいデータ ストアがバックアップに使用されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20033

新しいデータ ストアがバックアップに使用されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

現象

新しいデータ ストアがバックアップに使用されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20034

バックアップ先がデータ ストアからローカル ディスクまたは共有フォルダに変更されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

現象

バックアップ先がデータ ストアからローカル ディスクまたは共有フォルダに変更されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20035

バックアップ先がデータ ストアからローカル ディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されました。

現象

バックアップ先がデータ ストアからローカル ディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20036

バックアップ先がローカル ディスクまたは共有フォルダからデータ ストアに変更されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

現象

バックアップ先がローカル ディスクまたは共有フォルダからデータ ストアに変更されたため、現在のバックアップをフル バックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20037

バックアップ先がローカル ディスクまたは共有フォルダからデータ ストアに変更されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されました。

現象

バックアップ先がデータ ストアからローカル ディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアップ プロキシ マシンが変更されたため、現在のバックアップ ジョブはフル バックアップに変換されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20038

セッション [<parameter>] の復旧ポイントのコピーは、すでに完了しているか失敗しています。

現象

復旧ポイントをコピーすると、警告メッセージが表示されます。

解決策

復旧ポイントのコピーは、そのセッションがすでに完了または失敗した場合、その特定のセッションに警告を表示します。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20039

復旧ポイントはすでに <parameter> クラウドにアップロードされています。<parameter>：<parameter>。

現象

復旧ポイントをクラウドにアップロードすると、警告が表示されます。

解決策

復旧ポイントをクラウドにアップロードすると、復旧ポイントがすでに同じクラウドや同じクラウド バケットにアップロードされている場合に警告が表示されます。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20040

<parameter> のセッションは、<parameter> からユーザによってロックされました。

現象

ジョブがデスティネーションをロックできない場合、復旧ポイントをコピーすると警告が表示されます。

解決策

復旧ポイントのコピーは、セッションが別のユーザによってすでにロックされているため、ジョブがセッションのデスティネーションをロックできない場合に警告を表示します。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20041

セッション [<parameter>] の復旧ポイントのコピー ジョブがスキップされました。再試行回数が制限を超えています。

現象

復旧ポイントのコピーがスキップされました。

解決策

特定のセッションの最大再試行回数の上限を超えると、復旧ポイントのコピー ジョブはスキップされます。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20042

ベア メタル復旧情報が見つかりません。コピーされた復旧ポイントは、ベア メタル復旧の実行には使用できません。

現象

ベア メタル復旧情報が見つかりません。

解決策

コピーされた復旧ポイントは、ベア メタル復旧には使用できません。詳細については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20043

仮想ディスク <parameter> にボリューム情報は含まれません。次回のコピー セッションは仮想ディスクをスキップします。

現象

仮想ディスクのボリューム情報が利用できません。仮想ディスクのコピーをスキップします。

解決策

仮想ディスクのボリューム情報を取得できません。詳細については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20044

復旧ポイントのコピー ジョブからディスク(<parameter>) のコピーをスキップします。これらのディスクは、ストレージスペースを使用して設定されました。

現象

ストレージ スペースを使用して設定されたディスクのコピーをスキップしました。

解決策

復旧ポイントのコピー ジョブ設定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。

エラー メッセージ 20045

<parameter> に十分な空き容量がない可能性があります。少なくとも <parameter> 空き容量を確保してください。

現象

復旧ポイントのコピー先に十分な容量が見つかりませんでした。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20046

デスティネーション フォルダへのデータの書き込みに失敗しました。今すぐ再試行します。

現象

デスティネーション フォルダへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20047

<parameter> の空き容量が少なすぎるため、バックアップが失敗する可能性があります。空き容量を増やすか、バックアップ先を別のボリュームに変更します。

現象

空き容量が少なすぎるため、バックアップが失敗する可能性があります。空き容量を増やすか、バックアップ先を別のボリュームに変更します。

解決策

ディスクの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 20048

ローカル デスティネーション ボリューム <parameter> がスキップされます。

現象

ローカル デスティネーション ボリュームがスキップされます。

解決策

バックアップ先はバックアップをスキップします。

エラー メッセージ 20049

バックアップ ジョブがブート環境設定データ(BCD) 情報の取得に失敗します

現象

バックアップ ジョブがブート環境設定データ(BCD) 情報の取得に失敗しました。その結果、この復旧ポイントは、ベア メタル復旧(BMR) 、インスタント仮想マシン(IVM) 、仮想スタンバイ(VSB) 、VM の復旧には使用できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照し、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20050

ボリューム <parameter> のメタデータのダンプが失敗しました。

現象

ボリュームのメタデータのダンプが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20051

これは、以前のリリースからのアップグレードです。ブート キットの作成ユーティリティを使用して、現在のリリースから作成された復旧ポイントのベア メタル復旧(BMR) を実行するために使用するブート可能 BMR ISO イメージを作成します。

現象

これは、以前のリリースからのアップグレードです。ブート キットの作成ユーティリティを使用して、現在のリリースから作成された復旧ポイントのベア メタル復旧(BMR) を実行するために使用するブート可能 BMR ISO イメージを作成します。

解決策

新しい BMR ISO を作成する必要があります。

エラー メッセージ 20052

ディスク [<parameter>] はバックアップから除外されます。

現象

ディスクはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20053

ディスク [<parameter>] (<parameter> <parameter>:<parameter>) はバックアップから除外されます。

現象

ディスクはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20054

ボリューム [<parameter>] には、データ ストア [<parameter>] の共通パスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データ ストアの共通パスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20055

ボリューム [<parameter>] には、データ ストア [<parameter>] のデータ ファイル パスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データ ストアのデータ ファイル パスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20056

ボリューム [<parameter>] には、データ ストア [<parameter>] のハッシュ ファイル パスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データ ストアのハッシュ ファイル パスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20057

ボリューム [<parameter>] には、データ ストア [<parameter>] のインデックス ファイル パスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データ ストアのインデックス ファイル パスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20058

ボリューム [<parameter>] の物理的な場所を取得できませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

現象

ボリュームの物理的な場所を取得できませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20059

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスおよびスナップ リストア ライセンスが見つかりませんでした。ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスおよびスナップ リストア ライセンスが見つかりませんでした。ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20060

ボリューム <parameter> (オフセット <parameter>、長さ <parameter> バイト) 内にデータ CRC エラーが見つかりました。

現象

ボリュームにデータ CRC エラーが見つかりました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20061

これは Arcserve UDP Workstation FREE Edition のため、制限付き機能モードで実行されています。完全な機能を備えた Arcserve UDP Workstation Edition にアップグレードするには、Arcserve.com にアクセスするか、パートナー/営業担当者にお問い合わせください。

現象

これは Arcserve UDP Workstation FREE Edition のため、制限付き機能モードで実行されています。

解決策

完全な機能を備えた Arcserve UDP Workstation Edition にアップグレードするには、Arcserve.com にアクセスするか、パートナー/営業担当者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 20062

プロセス ID <parameter> のアプリケーションが、<parameter> 秒以内に応答できませんでした。プロセスを停止して、ジョブの実行を再試行してください。

現象

アプリケーションが応答しませんでした。

解決策

プロセスを停止して、ジョブの実行を再試行してください。

エラー メッセージ 20063

プロセス ID <parameter> のアプリケーションが <parameter> 秒以内にタイムアウトになり、プロセスは終了します。

現象

アプリケーションが応答しませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20064

Exchange バイナリが仮想マシンから正常に解析されません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

現象

Exchange バイナリが仮想マシンから正常に解析されません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20065

プロキシ [<parameter>] の Windows バージョンは仮想マシン [<parameter>] よりも古いバージョンです。この結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗する可能性があります。この問題を解決するには、関連する Windows Update パッケージをインストールする必要があります。

現象

プロキシの Windows バージョンは、仮想マシンより古いバージョンです。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗する可能性があります。

解決策

この問題を解決するには、関連する Windows Update パッケージをインストールする必要があります。

エラー メッセージ 20066

バックアップ プロキシ ホスト [<parameter>] は 64 ビット プラットフォームにありません。その結果、プランで [カタログの生成] オプションが有効になっている場合、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

現象

バックアップ プロキシ ホストは 64 ビット プラットフォームにありません。プランで [カタログの生成] オプションが有効になっている場合、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

解決策

64 ビット プラットフォームを使用してください。

エラー メッセージ 20067

データストア <parameter> にある仮想ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「動作要件」を参照してください。

現象

データストアにある仮想ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。

解決策

ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「動作要件」を参照してください。

エラー メッセージ 20068

データ ストア <parameter> に存在する仮想ディスクはソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールにストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「動作要件」を参照してください。

現象

データ ストアに存在する仮想ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。

解決策

ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「動作要件」を参照してください。

エラー メッセージ 20069

スナップショットにアプリケーション整合性がないため、アプリケーション メタデータの収集がスキップされました。

現象

バックアップ ジョブは、アプリケーション バックアップではないため、アプリケーション メタデータの収集をスキップしました。

解決策

アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 20070

変更ブロック トラッキング機能は非アクティブで、Hyper-V ホストでリセットされてました。

現象

内部エラーのため、変更ブロック トラッキング機能がバックアップ ジョブ中にリセットされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20071

以前のバックアップの変更ブロック トラッキング機能が失敗しました。その結果、増分バックアップは検証バックアップに変更されます。

現象

前のバックアップ ジョブ中に変更ブロック トラッキング機能で内部エラーが発生したため、現在のバックアップ ジョブは検証バックアップ ジョブに変換されました。

解決策

以前のバックアップ ジョブのバックアップ ジョブ ログおよびスタブ ログを確認し、詳細情報を取得します。

エラー メッセージ 20072

Hyper-V ホストで変更ブロック トラッキング(CBT) 機能が非アクティブになっているため、現在のバックアップ ジョブでリセットできません。その結果、次回のバックアップ ジョブが増分バックアップの場合、検証バックアップに自動的に変更されます。

現象

内部エラーのため、変更ブロック トラッキング機能が動作せず、リセットできませんでした。次回のバックアップは検証バックアップ ジョブに変換されます。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20073

変更ブロックトラッキング機能は、Hyper-V ホストで非アクティブです。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があり、次回のバックアップ ジョブが増分バックアップの場合、検証バックアップに自動的に変更されます。

現象

内部エラーのため、変更ブロックトラッキング機能が動作せず、リセットされました。その結果、現在のバックアップでより多くのデータがバックアップされ、次回のバックアップは検証バックアップ ジョブに変換されます。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20074

Hyper-V ホスト内部の CBT 互換性の問題のため、現在のバックアップ ジョブは拒否されました。この Hyper-V ホストを保護するために使用されるすべてのバックアップ プロキシを最新バージョンにアップグレードし、この問題を解決してバックアップを続行してください。

現象

Hyper-V ホストにインストールされている CBT のバージョンがバックアップ プロキシと互換性がないため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

通常、この問題は、同じ Hyper-V ホストをバックアップするバックアップ プロキシが複数あるが、それらのプロキシに異なるバージョンの UDP エージェントがインストールされている場合に発生する可能性があります。すべてのバックアップ プロキシを同じバージョンにアップグレードする必要があります。

エラー メッセージ 20075

バックアップ ジョブにより、スナップショットの作成中に Hyper-V VSS ライタは VM を保存できませんでした。その結果、バックアップ データの整合性がなくなる可能性があります。

現象

VM のダウンタイムを回避するために、Hyper-V VSS でこれを行う必要がありますが、バックアップ ジョブで VM が保存済みステータスになりませんでした。その結果、バックアップの整合性が失われました。

解決策

アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。VM が前提条件を満たしていることを確認し、バックアップを再試行します。

エラー メッセージ 20076

仮想マシンは、Hyper-V VSS ライタの必要に応じて VSS スナップショットの作成中に保存されます。

現象

Hyper-V VSS でこの操作を行う必要があるため、バックアップ ジョブで VM が保存済みステータスになりました。

解決策

アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。VM が前提条件を満たしていることを確認し、バックアップを再試行します。

エラー メッセージ 20077

変更ブロックトラッキング(CBT) 機能が失敗しました。バックアップ ジョブ中に 1 つ以上のクラスタ化ノードが追加または削除されました。

現象

バックアップ中に変更ブロックトラッキング(CBT) 機能で内部エラーが発生しました。

解決策

これは、バックアップ ジョブの実行中に 1 つ以上のクラスタ化ノードが追加または削除された場合に、Hyper-V クラスタで発生する可能性があります。

エラー メッセージ 20078

物理ハードディスクのバックアップはサポートされていません。Host-Based VM Backup は、この仮想マシンに接続されているすべての物理ハード ディスクをスキップします。

現象

VM に接続されている物理ディスクはバックアップできません。

解決策

UDP エージェントレス バックアップは、VM に接続された物理ディスクをサポートしません。

エラー メッセージ 20079

Hyper-V サーバ <parameter> に接続できませんでした。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

Hyper-V ホストへの接続時にエラーが発生したため、実行前/後のコマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続性を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20080

GUID <parameter> で Hyper-V サーバ <parameter> から仮想マシンの取得に失敗しました。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

Hyper-V ホストで VM を検索するときにエラーが発生したため、実行前/後のコマンドを実行できませんでした。

解決策

VM が Hyper-V ホストにまだ存在するかどうかを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20081

仮想マシン ホスト名の取得に失敗しました。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM のホスト名を取得できなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20082

仮想マシンが電源オン状態ではありません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の電源がオンになっていないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアップ ジョブの前に VM の電源をオンにします。

エラー メッセージ 20083

ホスト名 <parameter> を使用して仮想マシンに接続できませんでした。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

ホスト名で VM にアクセスできなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアップ プロキシと VM 間のネットワーク接続性を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20084

予期しない仮想マシン GUID です。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の GUID が正しくないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20085

予期しない仮想マシン名です。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の名前が正しくないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20086

仮想マシンのゲスト OS が Windows マシンではありません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM のゲスト OS が Windows でないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

このメッセージは、Windows 以外の VM では無視できます。

エラー メッセージ 20087

ゲスト オペレーティング システムの認証情報が指定されていません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

ゲスト OS 認証情報が指定されなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

組み込みの管理者認証情報で VM ノードを更新します。

エラー メッセージ 20088

Hyper-V VSS ライタは、この仮想マシンでのデータ整合性スナップショットの作成をサポートしていません。その結果、バックアップ データの整合性がなくなる可能性があります。(アプリケーション整合性のあるスナップショットの作成の詳細については、製品ドキュメントを参照してください) 。

現象

バックアップ ジョブでバックアップ用のデータ整合性のあるスナップショットを取得できなかったため、バックアップされたデータに不整合が生じる可能性があります。

解決策

VM が整合性のあるバックアップをサポートしていることを確認します。アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 20089

この仮想マシンを処理しているときに、Hyper-V VSS ライタでエラーが発生しました。その結果、バックアップ データの整合性が失われる可能性があります。(Hyper-V VSS ライタ エラーの詳細については、製品ドキュメントを参照してください) 。

現象

バックアップ ジョブで VSS エラーが発生したため、バックアップされたデータに整合性がない可能性があります。

解決策

Windows イベント ログ([Microsoft] -> [Windows] -> [Hyper-V-VMMS] -> [管理者]) を確認し、エラーを確認します。

エラー メッセージ 20090

Host-Based VM Backup は VM のホスト名を取得できないため、その結果、統合サービスを VM に展開できません。サービスを手動で展開する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

VM ホスト名が使用できないため、バックアップ ジョブで VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、バックアップ ジョブはアプリケーション メタデータを取得できないため、DB レベルのリストアは使用できません。バックアップ ジョブ ログおよびスタブ ログを確認して、ホスト名が使用できない理由の詳細を確認します。または、統合サービスを手動で展開することもできます(詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください) 。

エラー メッセージ 20091

統合サービスを VM に展開できませんでした。

現象

バックアップ ジョブで VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、バックアップ ジョブはアプリケーション メタデータを取得できないため、DB レベルのリストアは使用できません。詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。または、統合サービスを手動で展開することもできます(詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください) 。

エラー メッセージ 20092

VM のユーザ名が指定されていないため、Host-Based VM Backup は統合サービスを VM に展開できません。サービスを手動で展開する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

バックアップ ジョブで、認証情報が指定されていない VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、DB レベルのリストアが利用できないため、バックアップ ジョブはアプリケーション メタデータを取得できません。問題を解決するには、組み込みの管理者認証情報を使用して UDP コンソールで VM ノードを更新するか、統合サービスを手動で展開します(詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください) 。

エラー メッセージ 20093

プロキシ ホスト [<parameter>] がターゲット クラスタ内のノードであるため、転送可能なスナップショット オプションは無効になっています。

現象

バックアップ プロキシがクラスタ内のノードにあるため、バックアップ ジョブで転送可能なスナップショット オプションを使用できませんでした。

解決策

クラスタの外部にあるバックアップ プロキシを使用します。

エラー メッセージ 20094

VM を転送不可能なハードウェア スナップショットを使用してバックアップします。

現象

転送不可能なハードウェア スナップショットがバックアップ ジョブで使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20095

ソフトウェア スナップショットを使用して VM をバックアップします。

現象

ソフトウェア スナップショットがバックアップ ジョブによって使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20096

VM を転送可能なスナップショットを使用してバックアップします。

現象

転送可能なスナップショットがバックアップ ジョブによって使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20097

前回のバックアップ以降にディスクが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

現象

前回のバックアップ以降にディスクが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20098

デスティネーション <parameter> にセッション <parameter> と <parameter> をマージするための十分な空き容量がありません。マージは、デスティネーションに十分な容量が解放されるまでスキップされます。

現象

セッションをマージするための十分な空き容量がデスティネーションにありません。マージは、デスティネーションに十分な容量が解放されるまでスキップされます。

解決策

デスティネーションのディスク容量を解放してください。

エラー メッセージ 20099

ドライブ <parameter> の空き容量が、<parameter> MB 未満です。その結果、バックアップが失敗する可能性があります。

現象

ドライブの空き容量が少なくなっています。その結果、バックアップが失敗する可能性があります。

解決策

ドライブのディスク容量を解放してください。

エラー メッセージ 20100

バックアップ ジョブがキャンセルされました。

現象

バックアップ ジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20101 ～ 20200

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20101

バックアップ ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) がキャンセルされました。

現象

バックアップ ジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20102

バックアップ ジョブが未完了です。

現象

バックアップ ジョブが未完了です。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20103

バックアップ ジョブはスキップされます。

現象

バックアップ ジョブはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20104

仮想ディスク フォーマットが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

現象

仮想ディスク フォーマットが変更されたため、フル バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20105

バックアップの種類が検証バックアップに変更されました。変更トラッキング ドライバがインストールされていないか、正しくインストールされていないため、通信できません。

現象

バックアップの種類が検証バックアップに変更されました。変更トラッキング ドライバがインストールされていないか、正しくインストールされていないため、通信できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20106

復旧ポイント <parameter> でデータの不整合が見つかりました。次回のジョブは検証バックアップ ジョブに変換されます。

現象

復旧ポイントでデータの不整合が見つかりました。次回のジョブは検証バックアップ ジョブに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20107

前回のジョブでデータの不整合が検出されました。ジョブは検証バックアップ ジョブに変換されます。

現象

前回のジョブでデータの不整合が検出されました。ジョブは検証バックアップ ジョブに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20108

増分バックアップは検証バックアップに変換されます。最後のシステム シャットダウンが予期しないものであったか、一部のリムーバブル デバイスが再接続されたためです。

現象

増分バックアップは検証バックアップに変換されます。最後のシステム シャットダウンが予期しないものであったか、一部のリムーバブル デバイスが再接続されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20109

最初のジョブをフル バックアップに変換します。

現象

最初のジョブをフル バックアップに変換します。

解決策

最初のジョブはフル バックアップである必要があります。

エラー メッセージ 20110

最後に成功したバックアップがないため、検証バックアップに変換しています。

現象

最後に成功したバックアップがないため、検証バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20111

検証バックアップに変換されます。最後のセッションのファイル システム カタログの生成に失敗しました。

現象

検証バックアップに変換されます。最後のセッションのファイル システム カタログの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20112

現在のマシンには、代替ハードウェアへのベア メタル復旧のライセンスがありません。

現象

現在のマシンには、代替ハードウェアへのベア メタル復旧のライセンスがありません。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20113

現在のマシンには、オリジナルへのベア メタル復旧のライセンスがありません。

現象

現在のマシンには、オリジナルへのベア メタル復旧のライセンスがありません。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20114

NTFS / ReFS 以外のボリューム <parameter> がスキップされ、ファイルシステムは <parameter> です。フル ボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュー

ムで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

現象

NTFS / ReFS 以外のボリュームはスキップされます。フル ボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

解決策

ボリュームのロックを解除/復号化し、再度バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20115

NTFS 以外のボリューム <parameter> がスキップされ、ファイルシステムは <parameter> です。フル ボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

現象

NTFS 以外のボリュームはスキップされます。フル ボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

解決策

ボリュームのロックを解除/復号化し、再度バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20116

エージェントレス バックアップ ジョブでアプリケーションを保護するには、Advanced、Premium、または Premium plus ライセンスが必要です。Microsoft SQL Server ライタまたは Microsoft Exchange Server ライタのメタデータは生成されません。

現象

ライセンス エラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20117

ハードウェア スナップショット オプションを使用したエージェント ベースのバックアップ ジョブには、premium または premium plus ライセンスが必要です。ソフトウェア スナップショットに戻ります。

現象

ライセンス エラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20118

現在のライセンスでは、過去 7 日間にフル バックアップが実行されていない場合、スケジュールされた増分バックアップが自動的にフル バックアップに変換されます。強制的なフル バックアップを回避するには、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

ライセンス エラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20119

現在のライセンスでは、過去 7 日間にフル バックアップが実行されていないため、エージェントはスケジュールされた検証バックアップをフル バックアップに自動的に変換します。強制的なフル バックアップを回避するには、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

ライセンス エラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20120

スナップショットは、仮想マシンのファイル システムを静止させずに取得されます。その結果、このスナップショットは、ゲスト ファイル システムの整合性のある状態を示すことができません。仮想マシンの電源がオフになった場合、または VMware Tools が利用可能でない場合、静止フラグは無視されます。

エラー メッセージ 20121

ジョブが中止されました。一般タスク プロセスが正常に停止しました。

現象

ジョブが中止されました。一般タスク プロセスが正常に停止しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20122

デスティネーション フォルダへのデータの書き込みに失敗しました。今すぐ再試行します。

現象

デスティネーション フォルダへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 20123

RAID 5 ボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

RAID 5 ボリュームはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20124

リムーバブル ボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

リムーバブル ボリュームはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20126

データ ストアでデデュプリケーションが有効になっているため、検証バックアップをフル バックアップに変換しています。

現象

データ ストアでデデュプリケーションが有効になっているため、検証バックアップをフル バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20127

Host-Based VM Backup で最後のバックアップ後に SCSI コントローラが変更されたため、1 つ以上の SCSI ディスクが適切に除外されない可能性があります。

現象

最後のバックアップ後に SCSI コントローラが変更されたため、1 つ以上の SCSI ディスクが適切に除外されない可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20128

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

現象

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。

解決策

復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

エラー メッセージ 20129

スナップショット <parameter> (ストレージ アプライアンス <parameter>) を削除できませんでした。詳細については、このバックアップ ジョブに対応する NETAPP プラグイン ログを参照してください。スナップショットを手動で削除してください。

現象

ストレージ アプライアンスのスナップショットを削除できませんでした。

解決策

詳細については、このバックアップ ジョブに対応する NETAPP プラグイン ログを参照してください。スナップショットを手動で削除してください。

エラー メッセージ 20130

ソース ボリューム <parameter> は使用できません。

現象

ソース ボリュームは使用できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20131

デスティネーションしきい値のユーザ設定値に達しました。

現象

デスティネーションしきい値のユーザ設定値に達しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20132

デスティネーション <parameter> の空き容量を確認できません。セッション <parameter> と <parameter> のマージをスキップします。

現象

デスティネーションの空き容量を確認できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20133

セッション <parameter> で一部のデータ ブロックが破損している可能性があるため、検証バックアップに変換しています。

現象

セッションで一部のデータ ブロックが破損している可能性があるため、検証バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20134

VHD でホストされているボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

VHD でホストされているボリュームはバックアップできません。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 20135

VMware VIX バージョンが 1.1.0 未満です。アプリケーションは、アプリケーション ログの切り捨てと実行前/後のコマンドを実行できません。

現象

(廃止)

解決策

(廃止)

エラー メッセージ 20136

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスク <parameter> ではサポートされていません。詳細については、対応するバックエンド ログ ファイルを参照してください。

現象

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスクではサポートされていません。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20137

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスク <parameter> ではサポートされていません。詳細については、対応するバックエンド ログ ファイルを参照してください。ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

現象

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスクではサポートされていないため、代わりにソフトウェア スナップショットを使用します。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20138

ハードウェア スナップショットの削除に失敗しました。次回のバックアップ ジョブでは、残ったハードウェア スナップショットの削除が試行されます。詳細については、対応するバックアップ ログを参照してください。

現象

ハードウェア スナップショットの削除中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20139

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。スナップ リストア/LUN クローンを使用して HW スナップショットを作成しようとしています。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。スナップ リストア/LUN クローンを使用して HW スナップショットを作成しようとしています。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20140

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。バックアップ プロキシで設定されている場合、Microsoft NFS クライアントを使用しようとします。それ以外の場合は、ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。バックアップ プロキシで設定されている場合、Microsoft NFS クライアントを使用しようとします。それ以外の場合は、ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20141

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがキャンセルされました。

現象

復旧ポイントのチェックは、ユーザがキャンセルしました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20142

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム：[<parameter>]、ファイル システム：[<parameter>]、ボリュームの種類：[<parameter>]、スキップされました。

現象

復旧ポイントのチェックでボリュームがスキップされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20143

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがスキップされました。ゲスト OS に Windows がないか、ボリューム メタデータがバックアップされていません。

現象

VM に Windows ゲスト OS がないため、復旧ポイントのチェックで VM がスキップされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20144

警告：このバックアップ セッションは、アプリケーション レベルのリストアには使用できません。クライアント バージョンの Microsoft Windows オペレーティング システムを実行している仮想マシンでは、VMware スナップショット テクノロジは、アプリケーション レベルのリストアを実行するために必要なアプリケーション メタデータを生成しません。アプリケーションレベルのリストアが必要で、リストにある Microsoft Windows オ

ペレーティング システムのクライアント バージョンを実行している場合、ローカル エージェント バックアップを実行します。

現象

仮想マシンに Microsoft Windows オペレーティング システムのクライアント バージョンがあるため、VMware スナップショット テクノロジはアプリケーション メタデータを生成せず、アプリケーション レベルのリストアはサポートされません。

解決策

アプリケーション レベルのリストアが必要な場合は、エージェント ベースのバックアップを使用して VM を保護します。

エラー メッセージ 20145

静止スナップショットの取得に失敗したため、ゲスト静止なしでスナップショットを取得します。

現象

バックアップ ジョブは静止スナップショットを取得できなかったため、ゲスト静止なしでスナップショットを取得しました。

解決策

静止オプションを使用して vSphere クライアントで手動でスナップショットを作成し、エラーを確認してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20146

仮想ディスク <parameter> が最近追加されたか、仮想ディスクの全体サイズが変更されました。Host-Based VM Backup は、仮想ディスクのフル バックアップを実行します。

現象

仮想ディスクが新しく追加されたか、前回のバックアップ後にサイズが変更されました。したがって、バックアップではこの仮想ディスクのフル バックアップが行われました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20147

ゲスト VM 認証情報が空です。そのため、Host-Based VM Backup は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を実行できません。コンソール UI を使用して認証情報を更新してください。

現象

VM ゲスト OS 認証情報が提供されなかったため、バックアップ ジョブで VM のスナップショット方式を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 20148

ESX サーバのバージョンは 4.x です。ただし、バージョン 1.13.3 以降の VIX がバックアップ プロキシ マシンにインストールされていません(必須) 。そのため、Host-Based VM Backup は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を実行できません。

(廃止)

エラー メッセージ 20149

ESX サーバのバージョンは 4.x です。ただし、バージョン 1.13.3 以降の VIX がバックアップ プロキシ マシンにインストールされていません(必須) 。その結果、Host-Based VM Backup は VM ゲスト操作を実行して VM 内でコマンドを実行することができません。

(廃止)

エラー メッセージ 20150

バックアップ ジョブは、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されています。ただし、Host-Based VM Backup は必要なツールを VM に展開できなかったため、「VMware Tools」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアップ プランは「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、VM へのツールの展開に失敗したため、バックアップ ジョブでこのスナップショット方式を適用するように VM を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20151

バックアップ ジョブは「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されています。ただし、Host-Based VM Backup が VM からツールを展開解除できなかったため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアップ プランは「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、VM は「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式で設定されており、バックアップ ジョブは VM にツールの展開を失敗したため、「VMware Tools」スナップショット方式を適用するように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20152

Host-Based VM Backup は、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式に必要なツールを VM に展開できませんでした。

現象

バックアップ ジョブは、VM へのツールの展開に失敗したため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用するように VM を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20153

Host-Based VM Backup は、VM ゲスト内から現在のスナップショット方式を検出できませんでした。

現象

バックアップ ジョブで、VM に設定されたスナップショット方式の検出に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20154

Host-Based VM Backup は、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のツールを展開解除して、VM 内から「VMware Tools」スナップショット方式を有効化できませんでした。

現象

バックアップ ジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用しないように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20155

VM ゲスト操作が失敗しました。ESX/vCenter がエラーを報告しています: 「<parameter>」。

現象

VM のゲスト OS への接続およびゲスト操作の実行中にエラーが発生しました。

解決策

VM ノードを正しい管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。また、詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20156

仮想ディスク <parameter> は NFS データ ストアにあり、フル ディスクとしてバックアップされます。VMware は、NFS データ ストアにある使用済みディスク ブロックを取得できません。ジョブがフル バックアップの場合、ディスク全体がバックアップ セッションに含まれます。ジョブが増分バックアップの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップ セッションに含まれます。

現象

仮想ディスクが NFS データストアに存在するため、バックアップ ジョブは仮想ディスクのすべてのデータ ブロックのバックアップを実行しました。

解決策

VMware の制限により、仮想ディスクが NFS データストアに存在する場合、UDP はフル バックアップ ジョブのときに仮想ディスクのすべてのデータ ブロックを読み取ります。増分バックアップ ジョブの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップされます。

エラー メッセージ 20157

バックアップ ジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のツールを展開/展開解除できません。VMware Tools が最新ではありません。

現象

VMware Tools が最新ではないため、バックアップ ジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用/適用解除するように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM 内の VMware Tools をアップグレードします。

エラー メッセージ 20158

コマンド「<parameter>」がゲスト VM で開始されましたが、タイムアウト前に終了できません。

現象

実行前/実行後コマンドがタイムアウト前に終了できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20159

1 つ以上の仮想ディスクが除外されているため、Host-Based VM Backup はアプリケーション関連情報を取得しません。

現象

バックアップ プランが 1 つ以上の仮想ディスクをバックアップ ジョブから除外するように設定されているため、アプリケーション情報は生成されませんでした。そのため、アプリケーション レベルのリストアは使用できません。

解決策

アプリケーション レベルのリストアが必要な場合は、バックアップ プランを変更してディスク除外の設定を解除します。

エラー メッセージ 20160

ボリューム <parameter> をスキップしました。

現象

バックアップ関連ボリュームをスキップしました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20161

仮想マシンはテンプレートとして設定されているため、ジョブはフル バックアップになり、仮想ディスクはディスク全体としてバックアップされます。

現象

VM テンプレートの場合、バックアップ ジョブは仮想ディスクのデータ ブロック全体をバックアップしました。

解決策

これは、テンプレート バックアップの正常な動作です。

エラー メッセージ 20162

ファイル システム <parameter>、ボリューム <parameter> のビットマップを取得できません。

現象

バックアップ ジョブが関連ボリュームからファイル システムのビット マップを取得できなかったため、この復旧ポイントから BMR を実行できません。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20163

アプリケーションは、ストレージ プールに構築されたボリュームのメタデータをバックアップしませんでした。そのため、これらのボリュームのファイルレベルのリストアは実行できません。

現象

バックアップ ジョブがストレージ プールに構築されたボリュームのボリューム メタデータを取得できなかったため、ファイル レベルのリストアはできません。

解決策

これは正常な動作です。

エラー メッセージ 20164

仮想ディスク <parameter> は仮想互換性 RAW デバイス マッピング(vRDM) ディスクとして設定され、フル ディスクとしてバックアップされます。VMware は、vRDM として設定されているディスクの使用済みブロックを取得できません。ジョブがフル バックアップの場合、ディスク全体がバックアップ セッションに含まれます。ジョブが増分バックアップの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップ セッションに含まれます。

現象

仮想ディスクが vRDM ディスクとして設定されているため、バックアップ ジョブは仮想ディスクのすべてのデータ ブロックのバックアップを実行しました。

解決策

VMware の制限により、vRDM として設定された仮想ディスクの場合、UDP はフル バックアップ ジョブのときに仮想ディスクのすべてのデータ ブロックを読み取ります。増分バックアップ ジョブの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップされます。

エラー メッセージ 20165

「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式は使用できません。代わりに、「VMware Tools」スナップショット方式が使用されます。

現象

バックアップ プランは「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、バックアップ ジョブはこのスナップショット方式を適用する VM の設定に失敗しました。そのため「VMware Tools」スナップショット方式が使用されます。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20166

復旧ポイント <parameter> に「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式が使用されたため、アプリケーションのリストアをサポートできません。

現象

「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用する場合、アプリケーション レベルのリストアは使用できません。

解決策

「VMware Tools」スナップショット方式を使用するようにバックアップ プランを変更します。

エラー メッセージ 20167

ボリューム <parameter> の検証バックアップを実行します。前回のシステム シャットダウンが予期しないものであったか、リムーバブル デバイスが再接続されたためです。

現象

ボリュームの検証バックアップを実行します。前回のシステム シャットダウンが予期しないものであったか、リムーバブル デバイスが再接続されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20168

以前のバックアップに整合性のないデータが含まれているため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

現象

以前のバックアップに整合性のないデータが含まれているため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20169

VM は別のバックアップ プロキシによって保護されていますが、変更ブロック トラッキング(CBT) 機能では許可されていません。

現象

VM は別のバックアップ プロキシによって保護されていますが、変更ブロック トラッキング(CBT) 機能では許可されていません。

解決策

プランとノードを確認してください。

エラー メッセージ 20170

一部のファイル/ディレクトリはバックアップされません。詳細については、バックアップ ログ ファイルを参照してください。

現象

一部のファイル/ディレクトリはバックアップがスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20171

ハードウェア スナップショットに失敗しました。ソフトウェア スナップショットにフォールバックしています。

現象

ハードウェア スナップショットに失敗しました。ソフトウェア スナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20172

仮想ディスク <parameter> のサイズ変更されました。Host-Based VM Backup は、変更ブロックのトラッキング(CBT) 機能をリセットし、検証バックアップを自動的に実行します。

現象

仮想ディスクのサイズが変更された場合、変更ブロックのトラッキング(CBT) 機能がリセットされ、検証バックアップが自動的に実行されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20173

システムをシャットダウンしています。

エラー メッセージ 20174

トランスポータブル スナップショットに失敗しました。ハードウェア スナップショットにフォールバックしています。

現象

トランスポータブル スナップショットに失敗しました。ハードウェア スナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20175

トランスポータブル スナップショットに失敗しました。ソフトウェア スナップショットにフォールバックしています。

現象

トランスポータブル スナップショットに失敗しました。ソフトウェア スナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20176

復旧ポイントのデスティネーション [<parameter>] のコピーに、以前にバックアップされたデータが含まれています。セッション番号は、古いバックアップ データにすでに適用されているセッションに基づいて割り当てられます。

現象

復旧ポイントのデスティネーションのコピーに、以前にバックアップされたデータが含まれています。

解決策

CRP は、既存のセッションに基づいてセッション番号を作成します。

エラー メッセージ 20177

バックアップ先 [<parameter>] に、以前にバックアップされたデータが含まれています。セッション番号は、古いバックアップ データにすでに適用されているセッションに基づいて割り当てられます。

現象

バックアップ先に、以前にバックアップされたデータが含まれています。

解決策

バックアップ ジョブは、既存のセッションに基づいてセッション番号を作成します。

エラー メッセージ 20178

エージェントのアカウント [<parameter>] は無効です。

現象

アカウントが無効です。

解決策

指定したアカウントがシステムで有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 20179

このマシンのマスタ キーが一致しないため、キー マネージメントは無効です。

現象

キー マネージメントが無効です。キー マネージメント関連操作は失敗します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20180

キー マネージメント データベースにセッション パスワードを追加できません。(セッション GUID=[<parameter>]) 。

現象

キー マネージメント データベースにセッション パスワードを追加できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20181

キー マネージメント データベースからセッション パスワードを削除できません。(セッション GUID=[<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースからセッション パスワードを削除できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20182

ネットワーク アダプタ [<parameter>] がノード [<parameter>] で検出されました。その結果、このアダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) は、データ破損の可能性を避けるために無効になっています。

現象

ネットワーク アダプタがノードで検出されました。

解決策

TSO 機能は、既知のデータ破損の問題に基づいて、Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタで無効になります。

エラー メッセージ 20183

ネットワーク アダプタ [<parameter>] がノード [<parameter>] で検出されました。このアダプタはデータ破損を引き起こす可能性があります。この問題を回避するには、

ネットワーク アダプタを変更するか、アダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) を手動で無効にします。

現象

ネットワーク アダプタがノードで検出されました。

解決策

TSO 機能は、既知のデータ破損の問題に基づいて、Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタで無効になります。

エラー メッセージ 20184

ネットワーク アダプタの変更が検出されました: [<parameter>] メディアが切断されました。

現象

ネットワーク アダプタが変更されました。

解決策

ネットワーク アダプタが変更されます。

エラー メッセージ 20186

仮想マシン <parameter> の復旧ポイントのコピーに失敗しました。セッション番号 <parameter> の復旧ポイントには、ボリューム情報が含まれていません。

現象

復旧ポイントのコピーが失敗しました。

解決策

デバッグ ログを収集し、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20187

バックアップ プロキシ サーバ <parameter> で、ボリューム <parameter> (Arcserve UDP エージェントがインストールされている) が空き容量のしきい値 <parameter> MB に達しました。容量を解放すると、バックアップが停止する可能性があります。

現象

容量しきい値の警告です。

解決策

さらにバックアップを実行するには、より多くの容量が必要です。容量を解放しないと、バックアップが停止する可能性があります。

エラー メッセージ 20190

メールボックス <parameter> は、メールボックス ストレージ クォータの制限を超過しました。いくつかのアイテムがリストアされない可能性があります。

現象

リストア ジョブは未完了でした。

解決策

指定したメールボックスのストレージ クォータ制限を拡大します。

エラー メッセージ 20191

ディスク <parameter> は、<parameter> のローカル ボリュームに存在するため削除できません。

現象

解決策

エラー メッセージ 20196

リストア ジョブがキャンセルされました。

現象

リストア ジョブがキャンセルされました。

解決策

リストア ジョブがキャンセルされました。

エラー メッセージ 20197

リストア ジョブは未完了です。

現象

リストア ジョブは未完了でした。

解決策

リストア ジョブは未完了でした。

エラー メッセージ 20198

デバイスを再度開いてみます。

現象

デバイスを再度開いてみます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20199

ファイルまたはディレクトリがスキップされました。スキップされたファイルまたはディレクトリは、<parameter> を参照してください。

現象

リストア ジョブは未完了でした。一部のファイルまたはディレクトリをスキップしました。

解決策

詳細スキップ リストのリストア ジョブ ログを参照します。

エラー メッセージ 20200

ボリューム [<parameter>] を修復しています。復旧後にボリュームにアクセスできませんでした。ボリュームにエラーがある可能性があり、chkdsk.exe が起動してボリュームをスキャンします。chkdsk.exe がこのスキャンを完了する前に、コマンド コンソール ウィンドウを閉じないでください。

現象

リストアされたボリュームにエラーがあります。

解決策

リストアされたボリュームで chkdsk.exe を手動で実行します。

エラー メッセージ 20201 ～ 20300

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20201

ラベルがない、またはマウントされていないボリュームから元の場所へのファイルのリストアはサポートされていません。そのようなボリュームからリストア ファイルをスキップします。(ボリューム=[<parameter>]) 。

現象

リストア ジョブは未完了でした。

解決策

ラベルがない、またはマウントされていないボリュームから元の場所へのファイルのリストアはサポートされていません。

エラー メッセージ 20207

このインスタンス UUID を新しい仮想マシン用にリストアすることはできません。同じインスタンス UUID を持つ <parameter> という名前の別の仮想マシンがすでにインベントリに存在しています。

現象

新しい仮想マシンのインスタンス UUID をリストアできません。

解決策

この問題を回避するには、 *[新しいインスタンス UUID を生成]* または *[既存の仮想マシンに上書きする]* オプションを使用します。

エラー メッセージ 20208

復旧した仮想マシンの電源をオンにできません。VM の電源がすでにオンになっている場合があります。

現象

VM の復旧ジョブが失敗しました。

解決策

ESX/vCenter Server システムにログインして、仮想マシンの電源がオンになっているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20214

Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタが検出されました。このアダプタはデータ破損を引き起こす可能性があります。ネットワーク アダプタを変更するか、アダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) を手動で無効にします。

現象

これは、データ破損を検出する可能性のある危険なハードウェアを示しています。

解決策

メッセージが示すように、リスクを取り除きます。

エラー メッセージ 20215

Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタが検出されました。このアダプタの TCP セグメンテーション オフロード(TSO) 機能(別名 Large Send Offload) は、データ破損の可能性を避けるために無効になっています。

現象

これは、データ破損を検出する可能性のある危険なハードウェアを示しています。

解決策

リスクの高い機能は自動的に削除されました。手動の操作は必要ありません。

エラー メッセージ 20216

アプリケーションのリストアが完了していません。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

詳細については、前のエラー メッセージを確認してください。

エラー メッセージ 20217

Microsoft Exchange Server メールボックス データベース: [<parameter>] はバックアップに含まれません。

現象

データベースのリストアがスキップされました。

解決策

リストアする現在のデータベースはバックアップされません。

エラー メッセージ 20218

Microsoft Exchange Server パブリック フォルダ データベース: [<parameter>] はバックアップに含まれません。

現象

パブリック フォルダのリストアがスキップされました。

解決策

リストアされる現在のパブリック フォルダはバックアップされません。

エラー メッセージ 20219

コンポーネント (論 理 パス=[<parameter>]、コンポーネント 名 =[<parameter>]) が見つかりません。

現 象

データベース コンポーネント がスキップされました。

解 決 策

コンポーネント が存 在 するかどうかを確 認 します。

エラー メッセージ 20220

VSS コンポーネント [<parameter>] は、関 連 ボリューム [<parameter>] がこのバックアップの一 部 ではないため、バックアップには含 まれません。

現 象

アプリケーション コンポーネント のバックアップがスキップされました。

解 決 策

ボリュームにこのコンポーネント が含 まれています。バックアップには含 まれません。

エラー メッセージ 20221

VSS コンポーネント [<parameter>] は、関 連 するボリュームが存 在 しないため、バックアップには含 まれません。

現 象

アプリケーション コンポーネント のバックアップがスキップされました。

解 決 策

ボリュームにこのコンポーネント が含 まれています。バックアップには含 まれません。

エラー メッセージ 20222

リストア中 のデータベース: [<parameter>] は、最 新 の復 旧 ポイント からのリストアまたはディスクへのリストアのいずれかで、バックアップ後 に名 前 が変 更 されるか削 除 されます。

現 象

単 なる通 知 メッセージです。

解 決 策

ユーザが操 作 する必 要 はありません。

エラー メッセージ 20223

リストア中のストレージ グループ: [<parameter>] は、最新の復旧ポイントからのリストアまたはディスクへのリストアのいずれかで、バックアップ後に名前が変更されるか削除されます

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20224

Exchange ライタは無効になっています。Exchange サーバ全体はバックアップされません。

現象

Exchange ライタはバックアップされませんでした。

解決策

Exchange をバックアップする場合、Exchange ライタ サービスのステータスを確認します。

エラー メッセージ 20225

Exchange Information Store サービスが実行されていません。アクティブなデータベースはバックアップされません。

現象

アクティブなデータベースはバックアップされませんでした。

解決策

Exchange Information Store サービスを確認します。

エラー メッセージ 20226

Exchange Replication サービスが実行されていません。レプリケートされたデータベースはバックアップされません。

現象

レプリケートされたデータベースはバックアップされません。

解決策

Exchange Replication サービスを確認します。

エラー メッセージ 20227

コンポーネントが選択されていないため、ライタ(名前=[<parameter>]、ID=[<parameter>]) は除外されます。

現象

Exchange ライタはバックアップされませんでした。

解決策

バックアップ対象のコンポーネントが選択されていないか、コンポーネントはスキップされます。

エラー メッセージ 20228

プロバイダは、この時点でリクエストを実行できませんでした。これは一時的な問題である可能性があります。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。このメッセージの原因の 1 つは、ソース ボリューム(64 TB 以上) である可能性があります。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティション サイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラー メッセージ 20229

プロバイダが予期しないエラー コードを返しました。これは一時的な問題である可能性があります。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください

エラー メッセージ 20230

ボリュームのスナップショット ストレージ領域に十分な空き容量がありません。スナップショット ストレージ領域は、バックアップを続行するために別のボリュームに切

り替えられます。(ストレージ容量=[<parameter>]、ボリューム名=[<parameter>]) 。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

スナップショット用の十分な空き容量がありません。ボリュームの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 20231

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、アプリケーション バックアップはスキップされます。

現象

アプリケーションはバックアップされませんでした。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 20232

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」がインストールされていないため、Oracle データベース「<parameter>」はバックアップをスキップします。バックアップする場合は、ライタをインストールし、実行中であることを確認してください。

現象

データベースはバックアップされませんでした。

解決策

記載のサービスをインストールします。

エラー メッセージ 20233

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」は自動的に開始し、Oracle データベース「<parameter>」をバックアップします。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20234

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」は、Oracle データベース「<parameter>」バックアップを完了するために起動する必要があります。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

記載のサービスを起動します。

エラー メッセージ 20235

Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] は Active Directory に存在しないため、元の場所へのリストアはスキップされます。

現象

データベースまたはストレージ グループのリストアがスキップされました。

解決策

仕様による動作です。リストアするには、リストアする前にデータベースまたはストレージ グループを作成してください。

エラー メッセージ 20236

Microsoft Exchange ストレージ グループ/データベース <parameter> の元の場所へのリストアはスキップされます。マウント ステータスにあり、 [リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする] オプションがオフになっています。

現象

データベースはリストアされませんでした。

解決策

リストア ジョブのサブミット時に、 **[リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする]** チェック ボックスをオンにします。

エラー メッセージ 20237

Microsoft Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] の元の場所へのリストアはスキップされます。マウント ステータスにあり、 [リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする] オプションがオフになっています。

現象

データベースはリストアされませんでした

解決策

リストア ジョブのサブミット時に、 [リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする] オプションをオンにします。

エラー メッセージ 20238

SQL サーバは Windows XP ではサポートされていないため、スキップされます。

現象

SQL は Windows XP ではサポートされていません

解決策

仕様による動作です。

エラー メッセージ 20239

ライタ「<parameter>」は、エラー ステータスのため、バックアップ処理中にスキップされました。

現象

ライタのバックアップがスキップされます。

解決策

コマンド「vssadmin list writers」でライタの状態を確認し、イベント ログで詳細を確認します。

エラー メッセージ 20240

ボリュームのスナップショット ストレージ領域が NTFS ボリュームにありません。スナップショット ストレージ領域は、バックアップを続行するために別のボリュームに切り替えられます。(ストレージ容量 =[<parameter>]、ボリューム名 =[<parameter>]) 。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20241

スナップショットを作成中です。一度に実行できるスナップショット作成操作は 1 つのみです。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20242

SQL ライタ サービスがインストールされていません。SQL サーバはバックアップをスキップします。SQL サーバをバックアップする場合は、SQL ライタをインストールし、実行中であることを確認してください。

現象

SQL ライタのバックアップがスキップされました。

解決策

SQL ライタ サービスをインストールして有効にします。

エラー メッセージ 20243

SQL ライタ サービスが自動的に開始し、SQL Server をバックアップします。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20244

SQL バックアップを完了するには、sqlwriter サービス「<parameter>」を開始する必要があります。

現象

SQL バックアップが失敗しました。

解決策

記載のサービスを起動します。

エラー メッセージ 20245

サービスを開始できません。(EC=[<parameter>]、サービス名 =[<parameter>]) 。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 20246

システムは、I/O 書き込みを保持できませんでした。これは一時的な問題が原因である可能性があります。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップが失敗する可能性があります。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 20247

ライタは、再試行できる問題をレポートします。<parameter> 秒後に再試行してください。数回再試行してもライタがエラーを返し続ける場合は、ライタをホストしているサービスを再起動してみてください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

記載のサービスを再起動します。

エラー メッセージ 20248

アプリケーション保護機能のライセンスがないため、ライタはこのバックアップ ジョブからスキップされました。(ライタ名 =[<parameter>]) 。

現象

ライタのバックアップがスキップされます。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 20249

<parameter> のセッションをロックできませんでした(詳細情報：<parameter>) 。セッションは、<parameter> ジョブ、コンピュータ名：<parameter>、プロセス ID：<parameter> ですでにロックされています。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20250

Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態ではありません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Exchange Information Store サービスを開始します。

エラー メッセージ 20251

ファイルのリストアをスキップします。(ファイル [<parameter>]) 。

現象

ファイルのリストアをスキップします。

解決策

ファイルはスキップ リストにあるか、システム属性があります。

エラー メッセージ 20252

ディレクトリのリストアをスキップします。(ディレクトリ [<parameter>]) 。

現象

ディレクトリのリストアをスキップします。

解決策

ディレクトリはスキップ リストにあるか、システム属性があります。

エラー メッセージ 20253

最適化されたリストアを実行します。リストア ジョブが完了したら、リストアされたデータにアクセスする前に、データ デデュプリケーション機能をインストールします。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム <parameter>。

現象

フル ボリューム リストアを続行しますが、データ デデュプリケーション機能がインストールされていないと、ファイルにアクセスできません。

解決策

リストア ジョブの完了後にデータ デデュプリケーション機能を有効にします。

エラー メッセージ 20254

NTFS 以外のボリュームへの暗号化ファイル [<parameter>] のリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームへの暗号化ファイルのリストアをスキップします。

解決策

暗号化されたファイルは、NTFS 以外のボリュームではサポートされていません。

エラー メッセージ 20269

マージ ジョブは 70% で停止しました。

現象

マージ ジョブが別のジョブによって一時停止されました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 20270

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、ReFS ボリュームにリストアされると圧縮属性を失います。

現象

ReFS ボリューム上のファイル圧縮属性は失われます。

解決策

ReFS ボリュームは圧縮機能をサポートしません。NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20271

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、NTFS ボリュームにリストアされると整合性属性を失います。

現象

NTFS ボリュームでは、ファイル整合性属性が失われます。

解決策

NTFS ボリュームは整合機能をサポートしません。ReFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20272

代替データ ストリーム ファイル [<parameter>] 名前付きファイルの NTFS 以外のボリュームへのリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームでは、代替データ ストリームが失われます。

解決策

NTFS ボリュームのみが代替データ ストリームをサポートします。このファイルを NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20273

[<parameter>] の拡張属性データの NTFS 以外のボリュームへのリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームでは、拡張データ ストリームが失われます。

解決策

NTFS ボリュームのみが拡張データ ストリームをサポートします。このファイルを NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20274

ハード リンク: [<parameter>] の復旧をスキップします。ハード リンクを回復する方法については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

ハード リンクの復旧をスキップします。

解決策

ハード リンクを手動でリストアするには、製品ドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 20275

ログ ファイル [<parameter>] を参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できます。

現象

ログ ファイルを参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できます。

解決策

ログ ファイルを参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できます。

エラー メッセージ 20276

セッションがパージされたため、カタログ ジョブはスキップされます。

現象

セッションがパージされたため、カタログ ジョブはスキップされます。

解決策

パージ ジョブを確認してください。

エラー メッセージ 20277

ボリュームがファイル コピー ソースであるかどうかを判断するためのボリューム <parameter> の確認に失敗しました。ファイル コピーは無効になります。

現象

ボリュームがファイル コピー ソースであるかどうかを判断するためのボリュームの確認に失敗しました。ファイル コピーは無効になります。

エラー メッセージ 20278

ボリュームがファイル コピー ソースであるかどうかを判断するためのボリューム <parameter> (マシン <parameter>) の確認に失敗しました。ファイル コピーは無効になります。

エラー メッセージ 20279

カタログ ジョブがキャンセルされました。

現象

カタログ ジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20280

現在のジョブ スクリプトが無効です。(セッションが無効です)

現象

現在のジョブ スクリプトが無効です。(セッションが無効です)

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20281

セッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

現象

セッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20282

失敗したセッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

現象

失敗したセッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20283

デデュプリケーション有効ボリューム <parameter> のカタログ ファイルの生成がスキップされます。

現象

デデュプリケーション有効ボリュームのカタログ ファイルの生成がスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20284

ボリューム <parameter> はデデュプリケーション有効ボリュームのため、ファイル コピーはこのボリュームをスキップします。

現象

ボリュームはデデュプリケーション有効ボリュームのため、ファイル コピーはこのボリュームをスキップします。

解決策

このボリュームをコピーする場合は、デデュプリケーションを無効にしてください。

エラー メッセージ 20285

ボリューム <parameter> はデデュプリケーション有効ボリューム(マシン <parameter>) のため、<parameter> はこのボリュームをスキップします

現象

デデュープ ボリュームのアーカイブ ジョブがスキップされました。

解決策

アーカイブ ソース パス リストにデデュープ ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。含まれる場合、アーカイブ ソース パス リストからデデュープ ボリューム パスを削除してください。

エラー メッセージ 20286

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

現象

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。

解決策

復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

エラー メッセージ 20287

ReFS ボリューム <parameter> のカタログ ファイルの生成はスキップされます。

現象

ReFS ボリュームのカタログ ファイルの生成はスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20288

ボリューム <parameter> は ReFS ボリュームのため、ファイル コピーはこのボリュームをスキップします。

現象

ボリュームは ReFS ボリュームのため、ファイル コピーはこのボリュームをスキップします。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20289

ボリューム <parameter> は ReFS ボリューム(マシン <parameter>) のため、<parameter> はこのボリュームをスキップします

現象

ReFS ボリュームのアーカイブ ジョブをスキップします。

解決策

アーカイブ ソース パス リストに ReFS ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。含まれる場合、アーカイブ ソース パス リストから ReFS ボリューム パスを削除してください。ファイル アーカイブ ジョブでは、ReFS ボリュームはサポートされません。

エラー メッセージ 20290

<parameter> はボリューム <parameter> (マシン <parameter>) ではサポートされません。

現象

アーカイブはボリュームをサポートしていません。

解決策

アーカイブ ジョブ設定で指定したソース パス リストを確認し、ReFS、デデュプリケーション、マウントしたボリューム パスが含まれているかどうかを確認し、存在する場合は、そのリストを削除します。サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20291

パージに失敗したエージェント ノードの総数 : [<parameter>]。

現象

これは、失敗したエージェント ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20294

仮想ディスク [<parameter>] を開けませんでした。VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラー コード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを開くと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認します。レジストリで VDDK NBD モードを強制してみてください。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20295

仮想ディスク [<parameter>] の書き込みに失敗しました。VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラー コード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認します。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20296

仮想ディスク [<parameter>] の書き込みに失敗しました。VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラー コード [<parameter>]。再試行時間=[<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VSB で VDDK の書き込みを再試行します。

エラー メッセージ 20297

オフセット <parameter> でページを更新するためのデータのアップロード中に転送エラーが検出されました。アップロードを再試行します。

現象

Azure への仮想スタンバイ ジョブで、一時的なネットワーク/インターネット エラーにより、ページ BLOB 更新操作が失敗する可能性があります。

解決策

VSB で Azure の BLOB のページのアップロードを再試行します。

エラー メッセージ 20298

ファイル <parameter> は別の操作で使用されています。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ファイルは別のジョブで使用されています。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20299

ディスクの作成後に物理ディスクのパーティション テーブルが変更されました。仮想マシンから物理ディスクを削除し、再度追加します。

現象

ディスクの作成後に物理ディスクのパーティション テーブルが変更されました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解消されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20300

変更されたブロックのトラッキングが、仮想マシン スナップショットが存在する状態で有効化されました。フル バックアップには、仮想マシンの VMDK ファイルに含まれる使用済みおよび未使用のデータ ブロックが含まれるようになります。

現象

変更されたブロックのトラッキングが、仮想マシン スナップショットが存在する状態で有効化されました。フルバックアップには、仮想マシンの VMDK ファイルに含まれる使用済みおよび未使用のデータブロックが含まれます。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 20301 ～ 20400

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20301

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングが有効化された場合、VMware はフル バックアップに使用されたデータ ブロックを取得できません。

現象

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングが有効化された場合、VMware はフル バックアップに使用されたデータ ブロックを取得できません。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 20302

ボリューム [<parameter>] のファイル システムは [<parameter>] で、チェック ディスクではサポートされていません。

現象

チェックディスク ツールは、保護されたマシンの指定したボリュームのファイル システムをサポートしていません。エラーが報告されます。

解決策

AR ジョブは、そのボリュームのチェック ディスク ツールの実行をスキップします。

エラー メッセージ 20307

仮想マシン設定が保存されているパス <parameter> は、クラスタ内のストレージ場所へのパスまたはクラスタに追加できるストレージ場所へのパスではありません。この仮想マシンの可用性を高めるには、このストレージ場所がクラスタ内のすべてのノードで利用可能であることを確認してください。

現象

スタンバイ VM 設定のストレージ場所は、クラスタ内のすべてのノードで使用できるわけではありません。スタンバイ VM はクラスタ内で高可用性ではありません。

解決策

クラスタ内のすべてのノードで使用可能なパスを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20308

<parameter> (「<parameter>」) : データ デデュプリケーション容量がフル容量に達しました。メモリ サイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張してください。

現象

デデュプリケーション データ ストアのハッシュ役割がフル容量に達しました。

解決策

メモリ サイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張します。

エラー メッセージ 20309

<parameter> (「<parameter>」) : データ デデュプリケーション容量がフル容量の <parameter>%% に達しました。メモリ サイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張してください。

現象

デデュプリケーション データ ストアのハッシュ役割がフル容量の特定の割合に達しました。

解決策

メモリ サイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張します。

エラー メッセージ 20310

<parameter> (「<parameter>」) : 設定されたメモリ サイズが物理メモリの合計よりも大きくなっています。後でメモリ不足になる可能性があります。

現象

使用可能な物理メモリが不足しているため、メモリ構成に基づいて指定されたデータ ストアをサポートできません。

解決策

メモリを増やすか、指定されたデータ ストアのメモリ要件の設定を変更します。

エラー メッセージ 20311

データ ストア [<parameter>] は、通常の UDP ジョブを実行するためにビジー状態です。パージとディスク再利用の現在のサイクルでの中断時間の合計は、アクティブ

な通常の UDP ジョブにより [<parameter>] 日を超えています。UDP ジョブを再スケジュールしてデータ ストアの負荷を軽減するか、コマンド ライン ツール #as_gddmgr.exe –Purge Start# を実行して、パージを同時に有効にします。パージを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

現象

指定されたデータ ストアのジョブのペイロードが高いため、パージとディスク再利用が長時間中断されています。これによって古いデータがデータ ストアに蓄積し、予想より多くのディスク容量を占有する可能性があります。

解決策

UDP ジョブを再スケジュールしてデータ ストアの負荷を軽減するか、コマンド ライン ツール #as_gddmgr.exe –Purge Start# を実行して、パージを同時に有効にします。パージを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

エラー メッセージ 20312

データ ストア [<parameter>] は、通常の UDP ジョブを実行するためにビジー状態です。パージとディスク再利用の現在のサイクルでの中断時間の合計は、アクティブな通常の UDP ジョブにより [<parameter>] 日を超えています。並列パージが自動的に有効になり、古いデータ ブロックのディスク容量を解放できるようになりました。パージを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

現象

指定されたデータ ストアのジョブのペイロードが高いため、パージとディスク再利用が長時間中断されています。データストアに古いデータが蓄積されるのを避けるため、パージは通常の UDP ジョブと並行して有効になっています。

解決策

パージを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があるため、データ ストアの負荷を軽減するために UDP ジョブを再スケジュールすることをお勧めします。

エラー メッセージ 20313

ファイル/ディレクトリ <<parameter>> をスキップします。パスが長すぎます。

現象

ジョブは未完了でした。

解決策

仕 様による動 作 です。一 部 のファイルがスキップされます

エラー メッセージ 20314

以 前 のリリースからの既 存 のアクティビティ ログ メッセージが <parameter> 検 出 され ました。これらは現 在 のアクティビティ ログ データベースにはインポート されません。 Arcserve のサポート チームに連 絡して、インスト ール後 にこれらのメッセージをイン ポートしてください。

現 象

UDP アップグレード 後 にアクティビティ ログが完 全 にインポート されません。

解 決 策

インスト ール後 にログをインポート するには、Arcserve サポート にお問い合 わせくだ さい。

エラー メッセージ 20315

ファイルをスキップします。(ファイル=[<parameter>]) 。<parameter>

現 象

ジョブは未 完 了 でした。

解 決 策

仕 様による動 作 です。リスト アの競 合 オプション設 定 とオンライン ヘルプを確 認し、 リスト ア中 にスキップされるファイルを確 認します。

エラー メッセージ 20316

RAID/スト ライプ ボリュームにはディスクごとに複 数 のディスク エクステント があるた め、ファイル レベルのリスト アは(ボリューム=[<parameter>]) ではサポート されていま せん。

現 象

ジョブは未 完 了 でした。

解 決 策

仕 様による動 作 です。復 旧 ポイント をマウント してリスト アを試 行します。

エラー メッセージ 20317

システム ファイルはスキップされました。必 要 な場 合 、ベア メタル復 旧 (BMR) オプ ションを使 用してリスト アできます。

現 象

ジョブは未完了でした

解決策

仕様による動作です。一部のファイルがスキップされます。BMR でこれらのファイルをリストアします。

エラー メッセージ 20318

ディレクトリ<parameter> の作成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM では、復旧サーバに複数のフォルダを作成する必要があります。ディレクトリの作成に失敗しました。

解決策

Windows から返されたエラー コードを参照します。親フォルダに、サブフォルダを作成する適切なユーザ権限があるかどうかを確認します。または、他のフォルダを親フォルダとして選択します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20319

データストア [<parameter>] のマウント解除に失敗しました。エラー コード: <parameter>。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

データストアのマウント解除に失敗しました。

解決策

指定した NFS データストアが非アクティブである場合、IVM はマウント解除して新しいデータ ストアを再作成しようとします。VMWare サーバからのエラー メッセージを参照します。アクティブでない NFS データ ストアを手動でマウント解除するか、インスタント VM が新しい NFS データ ストアを作成するように他のパスを選択します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20320

ハートビート検出の頻度がタイムアウト値を超えています。タイムアウト値と同じ頻度に設定します。

現象

ハートビート検出の頻度がタイムアウト値を超えています

解決策

インスタント VM ジョブは、内部的に検出頻度をタイムアウト値に設定します。

エラー メッセージ 20321

ハートビートの検出頻度が 0 秒以下です。デフォルトで頻度を [<parameter>] に設定します。

現象

ハートビートの検出頻度はゼロより大きくなければなりません。それ以外の場合は、エラーが報告されます。

解決策

インスタント VM ジョブは、検出頻度をデフォルト値に設定します。

エラー メッセージ 20322

<parameter> を挿入できませんでした。

現象

挿入できませんでした。ドライバを VM に挿入している間に、インスタント VM ジョブは復旧サーバから VM の仮想ディスクにいくつかのファイルをコピーする必要があります。コピーが失敗すると、エラーが報告されます。

解決策

インスタント VHD に基づいてアシュアード リカバリ ジョブを実行し、バックアップ セッションのブート ボリュームにデータの破損がないことを確認します。復旧サーバでインストール ファイルが誤って削除されていないかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20323

プロキシ サーバがサポートするファイル システムのバージョンがソース ファイルのシステムと互換性がありません。そのため、誤検知を引き起こす可能性があります。ソース ノードと一致する OS バージョンのプロキシ サーバを使用してください。

現象

プロキシ サーバがサポートするファイル システムのバージョンがソース ファイル システムと互換性がないため、誤検出の警告が表示される場合があります。復旧サーバがファイル システムをサポートしていない場合、警告が報告されます。

解決策

OS が保護されたマシンのファイル システムをサポートしている他のマシンを復旧サーバとして使用します。次に、アシュアード リカバリ ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20324

選択したディスク コントローラは NVME コントローラですが、ソース マシンのオペレーティング システムにネイティブの NVMe ドライバがありません。オペレーティング システムがブート可能でない可能性があります。

現象

選択したディスク コントローラは NVME コントローラです。しかし、ソース マシンのオペレーティング システムには、ネイティブの NVMe ドライバがありません。オペレーティング システムがブート可能でない可能性があります。

解決策

保護対象マシンの OS がサポートできる他のディスク コントローラを選択します。

エラー メッセージ 20325

データストア [<parameter>] と NFS 共有 [<parameter>] は非アクティブ状態です。マウント解除してください。

現象

NFS 共有のあるデータストアは非アクティブ状態です。

解決策

非アクティブな NFS データ ストアにはアクセスできません(読み取り/書き込み) 。インスタント VM ジョブは自動的にマウント解除し、新しい VM を作成します。

エラー メッセージ 20326

ダイナミック ブート ディスクはドライバの挿入時に実行されないため、リモート デスクトップから仮想マシンにアクセスできるとは限りません。ターミナル サービスが実行中で、ファイアウォールが TCP ポート 3389 を許可していることを確認してください。

現象

インスタント VM ジョブでは、ドライバの挿入を実行するためにダイナミック ディスクをマウントできません。ターミナル サービスがアクティブ化されていない場合、またはファイア ウォールでポートが設定されていない場合、ユーザはリモート デスクトップからスタンバイ VM にアクセスできません。

解決策

仮想マシンのステータスを確認するには、ターミナル サービスをアクティブにし、保護対象マシンにファイアウォールを正しく設定してください。

エラー メッセージ 20327

ターゲット ESX(i) ホスト [<parameter>] は存在しません。その結果、クラスタ [<parameter>] のランダムな ESX(i) ホストが選択されます。

現象

ESXI ホストがクラスタに存在しない場合。インスタント VM ジョブは、ランダムに 1 つを選択します。

解決策

インスタント VM ジョブは ESXi ホストを自動的に選択します。

エラー メッセージ 20328

CPU 数 [<parameter>] は、ハイパーバイザ [<parameter>] でサポートされている最大数を超えています。CPU 数は [<parameter>] の最大値に自動的に変更されます。

現象

CPU 数は、ハイパーバイザでサポートされている最大数を超えています。

解決策

インスタント VM ジョブは、スタンバイ VM の CPU 数をハイパーバイザがサポートする最大数に自動的に設定します。

エラー メッセージ 20329

CPU 数 [<parameter>] は無効です。CPU 数は [<parameter>] の最小値に自動的に変更されます。

現象

CPU 数が無効です。

解決策

インスタント VM ジョブを開始し、CPU 数を 0 または負の数に設定すると、警告が報告されます。インスタント VM ジョブは、CPU 数を自動的に 1 に設定します。

エラー メッセージ 20330

メモリ サイズ [<parameter>] が最大メモリ サイズ [<parameter>] (ハイパーバイザ [<parameter>]) を超えています。

現象

メモリ サイズがハイパーバイザの最大メモリ サイズを超えています。

解決策

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源をオンにしようとします。失敗した場合は、スタンバイ VM のメモリサイズを減らし、電源の再投入を再試行します。

エラー メッセージ 20331

メモリ サイズ [<parameter>] が無効です。メモリ サイズは自動的に [<parameter>] MB の値に変更されます。

現象

メモリ サイズが無効です。

解決策

インスタント VM ジョブを開始し、メモリ サイズを 0 または負の数に設定すると、警告が報告されます。インスタント VM ジョブは、メモリ サイズを自動的に 1 GB に設定します。

エラー メッセージ 20332

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムをサポートしていません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、ソース マシンのオペレーティング システムをサポートしていません。

解決策

指定した OS をサポートできる他のハイパーバイザを試してください。

エラー メッセージ 20333

仮想マシン名 [<parameter>] はすでに存在します。名前 [<parameter>] を代わりに使用します。

現象

仮想マシン名はすでに存在します。

解決策

インスタント VM は、スタンバイ VM の新しい名前を作成します。

エラー メッセージ 20334

ターゲット リソース プール [<parameter>] は存在しません。その結果、デフォルトのリソース プールが自動的に選択されます。

現象

インスタント VM ジョブが、VMware サーバの設定されたリソース プールが存在しないことを検出しました。

解決策

代わりに、インスタント VM はデフォルトのリソース プールを選択します。

エラー メッセージ 20335

Windows 7 以降のクライアント Hyper-V は、ホスト マシン <parameter> のインスタント VM によって禁止されておらず、正式にサポートもされていません。テスト結果はユーザの責任で管理してください。

現象

Windows 7 以降のクライアント Hyper-V は、ホスト マシンで禁止されておらず、正式にサポートされていません。テスト結果はユーザの責任で管理してください。

解決策

ターゲットのハイパーバイザが Windows 7 以降のクライアント OS で実行されている場合、警告が報告されます。代わりに、Hyper-V のサーバ バージョンを選択します。

エラー メッセージ 20336

ソースマシンのブート ファームウェアは EFI です。そのため、レガシー ネットワーク アダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワーク アダプタは通常のネットワーク アダプタに変更されます。

現象

保護対象マシンのシステム ボリュームが UEFI パーティションである場合、インスタント VM は UEFI をサポートするために第 2 世代仮想マシンを選択する必要があります。ただし、第 2 世代の仮想マシンはレガシー NIC をサポートできません。

解決策

インスタント VM は、レガシー NIC ではなく通常の NIC を選択します。

エラー メッセージ 20337

ディレクトリ<parameter> の削除に失敗しました。

現象

ディレクトリの削除に失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を停止した後、インスタント VM ジョブは自身で作成した一時ディレクトリを削除しようとします。Windows から返されたエラーコードを参照します。一時ディレクトリを手動で削除します。

エラー メッセージ 20338

システム ボリュームまたはブート ボリュームがダイナミック ディスクにあるため、ドライバの挿入操作はキャンセルされます。

現象

インスタント VM ジョブは、動的仮想ディスクをマウントしてドライバを挿入できません。ジョブがダイナミック ディスクにシステム ボリュームまたはブート ボリュームを検出すると、警告を報告します。

解決策

インスタント VM は、ドライバの挿入を自動的にスキップします。

エラー メッセージ 20339

統合サービスの ISO ファイル [<parameter>] は存在しません。インスタント VM [<parameter>] の開始後は、インストールされません。手動でインストールするには、Microsoft Windows Hyper-V ドキュメントを参照してください。

現象

インスタント VM ジョブが Hyper-V でスタンバイ VM を開始する場合、スタンバイ VM に Hyper-V 統合サービス ISO をマウントする必要があります。挿入されたサービスは ISO を読み取り、ドライバを自動的にインストールします。インスタント VM ジョブが ISO ファイルを見つけられない場合、警告が報告されます。

解決策

「%Systemroot%\System32\vmguest.iso」ファイルが存在することを確認します。これは、Windows Hyper-V が提供するシステム ファイルです。誤って削除してしまった場合は、他の Hyper-V マシンからコピーし、スタンバイ VM を再起動します。

エラー メッセージ 20340

Hyper-V 統合サービスがソース マシンにインストールされていません。

現象

Hyper-V 統合サービスが仮想マシンにインストールされていないことをインスタント VM ジョブが検出すると、警告が報告されます。

解決策

インスタント VM ジョブは、サービスを自動的にインストールしようとします。それでも失敗する場合は、サービスを手動でインストールします。

エラー メッセージ 20351

メモリ サイズは、2MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4MB (VMware の場合) である必要があります。その結果、メモリ サイズは [<parameter>] MB に調整されました。

現象

メモリ サイズは、2 MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4 MB (VMware の場合) である必要があります。

解決策

インスタント VM ジョブは、自動的に 2 MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4 MB (VMware の場合) を決定します。

エラー メッセージ 20352

現在のユーザ アカウント <parameter> はドメイン アカウントではありません。その結果、クラスタ化された仮想マシン グループは作成されません。

現象

現在のユーザ アカウントはドメイン アカウントではありません。

解決策

インスタント VM ジョブの開始時は、ユーザ アカウントはドメイン アカウントではありません。ドメイン以外のアカウントは、クラスタ化された仮想マシングループの作成には使用できません。ドメイン アカウントを使用して、クラスタ化された仮想マシン グループを作成します。

エラー メッセージ 20353

ボリューム <parameter> の現在の空き容量は [<parameter> GB] です。その結果、仮想マシン内で仮想ディスクがいっぱいになった場合、すべての仮想ディスク [<parameter> GB] とメモリスワップ ファイル [<parameter> GB] を保存するための十分な容量がない可能性があります。

現象

仮想マシン内で仮想ディスクがいっぱいになった場合、すべての仮想ディスクとメモリスワップ ファイルを保存するための十分な容量がありません。

解決策

スタンバイ VM が実行されているときに、スタンバイ VM によって更新または生成されたディスク データは、ユーザが指定したボリュームのディスク容量を占有します。スタンバイ VM の仮想ディスクを含む、より大きなサイズの別のボリュームを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20358

Exchange Online サーバに接続できませんでした。ネットワークに接続できないか、認証情報が無効です。

現象

Microsoft によって基本認証がすでに無効化されているため、UDP ソースの作成手順で UDP 9.0 は 365 テナントを正しく認識しません。

解決策

UDP に追加する新しいソースには、先進認証のみが推奨されます。

注： Microsoft が基本認証を完全に終了する前の移行フェーズまで、UDP 9.0 では従来の 365 ソースを保護するために基本認証を引き続きサポートします。

エラー メッセージ 20359

SharePoint Online Server に接続できません。

現象

1. プロキシ エージェントが SharePoint Online Server に接続できません。
2. SharePoint Online ノードの追加時に認証情報が無効です。
3. UDP コンソールの SharePoint Online ノードに存在する 1 つ以上の項目が SharePoint Online サーバから削除されました。

解決策

1. この問題は、ネットワーク障害が原因で発生する場合があります。UDP プロキシ エージェントからサイト コレクションの URL にアクセスして、ネットワークの可用性を確認します。
2. アカウントが無効であるかパスワードが正しくないため、SharePoint Online ノードの追加中に入力された認証情報は無効と見なされます。解決するには、UDP プロキシ エージェントからサイト コレクションの URL にアクセスし、UDP コンソールで使用されているのと同じ認証情報を使用して SharePoint Online をバックアップします。以前に認証情報が変更されている場合は、UDP コンソールで SharePoint Online ノードを最新の認証情報で更新します。
3. SharePoint Online サーバから削除された項目が、UDP コンソールの SharePoint Online プランからも削除されていることを確認します。プランから削除するには、削除したアイテムを選択せずに SharePoint Online ノードとプランを開いて保存します。

エラー メッセージ 20360

「WaitForManualCheck」スイッチが有効になっています。検証が完了したら、スイッチを無効にします。

現象

レジストリスイッチが有効な場合、アシュアード リカバリジョブは完了しません。

解決策

アシュアード リカバリジョブを続行するには、レジストリスイッチを無効にします。

エラー メッセージ 20361

前回のバックアップ後にディスクが変更されたか、新規に追加されたため、ボリューム [<parameter>] をフルに変換しています。

現象

正常です

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 20362

シンボリック リンク/マウント ポイントをスキップしました。詳細については、バックアップ ログ ファイル [<parameter>] を参照してください。

現象

シンボリック リンク/マウント ポイントをスキップしました。

解決策

詳細については、バックアップ ログ ファイル [%1!s!] を参照してください。%0

エラー メッセージ 20363

クラスタ共有ボリューム [<parameter>] の物理的な場所をフェッチできませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

現象

クラスタ共有ボリュームをフェッチできません。CSV をバックアップできません。

解決策

クラスタ共有ボリュームがすでにシステムに接続されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20364

アプリケーションはシステム ボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

アプリケーションはシステム ボリューム %1!s! をバックアップしませんでした

解決策

ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされていません。回避策として、バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20365

アプリケーションはボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ブート ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

アプリケーションはブート ボリューム %1!s! をバックアップしませんでした

解決策

ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされていません。回避策として、バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20366

システム/ブート ボリュームを含む仮想ディスクは、現在のバックアップ ジョブから除外されます。したがって、この復旧ポイントは、仮想スタンバイ、インスタント VM、

アシュアード リカバリ、およびベア メタル復旧には使用できません。

現象

システム/ブート ボリュームを含む仮想ディスクは、現在のバックアップ ジョブから除外されます。その結果、復旧ポイントは、仮想スタンバイ、インスタント VM、アシュアード リカバリ、およびベア メタル復旧には使用できません。

解決策

仮想ディスクがバックアップ ジョブに含まれているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20367

デスティネーション ボリュームがマウント解除されます。

現象

正常です

解決策

特定のシーンでログを確認する必要があります。

エラー メッセージ 20368

デスティネーションボリュームがいっぱいです。

現象

正常です。

解決策

特定のシーンでログを確認する必要があります。

エラー メッセージ 20369

Arcserve Cloud でレプリケーション ジョブがキャンセルされました。

現象

正常です。

解決策

<productname> の動作ステータスを調べるには、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20371

セッション <parameter> のカタログ ファイルのみ Cloud Hybrid ストアにレプリケートされます。

カタログ ファイルのみが Arcserve Cloud にレプリケートされます。

エラー メッセージ 20372

同じ Cloud Hybrid ストアのノードに対して別のジョブが実行されています。

現象

新しいレプリケーション ジョブは開始されませんでした。

解決策

このノードの別のレプリケーション ジョブがすでに実行中です。既存のレプリケーション ジョブを完了させてから、新しいレプリケーション ジョブを再度サブミットします。

エラー メッセージ 20373

Arcserve Cloud でセッションをロックできませんでした。

現象

レプリケーション デスティネーション セッションをロックできません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 20374

Arcserve Cloud で認証プロセスが失敗しました。

現象

認証エラーです。レプリケーション ジョブを実行できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20375

スナップショットは、仮想マシンのファイル システムを静止させずに取得されます。その結果、このスナップショットは、ゲスト ファイル システムの整合性のある状態を示

すことができません。仮想マシンの電源がオフになっている場合、または NGT (Nutanix ゲスト ツール) が有効ではなく、CVM との通信が利用できない場合、静止フラグは無視されます。

現象

この警告は、特に VM に対してクラッシュ整合性を採用するようにレジストリ設定を行った場合に表示されます。

解決策

レジストリキーを無効にして、アプリケーション整合性のあるスナップショットを作成します。

エラー メッセージ 20376

ディスク [%1!s!] (%2!s! %3!d!) は、バックアップから除外されます。

現象

この警告は、ユーザがバックアップ用にディスクを除外するようにプランで設定した場合に表示されます。

解決策

プランの VM の設定を変更して、バックアップにディスクを含めます。

エラー メッセージ 20377

仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットを取得できません。スナップショットをクラッシュ整合性に変換しています。

現象

この警告は、仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットの取得に失敗した場合に表示されます。したがって、バックアップはクラッシュ整合性のあるスナップショットを使用します

解決策

Nutanix ゲスト ツールが VM にインストールされているかどうかと、CVM と VM 間の通信リンクがアクティブであることを確認し、アプリケーション整合性のあるスナップショットを使用してバックアップします。

エラー メッセージ 20378

復旧した仮想マシンの電源をオンにできません。[%1!s!]。

現象

この警告は、復旧した VM の電源をオンにできなかった場合に表示されます。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認してください。クラスタで手動で VM の電源をオンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20379

ボリューム グループからプロキシを iSCSI として切断できませんでした

現象

この警告は、ボリューム グループが存在しない場合、またはクライアントがボリューム グループに接続されていない場合に表示されます。

解決策

ボリューム グループが存在しない場合、失敗することがあります。バックアップ用に作成されたボリューム グループは削除しないでください。ボリューム グループの削除時に再試行してください。

エラー メッセージ 20380

データストア「%1!s!」のハッシュ データベースがないため、再構築を開始しています。%0

現象

ハッシュ フォルダがない場合、管理サービスはハッシュ データベースの再構築を開始します。

解決策

操作は自動的に実行され、データストアの起動後にハッシュ データベースが生成されます。

エラー メッセージ 20387

データベース [<HOST NAME>\<INSTANCE NAME>\<DATABASE NAME>] のリストアは、すでに存在するためスキップされました。上書きオプションを使用してデータベースをリストアします。

現象

リストア中に指定されたターゲット デスティネーションにデータベースが存在する場合、そのデータベースのリストアはスキップされます。

解決策

上書きオプションを使用してデータベースをリストアします。

エラー メッセージ 20396

SQL インスタンス <Instance Name> のデータベース <Database Name> のデータベース整合性チェック: 失敗。

現象

データベースの整合性チェックが失敗しました。

解決策

何も行う必要はありません。詳細については、「報告されたデータベース整合性エラーのトラブルシューティング - SQL Server」を参照してください。

エラー メッセージ 20397

SQL インスタンス <Instance Name> の DB <Database Name> のユーザ アクセスを制限します: 失敗。

現象

データベースをシングル ユーザ モードに設定できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。詳細については、「データベースをシングル ユーザ モードに設定する」を参照してください。

エラー メッセージ 20401 ～ 20500

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20401

DISM コマンドを実行して [%1!s!] を挿入できません。エラー メッセージ [%2!s!]。終了コード [%3!d!]。%0。

現象

仮想スタンバイジョブが DISM コマンドを実行できないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

仮想スタンバイ モニタの DISM コマンド エラーを修正します。

エラー メッセージ 20403

ストレージ容量が不足しているためリストアできません。%0

現象

ディスクの空き容量が不足しているため、リストア ジョブが失敗しました。

解決策

ディスクの空き容量を増やすか、ストレージを拡張します。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20404

Nutanix ゲスト ツール/NGT がインストールされていません。%0

現象

Nutanix ゲスト ツール/NGT ステータスを取得できません。

解決策

その時点で VM と CVM 間の通信リンクが無効になっていないかどうかを確認します。Nutanix クラスタ管理者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 20405

NGT (Nutanix ゲスト ツール) は有効ですが、実行/インストールされていません。%0

現象

VM で Nutanix ゲスト ツールが有効になっていて、VM と CVM 間の通信リンクが無効になっている場合、警告が表示されます。

解決策

仮想マシンに NGT ツールがインストール/実行されていない場合、VM と CVM 間の通信リンクを無効にできます。VM と CVM 間で他の通信問題が発生した可能性があります。Nutanix クラスタ管理者にお問い合わせください

エラー メッセージ 20406

ゲスト VM 認証情報が空です。そのため、このノードでは、プレフライト チェック、実行前/実行後コマンド、アプリケーション レベルのリストア/ログの切り捨てが機能しません。コンソール UI を使用して認証情報を更新してください。

現象

VM ゲスト OS の認証情報が提供されていないため、バックアップ ジョブは、VM と通信してアプリケーションのリストアをサポートするために VM 内のアプリケーションの詳細をフェッチできませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 20407

クライアントで SMB マルチチャネル機能が有効になっているため、サーバ %1!s! (ネットワーク インターフェース %2!d!) に制約が追加されました。%0

現象

クライアントで SMB マルチチャネル機能が有効になっていて、ネットワーク インターフェース インデックスを持つサーバに制約が追加される場合に、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました

解決策

このメッセージは、データ転送に専用ネットワークを使用するジョブ オプションが選択されたことを示します。新しい SMB マルチチャネル制約がプロキシ マシンでバックアップ ジョブによって定義され、バックアップ ジョブが終了するまで制約が保持されます。

エラー メッセージ 20408

ファイル: [%1!s!] を読み取れません。エラー: [%2!s!]。%0

現象

カタログ ファイルを読み取れません。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 20501 ～ 20600

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20501

アカウント %2!s! のドライブ %1!s! のメタデータのバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目：%3!s!、未完了 %4!s!、失敗：%5!s!。%0

現象

一部のファイルのメタデータがバックアップされないため、バックアップ ドライブは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20502

アカウント %1!s! のメタデータのバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目：%2!s!、未完了 %3!s!、失敗：%4!s!。%0

現象

一部のドライブのメタデータがバックアップされないため、バックアップ アカウントは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20503

%1!s! アカウントをバックアップしましたが、警告があります。バックアップ済み：%2!s!、未完了：%3!s!、失敗：%4!s!、ファイルの合計サイズ：%5!s!

現象

一部のファイルまたはメタデータのバックアップが失敗したため、バックアップは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20504

メタデータのバックアップが完了していません。%0

現象

メタデータのバックアップが完了していません。一部のドライブ/ファイルのメタデータが失敗した可能性があります。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20505

AFRES_AFBKDL_ONEDRIVE_WARNING_END_BACKUP_FILES_INCOMPLETE.%0

現象

一部のファイルがバックアップされていないため、ファイルのバックアップが未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20506

ユーザ %2!s! のドライブ %1!s! を削除しましたが、警告があります。削除済み: %3!s!、未完了: %4!s!、未削除: %5!s!。%0

現象

アカウントのドライブの削除に失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20507

アカウント %1!s! を削除しましたが、警告があります。削除済みファイル/フォルダ: %2!s!、未完了: %3!s!、失敗: %4!s!。%0

現象

アカウントの削除が未完了です。一部のドライブ/ファイルが削除されない場合があるためです。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20508

アカウント %1!s! のバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ済みファイル: %2!s!、未完了: %3!s!、失敗: %4!s!、転送サイズ: %5!s!。%0

現象

一部のファイルがバックアップされていないため、アカウントのバックアップが未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20509

アカウント %2!s! のドライブ %1!s! のバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目：%3!s!、未完了：%4!s!、失敗：%5!s!。%0

現象

一部のファイルがバックアップされていないため、ドライブ アカウントのバックアップが未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20510

アプリケーションの権限を確認し、アプリケーションが登録されているかどうかを確認します。アプリケーションに権限を与え、サーバ時間が正しいことを確認します。%0

現象

アカウント リソースにアクセスする権限がありません。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラー メッセージ 20511

仮想ディスクサイズが %1!s! から %2!s! に変更されたため、フル バックアップに変換しています。%0

現象

仮想ディスクのサイズが前回のバックアップ セッションと異なる場合、ジョブはフル ジョブに変換されます。

解決策

これは単なる情報です。

エラー メッセージ 20512

RPS サーバ %1!s! の SMB マルチチャネル制約の定義に失敗しました。%0

現象

RPS サーバの SMB マルチチャネル制約の定義に失敗したため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。

解決策

Microsoft SMB マルチチャネル サービスがプロキシ/エージェント マシンでサポートされていて、有効になっていることを確認してから、再試行してください。

エラー メッセージ 20513

現在の Windows バージョンでは Microsoft SMB マルチチャネル サービスがサポートされません。バックアップ ジョブは SMB マルチチャネルでの制約の定義なしで続行します。%0

現象

Microsoft SMB マルチチャネル サービスは現在の Windows バージョンではサポートされていないため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。バックアップ ジョブは、SMB マルチチャネルでの制約を定義せずに続行します。

解決策

Microsoft SMB マルチチャネル サービスは、一部のバージョンの Windows ではサポートされていません。これは、Microsoft の制限事項です。

エラー メッセージ 20514

Nutanix Data IP サービスに複数のデータ IP を設定することはできません。このバックアップ ジョブのネットワーク設定の指定は無効になります。%0

現象

Nutanix Data IP サービスに複数のデータ IP を設定できないため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。このバックアップ ジョブのネットワーク設定の指定は無効です。

解決策

AHV 仮想マシン バックアップ トラフィックで指定されたネットワーク機能の使用を有効にするには、バックアップ プロキシと Nutanix クラスタ ISCSI データ サービスの両方が同じネットワークで設定されている必要があります。

エラー メッセージ 20515

ACL を使用してファイルをリストアすると、エラーが発生します。ACL オプションを指定せずにリストアしてください。%0

現象

ACL を使用してファイルをリストアすると、エラーが発生します。

解決策

ACL オプションを指定せずにリストアしてください。

エラー メッセージ 20516

以前のバックアップ スナップショットがクラスタに存在しないため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。%0

現象

VM の以前のスナップショットがクラスタから削除されると、増分バックアップ ジョブは検証バックアップに変換されます。スナップショットは、ノードがプランから削除されたとき、またはユーザの他のアクションにより、製品によって削除される場合があります。

解決策

増分バックアップを実行するために、サードパーティのバックアップ スナップショットがクラスタから削除されていないことを確認します。

エラー メッセージ 20601 ~ 20700

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20263

マージ用セッションのロックに失敗しました。セッションは次のコンピュータによってロックされています: <VMname>。

現象

マージ ジョブのセッションのロックが失敗しました。セッションが別のマシンによってロックされています。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 20266

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ ジョブがスキップされました。復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

現象

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ ジョブがスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 20700

UDP コンソールでストレージ アレイを設定して、データストア %1!s! にある仮想ディスクのハードウェア スナップショットを利用します。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「動作要件」を参照してください。%0

現象

バックアップ ジョブが失敗します。このメッセージは、

1. ハードウェア スナップショットを使用したバックアップが失敗した場合に、ソフトウェア スナップショットにフォールバックしないようにレジストリ設定を行います。
2. ストレージ アレイを設定していない、ストレージ アレイの詳細が正しく設定していない、または UDP でサポートされていないストレージ アレイを設定しています。

解決策

1. UDP によるハードウェア スナップショットでストレージ アレイがサポートされているかどうかを確認します。
2. ストレージ アレイの詳細がコンソールで設定されているかどうかを確認します。設定されている場合は、指定した詳細が正しいかどうかを確認します。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20701 ～ 20800

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20701

仮想マシン上の仮想ディスク(UUID %1!s!) で使用または変更されたブロックを識別できません。すべてのブロックのバックアップを実行しています。%0

現象

仮想マシンの使用/変更ブロックの情報の取得に失敗したため、すべてのデータ ブロックがバックアップされます。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20702

バックアップ先 [%1!s!] が RPS [%2!s!] と同じマシンにないため、ネット ワークの指 定を無 効にします。

現象

バックアップ先 が RPS と同じマシンにないため、指 定したネット ワークをサポートしません。

解 決策

バックアップ先と RPS は同じマシンにある必 要 があります。

エラー メッセージ 20703

IP：%1!s! 経 由 で RPS サーバに接 続 できません。RPS へのアクセスに [%2!s!] を使用します。

現象

指 定したネット ワーク経 由 で RPS サーバに接 続 できないため、バックアップ ジョブが警 告メッセージを報 告しました。引き続き、利 用 可 能なネット ワークの IP アドレスを使 用して RPS に接 続します。

解 決策

エージェントレス プロキシ/エージェント マシンと RPS マシン間 で、指 定したネット ワーク接 続 が利 用 可 能であることを確 認します。

エラー メッセージ 20704

指 定したネット ワーク範 囲 に ESX の IP が見 つかりませんでした。したがって、ネット ワーク経 由 でジョブを続 行し、VM のインポートを許 可します。%0

現象

バックアップ ジョブは、VM がインポートされるネット ワークで続 行されます。このフォールバックは、指 定したネット ワーク範 囲 に ESX への管 理 IP がないために発 生しました。

解 決策

指 定したネット ワーク範 囲 内 の ESX に管 理 IP を設 定し、バックアップ ジョブのサブミットを再 試 行します。

エラー メッセージ 20705

VM は vCenter からインポートされましたが、VMDK IO の特定の IO ネットワークに適切な ESXi IP が見つかりません。ただし、vCenter %1!s! が選択した ESXi ネットワークを使用してバックアップを続行します。vCenter のネットワーク指定機能はサポートされていません。%0

現象

バックアップ ジョブは、VM がインポートされるネットワークで続行されます。このフォールバックは、指定したネットワーク範囲に vCenter への管理 IP がないために発生しました。

解決策

指定したネットワーク範囲内の vCenter に管理 IP を設定し、バックアップ ジョブのサブミットを再試行します。

エラー メッセージ 20706

ブロック レベルのボリューム リストアがキャンセルされました。デスティネーション ボリューム データが破損している可能性があります。%0

現象

ブロック レベルのボリューム リストアがキャンセルされました。デスティネーション ボリューム データが破損している可能性があります。

解決策

デスティネーション ボリュームを手動でフォーマットします。

エラー メッセージ 20707

Hyper-V サーバ [%2!s!] の指定されたネットワーク [%1!s!] から IP を取得できませんでした。%0

現象

Hyper-V/Hyper-V クラスタ マシンの指定されたネットワークから IP アドレスを取得できなかったため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。

解決策

指定したネットワーク接続が Hyper-V/Hyper-V クラスタとエージェントレス プロキシ マシン間で利用可能であることを確認します。

エラー メッセージ 20708

オペレーティング システムが検出されないため、ファイル レベルのリストアは実行できません。環境を確認してください。%0

現象

保護されている VM の OS が Windows であっても、Windows 以外の OS として識別されます。したがって、ファイル レベルのリストアは実行できません。

解決策

このアクティビティ ログは、問題が VM 内の何らかの環境問題によって発生したことをお客様に確認するものです。これは、お客様の問題の 1 つとして認識されており、弊社の環境では再現できません。そのため、現在利用可能なソリューションはありません。

エラー メッセージ 20709

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はアサート リストです。スキップします。%0

現象

アサート リストをスキップします。

解決策

アサート リストをスキップします。

エラー メッセージ 20710

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はアプリケーション リストです。スキップします。%0

現象

アプリケーション リストをスキップします。

解決策

アプリケーション リストをスキップします。

エラー メッセージ 20711

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はシステム リストです。スキップします。%0

現象

システム リストをスキップします。

解決策

システム リストをスキップします。

エラー メッセージ 20712

サイト [%1!s!] のリソースにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20713

Web [%1!s!] のリソースにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20714

Web [%1!s!] のサブ Web にアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトのサブ サイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20715

Web [%1!s!] のサブ リストにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトのサブ リストをロードできません

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20716

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] にアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、リストをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20717

予期しない例外エラーが発生しました。メッセージ: [%1!s!]。%0

現象

何らかの例外が発生しました。

解決策

メッセージを参照し、必要に応じて Arcserve サポートにお知らせください。

エラー メッセージ 20718

ファイル [%1!s!] の書き込みに失敗しました。ディスクがいっぱいです。ディスクの空き容量を増やしてください。%0

現象

ディスクがいっぱいです。

解決策

ディスクの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 20720

デスティネーション インスタンスでファイルストリーム機能が有効ではありません。ファイルストリームが有効なコンポーネント名 [<parameter>] のリストアを実行できません。論理パス [<parameter>]。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

現象

デスティネーション インスタンスでファイルストリーム機能を無効にすると、ファイルストリームが有効なコンポーネントのリストア ジョブが失敗します。

解決策

この問題を回避するには、デスティネーション インスタンスでファイルストリーム機能を有効にします。ファイルストリーム機能を有効にするには、以下を参照してください。

- https://learn.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/blob/enable-and-configure-filestream?view=sql-server-ver16
- https://www.sqlshack.com/filestream-in-sql-server/

エラー メッセージ 20743

復旧ポイントのローカル マウント パスがマウント解除されているか、アクセスできませんでした。

現象

マウントされたボリュームからのデータの読み取りまたは書き込みに失敗しました。このエラーは通常、WRP マウント ポイントにアクセスできない場合に発生します。

解決策

RPS サーバ内で生成された Oracle RMAN および WRP マウント ログを参照してください。

エラー メッセージ 20766

アシュアード セキュリティ ジョブが未完了です。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行するときに、現在のアシュアード セキュリティ ジョブで一部のファイル/フォルダがスキャンされず、アシュアード セキュリティ ジョブが未完了になります。

解決策

何も行う必要はありません。詳細については、アシュアード セキュリティ ジョブのログを参照してください。

エラー メッセージ 20767

一部のファイル/ディレクトリのスキャンをスキップしました。詳細については、アシュアード セキュリティ プロキシ サーバの [<UDPHOME>\Engine\Logs\Assured-Security-Skipped-Folders-Files-Names-JID(JobID)-PID(ProcessID).log] ファイルを参照してください。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行するときに、一部のファイル/フォルダのスキャンがタイムアウトによって失敗します。

解決策

アシュアード セキュリティ ジョブのログを確認します。ファイル/フォルダのスキャンがタイムアウトになる場合は、タイムアウト値を増やしてスキャンを再実行します。詳細については、アシュアード セキュリティ ジョブのログを参照してください。

エラー メッセージ 20768

アシュアード セキュリティ ジョブがキャンセルされました。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行するときに、ユーザの操作によってスキャンがキャンセルされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 20769

一部のファイルをスキップして、ボリューム [<volume>] のアンチウイルス スキャンを完了しました。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行するときに、アンチウイルスが一部のファイル/フォルダをスキャンできません。

解決策

アシュアード セキュリティ ジョブのログおよびアシュアード セキュリティのスキップ ログで、ファイル/フォルダがスキップされているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20770

悪質なフォルダ/ファイルが見つかりました。詳細については、復旧ポイント サーバの [<Antivirus scan result file>] ファイルを参照してください。

現象

アシュアード セキュリティ スキャン ジョブを実行するときに、一部のファイル/フォルダが悪質であることがアンチウイルスによって検出されます。

解決策

アンチウイルス スキャンの結果ファイルで、ファイル/フォルダが悪質かどうかを確認します。

エラー メッセージ 25000 ～ 25100

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

エラー メッセージ 25000

<parameter> のマージ ジョブを実行できません。別のジョブが実行中です。

現象

別のジョブが現在のノードですでに実行されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25001

<parameter> のマージジョブを実行できません。別のジョブがすぐに実行されます。

現象

別のジョブが現在のノードに対して実行されようとしているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25002

フェールオーバが実行中です。現在の仮想スタンバイ ジョブをスキップします。

現象

フェールオーバが実行されているため、仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

解決策

スタンバイ VM の電源をオフにし、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 25003

アシュアード リカバリ ジョブ [<parameter>] が実行中のため、このジョブをスキップします。新しい使用可能なセッションは、アシュアード リカバリ ジョブ [<parameter>] でチェックされます。

現象

アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。ジョブは次回実行されます。

エラー メッセージ 25004

ノードの以前のプランの展開が成功していません。

現象

ノードの以前のプランの展開が成功しなかったため、アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25005

ノードのプラン設定は、正常に展開されずに変更されました。

現象

現在のプランの展開が成功せずに変更されたため、アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25006

ノードは現在のプランで保護されていません。

現象

ノードがプランで保護されていないため、アシュアード リカバリ ジョブを実行できません。

解決策

ノードの現在のプランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25007

データ ストアが停止しているため、アシュアード リカバリ ジョブはキャンセルされます。

現象

データ ストアが停止したため、アシュアード リカバリ ジョブがキャンセルされました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25008

ユーザのアクションにより、アシュアード リカバリ ジョブがキャンセルされます。

現象

アシュアード リカバリ ジョブは、ユーザによってキャンセルされました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25009

ソース ノード [<parameter>] は現在別のプランで保護されているか、プランが展開せずに変更されています。アシュアード リカバリ ジョブはスキップされ、現在のアシュアード リカバリ設定は自動的に割り当て解除されます。このノードのプランを再展開してください。

現象

現在の設定が古いため、アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開します。

エラー メッセージ 25010

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は、ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムをサポートしていません。アシュアード リカバリ ジョブを確実に成功させるには、ハイパーバイザをアップグレードするか、ターゲット ハイパーバイザをソース マシンのオペレーティング システムをサポートするものに変更します。

現象

アシュアード リカバリ ジョブが失敗しました。

解決策

現在のハイパーバイザは、ソース ノードのオペレーティング システムをサポートしていません。別のハイパーバイザに切り替えます。

エラー メッセージ 25011

プラン [<parameter>] は一時停止しています。アシュアード リカバリ ジョブがスキップされました。

現象

プランが一時停止されているため、アシュアード リカバリはスキップされます。

解決策

プランを再開すると、次回のバックアップまたはレプリケーション ジョブが完了したときにアシュアード リカバリ ジョブがトリガされます。

エラー メッセージ 25012

Windows アシュアード リカバリは Windows 以外のノード [<parameter>] をサポートしません。このノードの展開を自動的に解除します。

現象

Windows アシュアード リカバリは Windows 以外のノードをサポートしません。このノードの展開を自動的に解除します。

解決策

Windows アシュアード リカバリ タスクは Windows 以外のノードをサポートしません。

エラー メッセージ 25014

プランの展開に失敗しましたが、自動的に再展開されます。

現象

プランの展開に失敗しました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラー メッセージ 25015

プランの展開が失敗し、自動的に再展開できません。

現象

プランの展開に失敗しました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラー メッセージ 25016

プランは変更され、自動的に再展開されます。

現象

プランが変更されました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラー メッセージ 25017

プランの展開が失敗し、自動的に再展開できません。

現象

プランが変更されました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラー メッセージ 25018

プランは自動的に割り当て解除されます。

現象

プランが削除されました。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25021

データストアが変更されたため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが変更されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの変更時にジョブをキャンセルします。

エラー メッセージ 25022

データストアが削除されたため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが削除されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの削除時にジョブをキャンセルします。

エラー メッセージ 25023

データストアが停止したため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが停止されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの停止時にジョブをキャンセルします。

エラー メッセージ 25027

保留中の <parameter> ジョブは <parameter> でキャンセルされます。

現象

保留中のジョブは待機キューからキャンセルされます。

解決策

エラー メッセージ 25028

「<parameter>」をモニタするハートビートを実行できませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラー メッセージ 25030

vSphere VM「<parameter>」をモニタ「<parameter>」から登録解除できません。

現象

ネットワークの問題により、モニタ サーバの VM のハートビートを登録解除できません。

解決策

これは、仮想スタンバイ タスクの展開解除時に発生します。警告は無視しても問題ありません。

エラー メッセージ 25031

登録されていないため、ノード <parameter> の変換をスキップします。

現象

変換ノードが登録されていません。

解決策

モニタ IP アドレスが接続可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 25032

このジョブはフル バックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されます。

現象

このジョブはフル バックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されます。

解決策

フル バックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されます。

エラー メッセージ 25033

<parameter> (データストア「<parameter>」) には、指定したバックアップ データを保存するのに十分な空き容量/メモリがありますが、最大容量に近づいています。

現象

データ ストアのステータスが正常ではありません。

解決策

データ ストアの空き容量を確認します。

エラー メッセージ 25035

インスタンス UUID: <ID> の VM に対するデスティネーション情報の収集に失敗しました

現象

VM デスティネーション情報の収集に失敗しました。

解決策

詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 25036

診断ユーティリティは、ネットワーク共有 <network share path> にアクセスできませんでした。エージェント診断情報は、エージェント マシン内の <DiagnosticUtility path> フォルダに正常に収集されました。

現象

診断ユーティリティがネットワーク共有にアクセスできませんでした。

解決策

ネットワーク接続を確認し、再試行してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 25038

サーバ [<parameter>] のネットワーク アダプタを追加できません。

現象

サーバのネットワーク アダプタを追加できません。

解決策

アダプタを手動で追加し、エラー メッセージのプロンプトに従います。

エラー メッセージ 25039

vmguest.iso を <parameter> に接続できません。

現象

パッケージ vmguest.iso を仮想マシンに接続できません。

解決策

ツールのパスが有効かどうかを確認し、手動で接続して出力エラー メッセージを表示します。

エラー メッセージ 25040

Hyper-V ハンドラを開くことに失敗しました。

現象

Hyper-V への操作をトリガして操作に失敗しました。

解決策

ログ ファイルに記録されているエラー メッセージに従います。

エラー メッセージ 25041

ブート ボリューム ディスク <parameter> にドライバを挿入できません。

現象

スナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

解決策

まず、ブート ボリュームがバックアップされていることを確認します。次に、例外を確認します。

エラー メッセージ 25042

ブート ボリューム ディスク <parameter> のマウントに失敗しました。

現象

ブート ボリューム ディスクが見つかりませんでした。

解決策

ブート ボリュームが変換またはバックアップされていることを確認し、バックアップ情報を参照します。

エラー メッセージ 25043

サーバ [<parameter>] のすべてのアダプタを削除できません。

現象

アダプタを削除できません。

解決策

ログ ファイルでエラー メッセージを参照し、アダプタを手動で削除してください。

エラー メッセージ 25044

サーバ [<parameter>] の Hyper-V VM が見つかりませんでした。

現象

仮想マシンが見つかりませんでした。

解決策

仮想マシンの存在を確認し、UDP ログファイルでエラーを参照します。

エラー メッセージ 25045

ネットワーク <parameter> (サーバ [<parameter>]) を指定できません。

現象

仮想ネットワークを指定できません。

解決策

仮想ネットワークが使用可能であることを確認します。

エラー メッセージ 25046

仮想マシン [<parameter>] のシャットダウンに成功しました。

現象

仮想マシンがシャットダウンされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25047

VMware Tools のバージョンが古くなっています。

現象

仮想マシンの VMware Tools のバージョンが古くなっています。

解決策

VMware vSphere または Web クライアントを使用して VMware ツールをアップグレードします。

エラー メッセージ 25048

VMware Tools がインストールされていないか、実行されていません。

現象

VMware Tools がインストールされていないか、実行されていません。

解決策

仮想マシンの VMware Tools を手動でインストールします。

エラー メッセージ 25049

ソースマシンは EFI パーティションから起動しています。そのため、レガシー ネットワーク アダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワーク アダプタは通常のネットワーク アダプタに変更されます。

現象

ソースマシンは EFI パーティションから起動しています。レガシー ネットワーク アダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワーク アダプタは通常のネットワーク アダプタに変更されます。

解決策

これは単なるメッセージです。何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25050

統合サービスの ISO ファイル [<parameter>] は存在しません。スタンバイ VM [<parameter>] の電源がオンになった後は、インストールされません。

現象

統合サービス パッケージの ISO ファイルが見つかりませんでした。

解決策

Webservice.log ファイルのログ ファイルで例外を探し、パッケージをポイントするパスが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 25051

ファイル アーカイブ ジョブを実行できるセッションがありません。

現象

使用可能なセッションがないため、ファイル アーカイブ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25052

ファイル コピー ジョブを実行できるセッションがありません。

現象

使用可能なセッションがないため、ファイル コピー ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25053

すでに <parameter> ジョブ(<parameter>) が実行中の場合、新しくサブミットしたジョブは実行されません。

現象

別のジョブがすでに実行されているため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25054

データ ストア「<parameter>」は存在しません。その結果、<parameter> (<parameter>) は実行されません。関連プランに新しいデータ ストアを含めるよう変更してください。

現象

データストアが存在しないため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

プランを変更して新しいデータストアを含めるか、開発者からサポートを受けてください。

エラー メッセージ 25055

RPS にノード情報がないため、アシュアード リカバリテストを実行できません。レプリケーション タスクが選択されている場合、レプリケーション ジョブをサブミットして再構築します。

現象

手動 AR ジョブを実行できません。

解決策

まずレプリケーション ジョブをサブミットし、次に AR ジョブをサブミットします。

エラー メッセージ 25056

復旧ポイントのマージは、<parameter> まで延期されます。

現象

マージ ジョブは、スケジュールされた時間より前に実行することはできません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25057

<parameter> のマージ ジョブを実行できません。現在の時間がスケジュールされた時間範囲内にありません。

現象

時間範囲が原因でマージ ジョブを実行できません。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25058

マージ ジョブが別のジョブで <parameter> 回中断されました。バックアップ設定をチェックして、マージ ジョブを完了するためにバックアップの間に十分な時間があることを確認します。

現象

マージ ジョブが別のジョブによって一時停止されました。

解決策

バックアップ設定を確認し、マージ ジョブを完了するための十分な時間があることを確認します。

エラー メッセージ 25059

データ ストアが変更または削除されるため、マージ ジョブは自動的に一時停止されます。

現象

データ ストアが変更または削除されるため、マージ ジョブは自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25060

データ ストアが変更され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データストアが変更され、マージジョブが自動的に一時停止します。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25061

データ ストアが削除され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データ ストアが削除され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25062

データ ストアが停止され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データ ストアが停止され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25063

マージ ジョブは手動で一時停止されます。

現象

マージジョブは手動で一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25064

<parameter> ジョブが開始しようとしています。このマージ ジョブは停止します。

現象

マージ ジョブが別のジョブによって一時停止されました。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25065

仮想スタンバイ ジョブを終了します(セッションなし) 。

注: これは情報メッセージです。

エラー メッセージ 25066

スキップして、バックアップ セッションがブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。スタンバイ仮想マシンを起動するには、セッション [<parameter>] のデータにブート ボリュームとシステム ボリュームが含まれている必要があります。

現象

スキップして、バックアップ セッションが、ブート ボリュームとシステム ボリュームを必ず含むブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。

解決策

この問題は、レジストリキー「SkipCheckBackupSessionBootable」が有効になっているために発生します。無効にするには、値を 0 に変更します。

エラー メッセージ 25067

設定ファイル: <parameter> はセッション <parameter> に存在しません。スキップして、システム予約済みボリュームとブート ボリュームが含まれているかどうかを確認します。

現象

このセッションの adrconfigure.xml ファイルが見つからないため、スキップして、バックアップ セッションが、ブート ボリュームとシステム ボリュームを必ず含むブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25068

Arcserve HA シナリオは同期中です。変換ジョブはキャンセルされます。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25069

Arcserve HA シナリオの状態が不明であるため、変換ジョブはキャンセルされます。Arcserve HA シナリオが正常に実行されていることを確認します。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25070

仮想スタンバイ ジョブのキャンセルを開始しています。

現象

仮想スタンバイ ジョブをキャンセルしています。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25071

仮想スタンバイ ジョブが現在実行中です。仮想スタンバイ設定を削除する前にジョブがキャンセルされます。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25072

リソース プール [<parameter>] をリソース プール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して更新できませんでした。<parameter>

現象

リソース プールの更新中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、新しいリソース プールを選択します。

エラー メッセージ 25073

ユーザ [<parameter>] は、このジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

VMware に対する権限が十分でないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

十分な権限を持つ新しい VMware アカウントを指定します。

エラー メッセージ 25074

リソース プール [<parameter>] をリソース プール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して取得できませんでした。仮想スタンバイ プランを正しいリソース プールで更新します。

現象

リソース プールの選択中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、新しいリソース プールを選択します。

エラー メッセージ 25075

現在のジョブで仮想スタンバイ ジョブを作成する次回のセッションの取得に失敗しました。利用可能なセッションは、次回の仮想スタンバイ ジョブ中に変換されます。

現象

新しいセッションの選択中に仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

新しいバックアップ ジョブを再サブミットします。

エラー メッセージ 25076

エージェント復旧ポイント [<parameter>] には、D2D がインストールされたボリュームが含まれていません。

現象

D2D ボリュームがバックアップではないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、バックアップ ジョブを再サブミットします。

エラー メッセージ 25077

Arcserve HA シナリオが停止しました。

現象

RHA シナリオが停止しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

RHA シナリオを開始し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 25078

Arcserve HA シナリオは同期中です。仮想スタンバイ処理が一時停止され、同期処理の完了後に再開されます。

注： このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25080

ノード <parameter> には、以前に一時停止されたマージ ジョブがあります。最初に再開されます。以前のマージ ジョブの完了後に、すぐにマージ ジョブをサブミットし

ます。

現象

前に一時停止したマージ ジョブを再開します。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25081

(<parameter>) で始まる夏時間のジョブはスキップされ、メークアップ ジョブが <parameter> に実行されるようにスケジュールされます。

現象

夏時間のジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25082

失敗したバックアップの再試行プランは無効です。

現象

失敗したバックアップ ジョブの再試行ポリシーは無効です。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25083

失敗したバックアップ ジョブ [jobID=<parameter>] の再試行が最大回数 [<parameter>] を超えています。

現象

再試行回数が、再試行ポリシーで設定された最大回数を超えました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25084

メークアップ ジョブは、<parameter> に以前に失敗したバックアップ ジョブ [jobID=<parameter>] でスケジュールされます。

現象

失敗した前回のバックアップ ジョブに対して、メークアップ ジョブがスケジュールされます。

解決策

失敗したバックアップ ジョブの再試行ジョブをスケジュールします。

エラー メッセージ 25085

次回のスケジュールされたバックアップイベントは <parameter> に実行されます。失敗したバックアップの再試行はスキップされます。

現象

次回のスケジュールされたバックアップは、再試行ポリシーで設定された分単位で実行されるため、バックアップの再試行ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25086

未実行のバックアップの再試行プランは無効です。

現象

未実行のバックアップ ジョブの再試行ポリシーは無効です。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25087

<parameter>「<parameter>」のメークアップ ジョブがスケジュールされています。

現象

未実行のバックアップ ジョブに、バックアップ ジョブの再試行がスケジュールされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25089

次回のスケジュールされたバックアップイベントは <parameter> に実行されます。<parameter> バックアップのメークアップ試行はスキップされます。

現象

次回のスケジュールされたバックアップは、再試行ポリシーで設定された分単位で実行されるため、バックアップの再試行ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25090

ジョブは現在実行中です。<parameter> バックアップのメークアップはスキップされます。

現象

ジョブは現在実行中です。バックアップのメークアップはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25091

ジョブの再試行プランの読み取りに失敗しました。デフォルト値を使用します。

現象

再試行ポリシーファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

再試行ポリシーを削除してから、プランの再展開を試行します。

エラー メッセージ 25092

再試行プランファイルが存在しません。デフォルト値を使用します。

現象

再試行ポリシーファイルが存在しません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25093

再試行プラン設定ファイルの保存に失敗しました。

現象

再試行ポリシーファイルの保存に失敗しました。

解決策

開発者の支援が必要です。

エラー メッセージ 25094

サーバ プラン「<parameter>」が変更されました。その結果、追加のレプリケーション メークアップ ジョブは実行されません。

現象

プランが変更されたため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25095

別のものが実行されているため、仮想スタンバイ ジョブは <parameter> にスキップされます。

現象

別のものが実行されているため、仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

解決策

このノードで仮想スタンバイ ジョブが実行されていないときにメッセージが報告された場合は、RPS サーバで UDP エージェント サービスを再起動し、再試行します。

エラー メッセージ 25097

サーバ使用率アラートの送信に失敗しました。

現象

サーバ使用率電子メール アラートの送信に失敗しました。

解決策

開発者の支援が必要です。

エラー メッセージ 25098

現在実行中のジョブはありません。指定した保存設定に基づいて、マージ ジョブが開始されます。

現象

現在実行中のジョブはありません。

解決策

マージ ジョブを開始します

エラー メッセージ 25099

マージ ジョブは手動で一時停止され、手動でのみ再開できます。

現象

前のマージ ジョブが手動で一時停止されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 30916

ボリューム <parameter> ファイル システムは暗号化されているため、検証をスキップしました。

現象

アシュアード リカバリ ジョブは、暗号化されているファイル システムの検証をスキップします。

解決策

アシュアード リカバリ ジョブは、暗号化されたボリュームのデータをユーザがボリュームの暗号化を無効にしない限り読み取ることができません。

エラー メッセージ 25101

このバックアップ ジョブは、最初のジョブまたは仮想スタンバイ要件を満たすため、フル バックアップ ジョブに変換されます。

現象

このバックアップ ジョブは、仮想スタンバイ要件を満たす最初のジョブであるフル バックアップ ジョブに変換されます。

解決策

仮想スタンバイ要件を満たしているため、フル バックアップに変換します。

エラー メッセージ 25107

ソース ディスクのサイズが増加しました。その結果、最後のセッションからフル変換がトリガされます。

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたため、フル変換が発生します。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 25111

スタンバイ マシンがオンの間は、バッチ スクリプトを実行して、Windows Server 2008 R2 と拡張ネットワーク アダプタ(ENA) をネットワークに対応させてください。スクリプトの詳細については、Arcserve マニュアルを参照してください。

現象

Windows Server 2008 R2 の仮想スタンバイ マシンの電源をオンにすると、Elastic Network Adaptor (ENA) でサポートされるインスタンス タイプで設定されている場合、AWS 管理コンソールにインスタンスの 1/2 チェックが表示されます。詳細については、https://docs.aws.amazon.com/AWSEC2/latest/WindowsGuide/enhanced-networking-ena.html で Elastic Network Adaptor (ENA) でサポートされるインスタンス タイプを参照してください

解決策

以下の手順に従います。

1. UDP コンソールから、マシン単位でスタンバイをオンにします。
2. Windows マシンのいずれかに AWS CLI をインストールして設定します。
3. FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat を実行します。以下のリンク(https://udpvsb-clouddrivers.s3.amazonaws.com/FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat) からダウンロードできます。

   バッチ ファイルを実行するには、以下のコマンドを使用します。

   FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat instance_id instance_type

   - instance_type: 環境設定プランで指定されたインスタンスの種類。
   - instance_id: AWS 管理コンソールまたは仮想スタンバイ アクティビティ ジョブ ログから取得できる VSB インスタンスの ID。

エラー メッセージ 30781

サイト [<parameter>] のバックアップに失敗しました。エラー メッセージ: [<parameter>]。

現象

サイトのバックアップに失敗しました。アクセスが拒否されたか、ネットワークの問題が発生する可能性があります。

解決策

アカウントが SharePoint サイト コレクションの管理者であることを確認してください。

エラー メッセージ 30843

ディスク [%1!s!] のサイズが [%2!I64d!] から [%3!I64d!] に変更されました。ページ BLOB [%4!s!] のサイズを変更します。%0

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたため、ページ BLOB のサイズが変更されます。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 30910 ～ 31000

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 30916

ボリューム <parameter> ファイル システムは暗号化されているため、検証をスキップしました。

現象

アシュアード リカバリ ジョブは、暗号化されているファイル システムの検証をスキップします。

解決策

アシュアード リカバリ ジョブは、暗号化されたボリュームのデータをユーザがボリュームの暗号化を無効にしない限り読み取ることができません。

エラー メッセージ 30921

ソース ボリューム %1!s! のスナップショットを開けません %0

現象

ボリュームのスナップショットを開くことができなかったため、バックアップに失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 30922

このノードのスキップ CBT は有効な状態です。アプリケーションは、増分バックアップではなく、フル バックアップを実行します。%0

現象

UDP バックアップ プロキシ マシンでレジストリを以下のように設定して CBT を無効にすると、UDP は常に仮想マシンのフル バックアップを実行します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\ARCserve UnifiedDataProtection\Engine\AFBackupDll\<VMInstanceUUID>\

- キー名：SkipCBT
- 種類：REG_SZ
- 値：1

解決策

CBT を再度有効にする場合は、レジストリを「0」に設定してください。

エラー メッセージ 30923

このノードのスキップ CBT は無効な状態です。%0

現象

スキップ CBT が有効な状態から無効な状態に変更されると、UDP はフル バックアップ後に仮想マシンの増分バックアップを実行できるようになります。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 35115

ソース ディスク [%s] は [%s] から [%s] に変更されました(セッション %s) 。

現象

ソース ディスクのサイズ検出が変更されました。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 35116

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更します。

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたことを検出したため、仮想マシンの名前を変更します。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 38082

バックアップ ジョブがキャンセルされました。VSS スナップショットの場合、Hyper-V VSS ライタは仮想マシンを保存する必要があり、これは現在のプランに適用されません。バックアップ ジョブを再開するには、プランの [Hyper-V スナップショット方式] の設定を変更します。プランの [Hyper-V スナップショット方式] を設定する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

バックアップ プランで許可されていないが、仮想マシンを [保存済み] ステータスにする必要があるため、バックアップ ジョブは自動的にキャンセルされました。

解決策

バックアップ プランの [Hyper-V スナップショット方式] の設定を変更します。プランの [Hyper-V スナップショット方式] を設定する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

第 1章: 一 般 的なメッセージ

一 般 的なメッセージの場 合 は、何も行う必 要 はありません。

第 1章: 一 般 的 なエラーまたは警 告 メッセージ

このエラーは現 在 調 査 中 で、原 因 と適 切 な解 決 策 の特 定 に精 力 的 に取 り組 んでいます。さらにサポートが必 要 な場 合 、またはこのドキュメントに関 するフィードバックを提 供 する場 合 は、Arcserve サポートにお問 い合 わせください。